

# TOKYO MARATHON 2016

東京がひとつになる日。

## MEDIA GUIDE



東京マラソン2016 平成28年2月28日(日)  
兼第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)男子マラソン代表選手選考競技会  
兼アボット・ワールドマラソンメジャーズシリーズIX  
兼第15回パラリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)車いすマラソン代表選手選考対象競技会



東京都



Course Overview

コースマップ

救護所 Medical Stations

- A** START 救護所 東京都庁第二本庁舎2F入口  
Start Medical Station Tokyo Metropolitan Gov. bldg. No.2, 2F entrance
- B** 5km 救護所 飯田橋セントラルプラザビル  
5km Medical Station Iidabashi Central Plaza bldg.
- C** 10km 救護所 日比谷公園  
10km Medical Station Hibiya Park
- D** 15km 救護所 日本コムシス  
15km Medical Station Nippon COMSYS
- E** 20km 救護所 NTT日比谷ビル  
20km Medical Station NTT Hibiya bldg.
- F** 22km 救護所 日本橋プラザビル  
22km Medical Station Nihombashi Plaza bldg.
- G** 25km 救護所 久松小学校入口道路上  
25km Medical Station Entrance of the Hisamatsu Elementary School
- H** 27km 救護所 展橋交差点  
27km Medical Station The crossing of Umayabashi
- J** 30km 救護所 浅草橋(京葉道路起点道路上)  
30km Medical Station Keiyo road traffic origin, Asakusabashi
- K** 32km 救護所 坂本町公園  
32km Medical Station Sakamotocho Park
- L** 35km 救護所 築地川銀座公園  
35km Medical Station Tsukijigawa Ginza Park
- M** 38km 救護所 豊洲フロント前  
38km Medical Station Toyosu Front
- N** 40km 救護所 東京有明医療大学前  
40km Medical Station In front of Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences
- P** フィニッシュライン救護所 フィニッシュライン  
FINISH LINE Medical Station FINISH LINE
- 東展示棟救護所 東京ビッグサイト 東展示棟4ホール  
East Exhibition Hall Medical Station Tokyo Big Sight East Exhibition Hall4
- 西展示棟救護所 東京ビッグサイト 西展示棟1ホール  
WEST Exhibition Hall Medical Station Tokyo Big Sight West Exhibition Hall1

給水ポイント Fluid Stations

- |               |                |                |
|---------------|----------------|----------------|
| 1 5km... S W  | 6 17km... W F  | 11 30km... S W |
| 2 7km... W    | 7 20km... S W  | 12 32km... W F |
| 3 10km... S W | 8 22km... W F  | 13 35km... S W |
| 4 12km... W   | 9 25km... S W  | 14 38km... W F |
| 5 15km... S W | 10 27km... W F | 15 40km... S W |

S スポーツドリンク Sports drink W Water F 給食 Food

詳細 / For details → P128

東京マラソン2016 沿道協力企業・団体一覧

東京マラソン2016は、コース沿道の各企業・団体様にご協力いただいております。

新宿アイランド / 新宿三井ビルディング / 大東京信用組合 / コスモ石油 市ヶ谷SS / 中央大学 / 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント / 東京メトロ / 東京理科大学 / 株式会社セントラルプラザ / 公益財団法人特別区協議会 / 住友不動産株式会社 / 環境省自然環境局皇居外苑事務所 / 日本コムシス株式会社 / 京浜急行バス株式会社 / 森トラスト株式会社 / 株式会社みずほ銀行 / NTTコミュニケーションズ株式会社 / トルナーレ日本橋 管理組合 / 八重洲地下街株式会社 / 日本橋プラザ株式会社 / 首都高速道路株式会社 / 首都高速道路サービス株式会社 / 株式会社バンダイ / 株式会社オービック / 株式会社H-I / 三菱地所株式会社 / 三菱UFJ信託銀行株式会社 / 三井不動産ビルマネジメント株式会社 / 東京有明医療大学(敬称略・コース順)

<沿道区> 新宿区 / 千代田区 / 港区 / 中央区 / 台東区 / 江東区 2016年2月1日現在



いざという時の避難について

避難が必要な場合には、所在地に応じて、大会スタッフが下記のランナー退避場所をご案内します。大会スタッフの指示に従い、ご移動をお願いします。

1	新宿中央公園	新宿区西新宿2-11-1
2	新宿御苑	新宿区内藤町11
3	小石川後楽園	文京区後楽1-6-6
4	皇居外苑	千代田区皇居外苑1-1
5	日比谷公園	千代田区日比谷公園1
6	芝公園	港区芝公園4-10-17
7	芝浦中央公園	港区港南1-4-1
8	浜町公園	中央区日本橋浜町2-59
9	隅田公園	台東区花川戸1-1
10	あかつき公園	中央区築地7-9
11	新月島公園	中央区晴海1-3-29
12	豊洲公園	江東区豊洲2-2
13	有明テニスの森公園	江東区有明2-2-22
14	東京臨海広域防災公園	江東区有明3
15	東京ビッグサイト	江東区有明3-11-1

帰宅が困難な方は

ランナー退避場所からの帰宅が困難な場合には、複数ある受け入れ施設のうち、コース周辺にある主な大規模施設として、以下に記載した都立一時滞在施設等があります。

1	東京都庁	新宿区西新宿2-8-1
2	東京国際フォーラム	千代田区丸の内3-5-1
3	東京都江戸東京博物館	墨田区横綱1-4-1
4	東京都現代美術館	江東区三好4-1-1
5	有明テニスの森公園テニスコート	江東区有明2-2-22
6	東京ビッグサイト	江東区有明3-11-1

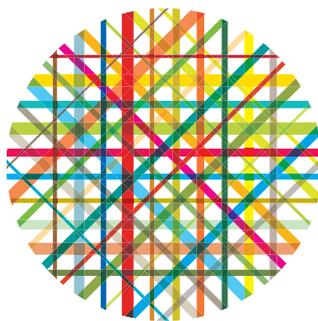
詳細 / For details → P138

コース高低図 Elevation profile





**フィニッシュ**  
42.195km  
16:10 (7時間00分)  
**FINISH**  
16:10 7hr00min  
東京ビッグサイト  
Tokyo Big Sight



# TOKYO MARATHON 2016

東京がひとつになる日。

その日、沿道で手を振ってくれた人、ボランティアとして、見届けてくれた人、手をぎゅっと握りしめながら、テレビで見えてくれた人、走る人、だけじゃない。たくさんの熱量がひとつになって、東京マラソンはできている。2007年に幕を開けてから、10年。出走者数延べ30万人。ランニング愛好者は1000万人を超え、ランニングは一過性のブームではなく、生活の一部へと変化を遂げた。たくさんの方がいたからこそ、マラソン大会という枠を超え、大きなうねりを生み出すことができた。さあ、次の10年は、何が生まれるだろう。新しいロゴとともに、東京マラソンはスタートします。走る人も、走らない人も、いっしょに、マラソンで、東京をもっと面白く。走りつづける東京マラソンを、どうぞ楽しんでください。

—総経理 田村 人 東京マラソン財団

# OVERVIEW

[www.marathon.tokyo/](http://www.marathon.tokyo/)

- 2** コースマップ  
Course Overview
- 6** 大会要項  
Race Information
- 10** 参加者概要  
Participants Data
- 11** 賞金  
Prize Purse
- 12** 10回記念大会プロジェクト  
10th Anniversary Projects
- 14** 公式日程  
Official Schedule
- 16** 経緯  
History
- 18** 大会データ年次推移  
Statistics by Year
- 20** 東京マラソン 2016 に関する数字  
Facts and Figures
- 22** ゴールドラベル  
Gold Label

# 大会要項

<b>大会名称</b>	東京マラソン 2016 (英文名: Tokyo Marathon 2016) 兼第 31 回オリンピック競技大会 (2016/リオデジャネイロ) 男子マラソン代表選手選考競技会 兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズIX 兼第 15 回パラリンピック競技大会 (2016/リオデジャネイロ) 車いすマラソン代表選手選考対象競技会	
<b>主催</b>	一般財団法人東京マラソン財団	
<b>共催</b>	公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、読売新聞社、日本テレビ放送網、フジテレビジョン、産経新聞社、東京新聞	
<b>後援</b>	文部科学省、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、一般社団法人日本経済団体連合会、公益財団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、報知新聞社、ラジオ日本、サンケイスポーツ、タ刊フジ、サンケイリビング新聞社、ニッポン放送、フジサンケイビジネスアイ、SANKEI EXPRESS、扶桑社、東京中日スポーツ	
<b>主管</b>	公益財団法人東京陸上競技協会	
<b>運営協力</b>	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会	
<b>特別協賛</b>	東京メトロ	
<b>協賛</b>	スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、ビー・エム・ダブリュ株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、東レ株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル、Inc.、全日本空輸株式会社、カゴメ株式会社、株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、コニカミノルタ株式会社、セコム株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、日本光電、広友ホールディングス株式会社、株式会社シミズオクト、株式会社東京ビッグサイト、株式会社ドール	
<b>協力</b>	国土舘大学、首都高速道路株式会社、ヒビノ株式会社、田中貴金属ジュエリー株式会社、一般社団法人築地市場協会、一般社団法人新宿淀橋市場協会、一般社団法人東京道路清掃協会、京王プラザホテル、日本ボーイスカウト東京連盟、はとバス	
<b>種目</b>	マラソン (男子・女子、車いす男子・女子) 10km (ジュニア&ユース・視覚障害者・知的障害者・移植者・車いすの各男子・女子)	
<b>開催日時</b>	2016 年 (平成 28 年) 2 月 28 日 (日) 9 時 05 分 車いすマラソン・10km スタート 9 時 10 分 マラソン・10km スタート 10 時 50 分 10km 競技終了 16 時 10 分 マラソン競技終了	
<b>テレビ放映</b>	日本テレビ系全国ネット	
<b>コース</b>	マラソン: 東京都庁～飯田橋～皇居前～日比谷～品川～銀座～日本橋～浅草雷門～築地～豊洲～東京ビッグサイト (日本陸上競技連盟/AIMS公認コース) 10km: 東京都庁～飯田橋～皇居前～日比谷公園 (記録は公認されない・順位はネットタイムによる)	
<b>競技規則</b>	国際陸上競技連盟 (IAAF) 並びに日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAF が認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations (IAAF ロードレースラベリング規定) も適用される。また、IAAF の規則により、ドーピング検査を実施する。 車いすマラソンに関しては、国際パラリンピック委員会 陸上競技部門 (IPC ATHLETICS) 競技規則及び本大会規定による。なお、IPC ATHLETICS の規則により、ドーピング検査を実施する。	

<b>制限時間</b>	マラソン: 7 時間 車いすマラソン: 2 時間 10 分 10km: 1 時間 40 分 車いす 10km: 35 分 ※ 1 制限時間は、号砲を基準とする。 ※ 2 交通・警備、競技運営上、関門閉鎖時刻を設ける。関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。	
<b>定員</b>	マラソン: 36,500 人 10km : 500 人	
<b>参加資格</b>	1) マラソン 大会当日満 19 歳以上 1-1) 一般 6 時間 40 分以内に完走できる者 1-2) 準エリート ・「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016」により推薦された者 1-3) エリート ・2015 年度日本陸上競技連盟登録競技者で、別途定める参加基準に達する者 ・招待選手 (日本陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者) 1-4) 車いす (一般) レース仕様車で 2 時間 10 分以内に完走できる者 1-5) 車いす (エリート) ・2015 年度日本パラ陸上競技連盟登録者かつ 2016 年 IPC 登録予定者で、大会当日に IPC ATHLETICS 国際クラス (T53・T54) を所持している者。なおかつ IPC 公認大会で、男子 1 時間 50 分以内、女子 2 時間以内の記録を有する者 ・招待選手 (日本パラ陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者) 2) 10km 大会当日満 16 歳以上 2-1) ジュニア&ユース 大会当日満 16 歳から満 18 歳までの 1 時間 30 分以内に完走できる者 (1997 年 3 月 1 日以降、2000 年 2 月 28 日までに生まれた者) ※東京都が東日本大震災復興支援を目的として企画する事業に参加する者を含む 2-2) 視覚障害者 大会当日満 16 歳以上 1 時間 30 分以内に完走できる者 2-3) 知的障害者 大会当日満 16 歳以上 1 時間 30 分以内に完走できる者 2-4) 移植者 大会当日満 16 歳以上 1 時間 30 分以内に完走できる者 2-5) 車いす 大会当日満 16 歳以上 レース仕様車で 35 分以内に完走できる者	
<b>賞金</b>	マラソン・車いすマラソンの競技成績により賞金を別途定める。	
<b>参加料</b>	マラソン: 国内 10,800 円、海外 12,800 円 10km : 国内 5,600 円、海外 6,700 円 ※事務手数料・消費税込み	
<b>参加申込</b>	(1) 方法 公式ウェブサイト <a href="http://www.marathon.tokyo">http://www.marathon.tokyo</a> から申込み (2) 期間 2015 年 (平成 27 年) 8 月 1 日 (土) から 8 月 31 日 (月) まで (3) 参加者の決定 申込者多数の場合は抽選を行う。 (4) 入金 当選者は指定期日までに指定口座に入金のこと。 ※チャリティランナーの申込みは 7 月 1 日 (水) から行う。先着順 3,000 人。 ※東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYO プレミアムメンバーを対象とした先行申込みを 7 月 1 日 (水) から 7 月 31 日 (金) まで行う。3,000 人。 ※「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016」の概要は公式ウェブサイトを参照。 ※マラソンのエリート・車いす (エリート) の申込みは 12 月から行う。	
<b>ランナー受付</b>	2016 年 (平成 28 年) 2 月 25 日 (木)・26 日 (金)・27 日 (土) 東京マラソン EXPO2016 会場 (東京ビッグサイト) にて行う。 ※大会当日には、受付を行わない。	
<b>その他</b>	1) 主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。 2) 本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。	

# Race Information

<b>Race Name</b>	Tokyo Marathon 2016 (also serves as Selection Race of Japan Men's Marathon Representatives for the Rio 2016 Olympic Games Abbott World Marathon Majors Series IX Selection Race of Japan Wheelchair Marathon Representatives for the Rio 2016 Paralympic Games)	
<b>Organizer</b>	Tokyo Marathon Foundation	
<b>Co-organizers</b>	JAAF (Japan Association of Athletics Federations) ; Tokyo Metropolitan Government; The Yomiuri Shimbun; Nippon Television Network Corporation; Fuji Television Network, Inc.; Sankei Shimbun Co., Ltd.; Tokyo Shimbun	
<b>Supporting Organizations</b>	Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology; Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism; Metropolitan Tokyo Mayors' Council; Japan Sports Association; Japanese Olympic Committee; Japan Sports Association for the Disabled; Nippon Keidanren (Japan Business Federation) ; Tokyo Chamber of Commerce and Industry; Tokyo Medical Association; Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association; Tokyo Private Ambulance Call Center Registrants' Liaison Council; Tokyo Nursing Association; Tokyo Convention & Visitors Bureau; Tokyo Federation of Neighborhood Associations; Tokyo Federation of Shopping Center Promotion Associations & Tokyo Federation of Shopping Centers; Tokyo Amateur Athletic Association; Community Sports Commissioners Tokyo; Hoshi Shimbun; Radio Nippon Co., Ltd.; Sankei Sports; Yukan Fuji; SANKEI LIVING SHIMBUN Inc.; Nippon Broadcasting System, Inc.; Fuji Sankei Business ; SANKEI EXPRESS; FUSOSHA Publishing Inc.; Tokyo Chunichi Sports	
<b>Managing Organization</b>	Tokyo Athletics Association	
<b>Operation Supporter</b>	Tokyo Sports Association for the Disabled; JPA (Japan Para Athletics) ; Kanto Para Athletics	
<b>Presenting Partner</b>	Tokyo Metro Co., Ltd.	
<b>Official Partners</b>	STARTS CORPORATION INC.; Yamazaki Baking Co., Ltd.; ASICS Japan Corp.; Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd. ; BMW Japan Corp.; KINTETSU INTERNATIONAL; The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited ; SEIKO HOLDINGS CORPORATION; Toray Industries, Inc. ; Mizuho Bank, Ltd.; Seven-Eleven Japan Co., Ltd.; ASAHI BREWERIES, LTD.; American Express International, Inc.; ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD; KAGOME CO., Ltd.; Photocreate Co., Ltd.; ZENROSAI (National Federation of Workers and Consumers Insurance Cooperatives) ; KONICA MINOLTA, INC.; SECOM CO., LTD.; Hisamitsu Pharmaceutical Co., Inc.; Daiwa Securities Group Inc. ; Shiseido Japan Co., Ltd. ; NIHON KOHDEN CORPORATION ; KOYOU HOLDINGS Co., Ltd.; Shimizu Octo, Inc.; Tokyo Big Sight Inc.; Dole Japan, Inc.;	
<b>Official Suppliers</b>	Kokushikan University; Metropolitan Expressway Company Limited; Hibino Corporation; TANAKA KIKINZOKU JEWERY K.K.; TSUKIJI MARKET ASSOCIATION; YODOBASHI WHOLESALE MARKET ASSOCIATION; Tokyo Road Management Association; KEIO PLAZA HOTEL CO., LTD.; Tokyo Scout Council, SAJ; HATO BUS Co., Ltd.	
<b>Events</b>	1) Marathon (Men, Women, Wheelchair Men, Wheelchair Women) ; 2) 10km Race (Men and Women for Junior & Youth, Visually Impaired, Intellectually Challenged, Organ Transplant Recipients and Wheelchair categories)	
<b>Date &amp; Time</b>	Sunday, February 28, 2016	9:05 a.m.— Wheelchair Marathon and 10km Start 9:10 a.m.— Marathon and 10 km Start 10:50 a.m.— 10km Finish 16:10 p.m.— Marathon Finish
<b>Broadcaster</b>	Nippon Television Network Corporation	
<b>Course</b>	Marathon : Tokyo Metropolitan Government Building — Iidabashi — Imperial Palace — Hibiya — Shinagawa — Ginza — Nihonbashi — Asakusa Kaminari-mon — Tsukiji — Toyosu — Tokyo Big Sight (The course is certified by the JAAF and AIMS) 10km Race : Tokyo Metropolitan Government Building — Iidabashi — Imperial Palace — Hibiya Park (Results are considered unofficial. Finishing place is determined by net time.)	
<b>Competition Rules</b>	The races will be conducted in accordance with the rules and regulations of the IAAF, the JAAF and the Race Organizer. IAAF Road Race Label Regulations also apply to the Tokyo Marathon 2016, which has been certified by the IAAF as a Gold Label road race. Doping control is conducted under IAAF Anti-Doping Regulations and/or Japan Anti-Doping Regulations. IPC ATHLETICS Rules and Regulations and the competition rules of the Tokyo Marathon apply to the wheelchair marathon. Doping control is conducted under IPC ATHLETICS Anti-Doping Regulations and/or Japan Anti-Doping Regulations.	
<b>Time Limits</b>	Marathon : 7 hours ; Wheelchair Marathon : 2 hours and 10 minutes ; 10km Race : 1 hour and 40 minutes ; Wheelchair 10km race : 35minutes (i) The time limits are based on the gun time (not on the net time) . (ii) The cut-off time will be enforced at each checkpoint due to limited duration of traffic control, security operation and event operation. The runners, who fail to pass through the checkpoint before the cut-off time, will be disqualified from the race. Furthermore, trailing runners who lag excessively behind the cut-off time pace may be asked to leave the course at anytime.	

<b>Maximum Number of Entrants</b>	Marathon : 36,500 runners 10km Race : 500 runners	
<b>Eligibility</b>	1) Marathon : Must be at least 19 years of age on the race day 1-1) General participants General participants capable of completing the race within 6 hours and 40 minutes 1-2) Semi-Elite Athletes Athletes who are recommended by the races that are affiliated in the RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016. 1-3) Elite Athletes -Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2015 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF -Invited Athletes: Domestic and international runners recommended by the JAAF 1-4) Wheelchair (General participants) -Athletes capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using the racing wheelchair. 1-5) Wheelchair (Elite) -Athletes who have the following record in the tournament of the IPC certified -races: 1 hour and 50 minutes or under (Men) 2 hours or under (Women) Athletes registered with the JPA in fiscal 2015, and the IPC in fiscal 2016 Athletes who have the T53 or T54 class of IPC Classification. -Invited Athletes : National and international athletes recommended by the JPA.	
	2) 10km Race : Must be at least 16 years of age on the race day 2-1) Junior & Youth Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1.5 hours (Runners born between March 1, 1997 and February 28, 2000 are eligible) *Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support. 2-2) Visually Impaired Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours 2-3) Intellectually Challenged Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours 2-4) Organ Transplant Recipients Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours 2-5) Wheelchair Athletes aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 35 minutes on the racing wheelchair	
<b>Prize Money</b>	For the marathon race, and Wheelchair Marathon race prize money based on the results will be awarded in accordance with separate rules.	
<b>Entry Fee</b>	Marathon : Domestic 10,800 Yen (from overseas 12,800 Yen) 10km Race : Domestic 5,600 Yen (from overseas 6,700 Yen)	
<b>Application</b>	1) Procedure Online entry 2) Application Period Applications must be received between Saturday, August 1, 2015 and Monday, August 31, 2015 (inclusive) . 3) Screening Entrants will be selected by the lottery if applications exceed the maximum number. 4) Payment Accepted applicants must pay the entry fee by money transfer to the designated account before the deadline. * Applications from charity runners will be accepted from Wednesday, July 1, on a first-come, first-served basis (up to 3,000 charity runners) . * Priority applications may be submitted by the premium members of ONE TOKYO, the official club of Tokyo Marathon Foundation, from Wednesday, July 1 to Friday, July 31 (3,000 places) * For the Semi-Elite runners information, please refer to the following Tokyo Marathon 2016 official website. * Applications from elite runners and Wheelchair Marathon runners will be accepted from December.	
<b>Number Card</b>	February 25, 26 and 27, 2016 (Thursday through Saturday)	
<b>Pick-Up</b>	Venue: Tokyo Marathon EXPO 2016 at Tokyo Big Sight *Please note that no number card will be distributed on the race day.	
<b>Others</b>	1) Entry fee will not be refunded in the event of the cancellation of the race if such cancellation is not attributable to the organizer. 2) The event will be operated in compliance with all domestic laws and regulations.	

# 参加者概要

## Participants Data

申込人数 2015.9.1 / Applicants (as of September 1, 2015)

単位：人 / The number of person

種目 Events	マラソン Marathon			10km					
	マラソン 全体 Marathon	種目別内訳 Data of the Register		10km Race	種目別内訳 Data of the Register				
		一般 General participants	車いす Wheelchair		ジュニア & ユース Junior & Youth	車いす Wheelchair	視覚障害者 Visually Impaired	知的障害者 Intellectually Challenged	移植者 Organ Transplant Recipients
定員 Quota	36,500	36,460	40	500	290	10	50	100	50
うち抽選対象 Random drawing	27,370 ※ 1	27,360	10	400 ※ 2	190	10	50	100	50
申込者数詳細 Applicants	<b>308,810</b>	308,782	28	<b>1,014</b>	400	14	154	305	141
申込者合計 Total	<b>309,824 人</b>								

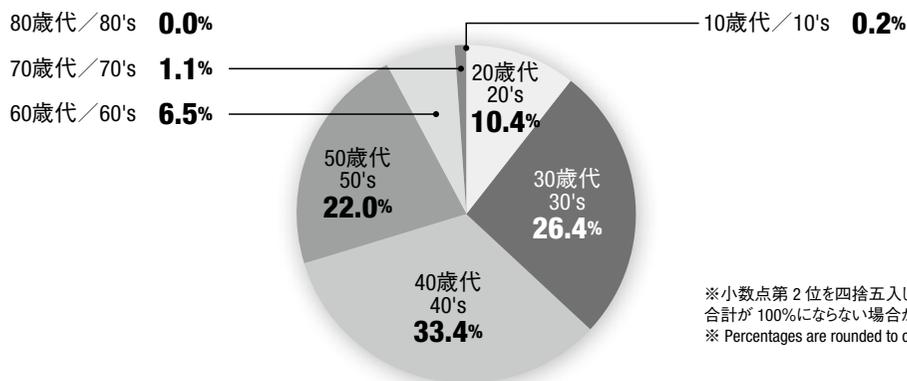
※ 1 抽選対象 27,370 人 (エリート・準エリート・チャリティランナー・ONE TOKYO プレミアムメンバー・車いすマラソンエリート除く)

27,370 applicants are subject to a random drawing. (Elite runners, Semi-Elite Runners, Charity runners, ONE TOKYO premium member, Elite Wheelchair are excluded)

※ 2 抽選対象 400 人 (復興支援ジュニア & ユース除く)

400 applicants are subject to a random drawing. (The team of reconstruction support to the Great East Japan Earthquake are excluded.)

### マラソン参加者・年代別集計 / Age group-Percent of runners



### 種目別最高年齢 / Age of Oldest runner

国内 Japan		海外 Overseas	
男子 MAN	女子 WOMAN	男子 MAN	女子 WOMAN
マラソン Marathon Age <b>87</b> (神奈川県 KANAGAWA)	マラソン Marathon Age <b>81</b> (長崎県 NAGASAKI)	マラソン Marathon Age <b>77</b> (韓国 KOREA)	マラソン Marathon Age <b>73</b> (カナダ CANADA)
10Km Age <b>72</b> (愛媛県 EHIME)	10Km Age <b>76</b> (東京都 TOKYO)	10Km Age <b>68</b> (フィリピン PHILIPPINES)	10Km Age <b>66</b> (台湾 CHINESE TAIPEI)

# 賞金

## Prize Purse

東京マラソン 2016 における賞金を定めましたのでお知らせします。なお、賞金はオフィシャルパートナーからのご協力により実施いたします。

Tokyo Marathon 2016 has announced the prize purse as described below. Please note that all prize purses will be provided by the official partners.

### 1 マラソン Marathon

#### (1) 賞金 Prize Purse (単位/Unit: 円/JPY)

順位 Place	男子 Men	賞金 Prize Purse	女子 Women	世界記録 (WR)
1位	1st	11,000,000	11,000,000	男子 デニス・キメット(ケニア) KIMETTO, Dennis (KEN) 2:02:57 (2014年ベルリン・Berlin)
2位	2nd	4,000,000	4,000,000	女子 ポーラ・ラドクリフ(イギリス) RADCLIFFE, Paula (GBR) 2:15:25 (2003年ロンドン・London)
3位	3rd	2,000,000	2,000,000	日本記録 (NR)
4位	4th	1,000,000	1,000,000	男子 高岡寿成 TAKAOKA, Toshinari 2:06:16 (2002年シカゴ・Chicago)
5位	5th	750,000	750,000	女子 野口みずき NOGUCHI, Mizuki 2:19:12 (2005年ベルリン・Berlin)
6位	6th	500,000	500,000	ゲームレコード (GR)
7位	7th	400,000	400,000	男子 ディクソン・チュンバ(ケニア) CHUMBA, Dickson (KEN) 2:05:42 (2014年)
8位	8th	300,000	300,000	女子 ティルフィツェガエ(エチオピア) TSEGAYE, Tirfi (ETH) 2:22:23 (2014年)
9位	9th	200,000	200,000	
10位	10th	100,000	100,000	
計	Total	20,250,000	20,250,000	

#### (2) タイムボーナス Time Bonuses (単位/Unit: 円/JPY)

項目 Term	世界記録 World Record (WR)	日本記録 Japanese National Record (NR)	ゲームレコード Game Record (GR)	計 Total
男子 Men	30,000,000	5,000,000	3,000,000	38,000,000
女子 Women	30,000,000	5,000,000	3,000,000	38,000,000
備考 Remarks	男女 1 位のみ 1st-place only	男女 1 位のみ 1st-place only	男女 1 位のみ 1st-place only	

### 2 車いす (マラソン) Wheelchair Marathon

#### (1) 賞金 Prize Purse (単位/Unit: 円/JPY)

順位 Place	男子 Men	賞金 Prize Purse	女子 Women	世界記録 (WR)
1位	1st	1,000,000	1,000,000	男子 ハインツ・フライ(スイス) FREI, Heinz 1:20:14 (1999年大分国際・Oita) (参考)
2位	2nd	500,000	500,000	ジョシュア・キャンディ(カナダ) CASSIDY, Joshua (CAN) 1:18:25 (2012年ボストン・Boston)
3位	3rd	300,000	300,000	女子 マヌエラ・シャー(スイス) SCHÄR, Manuela (SUI) 1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
4位	4th	100,000	100,000	土田 和歌子(日本) TSUCHIDA, Wakako (JPN) 1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
5位	5th	80,000	80,000	日本記録 (NR)
6位	6th	60,000	60,000	男子 洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota 1:20:52 (2013年ソウル国際・Seoul)
7位	7th	40,000	40,000	女子 土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako 1:38:07 (2013年大分国際・Oita)
8位	10th	20,000	20,000	
計	Total	2,100,000	2,100,000	※過去のGR詳細 / For Past GR details → P110

#### (2) タイムボーナス Time Bonuses (単位/Unit: 円/JPY)

項目 Term	世界記録 World Record (WR)	日本記録 Japanese National Record (NR)	計 Total
男子 Men	1,000,000	500,000	1,500,000
女子 Women	1,000,000	500,000	1,500,000
備考 Remarks	男女 1 位のみ 1st-place only	男女 1 位のみ 1st-place only	男女 1 位のみ 1st-place only

### 3 総額 Grand Total (単位/Unit: 円/JPY)

項目 Terms	賞金 Prize Purse
賞金合計 Total Prize Purse	44,700,000
ボーナス合計 Total Time Bonuses	79,000,000
総額 Grand Total	123,700,000

※金額はいずれも税込みです。  
※賞金は協賛企業各社からのご協力により実施いたします。  
※日本人マラソン男子のトップ選手には、別途協賛社より副賞が贈呈されます。

# Tax included on all prize purse.  
# All prize purses come from the cooperation.  
# The official sponsor presents extra prize to Japanese men's top finisher.

# 10回記念大会プロジェクト



2007年にスタートして以来、東京マラソンは2016大会で10回目の節目を迎えます。東京マラソン財団では、この記念すべき10回大会を次の10年に向けた新たなスタートと位置づけ、10回記念大会プロジェクトとして将来に向けた新たな取り組みを始めました。

マラソンムーブメントの更なる盛り上げを図っていきます。

- 1** **大会ロゴ  
リニューアル**

10 回を迎える「東京マラソン 2016 開催」を記念して、大会ロゴをリニューアル。異なる線のひとつひとつは、「走る喜び」「支える誇り」「応援する楽しみ」などそれぞれの価値観や目的を持って東京マラソンに参加するランナーやボランティア、観衆の一人一人を表現!
- 2** **車いすマラソン  
国際レースの実施**

国際パラリンピック委員会 (IPC) 公認大会として開催。現役トップアスリート副島正純選手が、車いすレースディレクターに就任! → P72
- 3** **10 回大会限定!  
マラソンの定員を  
1,000 人増加**

35,500 人 (2015 大会) から 36,500 人 (2016 大会) に増加!
- 4** **RUN as ONE –  
Tokyo Marathon 2016**

準エリート (国内) に続き、準エリート (国外) と一般がスタート! → P66-67
- 5** **海外ランナーへの  
おもてなし強化**

多言語対応ボランティア約 700 人を募集。英語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語などに対応。
- 6** **ランナー募集に向けた  
新聞出稿**

7 月 31 日に読売新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞に東京マラソン 2016 のランナー募集にさきがけ、メッセージを掲載!
- 7** **副島正純車いす  
ディレクター講演会**

9 月 5 日にボランティア等を対象に講演会を開催! フィニッシュ応援スペースにご招待特典付き
- 8** **東京トライアル  
ハーフマラソン**

10 月 31 日にオフィシャルイベント「東京トライアルハーフマラソン」を開催! → P166
- 9** **「完走メダル」デザインを  
投票により決定**

ONE TOKYO メンバー皆さんの投票で決定! 線の重なりを大胆に円で切り取り、そのそれぞれの道が生んだ余白の部分を意識したデザインは、走り抜けたあなたに新しい可能性や出会い、発見が訪れることを願っています。 → P24
- 10** **「10 回記念大会  
ランナー応援ソング」  
制作**

ONE TOKYO メンバーから募集した想いが詰まった応援歌を森友嵐士 (T-BOLAN) 氏が作詞・作曲を手掛けた。現在、ONE TOKYO メンバーに向けて無料配信。東京マラソン 2016 ランナー応援ソング「駆け抜ける愛のうた～はじまりの day by day～」
- 11** **フィニッシュ  
盛り上げ企画実施**

国際化する車いすレースやリオ選考をかけたエリート選手、そして市民ランナーのフィニッシュまで様々な企画で盛り上げます。  
※消防庁放水  
※マラソン祭り  
※新ロゴ装飾
- 12** **キックオフイベントの  
実施**

2016 年 1 月 28 日～ 31 日 (4 日間) 今回テレビ中継局となる日本テレビ本社のイベントスペースにおいて、イベントを開催! いち早く大会情報や、ランナー応援ソングの発表をお届けしました。
- 13** **アフターラン・  
サンクスパーティの実施**

フィニッシュ後のランナー達との感動の共有、ボランティアへの感謝をこめて本大会当日「アフターラン・サンクスパーティ」を実施!
- 14** **記念本の発行  
『東京マラソン  
ストーリーズ』**

2007 年の第一回大会から 10 年目にあたる節目の年に、10 年分の大会を網羅したムック本を発行!
- 15** **記念グッズの販売**

定番人気アイテムをはじめ 10 回記念グッズを公式ウェブサイト・および EXPO 会場、東京マラソン財団オフィシャルショップにて販売!

詳細は東京マラソン2016公式ウェブサイト  
[www.marathon.tokyo/anniversary-project/](http://www.marathon.tokyo/anniversary-project/)

# 10th Anniversary Projects



The Tokyo Marathon, first run in 2007, will celebrate its 10th anniversary milestone with the staging of the 2016 race. The Tokyo Marathon Foundation, determined to commemorate this landmark occasion as a new start for its second decade, is gearing up to launch various projects for the 10th anniversary event. Through the following projects, the Tokyo Marathon will put an even greater degree of energy and vision into the marathon movement in Japan.

- 1 Race Logo Renewal**

Each of the many colored lines of this new logo represents many runners, volunteers and spectators participating in this exciting events with each and every objective.
- 2 Creating the Greatest Wheelchair Race in the World**

An active competitor in the wheelchair races both at home and abroad, Masazumi Soejima was appointed as the Wheelchair Race Director. The race will be held as the IPC sanctioned race.
- 3 Increase of the Entrants only for the 10th Anniversary**

35,500 (2015) → 36,500 (2016)
- 4 RUN as ONE – Tokyo Marathon 2016**

In addition to the existing Semi-Elite athletes in Japan, this program is now open to Semi-Elite athletes from overseas and general runners.
- 5 700 Foreign Language Volunteers**

To provide required hospital-ity service to overseas runners, Foreign Language Volunteers are also recruited.
- 6 Newspaper Advertisements (on July 31, 2015)**

Advertisement of Tokyo Marathon 2016 was published with our message to runners in the Yomiuri Shimbun, Sankei Shimbun, and Nikkei newspapers.
- 7 Wheelchair Race Director's Lecture Meeting**

The lecture meeting was held for volunteers and others on September 5, 2015.
- 8 Tokyo Trial Half Marathon**

Tokyo Marathon Foundation's official event, "Tokyo Trial Half Marathon" was held on October 31, 2015.
- 9 Finisher Medal Design Selection**

The new design of the Tokyo Marathon 2016 finisher's medal has been selected by a vote of ONE TOKYO members. The design is based on the Tokyo Marathon's new logo. We hope that this medal could help encourage the participants.
- 10 Producing a "10th Anniversary Event – Runner Cheer-up Song"**

A runner cheer-up song based on the messages collected from ONE TOKYO members has been produced.
- 11 Finish Area Enlivenment**

To boost the marathon mood for all the participants including wheelchair athletes, elite athletes and recreational runners, Tokyo Marathon 2016 will set the finish area as welcoming as possible!
- 12 4-Day Kickoff Event**

Various events, as well as 10th Anniversary Projects, will be held at the event space at the Nippon Television Network Corp (Jan 28-31, 2016)
- 13 After-Run Thanks Party**

After-Run Thanks Party will be held at the Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall. To show our appreciation and hospitality, the Tokyo Marathon will provide all the runners, volunteers and spectators the chances to share their achievement and happiness.
- 14 Releasing the anniversary book "Tokyo Marathon Stories (10 years of Tokyo Marathon)"**

A book which includes the entire event history of 10 years from 2007 will be released.
- 15 Sales of commemorative items**

In addition to regular items, 10th anniversary commemorative items are produced for sale.

For details, please visit :  
[www.marathon.tokyo/news-media/files/300268644.pdf](http://www.marathon.tokyo/news-media/files/300268644.pdf)

## 公式日程

## Official Schedule

1月21日	木		マラソンエリート選手発表	
1月22日	金		車いすエリート選手発表	
1月28日	木		ランナー応援ソング発表	
1月28日	木~		東京マラソン 2016 キックオフイベント	日本テレビ本社 B2 (ゼロスタ広場)
~31日	日			
1月29日	金	15:00	主催者会議	新宿NSビル 30F
2月1日	月~		東京マラソンウィーク 2016	東京都内
~29日	月			
2月23日	火	14:00	選手村開村	京王プラザホテル
2月25日	木	9:30	東京マラソン EXPO2016 プレスツアー	東京ビッグサイト西展示棟 4F
		10:45	東京マラソン EXPO2016 オープニング	
		11:00 - 20:30	東京マラソン EXPO2016 一般ランナー受付	
2月26日	金	11:00 - 20:30	東京マラソン EXPO2016 一般ランナー受付	東京ビッグサイト西展示棟 4F
		11:00 - 15:00	プレスカンファレンス	京王プラザホテル南館 5F
		11:00 -	主催者会見、車いすエリート出場選手会見	エミネンスホール
		13:00 -	AbbottWMM、マラソンエリート出場選手会見	
2月27日	土	9:00 - 13:00	東京マラソン フレンドシップラン 2016	臨海副都心シンボルプロムナード公園~マラソンフィニッシュライン
		11:00 - 19:30	東京マラソン EXPO2016 一般ランナー受付	東京ビッグサイト西展示棟 4F
		13:00 - 15:00	2016 ジャパンレースディレクターズミーティング	東京ファッションタウン (TFT) ビル 9F
		13:00 - 16:00	車いす選手受付	ヒルトンホテル東京 1F
		13:00 - 17:00	エリート選手受付	京王プラザホテル 3F
		17:00	テクニカルミーティング (マラソン)	新宿NSビル 30F
			テクニカルミーティング (車いす)	ヒルトン東京 3F
		20:00	開催決定対策協議会	東京ビッグサイト大会運営本部
2月28日	日	4:00	開催決定会議	スタート本部 / 都庁第二本庁舎二庁ホール
		6:00 - 7:00	招待選手・エリート選手スペシャルドリンク受付	京王プラザホテル 3F
		6:30 - 7:00	車いす選手受付	ヒルトン東京 地下 2F 駐車場
		8:54	スタートセレモニー開始	都庁第一本庁舎前
		8:55	大会会長挨拶・開会宣言	
		8:58	国歌斉唱 (六本木男声合唱団 ZIG-ZAG)	
		9:05	車いすマラソン、車いす 10km スタート	
		9:10	マラソン・10km スタート	
		10:30 - 11:00	10km フィニッシャーズセレモニー	日比谷公園 小音楽堂
		10:32 (予定)	車いすマラソン男子 フィニッシュ / 簡易表彰	フィニッシュエリア簡易表彰ステージ
		10:50 (予定)	車いすマラソン女子 フィニッシュ / 簡易表彰	
		10:50	10km 競技終了	
		11:17 (予定)	マラソン男子 フィニッシュ / 簡易表彰	フィニッシュエリア簡易表彰ステージ
		11:35 (予定)	マラソン女子 フィニッシュ / 簡易表彰	
		12:00	アフターラン・サンクスパーティ	東京ビッグサイト西展示棟 4F 西 3・4 ホール
		13:30	車いす男子・女子 マラソン男子・女子 表彰式	東京ビッグサイト西展示棟 4F 西 3・4 ホール
			Abbott World Marathon Majors Series IX Award Ceremony	
			RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016 "Wild Card Award"	
		15:30	ボランティアアワード	
		15:30 - 16:00	東京マラソン ファミリーラン 2016	東京臨海広域防災公園~マラソンフィニッシュライン
		16:10	マラソン競技終了	
2月29日	月	11:00	選手村開村	京王プラザホテル

January 21	Thu		Invited athletes announced	
January 22	Fri		Invited wheelchair athletes announced	
January 28	Thu		Runner Cheer-Up Song released	
January 28 - 31	Thu - Sun		Tokyo Marathon 2016 4-Day Kickoff Event	Event space at the Nippon Television Network
January 29	Fri	3:00 pm	Tokyo Marathon organizer's meeting	Shinjuku NS building, 30F
February 1 - 29	Mon - Mon		Tokyo Marathon WEEK 2016	Central Tokyo
February 23	Tue	2:00 pm	Opening of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel, 41F
February 25	Thu	9:30 am	Tokyo Marathon EXPO 2016 Press Tour	Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall 4F
		10:45 am	Tokyo Marathon EXPO 2016 Opening	
		11:00 am - 8:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2016	
February 26	Fri	11:00 am - 8:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2016	Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall 4F
		11:00 am - 3:00 pm	Press Conference	Keio Plaza Hotel, Eminence Hall 5F
		11:00 am -	Organizers', Elite Wheelchair Athletes	
		1:00 pm -	AbbottWMM, Elite Athletes	
February 27	Sat	9:00am - 1:00 pm	Tokyo Marathon Friendship Run 2016	Symbol Promenade Park- Marathon Finish line
		11:00 am - 7:30 pm	Runner registration at Tokyo Marathon EXPO 2016	Tokyo Big Sight, West Exhibition Hall 4F
		1:00 pm - 3:00 pm	2016 Japan Race Directors Meeting	Tokyo Fashion Town (TFT) building 9F
		1:00 pm - 4:00 pm	Wheelchair athlete registration	Hilton Hotel Tokyo lobby, 1F
		1:00 pm - 5:00 pm	Elite athletes registration	Keio Plaza Hotel lobby, 3F
		5:00 pm	Technical meeting (Marathon)	Shinjuku NS building, 30F
			Technical meeting (Wheelchair)	Hilton Hotel Tokyo lobby, 3F
		8:00 pm	Deliberation by race operation committee	Tokyo Big Sight
February 28	Sun	4:00 am	Final race organizer's meeting	Start headquarter/ Metropolitan Gov. building No.2 hall
		6:00 am - 7:00 am	Registration for elite and invited athletes' special drink	Keio Plaza Hotel lobby, 3F
		6:30 am - 7:00 am	Wheelchair athletes registration	Hilton Hotel Tokyo B2 Parking
		8:54 am	Start ceremony	Front of Metropolitan Gov. building No.1
		8:55 am	Speech by Chairman of Tokyo Marathon	
		8:58 am	Singing of the national anthem (Roppongi Choir ZIG-ZAG)	
		9:05 am	Wheelchair marathon and Wheelchair 10km start	
		9:10 am	Marathon and 10km start	
		10:30 am - 11:00 am	10km finisher's ceremony	Hibiya Park (Small Open-Air Concert Hall)
		10:32 am (TBC)	Winners' Awards Ceremony	Finish area
		10:50 am (TBC)	(Wheelchair Men & Women)	
		10:50 am	10km finish	
		11:17 am (TBC)	Winners' Awards Ceremony	Finish area
		11:35 am (TBC)	(Marathon Men & Women)	
		12:00 pm	After-Run Thanks Party	Tokyo Big Sight West Exhibition Hall 4F
		1:30 pm	Awards Ceremony for Marathon and Wheelchair (Men & Women)	Tokyo Big Sight West Exhibition Hall 4F
			Abbott World Marathon Majors Series IX Award Ceremony	
			RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016 "Wild Card Award"	
		3:30 pm	Volunteer's Award	
		3:30 pm - 4:00 pm	Tokyo Marathon Family Run 2016	Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park-Marathon Finish line
		4:10 pm	Marathon finish	
February 29	Mon	11:00 am	Closing of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel

## 経緯

## History

平成 16 年	4 月	東京都と日本陸連で 17 年度に大都市マラソンを開催することを目標に協議を開始
平成 17 年	2 月 23 日	「東京大都市マラソン開催準備委員会」を設置・開催
	10 月 20 日	東京都と日本陸連で「東京マラソンに関する基本合意」締結
	11 月 21 日	東京マラソン組織委員会を設立
平成 19 年	2 月 18 日	東京マラソン 2007
平成 20 年	2 月 17 日	東京マラソン 2008
	9 月	IAAF ロードレースラベリング「シルバーラベル」取得
平成 21 年	3 月 22 日	東京マラソン 2009
	9 月 16 日	IAAF ロードレースラベリング「ゴールドラベル」取得
平成 22 年	2 月 28 日	東京マラソン 2010
		東京マラソンファミリーラン初開催
	6 月 30 日	一般財団法人東京マラソン財団設立
	12 月 15 日	チャリティ事業開始
平成 23 年	2 月	東京マラソンウィーク初実施
	2 月 23 日	東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYO 開設
	2 月 27 日	東京マラソン 2011
	4 月 1 日	東京マラソン財団事務所移転
平成 24 年	2 月 25 日	東京マラソンフレンドシップラン初開催
	2 月 26 日	東京マラソン 2012
	10 月 1 日	ワールドマラソンメジャーズ (WMM) <sup>*</sup> に加入※現アボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM)
平成 25 年	2 月 24 日	東京マラソン 2013
	5 月 12 日	ランナーサポート施設『ジョグポート有明』開設
	6 月	警備救護強化プロジェクト発足
平成 26 年	2 月 23 日	東京マラソン 2014
	6 月 27 日	スポーツレガシー事業開始
		RUN as ONE – Tokyo Marathon プログラム導入
平成 27 年	2 月 22 日	東京マラソン 2015
	5 月 10 日	財団オフィシャルイベント シンボルプロムナード公園ランニングコース開設 2 周年記念「湾岸ラン&駅伝 in 有明・お台場」開催
	6 月 30 日	大会ロゴリニューアル発表 車いすマラソン国際化発表
	10 月 31 日	東京トライアルハーフマラソン開催
平成 28 年	1 月 17 日	1,000 人規模の普通救命講習会開催 テロ対処訓練開催
	2 月 28 日	東京マラソン 2016

2004	April	Tokyo Metropolitan Government, together with JAAF (Japan Association Of Athletics Federations), started discussions toward holding a big-city marathon in 2005
2005	February 23	Tokyo Marathon Preparatory Committee established and first meeting held
	October 20	Tokyo Metropolitan Government and JAAF signed the Basic Agreement on the Tokyo Marathon
	November 21	Tokyo Marathon Organizing Committee established
2007	February 18	Tokyo Marathon 2007
2008	February 17	Tokyo Marathon 2008
	September	Tokyo Marathon receives "Silver Label" from IAAF Road Race Labeling
2009	March 22	Tokyo Marathon 2009
	September 16	Tokyo Marathon receives "Gold Label" from IAAF Road Race Labeling
2010	February 28	Tokyo Marathon 2010
		Tokyo Marathon Family Run 2010 inaugurated
	June 30	Tokyo Marathon Foundation established
	December 15	Tokyo Marathon Charity started
2011	February	Tokyo Marathon Week started
	February 23	Official Tokyo Marathon Foundation "ONE TOKYO" club established
	February 27	Tokyo Marathon 2011
	April 1	Tokyo Marathon Foundation Office relocated
2012	February 25	Tokyo Marathon 2012 Friendship Run inaugurated
	February 26	Tokyo Marathon 2012
	October 1	Tokyo Marathon joined the World Marathon Majors (WMM)
2013	February 24	Tokyo Marathon 2013
	May 12	JOGPORT ARIAKE (runner supports facility) opened
	June	SAFE & SECURE Project inaugurated
2014	February 23	Tokyo Marathon 2014
	June 27	Sports Legacy Program started
		RUN as ONE – Tokyo Marathon program introduced
2015	February 22	Tokyo Marathon 2015
	May 10	Official event "WANGAN Run & EKIDEN in Ariake/Odaiba"
	June 30	New logo introduced
		International wheelchair marathon announced
	October 31	Official event "Tokyo Trial Half Marathon"
2016	January 17	"First Aid Seminar" (about 1,000 participants) "Anti – Terrorism Training"
	February 28	Tokyo Marathon 2016

# 大会データ年次推移

# Statistics by Year

		2015	2014	2013		
定員 Capacity	マラソン Marathon	35,500 ※ 1	35,500 ※ 2	35,500 ※ 2		
	10km	500 ※ 3	500 ※ 3	500 ※ 3		
	定員合計 Total	36,000	36,000	36,000		
申込者 Applicants	マラソン Marathon	304,825	302,442	303,450		
	10km	909	944	1,058		
	申込者合計 Total	305,734	303,386	304,508		
出走者 Starters	マラソン Marathon	35,310	35,556	36,228		
	10km	487	474	448		
	出走者合計 Total	35,797	36,030	36,676		
完走者 Finishers	マラソン Marathon	34,049	34,126	34,819		
	10km	478	458	432		
	完走者合計 Total	34,527	34,584	35,251		
	マラソン完走率 Marathon ratio %	96.4	96.0	96.1		
	マラソン男女比率 Marathon M/W ratio %					
		Men	78.8	79.7	79.9	
		Women	21.2	20.3	20.1	
	10km完走率 10km Race ratio %	99.2	96.6	96.4		
10km男女比率 10km M/W ratio %	Men	64.0	68.3	65.3		
	Women	36.0	31.7	34.7		
マラソン 完走記録 Marathon finish time	3 時間未満 Less than 3hours	人数 Number of finishers	1,103	824	802	
			Men	1,036	778	748
			Women	67	46	54
		全体比率 Component ratio %	3.2	2.4	2.3	
	3 時間以上 4 時間未満 3hours-less than 4 hours	人数 Number of finishers	7,456	7,115	7,287	
			Men	6,515	6,402	6,622
			Women	941	713	665
		全体比率 Component ratio %	21.9	20.8	20.9	
	4 時間以上 5 時間未満 4hours-less than 5hours	人数 Number of finishers	10,840	10,732	11,266	
			Men	8,773	8,860	9,305
			Women	2,064	1,872	1,961
		全体比率 Component ratio %	31.8	31.4	32.4	
5 時間以上 6 時間未満 5hours-less than 6hours	人数 Number of finishers	9,493	9,813	9,958		
		Men	7,003	7,314	7,420	
		Women	2,490	2,499	2,538	
	全体比率 Component ratio %	27.9	28.8	28.6		
6 時間以上 7 時間未満 6ours-less than 7hours	人数 Number of finishers	5,157	5,642	5,506		
		Men	3,500	3,849	3,724	
		Women	1,657	1,793	1,782	
	全体比率 Component ratio %	15.1	16.5	15.8		

マラソン年代別集計 Participants by age group (Marathon) %		2015	2014	2013
※ 5	10 歳代 10s	0.20	0.20	0.20
	20 歳代 20s	11.30	11.30	12.00
	30 歳代 30s	29.60	29.60	29.60
	40 歳代 40s	33.40	33.40	33.10
	50 歳代 50s	18.30	18.30	17.80
	60 歳代 60s	6.20	6.20	6.00
	70 歳代 70s	1.10	1.10	1.10
	80 歳代 80s	0.10	0.10	0.00

ボランティア参加人数 Volunteers		2015	2014	2013
EXPO 来場者数 Tokyo Marathon EXPO	来場者数 Visitors	103,330	96,273	81,082
	出展ブース数 Exhibitors	114	108	106

外国人出走者数 International Starters		2015	2014	2013
(海外居住の日本、国内居住の外国など含む)		5,317	5,067	2,980

※ 1 抽選対象 28,400 人/エリート、準エリート、チャリティランナー、ONE TOKYO 先行除く  
 ※ 2 抽選対象 29,400 人/エリート、チャリティランナー、ONE TOKYO 先行除く  
 ※ 3 抽選対象 400 人/被災地支援事業除く  
 ※ 4 抽選対象 32,000 人/チャリティランナー 1,000 人除く  
 ※ 5 都立高校生  
 ※ 6 小数点第二位を四捨五入しているため 100%にならない場合があります。

		2012	2011	2010	2009	2008	2007		
定員 Capacity	マラソン Marathon	35,500 ※ 2	33,000 ※ 4	32,000	30,000	25,000	25,000		
	10km	500 ※ 3	3,000	3,000	5,000	5,000	5,000		
	定員合計 Total	36,000	36,000	35,000	35,000	30,000	30,000		
申込者 Applicants	マラソン Marathon	282,824	294,469	272,134	226,378	130,062	77,521		
	10km	1,164	40,678	39,307	35,603	25,950	17,523		
	申込者合計 Total	283,988	335,147	311,441	261,981	156,012	95,044		
出走者 Starters	マラソン Marathon	35,954	33,353	32,080	30,164	27,386	26,058		
	10km	453	3,096	2,948	4,808	5,040	4,812		
	出走者合計 Total	36,407	36,449	35,028	34,972	32,426	30,870		
完走者 Finishers	マラソン Marathon	34,678	32,415	30,182	29,128	26,665	25,102		
	10km	451	3,086	2,919	4,635	4,898	4,720		
	完走者合計 Total	35,129	35,501	33,101	33,763	31,563	29,822		
	マラソン完走率 Marathon ratio %	96.5	97.2	94.1	96.6	97.4	96.3		
	マラソン男女比率 Marathon M/W ratio %								
		Men	78.9	76.1	78.9	78.3	77.8	77.7	
		Women	21.1	23.9	21.1	21.7	22.2	22.3	
	10km完走率 10km Race ratio %	99.6	99.7	99.0	96.4	97.2	98.1		
10km男女比率 10km M/W ratio %	Men	69.4	71.0	52.2	55.4	72.9	72.5		
	Women	30.6	29.0	47.8	44.6	27.1	27.5		
マラソン 完走記録 Marathon finish time	3 時間未満 Less than 3hours	人数 Number of finishers	852	720	499	648	742	495	
			Men	806	669	472	601	721	479
			Women	46	51	27	47	21	16
		全体比率 Component ratio %	2.5	2.2	1.7	2.2	2.7	2.0	
	3 時間以上 4 時間未満 3hours-less than 4 hours	人数 Number of finishers	7,328	6,069	5,816	5,625	6,197	5,926	
			Men	6,573	5,279	5,210	4,991	5,515	5,274
			Women	755	790	606	634	682	652
		全体比率 Component ratio %	21.1	18.7	19.3	19.3	23.2	23.6	
	4 時間以上 5 時間未満 4hours-less than 5hours	人数 Number of finishers	11,245	10,589	9,535	9,725	9,540	9,136	
			Men	9,099	8,422	7,817	7,821	7,529	7,208
			Women	2,146	2,167	1,718	1,904	2,011	1,928
		全体比率 Component ratio %	32.4	32.7	31.6	33.4	35.7	36.4	
5 時間以上 6 時間未満 5hours-less than 6hours	人数 Number of finishers	9,998	9,697	9,074	8,603	7,029	6,992		
		Men	7,285	6,789	6,686	6,316	4,921	4,908	
		Women	2,713	2,908	2,388	2,287	2,108	2,084	
	全体比率 Component ratio %	28.8	29.9	30.1	29.5	26.6	27.9		
6 時間以上 7 時間未満 6ours-less than 7hours	人数 Number of finishers	5,255	5,340	5,258	4,527	3,157	2,553		
		Men	3,592	3,519	3,638	3,078	2,052	1,636	
		Women	1,663	1,821	1,620	1,449	1,105	917	
	全体比率 Component ratio %	15.2	16.5	17.4	15.5	11.8	10.2		

マラソン年代別集計 Participants by age group (Marathon) %		2012	2011	2010	2009	2008	2007
※ 5	10 歳代 10s	0.20	0.20	0.30	0.30	0.20	0.10
	20 歳代 20s	12.50	15.10	17.60	16.50	14.50	10.90
	30 歳代 30s	29.70	34.40	33.80	32.70	32.00	29.40
	40 歳代 40s	33.10	30.00	28.10	27.70	28.10	28.70
	50 歳代 50s	17.20	15.20	13.90	15.40	16.90	21.20
	60 歳代 60s	6.20	5.90	5.70	6.30	7.20	8.70
	70 歳代 70s	1.00	0.80	0.70	1.00	1.00	1.00
	80 歳代 80s	0.00	0.00	0.00	0.03	0.03	0.03

ボランティア参加人数 Volunteers		2012	2011	2010	2009	2008	2007
EXPO 来場者数 Tokyo Marathon EXPO	来場者数 Visitors	10,726 (1,453 ※ 5)	10,450 (1,585 ※ 5)	9,208 (1,591 ※ 5)	13,046 (3,100 ※ 5)	11,915 (3,618 ※ 5)	12,670 (2,621 ※ 5)
	出展ブース数 Exhibitors	83,160	85,920	80,849	83,493	74,188	51,970
		102	95	96	76	69	47

外国人出走者数 International Starters		2012	2011	2010	2009	2008	2007
(海外居住の日本、国内居住の外国など含む)		2,619	2,880	2,639	2,730	1,977	1,066

※ 1 28,400 applicants are subject to a random drawing. (Elite runners, Charity runners, and premium members of Tokyo Marathon Foundation official club "ONE TOKYO" are excluded.)  
 ※ 2 29,400 applicants are subject to a random drawing. (Elite runners, Charity runners and premium members of Tokyo Marathon Foundation official club "ONE TOKYO" are excluded.)  
 ※ 3 400 applicants are subject to a random drawing. (The runners invited under the educational program for the Great East Japan Earthquake affected areas are excluded.)  
 ※ 4 32,000 applicants are subject to a random drawing. (1,000 Charity runners are excluded.)  
 ※ 5 Student volunteers from public high schools in Tokyo.  
 ※ 6 Percentages are rounded to one decimal place.

## 東京マラソンに関する数字

★ご提供元：詳細→P.159

給水等	給水ポイント	18カ所 [コース約2.5kmごと計15カ所他スタート、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ※給食は5カ所 [17km以降約5kmごと]
	スポーツドリンク	約520,000杯分 [スタート・アミノバリュー、コース・両フィニッシュ・ポカリスエット] ※1杯120ml ★大塚製薬
	水	約432,000杯分 クリスタルガイザー ※1杯120ml ★大塚製薬 ※緊急時対応として5カ所 [12km、17km、22km、27km、32km] の水源と1台の給水車 [38km] 手配
	紙コップ	約884,000個 (水、スポーツドリンク用)
	バナナ	約62,000本 [10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★ドール
	ランチパック	約37,500個 [10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★山崎製パン
	一口アンパン	約15,000個 [22km]
	一口チョコパン	約13,000個 [32km]
	トマト	約70,000個 [スタート、22km、27km、32km、38km、マラソンフィニッシュブース] ★カゴメ
	ぶどう糖	約27,000粒 [27km-16,000粒、32km-11,000粒]
	梅干	約24,000個 [27km-12,000個、38km-12,000個]
	チョコレート	約40,000粒 [32km-20,000粒、38km-20,000粒]
	栄養食品	約43,300本 [10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ他約39,000本カロリーメイト、約4,300個カロリーメイトゼリー] ★大塚製薬
	みかん	約37,000個 [マラソンフィニッシュ] ☆築地市場協会・淀橋市場協会
	塩飴	約22,000個 [17km-12,000個、38km-10,000個]
設備・物品	仮設トイレ	64カ所 892基 [スタート457基、コース上435基]
	特設スタンド	936席 [スタート360席、マラソンフィニッシュ576席]
	足湯	8台 [マラソンフィニッシュのみ] 128人程度の対応が可能 ★スターツ
救護	救護所	16カ所 [スタート、コース上13カ所<20kmまで5kmごと、以降約2.5kmごと>、フィニッシュ<東西示棟西含む>3カ所]
	AED	78台 [各救護所13台、フィニッシュ救護所<フィニッシュライン、東西示棟含む>4台、モバイル隊24台、BLS隊37台 [定点配備]] ★日本光電
	BLS隊	37隊、74人 [救護所、コース上約1km間隔に33隊配置、フィニッシュエリア4隊<AED対応メディカルスタッフ>]
	BLSサポート隊	27隊、69人 [救護所、BLS隊の間約500m付近を最低2人以上でサポート]
	モバイル隊	24隊、48人 [コース上を自転車で走行するAED対応のメディカルスタッフ]
	ドクター等	医師53人、看護師85人、トレーナー78人、その他(東陸、救護所、ボランティア)約350人、ランドクター50人
	救護車	32台 [スタート、各救護所に1-2台、コース上泉岳寺交差点1台、品川付近トンネル1台、サポートキャブ含む]
車両	手荷物トラック	37台(内予備車両1台) / マラソン35台(10トン33台、4トン1台、エリート用4トン1台)、10km2台(4トン2台) ※1台あたり約400~1,300個積載
	収容バス/ワゴン	52台 収容バス他(はとバス)、収容ワゴン6台、車いす収容ワゴン27台
沿道対策	交通規制	長時間のところ 銀座 5時間35分 浅草 4時間45分 有明 6時間20分 交通規制チラシ約298万枚(新聞折込約222万枚を含む)、ポスター約3万枚(電車・バス中吊を含む)、ラジオ告知840回
ボランティア	ボランティア参加者数	11,469人
EXPO	出展ブース数	123ブース
マラソン祭り	会場数	28会場
	出演者数	5,000人(総出演団体数約150団体)
競技	ペースメーカー	6人【エリート】選手を大会で定めたペースでレースを引っ張る役目の走者： 男子レースペースメーカー3人、女子レースペースメーカー3人
	ペースセッター	32人【市民ランナー】3時間<5人>、3時間30分<5人>、4時間<6人>、4時間30分<6人>、5時間<5人>、5時間30分<5人>の記録を目標にコースを走る
	完走サポートランナー	5人【市民ランナー】参加ランナーを完走させるペースでサポートする走者
警備/誘導	警備員/誘導員数	約6,000人
	金属探知機台数	70台 [スタート50台、フィニッシュ20台]
その他	スタッフウェア	約15,000着(ボランティア及び大会関係者) ★一部アシックス/東レ

2016年2月5日現在

## Facts and Figures

★ Supported by Official Partners : For detail → P.159

Fluid & Foods	Fluid Stations	18 stations (every 2.5km, Start, 10km Finish, Marathon Finish) ; 5 food stations (every 5km after 17km)
	Isotonic drink	Approx. 520,000 cups (Amino-Value-Start, POCARI SWEAT-Course, 10km Finish, Marathon Finish) ※1 cup = 120 ml ★ Otsuka
	Water	Approx. 432,000 cups (Crystal Geyser) ※1 cup = 120 ml ★ Otsuka ※ Five spots of back up water sources (12km, 17km, 22km, 32km) and a water truck (38km) for emergencies
	Paper cups	Approx. 884,000 cups
	Bananas	Approx. 62,000 ★ Dole
	Lunch Pack	Approx. 37,500 ★ Yamazaki Baking
	Anpan (Bread)	Approx. 15,000 - 22km
	Chocopan (Bread)	Approx. 13,000 - 32km
	Tomatos	Approx. 70,000 - Start, 22km, 27km, 32km, 38km, Marathon Finish booth ★ KAGOME
	Glucose sugar drops	Approx. 27,000 (16,000-27km, 11,000-32km)
	Umeboshi (Pickled plum)	Approx. 24,000 (12,000-27km, 12,000-38km)
	Chocolate	Approx. 40,000 (20,000-32km, 20,000-38km)
	Nutrition Foods	Approx. 43,300 (10km Finish, Marathon Finish) Approx. 39,000 Calorie Mate, Approx. 4,300 Calorie Mate JERRY ★ Otsuka
	Mikan (Orange)	Approx. 37,000 - Marathon Finish ☆ TSUKUJI MARKET / YODOBASHI WHOLESALE MARKET
	Salt candies	Approx. 22,000 (12,000-17km, 10,000-38km)
Facilities	Temporary toilets	64 Locations 892 (457- Start area, 435-course)
	Temporary stands	936 seats (360 seats- Start, 576 seats-Finish)
	Foot baths	8 (Only at the Marathon Finish area) *Capacity of 128 people ★ STARTS
Medical	Medical Stations	16 stations on the course (13 at Start, every 5km till 20km, every 2.5km after 20km, and 3 at Marathon Finish area)
	AEDs	78 *AED = Automated External Defibrillator ★ NIHON KOHDEN
	BLS teams	74 staffs (37 teams along the course, 4 teams at Marathon Finish area) *BLS = Basic Life Support
	BLS support teams	69 staffs (27teams of 2-3 more than medical staffs are support for BLS team)
	AED bike teams	48 staffs (24 teams of 2 medical staffs on bikes, equipped with AED)
	Doctors, etc.	53 doctors, 85 nurses, 78 trainers, 50 Running doctors, and approx. 350 other staffs (including Medical Stations' volunteers)
	Emergency vehicles	32 (1-2 at each aid station)
Vehicles	Baggage trucks	37 trucks (including 1 backup trucks) *35 trucks (10t x 33, 4t x 2) for Marathon, 2 trucks (4t x 2) for 10km (400 ~ 1,300 baggages per truck)
	Buses & Wagons	52 buses [by Hato bus], 6 wagons for runner pickup, 27wagons for wheelchair
Traffic Control	Road closure	GINZA : 5h 35min ; ASAKUSA : 4h 45min ; ARIAKE : 6h 20min Approx. 2,980,000 fliers (including 2,220,000 newspaper inserts) , 30,000 posters (including ads on train/bus) , 840 radio announces
Volunteers		11,469
EXPO	Exhibitor booths	123 booths
Marathon	Venues	28 venues
FESTA	Performers	Approx. 5,000 (150 groups)
Race	Pacemakers [Elite]	6 *The runners who runs with the designated split time for elite runners. 3 for Men's race; 3 for Women's race
	Pace-setters [General]	32 *The runners who set the running pace for the following finishing time (wearing orange cap and bib) : 3hrs : 5, 3hrs 30mins : 5, 4hrs : 6, 4hrs 30mins : 6, 5hrs : 5, 5hrs 30mins : 5
	FINISH Support Runners	5 *The runners who support the participants to finish the race in time.
Security & guard	Security guards	Approx. 6,000
	Metal Detectors	70 (Start area : 50 ; Finish area 20)
Others	Staff wears	Approx. 15,000 for volunteers and staffs ★ ASICS / Toray

as of Feb.5

# ゴールドラベル

## Gold Label



### 2016 大会も国際陸連 ロードレースラベリングで 「ゴールドラベル」を取得!

東京マラソンは、国際陸上競技連盟 (IAAF) が世界の主要ロードレースを格付けするラベリング制度において、2010大会から引き続き最高のゴールドラベルを取得しております。

### Tokyo Marathon again obtained “GOLD LABEL” from IAAF Road Race Labeling.

We are very proud of announcing that Tokyo Marathon obtained the “Gold Label”, which ranks the highest at the IAAF labeling system for world’s major road races, for the 2016 race.

#### IAAF の定めるラベリングに関する主な要件

ゴールドラベル	
競技者	過去 3 年間に、以下の記録を満たした競技者を少なくとも男女各 5 名招待 男子 2 時間 10 分 00 秒 女子 2 時間 28 分 00 秒
テレビ放映	全容を最低 5 カ国で放映
公平性	賞金、ボーナスに関しては国籍や性別で差があってはならない
その他	上記の他に、技術的要件 (計測・道路の閉鎖等)、ドーピング要件等がある

#### Requirements about the Labeling of IAAF

Gold Label	
Athletes	To invite minimum of 5 athletes (both men and women) that have the following qualified record within the last 3 years. Men : 2hrs 10min 00sec Women : 2hrs 28min 00sec
TV	To televise full contents in at least 5 countries
Equity	There should not be any differential of the prize money or the bonus by his or her nationality or gender.
Other	Other than the above, there are some technical requirements on measurement, road closure, doping e.t.c.



TOKYO MARATHON 2016  
START



TOKYO  
MARATHON  
2016

# マラソン Marathon

招待選手  
Invited Athletes



ペースメーカー  
Pacemakers



エリート競技者  
Elite Athletes



準エリート  
RUN as ONE-Tokyo Marathon  
Semi-Elite Athletes



一般  
General Participants



準エリート  
リストバンド  
Semi-Elite  
Wristband

チャリティランナー  
Charity Runners



Charity Runner  
参加記念 T-shirt

伴走者  
Guided Runners



ペースセッター  
Pacesetters  
FRONT



完走サポート  
ランナー  
FINISH Support Runners



## 10km 10km

ジュニア&ユース  
Junior & Youth



視覚障害者  
Visually Impaired



知的障害者  
Intellectually Challenged



移植者  
Organ Transplant  
Recipients



※上：男子 下：女子  
※ Above: Men; Below: Women

10回記念大会 T-shirt



計時チップ  
Timing Chip



Finisher Towel



Finisher Medal



選手紹介  
ATHLETES

# ATHLETES

[www.marathon.tokyo/](http://www.marathon.tokyo/)

- 26** レース展望  
Race Overview
- 28** エリート選手リスト  
Elite Athletes List
- 30** エリート募集要項  
Elite Race Information
- 31** エリートレース展望  
Elite Race Overview
- 32** アボット・ワールドマラソンメジャーズ  
Abbott World Marathon Majors
- 36** オリンピック選考会関連データ  
Data of Olympic Trial
- 37** 海外招待選手  
International Invited Athletes Men
- 47** 国内招待選手 男子  
Domestic Invited Athletes Men
- 56** 海外招待選手 女子  
International Invited Athletes Women
- 65** ペースメーカー  
Pace Makers
- 66** RUN as ONE - Tokyo Marathon 準エリート・一般  
RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite & Runners
- 68** チャリティランナー  
Charity Runners

# 東京マラソン2016 レース展望

読売新聞大阪本社 編集局運動部 記者 平野和彦

# Tokyo Marathon 2016 Race Overview

The Yomiuri Shimbun Sports department Kazuhiko Hirano

世界基準。世界の6大マラソンで構成される「アボット・ワールドマラソンメジャーズ(AbbottWMM)」に加わって4年目を迎え、東京マラソンはその言葉がふさわしくなった。自己記録が2時間3分台の選手が1人、4分台が2人、5分台が2人。これまで以上にワールドクラスの選手がそろそろ。

ビッグネームとしてまず挙がるのが、2014年ベルリンマラソンで世界歴代2位の2時間3分13秒をマークしたエマニュエル・ムタイ(ケニア)だ。10~11年ワールドマラソンメジャーズのシリーズ王者に輝くと、13年のシカゴマラソンでは2時間3分52秒をマークし、超一流の仲間入りを果たした。世界で2時間4分を2度切ったのはキプサング、キメット、E・ムタイの3人だけ。初参戦の東京でどんな走りを見せてくれるのか。

2時間4分32秒の自己記録を持つディクソン・チュンバ(ケニア)は前々回の優勝が印象深い。35kmからの5kmを14分21秒でカバーする圧巻のスパートを見せた。前回は3位にとどまっただけに、今回は2年ぶりの優勝へ意欲をかき立てているはずだ。2時間4分52秒のフェイス・リサ(エチオピア)は、2011年世界選手権3位、2012年シカゴ2位、そして2015年ベルリン3位、など国際大会の上位の常連。今回も優勝争いに絡んできそう。

ロンドン五輪金メダルのステイブン・キプロティチ(ウガンダ)、銀メダルのアベル・キルイ(ケニア)の2人も、東京の初タイトルを狙っている。15年ベルリンマラソンで2時間5分21秒をマークして2位に入ったエリウド・キプタヌイ(ケニア)も侮れない。

大会記録は、チュンバが2年前に作った2時間5分42秒だが、早野忠昭レースディレクターがもっと上のタイムを狙ってくるのは確実。09年福岡国際で作られた国内最高記録(2時間5分18秒)の更新はもちろん、国内のレースでは初の2時間4分台も見られるかもしれない。

地元の日本勢にとって、今大会はリオデジャネイロ五輪の代表選考レースを兼ねる。期待が集まるのが、前回、日本歴代6位

の2時間7分39秒で7位に食い込んだ今井正人(トヨタ自動車九州)。15年世界選手権の代表に選ばれたが、大会前に髄膜炎を発症したため、出場を断念した。リオ五輪代表の切符をつかみ、その悔しさを晴らしたい。ロンドン五輪代表の藤原新(ミキハウス)は、昨年の北海道、防府読売マラソンを制して上り調子。2大会連続の代表を狙っている。

14年アジア大会銀メダルの松村康平(三菱日立パワーシステムズ長崎)も上位を目指す。前回はピークがわずかにずれ、序盤で先頭集団を脱落して25位。「4年後の東京五輪は考えていない。最後のつもりでやる」と意気込む。出岐雄大(中国電力)は青学大3年だった3年前、初マラソンで2時間10分2秒をマークし、才能の一端をのぞかせた。この1年は大きなケガもなく、マラソンの準備を入念に進めており、東京で飛躍する可能性がある。

初マラソンに臨む若手も多い。中でも、ハーフマラソンで日本歴代4位の1時間0分50秒の記録を持つ村山謙太(旭化成)は、将来を期待される大器だ。30kmの日本学生記録保持者の服部勇馬(東洋大)、箱根駅伝2連覇を果たした青学大のエースの一色恭志も、楽しみな若手。今年のドバイマラソンは23歳のエチオピア選手が2時間4分台で優勝しており、決して「若すぎる年齢」ではない。世界の強豪に果敢に挑戦してほしい。

女子もハイレベルの争いを期待できる。11年、13年世界選手権女王のエドナ・キブラグド(ケニア)、12、15年ベルリンマラソンと12年ドバイマラソンで2時間20分台をマークしたアベル・ケベデ(エチオピア)がエントリー。2時間20分59秒の世界ジュニア記録の自己記録を持つ20歳のシュレ・デミセ(エチオピア)、15年世界選手権銀メダルのヘラー・キプロバ(ケニア)、前回女王のベルハネ・ディババ(エチオピア)らと激しい優勝争いを演じそう。特に、ディババは2年前も2位とコースとの相性が良く、優勝すればAbbottWMM女王の座も手にでき

る。AbbottWMMシリーズIXで2点差でディババを追っているキプロバにも優勝のチャンスがある。

車いす部門は今回、初めての海外の強豪を招待し、念願の国際化を果たした。世界レベルの選手がエントリーしており、国内でありながら「世界」を体感できる大会となった。1999年に作られた1時間20分14秒の世界記録を目指し、かつてない高速レースとなりそうだ。

男子は、昨年のロンドンマラソン兼世界選手権を制したジョシュア・ジョージ(米)、ニューヨークシティマラソン優勝のエルンスト・バンダイク(南ア)、シカゴマラソンで頂点に立ったカート・フェンリー(豪)と、タイトルを分け合った3人がエントリー。東京の王座を巡り、しのぎを削る。

日本勢は、前回王者の洞ノ上浩太(ヤフー)、前々回を制した49歳の山本浩之、過去に5度優勝している副島正純(ソシオSO EJIMA)が迎え撃つ。前回2位で21歳の鈴木朋樹(関東陸協)、3位の吉田竜太(SUS)も上位に食らいつきたい。

女子は世界ナンバーワンのタチアナ・マクファーデン(米)が来日する。ボストン、ロンドン、シカゴ、ニューヨークの4大レースを全て制する「グラントスラム」を13年から3年続けて達成。15歳でアテネパラリンピックに出場して以来、夏季パラリンピックで3個の金メダルを含む11個のメダルを獲得し、ソチ冬季五輪ではスキー距離1kmスプリント座位の銀メダルに輝いた。

このスーパースターに挑むのが、日本の第一人者の土田和歌子(八千代工業)。ここまで8連覇中だが、昨年は自身一人のみの参加で、「勝ち取った勝利でないのは残念」と国際化を強く望んでいた。マクファーデン、さらに11年ロンドン女王のアマンダ・マグロリー(米)が9連覇に向けて立ちほかかるが、41歳のベテランは真の女王を目指し、対決に心を躍らせているはずだ。

2月28日、世界トップクラスの選手がTOKYOに集い、新たな歴史を作る。彼らの42.195kmから、1秒たりとも目が離せない。

It has been four years since the Tokyo Marathon joined the Abbott World Marathon Majors(AbbottWMM) and the Tokyo Marathon is now a worthy member of AbbottWMM. This year's field includes one 2:03 runner, two 2:04 runners and two 2:05 runners. It may be the best field ever assembled for the Tokyo Marathon.

The biggest name in the field is Emmanuel Mutai(KEN), who recorded 2:03:13, the second fastest marathon in history on the standard course, in the 2014 Berlin Marathon. Mutai won the 2010 and 2011 World Marathon Majors(Series V) and then ran 2:03:52 in the 2013 Chicago Marathon, thus joining the truly world class club. Only three runners(Wilson Kipsang, Dennis Kimetto and Emmanuel Mutai) have recorded two sub-2:04 marathons in history. How would Mutai run in his first Tokyo Marathon?

Dickson Chumba(KEN), who has a personal best of 2:04:32, won the Tokyo Marathon two years ago. It was an impressive win. Two years ago, Chumba covered 35 to 40km in impressive 14:21. Since he was only third last year, Chumba must be hungry for victory. Feyisa Lilesa(ETH) has the best of 2:04:52 and has finished third in the 2011 World Championships, second in the 2012 Chicago Marathon, and third in the 2015 Berlin Marathon. He has finished at or near the top in major marathons around the world and thus he is expected to battle for the top spot on the podium.

Both Olympic gold medalist Stephen Kiprotich(UGA) and silver medalist Abel Kirui(KEN) are looking for their first victory in the Tokyo Marathon. Eliud Kiptanui who finished second with 2:05:21 in the 2015 Berlin Marathon may be the runner to watch.

The course record is 2:05:42 by Dickson Chumba, set two years ago, but Tadaaki Hayano, the race director, surely is looking for faster time this year. Not only breaking the Japanese all-comers record of 2:05:18, recorded in the 2009 Fukuoka Marathon by Tsegaye Kebede, is possible, but we might also see the first sub-2:05 marathon clocking on the Japanese soil.

For the domestic runners, the Tokyo Marathon is one of the qualifying races for the Japanese Olympic Marathon team for the 2016 Rio de Janeiro Olympics. Best among them is Masato Imai, who finished seventh in the last year's race with 2:07:39, sixth fastest marathon time

in history by Japanese. He was selected to run the 2015 World Championships in Beijing, but then came down with meningitis a month before the World Championships and forced to withdraw from the Championships. Surely Imai will be back with a vengeance to clinch the Olympic berth. Arata Fujiwara, 2012 Olympian, won the Hokkaido Marathon in August and Hofu Marathon in December of last year and thus he is on the upswing. He will try to make second consecutive Olympic team.

Kohei Matsumura, 2014 Asian Games silver medalist, will try for the podium finish. Last year, he failed to peak for the race; he lost contact with the leaders early and finish dismal 25th. "I am not thinking about the Tokyo Olympics. I will run as if this is my last chance to make the Olympic team," said Matsumura. Three years ago Takehiro Deki, when he was a junior in Aoyama Gakuin University, made an impressive marathon debut with 2:10:02. Deki thus showed his marathon potential. Deki has been training injury free for over a year and thus he can make big breakthrough in the marathon at Tokyo.

Several young runners will be making their marathon debut in Tokyo. Kenta Murayama, who has the half marathon best of 1:00:50, fourth fastest half marathon time by Japanese, has bright future ahead of him. Yuma Hattori, 30km road collegiate record holder(& fourth fastest Japanese in history), and Tadashi Isshiki, big gun for two time defending Hakone Ekiden champion Aoyama Gakuin University, are young and promising runners. Twenty-three years old Tesfaye Abera Dibaba(ETH) won this year's Dubai Marathon. So 23 years old is not too young to challenge the marathon. Young Japanese runners ought to challenge the world class field head on.

The women's race should be quite competitive also. Edna Kiplagat(KEN), 2011 and 2013 World Champion at the marathon, and Aberu Kebede(ETH), who recorded 2:20 marathon three times - in 2012 and 2015 Berlin Marathon as well as 2012 Dubai Marathon - have entered the Tokyo Marathon. They will be challenged by 20 years old Shure Demisse, world junior record(2:20:59) holder, Helah Kiprop(KEN), the 2015 World Championships silver medalist, and the defending Tokyo Marathon champion Birhane Dibaba(ETH). Dibaba also finished second two years ago and thus familiar with the course. If she wins Dibaba will win the AbbottWMM Series IX title. Furthermore,

Helah Kiprop, who is two points behind Dibaba in the AbbottWMM Series IX race, too has the chance to win the series.

For the first time in the history of the Tokyo Marathon, world class wheelchair athletes are invited and thus the Tokyo Marathon wheelchair race will become truly international. It is now possible to experience the world class competition without leaving the country. The racers will likely to challenge the world best of 1:20:14, recorded in 1999. It will be fast.

On the men's side Joshua George(USA) who won the London Marathon which doubles as the IPC World Championships Marathon, Ernst van Dyk(RSA), who won the New York City Marathon, and Kurt Fearnley(AUS), who won the Chicago Marathon, will battle it out for the supremacy at the Tokyo Marathon.

As for the Japanese, the defending champion Kota Hokinoue, Hiroyuki Yamamoto who won two years ago, and five-time champion Masazumi Soejima, will race against the world bests. Twenty-One years old Tomoki Suzuki, who finished second last year in Tokyo and Ryota Yoshida, who was third last year in the Tokyo Marathon, should try to stay with the leaders.

Tatyana McFadden(USA), currently the best in the world, will be competing in the Tokyo Marathon. She won the grand slam(Boston, London, Chicago and New York) three years in a row starting in 2013. First competing at the 2004 Athens Paralympic, McFadden won eleven medals including three gold medals in the summer Paralympics, while in the Sochi winter Paralympics, McFadden won a silver medal in 1km sprint sky event.

The best Japanese in the field is Wakako Tsuchida who has won the Tokyo Marathon record eight times. Last year, Tsuchida was an only entry in the women's wheelchair division, so her victory was a hollow one. "I am disappointed that it was not a really win," said Tsuchida. She was strongly hoping for the internationalization of the wheelchair race in Tokyo. McFadden and Amanda McGrory, 2011 London Marathon champion, will try to stop Tsuchida from winning her ninth title in the Tokyo Marathon. Forty-one years old Tsuchida must be excited to race against the world best. On February 28, World Class athletes will gather in Tokyo to create the new history. We must watch every second of their 42.195km journey with utmost intensity.

## エリート選手リスト

## Elite Athletes List

## エリート選手 (男子) Athletes List (Men)

No	氏名	NAME	国/登録協会の Nation	国/クラブ名 Nation / Team	出場資格記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB	年齢 Age	身長 cm	体重 kg
1	エマニエル・ムタイ	MUTAI, Emmanuel	KEN	ケニア	2:03.13	14 ヘルリン	2:03.13	31	170	50
2	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	2:04.32	14 シカゴ	2:04.32	29	170	50
3	フェイス・リレサ	LILESA, Feyisa	ETH	エチオピア	2:06.35	15 ドバイ	2:04.52	26	170	55
4	アベル・キルイ	KIRUI, Abel	KEN	ケニア	2:09.04	14 東京	2:05.04	33	176	58
5	エリウド・キプタナイ	KIPTANUI, Eliud	KEN	ケニア	2:05.21	15 ヘルリン	2:05.21	26	168	53
6	バーナード・キピエゴ	KIPYEGO, Bernard Kiprop	KEN	ケニア	2:06.19	15 アムステルダム	2:06.19	29	172	51
7	ステイブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA	ウガンダ	2:06.33	15 東京	2:06.33	27	174	54
8	サムエル・ドゥング	NDUNGU, Samuel	KEN	ケニア	2:08.21	14 リスボン	2:07.04	27	167	54
9	ハビエル・ゲラ	GJERRA, Javier	ESP	スペイン	2:09.33	15 ロンドン	2:09.33	32	173	78
10	テクレマリヤム・メディン	MEDHIN, Teklemariam	ERI	エリトリア	2:19.97	13 10000m	1:01.47	26	188	66
21	今井 正人	IMAI, Masato	福岡	トヨタ自動車九州	2:07.39	15 東京	2:07.39	31	169	56
22	藤原 新	FUJIWARA,Arata	東京	ミキハウス	2:11.50	15 防府	2:07.48	34	167	54
23	松村 康平	MATSUMURA,Kohei	長崎	三菱日立パワーシステムズ長崎	2:08.09	14 東京	2:08.09	29	176	59
24	佐野 広明	SANO,Hiromi	埼玉	Honda	2:09.12	15 東京	2:09.12	28	175	52
25	五ヶ谷 宏司	GOKAYA,Koji	東京	JR 東日本	2:09.21	15 東京	2:09.21	28	161	46
26	出岐 雄大	DEKI,Takehiro	広島	中国電力	2:11.14	15 東京	2:10.02	25	160	53
27	宇賀地 強	UGACHI,Tsuyoshi	東京	コニカミノルタ	2:10.50	14 福岡	2:10.50	28	164	50
28	山本 浩之	YAMAMOTO,Hiroyuki	東京	コニカミノルタ	2:11.48	15 別府大分	2:11.48	29	172	54
29	村山 謙太	MURAYAMA,Kenta	宮崎	旭化成	1:00.50	14 ハーフ/陸連推薦	1:00.50	23	176	56
101	ガンドゥ・ベンジャミン	NGANDU, Benjamin	KEN/ 東京	モンテローザ	2:09.18	15 東京	2:09.18	24	168	55
102	高田 千春	TAKADA,Chiharu	東京	JR 東日本	2:10.03	14 福岡	2:10.03	34	175	59
103	メクボ・モグス	MEKUBO,Mogusu	KEN/ 東京	サンパルクス	2:11.02	13 東京	2:11.02	29	163	50
104	佐藤 舜	SATO,Shun	千葉	日立物流	2:11.39	15 東京	2:11.39	23	172	60
105	大塚 良軌	OTSUKA,Yoshiki	愛知	愛知製鋼	2:11.40	14 福岡	2:11.40	29	168	55
106	濱崎 達規	HAMASAKI,Tatsunori	茨城	小森コーポレーション	2:12.12	15 東京	2:12.12	27	171	55
107	山岸 宏貴	YAMAGISHI,Hiroki	千葉	日立物流	2:12.48	15 シドニー	2:12.48	24	170	52
108	阿久津 圭司	AKUTSU,Keiji	群馬	SUBARU	2:13.26	15 東京	2:13.26	28	175	60
109	ジョハナ・マイナ	JOHANA,Maina	KEN/ 千葉	富士通	2:13.46	14 福岡	2:13.46	25	170	54
110	中村 泰之	NAKAMURA,Yasuyuki	静岡	スズキ浜松 AC	2:13.48	15 防府	2:13.48	31	168	58
111	池田 泰仁	IKEDA,Yasuhito	大阪	NTT 西日本	2:13.49	14 東京	2:13.49	32	174	61
112	長谷川 淳	HASEGAWA,Atsushi	神奈川	川崎市陸協	2:14.20	14 かずみがうら	2:14.20	31	175	57
113	井手 貴教	IDE,Takanori	東京	東京陸協	2:14.22	14 びわ湖	2:13.41	31	176	61
114	五十嵐 真悟	IGARASHI,Shingo	埼玉	城西大学クラブ	2:14.24	15 防府	2:13.46	30	174	63
115	徳本 一善	TOKUMOTO, Kazuyoshi	東京	モンテローザ	2:14.35	14 ヘルリン	2:14.36	36	174	60
116	原田 誠	HARADA,Makoto	東京	JR 東日本	2:14.40	13 東京	2:14.40	32	170	53
117	堀川 雄也	SHIOKAWA,Yuki	群馬	SUBARU	2:14.49	13 東京	2:14.49	33	175	58
118	清水 和朗	SHIMIZU,Kazuki	東京	ヤクルト	2:14.51	14 別府大分	2:14.29	28	170	54
119	的場 亮太	MATOBA,Ryota	茨城	小森コーポレーション	2:15.00	15 福岡	2:15.00	26	177	59
120	牧野 将希	MAKINO,Shoki	埼玉	DNPPL駅伝部	2:15.22	15 中央ソウル	2:15.22	28	182	59
121	治郎丸 健一	JIROMARU, Kenichi	東京	桜美林大学AC	2:15.24	14 びわ湖	2:15.24	31	182	64
122	竹中 友人	TAKENAKA, Tomohiko	大阪	NTT 西日本	2:15.28	14 別府大分	2:15.28	30	175	59
123	佐藤 佑輔	SATO,Yusuke	千葉	富士通	2:15.30	15 びわ湖	2:15.30	25	173	53
124	林 昌史	HAYASHI,Masashi	東京	ヤクルト	2:16.08	14 別府大分	2:09.54	36	170	60
125	児玉 雄介	KODAMA,Yusuke	東京	コモディイダ	2:16.16	15 東京	2:16.16	29	168	54
126	山崎 敦史	YAMAZAKI,Atsushi	群馬	SUBARU	2:16.17	15 福岡	2:16.17	29	172	58
127	糟谷 悟	KASUYA,Satoru	愛知	トヨタ紡織	2:16.47	13 びわ湖	2:11.17	32	179	58
128	齋藤 拓也	SAITO,Takuya	神奈川	小田原 NR	2:17.18	13 大田原	2:17.18	28	173	56
129	岩永 暁宏	IWANAGA,Akiyuki	福岡	九電工	2:17.22	15 長野	2:17.13	35	170	54
130	宮田 越	MIYATA,Etsu	埼玉	埼玉陸協	2:17.46	14 北海道	2:13.19	30	176	56
131	川崎 健太	KAWASAKI,Kenta	静岡	G.F.R	2:18.01	14 ゴールドコースト	2:18.01	29	171	55
132	森 貴樹	MORI,Takaki	茨城	流経大クラブ	2:18.17	13 福岡	2:18.17	34	172	58
133	土田 純	TSUCHIDA,Jun	東京	コモディイダ	2:18.28	13 東京	2:18.28	26	177	60
134	板山 学	ITAYAMA,Manabu	東京	日清食品グループ	2:18.32	15 東京	2:14.13	37	177	62
135	福田 将治	FUKUDA,Masaharu	東京	東ソ-	2:18.32	14 東京	2:18.32	28	175	58
136	田玄 壮	TAGEN,Takeshi	東京	モンテローザ	2:18.35	15 東京	2:18.35	34	181	60
137	藤松 利之	FUJIMATSU,Toshiyuki	神奈川	CREST	2:18.35	14 東京	2:18.35	28	168	55
138	高宮 祐樹	TAKAMIYA,Yuki	東京	ヤクルト	2:18.38	15 別府大分	2:15.38	28	175	56
139	仲間 孝大	NAKAMA,Takahiro	沖縄	沖縄陸協	2:18.40	13 北海道	2:18.40	27	179	56
140	ウラジミール・シャトロフ	SHATROV,Genadi Vladimirovich	AUS	オーストラリア	2:18.40	15 ヘルリン	2:18.40	37	171	58
141	濱崎 武雅	HAMAZAKI,Wuga	山梨	甲斐市陸協	2:18.44	15 東京	2:18.44	30	182	64
142	利根川 裕雄	TONEGAWA,Hiroo	長野	アルプスツール	2:18.55	14 東京	2:18.55	44	174	58
143	榎原 有高	KAZIWARA,Aritaka	神奈川	厚木市陸協	2:18.58	14 東京	2:18.01	27	167	53
144	上條 記男	KAMIJO,Norio	新潟	重川材木店	2:19.20	13 ヘルリン	2:13.37	31	171	53
145	紺野 勇樹	KONNO,Yuki	東京	コモディイダ	2:19.20	15 いわき	2:19.20	23	172	53
146	狩野 良太	KANO,Ryota	東京	ミウラ SC	2:19.28	14 びわ湖	2:19.28	24	175	55
147	和田 壮平	WADA,Sohei	徳島	徳島市陸協	2:19.29	15 大阪	2:15.19	30	164	48
148	平田 繁隆	HIRATA,Shigeaki	静岡	滝ヶ原自衛隊	2:19.30	15 東京	2:19.30	36	179	61
149	村上 康則	MURAKAMI,Yasunori	千葉	富士通	2:19.30	15 長井	2:19.30	32	178	64
150	藤原 忠昌	FUJIWARA,Tadamasa	広島	マツダAC	2:19.48	15 びわ湖	2:19.48	29	168	54
151	依田 崇弘	YODA,Takahiro	山梨	山梨学院クラブ	2:19.51	13 東京	2:17.17	32	173	54
152	井上 貴博	INOUE,Takahiro	山梨	南アルプス市陸協	2:20.10	13 アテネクラシック	2:19.57	30	166	57
153	早坂 光司	HAYASAKA,Koji	宮城	石巻 RC	2:20.19	15 かずみがうら	2:20.19	32	166	60

154	廣谷 優一	HIROTAI,Yuichi	愛知	トヨタ SC	2:20.31	14 びわ湖	2:18.30	27	168	54
155	難波 祐樹	NANBA,Yuki	京都	亀岡 AC	2:20.37	15 別府大分	2:20.37	32	168	54
156	風見 尚	KAZAMI,Nao	愛知	愛知陸協	2:20.38	14 福岡	2:20.38	32	170	56
157	小川 智寛	OGAWA,Tomohiro	山形	南陽東置賜陸協	2:20.42	15 福岡	2:20.42	27	176	57
158	松岡 直希	MATSUOKA,Naoki	三重	三重陸協	2:20.49	13 東京	2:20.49	35	169	53
159	服部 勇馬	HATTORI,Yuma	埼玉	東洋大	1:28.52	14 30km/陸連推薦	1:28.52	22	175	62
160	小椋 裕介	OGURA,Yusuke	北海道	青山学院大	1:02.03	15 ハーフ/陸連推薦	1:02.03	22	174	59
161	一色 恭志	ISSIKI,Tadashi	愛知	青山学院大	1:02.11	15 ハーフ/陸連推薦	1:02.09	21	169	55
162	下田 裕太	SHIMODA,Yuta	静岡	青山学院大	1:02.22	15 ハーフ/陸連推薦	1:02.22	19	169	53
163	菊地 聡之	KIKUCHI,Satoshi	東京	城西大	1:02.23	15 ハーフ/陸連推薦	1:02.23	21	169	57
164	ソフィアン・ブチヒ	BOUCHIKHI,Soufiane	BEL	ベルギー	1:03.45	08 ハーフ/陸連推薦	1:03.45	25	174	64

## エリート選手 (女子)

No	氏名	NAME	国/登録協会の Nation	国/クラブ名 Nation / Team	出場資格記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB	年齢 Age	身長 cm	体重 kg
31	エドナ・キブラガト	KIPLAGAT, Edna	KEN	ケニア	2:20.21	14 ロンドン	2:19.50	36	163	47
32	アベル・ケベデ	KEBEDE, Aberu	ETH	エチオピア	2:20.48	15 ヘルリン	2:20.30	29	158	44
33	ジュレ・デミセ	DEMISE, Shure	ETH	エチオピア	2:20.59	15 ドバイ	2:20.59	20	165	45
34	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH	エチオピア	2:22.30	14 東京	2:22.30	22	160	45
35	アマネ・ゴベナ	GOBENA, Amane	ETH	エチオピア	2:23.29	15 パリ	2:23.29	33	164	43
36	アシュテ・ディド	DIDO, Ashete Bekele	ETH	エチオピア	2:23.43	15 ドバイ	2:23.43	27	165	46
37	ヘラー・キプロフ	KIPROP, Helah	KEN	ケニア	2:24.03	15 東京	2:24.03	30	170	50
38	マヤ・ノイエシュワウダー	NEUENSCHWANDER, Maja	SUI	スイス	2:26.49	15 ヘルリン	2:26.49	36	168	53
39	イザベラ・アンデション	ANDERSSON, Isabella	SWE	スウェーデン	1:10.55	13 ハーフ	2:23.41	35	168	51
201	ケバソ・ウィンフリーダ	KEBASO, Winfridah	KEN/ 東京	トリ女子RT	2:32.08	15 さいたま	2:32.08	30	164	48
202	吉富 博子	YOSHITOMI,Hiroko	佐賀	F-DREAM	2:32.38	14 東京	2:31.28	32	155	45
203	奥野 有紀子	OKUNO,Yukiko	東京	資生堂	2:32.41	15 大阪国際女子	2:32.41	23	153	46
204	正井 裕子	SHOJI,Hiroko	三重	デンソー	2:33.06	14 名古屋ウィメンズ	2:33.06	35	153	40
205	坂本 善子	SAKAMOTO,Yoshiko	三重	Y.W.C	2:36.29	15 大阪国際女子	2:36.29	36	152	39
206	海野 佳那	UNNO,Kana	兵庫	ノーリツ	2:36.48	15 パリ	2:36.48	24	159	44
207	中野 円花	NAKANO,Madoka	兵庫	ノーリツ	2:37.43	15 泉州	2:37.43	24	156	42
208	近藤 彩乃	KONDO,Ayano	兵庫	ノーリツ	2:38.06	15 東京	2:38.06	25	158	46
209	西尾 美那	NISHIO,Miya	北海道	ホクレン	2:39.05	15 北海道	2:39.05	27	165	46
210	俵 千香	HTERA,Chika	埼玉	TEAM R x L	2:39.44	15 大阪	2:39.44	32	168	50
211	廣瀬 光子	HIROSE,Mitsuko	東京	東京WINGS	2:40.35	15 東京	2:30.27	41	158	48
212	石橋 早希江	ISHIBASHI,Sakie	埼玉	熊谷市陸協	2:41.27	15 かずみがうら	2:41.27	29	160	46
213	バーズニア・モロニー	MOLONEY,Jane Virginia	AUS	オーストラリア	2:41.36	15 マルボルン	2:41.36	25	174	53
214	山口 遥	YAMAGUCHI,Haruka	東京	AC-KITA	2:41.56	14 別府大分	2:41.56	28	167	48
215	鈴木 莉紗	SUZUKI,Risa	東京	アーススポーツ	2:42.55	14 東京	2:42.55	31	165	51
216	田畑 郁恵	TABATA,Kyue	三重	スポーツオンソリティ	2:43.24	15 東京	2:42.37	38	152	43
217	野村 友香里	NOMURA,Yukari	東京	中大 LC	2:43.27	15 東京	2:43.27	26	159	48
218	野田 春香	NODA,Haruka	東京	コモディイダ	2:44.13	15 東京	2:42.19	29	160	46
219	福見 真己	INAMI,Maki	AC-KITA	2:45.03	15 東京	2:37.34	34	159	47	
220	加納 由理	KANO,Yuri	大阪	若ちゃん FRC	2:45.49	15 大阪	2:24.27	37	152	42
221	綾部 しのぶ	AYABE,Shinobu	東京	DreamAC	2:45.50	15 東京	2:45.50	36		

# 東京マラソン 2016 エリート 募集要項

## Elite Race Information

1	特別協賛	東京メトロ
2	参加資格	(1) 次の①・②・③を満たす男女競技者 ① 2015 年度日本陸上競技連盟登録競技者 ② 2016 年2月28日現在満19歳以上の者 ③ 国内外の公認競技会で2013年2月1日以降申込期日までに下記の公認記録を出した者 男子 マラソン2時間21分以内、ハーフマラソン1時間01分00秒以内、10km(ロード)28分00秒以内 女子 マラソン2時間52分以内、ハーフマラソン1時間11分00秒以内、10km(ロード)32分00秒以内 (2) 日本陸上競技連盟が推薦する男女競技者 (3) 日本陸上競技連盟が招待する外国・国内男女競技者
3	競技規則	2015 年度国際陸上競技連盟 (IAAF) 並びに日本陸上競技連盟規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAF が認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations (IAAF ロードレースラベリング規定)も適用される。
4	定員	男女計100人
5	参加料	10,800 円 ※申し込み後の参加取り消しについては返金しない。
6	参加申込	(1) 期間 2015 年12月14日(月)から2016年1月12日(火)17:00 必着 (2) 方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2016@tokyo42195.org へ「エリート参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。 追ってエントリーフォームを返信する。なお、携帯電話からの申込みは不可とする。
7	出場者の決定	1月21日(木)以降、参加案内、ナンバーカード引換証とともに出場決定通知を送付する。
8	表彰	「東京マラソン2016」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
9	賞金	1位 11,000,000 円、2位 4,000,000 円、3位 2,000,000 円、4位 1,000,000 円、5位 750,000 円、 6位 500,000 円、7位 400,000 円、8位 300,000 円、9位 200,000 円、10位 100,000 円 世界記録 30,000,000 円(男女1位のみ) 日本記録 5,000,000 円(男女国内1位のみ) ゲームレコード 3,000,000 円(男女1位のみ) ※1位賞金については、賞金と副賞を一本化。(合計額は変更なし。)※金額はいずれも税込み。
10	選手受付	2月27日(土) 13:00~16:00 京王プラザホテル ※大会当日は受付を行わない。
11	テクニカルミーティング	※希望者のみ2月27日(土) 17:00~ 新宿NSビル
12	スペシャルドリンク 受付	※希望者のみ2月28日(日) 6:00~7:00 京王プラザホテル ※容器は各自で準備のこと。(装飾物を含めたサイズ:直径8cm、高さ35cmまで) ※スペシャルドリンクテーブルは、一定時間経過後撤去する。
13	個人情報の 取り扱いに ついて	主催者及び日本陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
14	その他	(1) 主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加料の返金は一切行わない。 (2) 主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。 (3) 競技中に発生した事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。 (4) ドーピングコントロール 国際陸上競技連盟アンチドーピング規則および規定、もしくは日本アンチドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。 (5) TUE申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用例外(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ( <a href="http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html">http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html</a> )、又は日本アンチドーピング機構ホームページ( <a href="http://www.playtruejapan.org/">http://www.playtruejapan.org/</a> )を確認すること。 (6) 未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得 2015年1月1日より、世界アンチドーピング規程、国際基準、及び日本アンチドーピング規程が改定され、未成年(20歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。 ① 本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は <a href="http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf">http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf</a> からダウンロード出来る。 ② 未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(大会医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。 (7) 大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。 (8) 賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。 (9) 本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。

※大会名称などその他の情報は P.6 の大会要項を参照

# エリートレース展望

## Elite Race Overview

東京マラソンレースディレクター 早野忠昭

By Tadaaki Hayano - Race Director

2016年2月28日、東京マラソンは記念の10回目を迎えます。今年もその記念すべき大会に男女とも世界のトップ中のトップが勢ぞろいし、白熱のレース展開が期待できます。

近年、エリート選手レースを『世界標準』に近づけてきましたが、今年は、例年にも増して名実ともに実力者が名を連ねています。

まず男子のフィールドでは、その安定性からメジャー各大会からも引っ張りだこのエマニュエル・ムタイ(ケニア2:03:13)の獲得がやっと実現しました。同じく2014年・東京チャンピオンのディクソン・チュンバ(ケニア2:04:32)は、現在マラソン界最強ともいわれるエリウド・キプチョゲとAbbott World Marathon Majors Series IXのシリーズチャンピオンの座をこの東京に賭けています。また、昨年この東京で自己記録を更新したロンドンオリンピックチャンピオンのスティーブン・キプロティチ(ウガンダ)、2時間4分台後半の記録を持つフェイサ・リレサ(エチオピア)などを中心に外国招待選手は厚い層になっています。

一方、日本人選手もリオ・オリンピック選考をかけて、熱い戦いが期待できます。まずは、昨年、一気に記録を7分台に持って行ったトヨタ九州の今井が帰ってきます。それを追うのは、中国電力の出岐、コニカミノルタの宇賀地と山本、Hondaの佐野、三菱日立パワーシステムの松村、またベテランのミキハウスの藤原新がどうレースをするか楽しみです。ダークホースでは初マラソンの村山も見ものです。

更に特筆すべきは、箱根を沸かせた学生ランナー、東洋大の服部勇馬、青山学院トリオ、一色、小椋、下田など、2020年を視野にどこまで行けるか思い切ったレースを期待しています。

一方、女子のフィールドは、誰もが認める世界のトップ選手、ケニアのエドナ・キプラガト(2:19:50)、エチオピアの実力者アベル・ケベデ(2:20:30)、Abbott World Marathon Majors Series IXの女子のチャンピオンの座をこの大会に賭ける2人の選手、エチオピアのベルハネ・ディババとケニアのヘラー・キプロブ、キプロブは昨年の中国の世界陸上で銀メダルと伸び盛り。間違いなく今年の女子のフィールドは、史上最高のメンバーとなっています。

2016年2月28日(日)は、どこを見ていいのかわからないくらいにエキサイティングな見どころの多いレースとなることは間違いありません。

On February 28, 2016, the Tokyo Marathon will celebrate its tenth anniversary. In this anniversary year, the best runners around the world will again gather in Tokyo and thus we can expect a very competitive race on the last Sunday of February.

Over the last several years, the elite field has improved step by step to the world class level, and this year's field may be the best ever.

In the men's field, Emmanuel Mutai (KEN with the best of 2:03:13), who is sought by major marathons around the world because of his consistency, will be making his first appearance in the Tokyo Marathon. The Tokyo Marathon 2014 Champion Dickson Chumba (KEN with the best of 2:04:32), who has a chance of overtaking Eliud Kipchoge, perhaps the best marathon runner in the world at the moment, in contention for the Abbott World Marathon Majors Series IX title, is another notable runner.

Stephen Kiprotich (UGA), the 2012 Olympic and 2013 World Champion, who improved his personal best in the last year's Tokyo Marathon, will be running in Tokyo again. Feyisa Lilesa (ETH), sub-2:05 marathon runner, is also in the field, and thus the field of international runners is quite deep.

With the Rio de Janeiro Olympic marathon team berth on the line, the competition among Japanese runners is expected to be fierce. First, Masato Imai of Toyota Kyushu, who dramatically improved his marathon best to sub-2:08 last year, will be running the Tokyo Marathon again this year. Imai will be chased by Takehiro Deki of Chugoku Electric Power, Tsuyoshi Ugachi and Hiroyuki Yamamoto of Konica Minolta, Hiroaki Sano of Honda, and Kohei Matsumura of Mitsubishi Hitachi Power Systems Nagasaki.

Racing strategy of Arata Fujiwara of Miki House, with long years of marathon experience, will be watched with much interest. Marathon debut of Kenta Murayama, twin brother of national 10,000m record holder Kota, is awaited with much anticipation.

Murayama is not the only noteworthy debutante in the fields. Marathon debut of Yuma Hattori of Toyo University, Tadashi Issiki, Yusuke Ogura and Yuta Shimoda of Aoyama Gakuin University, all collegiate runners who excelled in famed Hakone Ekiden, are also awaited with much anticipation. With 2020 Olympics looming over the horizon, their performance will be closely watched by experts and fans.

The women's field include two-time world champion Edna Kiplagat (KEN with personal best of 2:19:50), one of the top runners in the world, and Ethiopian star Aberu Kebede (with personal best of 2:20:30).

In addition, Birhane Dibaba (ETH) and Helah Kiprop (ETH), two runners with the chance of winning Abbott Marathon Majors Series IX title will be competing. Kiprop won a silver medal in the last year's World Championships, and thus she may be on a roll. Without the question, this year's women's field is the best ever assembled in the Tokyo Marathon. Undoubtedly, this year's race on Sunday, February 28 will be very exciting race with so many interesting perspectives

# アボット・ワールドマラソンメジャーズ

# Abbott World Marathon Majors

東京マラソンは、世界6大マラソンのひとつです。  
The Tokyo Marathon is One of the World's Greatest Six Marathons

## マラソン世界最高峰シリーズ戦

アボット・ワールドマラソンメジャーズ(AbbottWMM)とは2006年から始まった、マラソン版「グラッドスラム」です(東京マラソンは2013大会から加入)。マラソン競技の発展と競技者の意識向上を目指すと同時に、ランニング愛好家の間におけるエリートレースへの関心を高めるべく創設されました。AbbottWMMシリーズは、東京、ボストン・ロンドン・ベルリン・シカゴ・ニューヨークの6大会およびオリンピック・世界選手権を含む対象大会において、マラソンの成績をポイント化して競い総合優勝者を決める、世界規模のシリーズ戦です。男女の総合優勝者には各50万ドルが贈られます。

### AbbottWMMシリーズIX(ナイン) = 全8戦

■2015年2月「東京マラソン2015」～2016年2月「東京マラソン2016」6大会+  
2015年8月「世界陸上競技選手権大会(北京)」

### AbbottWMMシリーズX(テン) = 全8戦

■2016年4月「ロンドンマラソン2016」～2017年4月「ロンドンマラソン2017」6大会+  
2017年9月「リオデジャネイロオリンピック」

## World's Most Prestigious Marathon Series

Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM) is a marathon grand slam series that began in 2006. The guiding aims of its establishment were to promote marathon races, enhance runners' love of competition, and raise interest in elite races among running enthusiasts. The AbbottWMM Series is a global marathon series in which participants compete in six major races starting in Tokyo (which joined the AbbottWMM in 2013), followed by Boston, London, Berlin, Chicago and New York City. Other prominent marathon races are also featured, including world championships, and Olympic games, and achievements in all such marathon races are converted into points to determine the overall winners. The men's and women's champions are each awarded US \$500,000.

### AbbottWMM Series IX = 8 Races

Tokyo Marathon 2015 (Feb, 2015) ~ Tokyo Marathon 2016 (Feb, 2016) +  
World Athletic Championship (Beijing Aug, 2015)

### AbbottWMM Series X = 8 Races

London Marathon 2016 (Apr, 2016) ~ London Marathon 2017 (Apr, 2017) +  
Rio de Janeiro Olympics (Sep, 2017)

## アボット・ワールドマラソンメジャーズの6大会を走破すると、完走証がもらえます!

AbbottWMMレースを走破することは、エリートランナーのみならず、世界中の一般ランナーにとっても大変な名誉あることです。2006年以降のボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨーク及び2013大会以降の東京を加えた6大会全てを完走したランナー(Six Star Finisher)には、その素晴らしい功績を称え、各大会での記録が入った名前入りの完走証"AbbottWMM Six Star 完走賞" (6大会のレースディレクターの署名入り)を発行しています。



## Did you run all six? Get your AbbottWMM Six Star Finisher Certificate!

To have completed each of the Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM) races is not only a special accomplishment for elite runners, but for runners of all abilities from around the world. We are proud to honor the runners who have accomplished this impressive feat. Individuals who since the formation of the World Marathon Majors (WMM) in 2006 have completed the all five original races (Boston, London, Berlin, Chicago, New York City) and Tokyo (starting in 2013), can obtain a personalized Six Star Finisher Certificate with a listing of their finish times from each race, signed by the race directors.

www.worldmarathonmajors.com

	 東京マラソン Tokyo Marathon	 ボストンマラソン Boston Marathon	 ロンドンマラソン Virgin Money London Marathon
開催月 Month of Event	2月 February	4月 April	4月 April
初開催年 Inaugural Year	2007	1897	1981
完走者数 Finishers	34,528	26,598	37,675
制限時間 Time Limit	7:00	6:00 (性・年齢別)	8:00
観衆人数 Spectators	1,600,000	500,000	750,000
大会記録 男子 Men 女子 Women Meet Record 男子 Men's Wheelchair 女子 Women's Wheelchair	Dickson Chumba (2014年) 2:05:42 Tirfu Tsegaye (2014年) 2:22:23 副島 正純 (2011年) 1:25:38 土田 和歌子 (2011年) 1:40:08	Geoffrey Mutai (2011年) 2:03:02 Rita Jeptoo (2014年) 2:18:57 Joshua Cassidy (2012年) 1:18:25 Jean Driscoll (1994年) 1:34:22	Wilson Kipsang (2014年) 2:04:29 Paula Radcliffe (2003年) 2:15:25 Kurt Fearnley (2009年) 1:28:57 Tatyana McFadden (2013年) 1:46:02
	2007年に設立されたこの大会は、2013年大会からワールドマラソンメジャーズに加入し、最も新しいメジャー大会となりました。36,000人のランナー、10,000人のボランティア、160万人の観衆が東京の街でひとつになり、感動的な日を演出します。  Founded in 2007, became the most recent Major in 2013. 36,000 runners, 1.6 million spectators and 10,000 volunteers unite on the streets of Tokyo for one inspiring day.	1897年に第1回大会が開催され、継続的に行われているマラソン大会としては世界で最も歴史の古い大会です。30,000人のランナーがマサチューセッツ州の8つの歴史的な都市と町を走り抜けます。 また、大規模なマラソン大会としては初めて、女性と車椅子ランナーの部門が設けられた大会として知られています。  First held in 1897, it's the world's oldest continuously contested marathon race, and its 30,000 entrants pass through eight historic cities and towns in Massachusetts. It was the first Major Marathon to include female and wheelchair athletes.	1981年に第1回が開催され、今では37,000人以上のランナーが参加する大会へと成長。35年という歴史の中で、参加者は7.7億ポンドを超える寄付金を集めており、ロンドンマラソンは、毎年開催される1日チャリティイベントとして世界最大のイベントとなっています。  First held in 1981, the race now features more than 37,000 runners. Participants have raised more than £770 million for charity during its 35-year history, making the London Marathon the world's biggest annual one-day fundraising event.

	 BMW BERLIN MARATHON BMW Marathon	 シカゴマラソン Bank of America Chicago Marathon	 ニューヨークシティマラソン TCS New York City Marathon
開催月 Month of Event	9月 September	10月 October	11月 November
初開催年 Inaugural Year	1974	1977	1970
完走者数 Finishers	36,767	37,459	49,595
制限時間 Time Limit	6:15	6:30	7:30
観衆人数 Spectators	1,000,000+	1,700,000	2,000,000
大会記録 男子 Men 女子 Women Meet Record 男子 Men's Wheelchair 女子 Women's Wheelchair	Dennis Kipruto Kimetto (2014年) 2:02:57 WR 野口 みずき (2005年) 2:19:12 Heinz Frei (1997年) 1:21:39 Janette Jansen (1992年) 1:42:07	Dennis Kimeto (2013年) 2:03:45 Paula Radcliffe (2002年) 2:17:18 Heinz Frei (2010年) 1:26:56 Tatyana McFadden (2013年) 1:42:35	Geoffrey Mutai (2011年) 2:05:06 Margaret Okayo (2003年) 2:22:31 Kurt Fearnley (2006年) 1:29:22 Tatyana McFadden (2011年) 1:42:16
	東西ドイツ時代の1974年にスタートしました。毎年、約40,000人のランナーが参加します。2014年の大会では、デニス・キメットが2時間2分57秒で優勝し、男子の世界記録を更新しました。  First initiated in 1974 while Germany was still divided into East and West. Draws about 40,000 runners every year. In 2014, it was the site of Dennis Kimetto's 2:02:57 men's world record setting performance.	シカゴ市内の特色ある29の地区を走るコースで開催されます。全米50州はもちろん、世界の100を超える国々から40,000人以上のランナーが参加します。これまでに4回もマラソン世界記録誕生の舞台となっています。  Runs through 29 unique Chicago neighborhoods. Welcomes more than 40,000 runners from all 50 U.S. states and 100 foreign countries. It has been the site of four marathon world records.	世界中から集まる50,000人のランナーが、沿道の100万人の声援を浴びながらニューヨーク市の5つの区を走り抜け、世界的に有名なセントラルパークのフィニッシュを目指します。世界最大のマラソン大会です。  50,000 runners from all over the world tour the five boroughs of New York City to the cheers of over one million spectators before crossing the finish line in Manhattan's world famous Central Park. It is the largest marathon in the world.

※観衆人数は各大会により算出方法が異なるため、参考データです。

※Number of spectators are for reference only.

# アボット・ワールドマラソンメジャーズ

# Abbott World Marathon Majors

## ポイントシステム

1年間のスコアリング期間中、対象大会において最も多くのポイントを獲得した男女選手が、AbbottWMMシリーズチャンピオンとなります。各スコアリング期間において、最大2つの対象大会でのポイントが加算されます。シリーズタイトルを獲得するには、少なくとも2つの対象大会に出場する必要があります。もし3つ以上の大会でポイントを得た場合、より良い成績を残した2大会分のみポイントが加算されます。

各大会において、下記のポイントが与えられます

1位	2位	3位	4位	5位
25 points	16 points	9 points	4 points	1 point

### ■ 同点決勝

シリーズ終了時の獲得ポイントが同点の場合、右記のルールに従いチャンピオンが決定されます。

- ①シリーズ期間中の対象大会における直接対決の記録が良い方の選手。順位がどれだけ良かったかではなく、一方のランナーが他方のランナーより早くフィニッシュしたという事実のみが考慮されます。この直接対決に関しては、シリーズにおけるポイントを獲得したか否かは考慮しないものとします。
- ②シリーズ期間中、最も多くの対象大会で優勝した選手。
- ③AbbottWMM大会のレースディレクターのうち、過半数に優勝者にふさわしいと見なされた選手。このような状況では、レースディレクターが合同でシリーズタイトルの授与を行う場合もある。

ドーピング違反:AbbottWMMの規定において、IAAF、世界アンチ・ドーピング機構(WADA)、各国の競技連盟および各AbbottWMM大会により定められたアンチ・ドーピング規定に違反した選手には、AbbottWMMシリーズタイトルを獲得する資格は無いものとします。選手はAbbottWMM行動規範を順守するものとします。

## Point System

The champions of the AbbottWMM Series will be the male and female athlete who scores the greatest number of points from Qualifying Races during the one-year scoring period. During each scoring period, points from a maximum of two Qualifying Races will be scored. An athlete must start in two Qualifying Races over the Series cycle to be eligible for the championship. If an athlete earns points in more than two events, the athlete's highest two finishes will be scored.

Points are allocated following each race as follows

1st place	2nd place	3rd place	4th place	5th place
25 points	16 points	9 points	4 points	1 point

### ■ Tie Breaker

In the event of a tie in points earned at the conclusion of a Series cycle, the winner shall be determined using the following rules (addressed in descending order).

- ①The athlete with the best head-to-head record in Qualifying Races during the Series period will be declared the winner. Only the fact that one athlete finished ahead of the other will be taken into account and not by how many places. For purposes of clarity, it shall not matter whether or not the athletes scored points towards their Series total when considering head-to-head competition.
- ②The athlete who has won the most Qualifying Races during the period.
- ③The athlete whom the majority of the Race Directors of the six Abbott World Marathon Majors determines to be the champion. In such circumstances, the Race Directors may decide to award the title jointly.

Doping Violations: Under AbbottWMM rules, no athlete who has been found guilty of any anti-doping rules enforced by the IAAF, World Anti-Doping Association (WADA), National Federations, or any of the individual AbbottWMM races is eligible to win the AbbottWMM championship title. Athletes must comply with the AbbottWMM Code of Conduct.

## AbbottWMMシリーズIX これまでのポイントランキング 東京マラソン2016は、AbbottWMMシリーズIXの最終大会です。

### Series IX Men's Leaderboard

	Finish	Race	Year	Time	Points Earned
<b>1. Eliud Kipchoge (KEN)</b>					
50 pts.	1st	London Marathon	2015	2:04:42	25
	1st	Berlin Marathon	2015	2:04:00	25
<b>2. Lelisa Desisa (ETH)</b>					
34 pts.	1st	Boston Marathon	2015	2:09:17	25
	3rd	New York City Marathon	2015	2:12:10	9
<b>2. Dickson Chumba (KEN)*</b>					
34 pts.	1st	Chicago Marathon	2015	2:09:25	25
	3rd	Tokyo Marathon	2015	2:06:34	9
<b>4. Yemane Tsegay (ETH)</b>					
32 pts.	2nd	Boston Marathon	2015	2:09:48	16
	2nd	World Championships	2015	2:13:08	16
<b>5. Stanley Biwott (KEN)</b>					
29 pts.	1st	New York City Marathon	2015	2:10:34	25
	4th	London Marathon	2015	2:06:41	4
<b>6. Ghirmay Ghebreslassie (ERI)</b>					
25 pts.	1st	World Championships	2015	2:12:28	25
<b>6. Endeshaw Negesse (ETH)</b>					
25 pts.	1st	Tokyo Marathon	2015	2:06:00	25
<b>8. Wilson Kipsang (KEN)</b>					
20 pts.	2nd	London Marathon	2015	2:04:47	16
	4th	New York City Marathon	2015	2:12:45	4
<b>9. Geoffrey Kipsang Kamworor (KEN)</b>					
16 pts.	2nd	New York City Marathon	2015	2:10:48	16
<b>9. Sammy Kitwara (KEN)</b>					
16 pts.	2nd	Chicago Marathon	2015	2:09:50	16
<b>9. Eliud Kiptanui (KEN)*</b>					
16 pts.	2nd	Berlin Marathon	2015	2:05:21	16
<b>9. Stephen Kiprotich (UGA)*</b>					
16 pts.	2nd	Tokyo Marathon	2015	2:06:33	16
<b>13. Wilson Chebet (KEN)</b>					
9 pts.	3rd	Boston Marathon	2015	2:10:22	9
<b>13. Feyisa Lilesa (ETH)*</b>					
9 pts.	3rd	Berlin Marathon	2015	2:06:57	9
<b>13. Samuel Ndungu Wanjiku (KEN)*</b>					
9 pts.	3rd	Chicago Marathon	2015	2:10:06	9
<b>13. Munyo Solomon Mutai (UGA)</b>					
9 pts.	3rd	World Championships	2015	2:13:30	9
<b>13. Dennis Kimetto (KEN)</b>					
9 pts.	3rd	London Marathon	2015	2:05:50	9
<b>18. Shumi Dechasa (BRN)</b>					
5 pts.	4th	Tokyo Marathon	2015	2:07:20	4
	5th	World Championships	2015	2:14:36	1
<b>19. Girmay Birhanu Gebru (ETH)</b>					
4 pts.	4th	Chicago Marathon	2015	2:10:07	4
<b>19. Emmanuel Mutai (KEN)*</b>					
4 pts.	4th	Berlin Marathon	2015	2:07:46	4
<b>19. Bernard Kipyego (KEN)*</b>					
4 pts.	4th	Boston Marathon	2015	2:10:47	4
<b>19. Ruggero Pertile (ITA)</b>					
4 pts.	4th	World Championships	2015	2:14:23	4
<b>23. Luke Puskedra (USA)</b>					
1 pts.	5th	Chicago Marathon	2015	2:10:24	1
<b>23. Peter Some (KEN)</b>					
1 pts.	5th	Tokyo Marathon	2015	2:07:22	1
<b>23. Tilahun Regassa (ETH)</b>					
1 pts.	5th	London Marathon	2015	2:07:16	1
<b>23. Wesley Korir (KEN)</b>					
1 pts.	5th	Boston Marathon	2015	2:10:49	1
<b>23. Geoffrey Mutai (KEN)</b>					
1 pts.	5th	Berlin Marathon	2015	2:09:29	1

★東京マラソン2016出場予定 / Competing in Tokyo Marathon 2016

### Series IX Women's Leaderboard

	Finish	Race	Year	Time	Points Earned
<b>1. Mary Keitany (KEN)</b>					
41 pts.	1st	New York City Marathon	2015	2:24:25	25
	2nd	London Marathon	2015	2:23:40	16
<b>1. Mare Dibaba (ETH)</b>					
41 pts.	1st	World Championships	2015	2:27:35	25
	2nd	Boston Marathon	2015	2:24:59	16
<b>3. Birhane Dibaba (ETH)*</b>					
34 pts.	1st	Tokyo Marathon	2015	2:23:15	25
	3rd	Chicago Marathon	2015	2:24:24	9
<b>3. Tigist Tufa (ETH)</b>					
34 pts.	1st	London Marathon	2015	2:23:22	25
	3rd	New York City Marathon	2015	2:25:50	9
<b>5. Helah Kiprop (KEN)*</b>					
32 pts.	2nd	Tokyo Marathon	2015	2:24:03	16
	2nd	World Championships	2015	2:27:36	16
<b>6. Florence Kiplagat (KEN)</b>					
26 pts.	1st	Chicago Marathon	2015	2:23:33	25
	5th	London Marathon		2:24:15	1
<b>7. Gladys Cherono (KEN)</b>					
25 pts.	1st	Berlin Marathon	2015	2:19:25	25
<b>7. Caroline Rotich (KEN)</b>					
25 pts.	1st	Boston Marathon	2015	2:24:55	25
<b>9. Aselefech Mergia (ETH)</b>					
20 pts.	2nd	New York City Marathon	2015	2:25:32	16
	4th	London Marathon		2:23:53	4
<b>10. Aberu Kebede (ETH)*</b>					
16 pts.	2nd	Berlin Marathon	2015	2:20:48	16
<b>10. Yebrgual Melese (ETH)</b>					
16 pts.	2nd	Chicago Marathon	2015	2:23:43	16
<b>12. Eunice Jepkiri Kirwa (BRN)</b>					
9 pts.	3rd	World Championships	2015	2:27:39	9
<b>12. Meseret Hailu (ETH)</b>					
9 pts.	3rd	Berlin Marathon	2015	2:24:33	9
<b>12. Buzunesh Deba (ETH)</b>					
9 pts.	3rd	Boston Marathon	2015	2:25:09	9
<b>12. Tiki Gelana (ETH)</b>					
9 pts.	3rd	Tokyo Marathon	2015	2:24:26	9
<b>12. Tirfi Tsegaye (ETH)</b>					
9 pts.	3rd	London Marathon	2015	2:23:41	9
<b>17. Desiree Linden (USA)</b>					
4 pts.	4th	Boston Marathon	2015	2:25:39	4
<b>17. Kayoko Fukushi (JPN)</b>					
4 pts.	4th	Chicago Marathon	2015	2:24:25	4
<b>17. Selly Chepyego (KEN)</b>					
4 pts.	4th	Tokyo Marathon	2015	2:26:43	4
<b>17. Sara Moreira (POR)</b>					
4 pts.	4th	New York City Marathon	2015	2:25:53	4
<b>17. Tadelech Bekele (ETH)</b>					
4 pts.	4th	Berlin Marathon	2015	2:25:01	4
<b>17. Jemima Jelagat Sumgong (KEN)</b>					
4 pts.	4th	World Championships	2015	2:27:42	4
<b>23. Mulu Seboka (ETH)</b>					
1 pts.	5th	Chicago Marathon	2015	2:24:40	1
<b>23. Christelle Daunay (FRA)</b>					
1 pts.	5th	New York City Marathon	2015	2:26:57	1
<b>23. Edna Kiplagat (KEN)</b>					
1 pts.	5th	World Championships	2015	2:28:18	1
<b>23. Flomena Daniel (KEN)</b>					
1 pts.	5th	Tokyo Marathon	2015	2:26:54	1
<b>23. Sharon Cherop (KEN)</b>					
1 pts.	5th	Boston Marathon	2015	2:26:05	1
<b>23. Andrea Deelstra (NED)</b>					
1 pts.	5th	Berlin Marathon	2015	2:26:46	1

# オリンピック選考会関連データ

## Data of Olympic Trial

### 第31回オリンピック競技大会（2016／リオデジャネイロ） マラソン代表選手選考要項（抜粋）

#### 1. 編成方針

本大会でのメダル獲得を含めた複数入賞を目指す選手団編成とする。

#### 2. 選考競技会

(1) 男子

- ① 第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）      ② 第69回福岡国際マラソン選手権大会（2015／福岡）  
③ 東京マラソン2016（2016／東京）      ④ 第71回びわ湖毎日マラソン（2016／大津）

#### 3. 選考基準

編成方針に基づき、本大会の参加標準記録を有効期間内に満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。  
内定条件と選考条件を、下記のとおり定める。

(1) 内定条件

選考競技会①の男女マラソン8位以内入賞者で、日本選手最上位者各1名を内定する。

(2) 選考条件

男女選考競技会②～④において日本人3位以内の競技者から、下記の1)から2)の優先順位で選考する。

- 1) 日本陸連設定記録を有効期間内に満たした競技者。(各最大1名)  
2) 各選考競技会での記録、順位、レース展開、タイム差、気象条件等を総合的に勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者。

#### 4. 参加標準記録及び日本陸連設定記録

種目	参加標準記録	日本陸連設定記録
男子マラソン	2時間18分00秒	2時間06分30秒

#### 5. 選考方法

(1) 選考基準(1)による選考は、即時内定とする。

(2) 選考基準(2)による選考は、全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、原案策定会議で選考し、理事会において決定する。

#### 6. その他

(1) 各記録の有効期間は下記の通り。

参加標準記録:2015年1月1日～2016年3月13日

日本陸連設定記録:2014年4月1日～2016年3月13日

(2) 資格記録は、上記有効期間内で国際陸上競技連盟が、第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）及び本大会の参加標準記録として承認する競技会での記録を対象とする。

(3) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は国際陸上競技連盟が定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(4) 派遣人数枠及び代表選手は、派遣団体である公益財団法人日本オリンピック委員会が正式決定する。

(5) 選考基準(2)－1)からの選考は、複数回の選考競技会に出場した場合の順位及び記録も評価の対象とする。

(6) 選考基準(2)－2)からの選考は、当該選手が出場した初回の選考競技会を評価の対象とする。

(7) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。

(8) 補欠は選考しない。

(9) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合は代表を取消すことがある。

(10) 本大会は、2016年8月12日～8月21日までリオデジャネイロ（ブラジル）で開催される。

以上

#### 終了した選考競技会の日本人選手成績

##### ① 第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）

21位 藤原 正和 (Honda)	2時間21分06秒
40位 前田 和浩 (九電工)	2時間32分49秒
	※即時内定なし

##### ② 第69回福岡国際マラソン選手権大会（2015／福岡）

3位 佐々木 悟 (旭化成)	2時間08分56秒
5位 高田 千春 (JR東日本)	2時間10分55秒
7位 大塚 良軌 (愛知製鋼)	2時間12分46秒

## 東京マラソン招待選手—海外男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International men

## No. 01 エマニュエル・ムタイ (ケニア)

MUTAI, Emmanuel (KEN)



DOB : 12 Oct. 1984

Age : 31

Height : 170cm

Weight : 50kg

## Personal Bests

10000m 28:09.2 -2005

Half marathon 59:52 -2011

Marathon 2:03:13 -2014

## International Championships Highlights

Marathon  
2nd in 2009 World Championships;  
17th in 2012 Olympic Games

## Progressions (since 2008)

(5 straight years with sub-2:07 marathons until 2011; 9 straight years with sub-2:08:02)

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2016			1:09:03	
2015			1:03:13	2:07:46
2014			1:04:44	<b>2:03:13</b>
2013			1:01:32	2:03:52
2012			1:02:56	2:08:01
2011			<b>59:52</b>	2:04:40
2010			1:00:03	2:06:23
2009			1:00:39	2:06:53
2008			1:01:10	2:06:15
2007			1:00:51	2:06:29
2006		28:21.14	1:00:49	
2005		<b>28:09.2</b>		

## Marathon career

(One of the three runners with two sub-2:04 marathons; 2nd highest sub-2:07, 2:08, 2:09 &amp; 2:10 marathon in history)

Year	Time	Race	Place	Date
	2:07:46	Berlin	4th	27 Sept 2015
	2:10:54	London	11th	26 Apr 2015
Personal Best	<b>2:03:13</b>	Berlin	2nd	28 Sept 2014
	2:08:19	London	7th	13 Apr 2014
	2:03:52	Chicago	2nd	13 Oct 2013
	2:06:33	London	2nd	21 Apr 2013
	2:14:49	OG – London	17th	12 Aug 2012
	2:08:01	London	7th	22 Apr 2012
	2:06:28	New York	2nd	6 Nov 2011
	2:04:40	London	1st	25 Apr 2011
	2:09:18	New York	2nd	7 Nov 2010
	2:06:23	London	2nd	25 Apr 2010
	2:07:48	WC – Berlin	2nd	22 Aug 2009
	2:06:53	London	4th	26 Apr 2009
	2:15:36	Chicago	5th	12 Oct 2008
	2:06:15	London	4th	13 Apr 2008
	2:06:29	Amsterdam	1st	21 Oct 2007
	2:13:06	Rotterdam	7th	15 Apr 2007

## Average of top 5 marathon performances

Rank	Time	Race	Place	Date
1	2:03:13	Berlin	2	28 Sept 2014
2	2:03:52	Chicago	1	13 Oct 2013
3	2:04:40	London	1	17 Apr 2011
4	2:06:15	London	4	13 Apr 2008
5	2:06:23	London	2	25 Apr 2010

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 Jan	Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	5th	1:09:03

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	4th	2:07:46
26 Apr	London Marathon	Marathon	11th	2:10:54
15 Feb	Mitja Marato de Barcelona	Half marathon	8th	1:03:13

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Sept	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:03:13
13 Apr	London Marathon	Marathon	7th	2:08:19
2 Feb	Discovery Kenya Road Races – Eldoret	Half marathon	14th	1:04:44

In the 2014 Berlin Marathon, Emmanuel Mutai ran the second fastest marathon on the standard course. He is known for the consistency at the marathon racing, for nine seasons starting with 2007 when he made his marathon debut, Mutai has always run faster than 2:08:01 every season. Furthermore, Mutai has recorded 2:03 marathon twice, 2:04 marathon once and 2:06 marathon six times. Average of his top five career performances is 2:04:53, fifth best in history. That is no all. He has cracked 2:07 nine times, 2:08 ten times, 2:09 thirteen times and 2:10 fourteen times; all of them are second best in history.

Mutai, who has run 18 marathons in his career, only won the marathon twice - at 2007 Amsterdam Marathon and 2011 London Marathon. However, in Berlin Marathon, Chicago Marathon and New York City Marathon, Mutai has finished second at least once. Mutai has run four of the six Abbott Marathon Majors race, and have finished in second or better at least once. He has not run the Boston Marathon yet, but Mutai will run the Tokyo Marathon for the first time. Tokyo will be Mutai's first marathon in Asia. Can he handle the jet lag?

In the 2009 World Championships in Berlin, Mutai finished second to Abel Kirui, who will also be running Tokyo Marathon this year. However, Mutai was disappointing 17th in the 2012 London Olympics. Of the 18 marathons Mutai started, he finished outside of 10th place in only two races - 2012 Olympics and 2015 London Marathon, and slower than 2:10 four times including his debut marathon and hot weather 2008 Chicago marathon.

Since his 10000m best is 28:09 and 10km road best is 27:51, Mutai is hardly considered as a speed-star. However, he has cracked 60 minutes for half marathon with 59:52. By comparing his 10000m time with half marathon, it can be concluded that Mutai is endowed with good endurance. Mutai's most recent race is half marathon in Egmond, where he ran 1:09:03. It is quite a slow time, but it should be noted that the race was marred with cold wind and rain.

If Mutai ran 2:03 marathon in Tokyo, he will break the course record of 2:05:42 as well as the all-comers record of 2:05:18. He will also become the first runner to crack 2:04 three-times.

2014年のベルリン・マラソンで、エマニュエル・ムタイは、公認コースでの歴代2位のタイムを叩きだしている。初マラソンを走った2007年から2015年までの9年間のシーズンベストを見ると、最低が2012年の2時間8分01秒で、毎年それ以上のタイムで走っている。さらに、2時間3分台を2度、そして2時間4分台を1度、2時間6分台は実に6度も記録。トップ5のパフォーマンスの平均値は2時間4分53秒で、これは歴代5位の数字だ。また、2時間7分を切った回数は9回、2時間8分切りは10回、2時間9分切りは13回もあり、2時間10分は14回も切っている。いずれの数字も歴代2位である。

しかし、優勝回数というと、マラソンを18回走っているものの、2007年アムステルダムマラソンと2011年ロンドンマラソンの2回しかない。とはいえ、ベルリンマラソン、シカゴマラソン、ニューヨークシティマラソンでは2位に入っている。アボット・ワールドマラソンメジャーズの6レース中ボストン、東京以外の4レースを走っているが、最低でも1回は2位に入っているのだ。今回、ムタイは初めて東京マラソンを走る。しかも、初めてのアジアでのマラソンだ。時差調整ができるかが気になるだろう。

2009年世界選手権ベルリン大会では、アベル・キルイ(今回の東京マラソンにも出場)に次いで銀メダルを獲得しているが、2012年のロンドン五輪では17位に沈んだ。18回のマラソンで一桁順位を確保できなかったのは、ロンドン五輪と2015年ロンドンマラソンの2回だけ。そして2時間10分を切れなかったのは、この2レースに、初マラソンと高温のレースとなった2008年シカゴマラソンの4回だけである。

10,000mのベストは28分09秒、10kmロードのベストは27分51秒と、決してスピードがあるとは言えないが、ハーフマラソンのベストは59分52秒と、60分を切っている。持久力には恵まれていると言えるだろう。

ムタイの直近のレースはエグモンドで行われたハーフマラソンで、タイムは1時間9分03秒だった。平凡な記録だが、その日は寒く、嵐の中のレースだった、と言う。

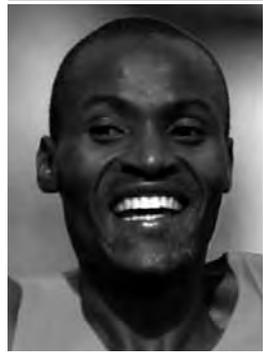
ムタイがもし2時間3分台で走れば、大会記録の2時間5分42秒及び日本国内最高の2時間5分18秒を破るだけでなく、2時間4分を3回切った唯一のランナーとなる。

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Dec	Cochin International Half Marathon – Kochi	Half marathon	2nd	1:02:59
13 Oct	Chicago Marathon	Marathon	2nd	2:03:52
11 Aug	Falmouth Road Race	7 mile	3rd	32:20
21 Apr	London Marathon	Marathon	2nd	2:06:33
15 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	11th	1:01:32

## 東京マラソン招待選手—海外男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International men

No. 02 ディクソン・チュンバ(ケニア)  
CHUMBA, Dickson (KEN)

DOB : 27 Oct. 1986  
Age : 29  
Height : 170cm  
Weight : 50kg

Personal Bests		
Half marathon	1:00:39	-2014
Marathon	2:04:32	-2014

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015		28:53		2:06:34
2014		28:47	<b>1:00:39</b>	<b>2:04:32</b>
2013				2:10:15
2012			1:01:34	2:05:46
2011				2:07:23
2010		28:56	1:02:08	2:09:20

## Marathon career

Date	Time	Race	Place	Date
2:09:25	Chicago	1st	11 Oct 2015	
2:06:34	Tokyo	3rd	22 Feb 2015	
<b>2:04:32</b>	Chicago	3rd	12 Oct 2014	
2:05:42	Tokyo	1st	23 Feb 2014	
2:10:15	Amsterdam	8th	20 Oct 2013	
2:14:08	Boston	7th	15 Apr 2013	
DNF	Xiamen	DNF	5 Jan 2013	
2:05:46	Eindhoven	1st	14 Oct 2012	
DNF	Boston	DNF	16 Apr 2012	
2:08:21	Xiamen	2nd	8 Jan 2012	
2:07:23	Frankfurt	7th	30 Oct 2011	
DNF	Chicago	DNF	9 Oct 2011	
2:08:45	Roma	1st	20 Mar 2011	
DNF (pace)	Xiamen	DNF (pace)	2 Jan 2011	
2:09:20	Maranello to Carpi	2nd	10 Oct 2010	
2:11:54	Madrid	2nd	25 Apr 2010	

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	1st	2:09:25
17 May	TCS World 10-K – Bangalore	10Km	7th	28:53
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:06:34

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:04:32
27 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half Marathon	2nd	1:04:10
1 June	Rock n Roll San Diego Half Marathon	Half marathon	3rd	1:00:39
25 May	Abraha Rosa International 10K – Toa Baja	10Km	3rd	28:47
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:05:42

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	8th	2:10:15
26 July	Giro Podistico Internazionale di Castelbuono	10Km	5th	31:09
15 Apr	Boston Marathon	Marathon	7th	2:14:08
5 Jan	Xiamen International Marathon	Marathon	DNF	DNF

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Oct	Marathon Eindhoven	Marathon	1st	2:05:46
16 Apr	Boston Marathon	Marathon	DNF	DNF
11 Mar	City Pier City Half Marathon	Half marathon	9th	1:01:34
8 Jan	Xiamen International Marathon	Marathon	2nd	2:08:21

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
30 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	7th	2:07:23
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
6 Aug	Corribianco	9.9Km	2nd	28:49
26 June	Corrida Festas da Cidade do Porto	15Km	3rd	44:59
20 Mar	Maratona della Città di Roma	Marathon	1st	2:08:45
2 Jan	Xiamen Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)

Dickson Chumba, who won the 2015 Chicago Marathon and 2014 Tokyo Marathon, finished third in both the 2014 Chicago Marathon and 2015 Tokyo Marathon. Dickson Chumba may be the favorite for this year's race, not only because he won the 2014 Tokyo Marathon with the course record and personal best of 2:05:42, but also because Chumba recorded another personal best, 2:04:32, in his next marathon, 2014 Chicago Marathon. The time he recorded in Chicago is more than a minute improvement of his personal best and he thus became 13th fastest marathon runner over the standard course. Chumba made his marathon debut in 2010 at the Madrid Marathon and finished second in 2:11:54. He promptly cracked 2:10 in his next marathon in the fall of 2010 at Carpi when he recorded a personal best of 2:09:20. However, he was again second. After serving as a pace maker in Xiamen marathon in January of 2011, he finally won the marathon in March of 2011 in Roma when he recorded a personal best of 2:08:45. Although Chumba dropped out of his next marathon in Chicago after 35Km, he promptly ran in Frankfurt marathon three weeks later and improved a personal best by more than a minute to 2:07:23. Chumba ran three marathons in 2012. Although he dropped out of Boston Marathon after 25Km in April, in October he won the Eindhoven Marathon with a huge personal best of 2:05:46. Of the six marathons he ran in 2011 and 2012, except for two DNF, Chumba always cracked 2:09. However, 2013 was a dismal season for Chumba. After failing to finish the Xiamen marathon in January, Chumba was seventh with 2:14:08 in Boston and eighth with 2:10:15 in the Amsterdam Marathon. In contrast, Chumba's 2014 season was superb, for he improved his personal best twice in 2014. Chumba's time from the Tokyo Marathon two years ago, 2:05:42, is the second fastest time on the Japanese soil behind the Japanese all-comers record of 2:05:18 by Tsegaye Kebede. Currently, Chumba is second with 34 points in the Abbott World Marathon Major Series IX race. If he wins in Tokyo, not only Chumba ties with the current leader Eliud Kipchoge, currently considered as the best marathon runner in the world, but he also becomes the first two-time winner in the Tokyo Marathon.

ディクソン・チュンバは、2015年のシカゴマラソンと2014年の東京マラソンで優勝しており、2014年のシカゴマラソンと2015年の東京マラソンではともに3位に入っている。2014年の東京マラソンを2時間5分42秒の大会記録で優勝すると、その次戦となった同年10月のシカゴマラソンでは東京での記録を1分以上も更新する2時間4分32秒の自己ベストを記録しており、公認コースでは13番目に速いマラソンランナーとなった。今大会も優勝候補とみていただろう。

初マラソンとなった2010年マドリッドマラソンは、2時間11分54秒で2位とまずまずの成績。その半年後の秋、チュンバはカルピでマラソンを走り、初めて2時間10分切りを果たし2時間9分20秒で自己ベストを更新した。だが、順位は再び2位だった。2011年1月のアモイマラソンでペースメーカーを務めた後、3月にはローマで自己ベストの2時間8分45秒を記録し、ようやくマラソンで初勝利を収めた。次戦のシカゴは35km過ぎに棄権したが、その3週間後にはフランクフルトマラソンを走り、2時間7分23秒と自己ベストを1分以上も更新している。2012年にはマラソンを3回走り、4月のボストンは25km過ぎに棄権したが、10月のアインホーフマラソンでは自己記録を大幅に塗り替え2時間5分46秒で制した。チュンバが2011年と2012年に走った6回のマラソンのうち、2回の途中棄権を除くと確実に2時間9分を切っている。

しかしながら、翌2013年は良いシーズンではなかった。1月のアモイマラソンは棄権、4月のボストンマラソンは2時間14分08秒で7位、そして10月のアムステルダムマラソンは2時間10分15秒で8位に終わっている。

だが、2014年は再び好調。自己ベストを2度更新するなど、チュンバのキャリアにおいて最高の年となった。東京で記録した2時間5分42秒は、ツェガエ・ケベデが福岡で記録した2時間5分18秒に次ぐ日本国内2番目の記録だ。

現在、アボット・ワールドマラソンメジャーズシリーズIXでは34点を獲得し、2位につけている。東京マラソンで優勝すれば、現在世界最強の呼び声が高いエリウド・キプチョゲと50点で並ぶだけでなく、東京マラソンで初めて2回優勝を成し遂げた選手となる。

## 2010 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 Oct	Maranello to Carpi	Marathon	2nd	2:09:20
25 Apr	Maraton Popular de Madrid	Marathon	2nd	2:11:54
14 Mar	Telemarket Brescia	10Km	1st	28:56
7 Mar	Media Maraton de Ribarroja del Turia	Half marathon	2nd	1:02:08

No. 03 フェイサ・リレサ(エチオピア)  
LILESA, Feyisa (ETH)

DOB : 1 Feb. 1990  
Age : 26  
Height : 170cm  
Weight : 55kg

Personal Bests		
10000m	27:46.97	-2008
Half marathon	59:22	-2012
Marathon	2:04:52	-2012

fastest marathon by 20 years old

## International Championships Highlights

Marathon		
3rd in 2011 World Championships		
World Cross Country Championships		
12th in 2009, 26th in 2010, 17th in 2011, 9th in 2013		
14th in junior division at 2008		

## Progressions (since 2008) (7 straight years of sub-2:10 marathons)

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015				2:06:35
2014			59:51	2:08:26
2013			59:25	2:07:46
2012			<b>59:22</b>	<b>2:04:52</b>
2011			1:00:50	2:09:54
2010			1:00:33	2:05:23
2009	13:55.31	28:22.1	1:02:15	2:09:12
2008	<b>13:34.80</b>	<b>27:46.97</b>	1:02:26	

## Marathon career

(One of the three runners with two sub-2:04 marathons; 2nd highest sub-2:07, 2:08, 2:09 & 2:10 marathon in history)

Date	Time	Race	Place	Date
2:06:57	Berlin	3rd	27 Sept 2015	
2:09:55	Rotterdam	5th	12 Apr 2015	
2:06:35	Dubai	4th	23 Jan 2015	
DNF	Chicago	DNF	12 Oct 2014	
2:08:26	London	9th	13 Apr 2014	
DNF	Frankfurt	DNF	27 Oct 2013	
DNF	World Championships – Moskva	DNF	17 Aug 2013	
2:07:46	London	4th	21 Apr 2013	
<b>2:04:52</b>	Chicago	2nd	7 Oct 2012	
2:08:20	London	10th	22 Apr 2012	
2:09:54	Nice-Cannes	4th	20 Nov 2011	
2:10:32	World Championships – Daegu	3rd	4 Sept 2011	
2:11:42	Rotterdam	7th	10 Apr 2011	
2:08:10	Chicago	3rd	10 Oct 2010	
2:05:23	Rotterdam	4th	11 Apr 2010	
2:08:47	Xiamen	1st	2 Jan 2010	
2:09:12	Dublin	1st	26 Oct 2009	

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
31 Dec	Sao Silvestre Road Race – Sao Paulo	15Km	3rd	44:38
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	3rd	2:06:57
17 May	Bangalore	10Km	8th	28:56
12 Apr	Rotterdam Marathon	Marathon	5th	2:09:55
23 Jan	Dubai Marathon	Marathon	4th	2:06:35

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
13 Apr	London Marathon	Marathon	9th	2:08:26
14 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	7th	59:51

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	DNF	DNF
17 Aug	World Championships Marathon – Moskva	Marathon	DNF	DNF
21 Apr	London Marathon	Marathon	4th	2:07:46
24 Mar	World Cross Country Championships – Bydgoszcz	12Km	9th	33:22
24 Feb	Jan Media International – Addis Ababa	12Km	1st	34:36
15 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	4th	59:25
13 Jan	Houston Marathon	Half marathon	1st	1:01:54

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago marathon	Marathon	2nd	2:04:52
29 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half Marathon	2nd	1:03:18
27 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	4th	28:30
22 Apr	London Marathon	Marathon	10th	2:08:20
18 Mar	New York City Half Marathon	Half marathon	3rd	1:00:45
17 Feb	RAK half Marathon – Ras Al Khaimah	Half marathon	5th	1:01:52
15 Jan	Houston Half Marathon	Half Marathon	1st	59:22

Feyisa Lilesa made his marathon debut in 2009 when he was 19 years old, and won the Dublin Marathon with a sub-2:10 clocking of 2:09:12. Two months later he also won the Xiamen Marathon while improving a personal best to 2:08:47. The race that made him famous is the 2010 Rotterdam Marathon, third marathon of his career. For the first time in his career, Lilesa ran a truly world class marathon and finished fourth. However, Lilesa improved his personal best by more than three minutes with 2:05:23. It was the fastest marathon by 20 years old, and he became the youngest runner with sub-2:06 clocking. The following year, in 2011, Lilesa won a bronze medal in the World Championships in Daegu. In the 2012 Chicago Marathon, Lilesa improved his personal best for the first time in two and half years. His new personal best, 2:04:52, is the fastest marathon by 22 years old. He thus became the second youngest runner to crack 2:05 for the marathon.

Lilesa started 17 marathons in his career and failed finish three-times – 2013 World Championships in Moskva, 2013 Frankfurt Marathon and 2014 Chicago Marathon. However, in all of his completed marathons, Lilesa never finished worse than 10th and finished slower than 2:10 only twice (2:10 once and 2:11 once). In short, Lilesa runs well in all his completed marathons. Lilesa has run better than 2:10 at least once every year for the last seven seasons. However, Lilesa has not won the marathon after his first two marathons of his career. Lilesa has not won the marathon ever since he started to run the world class marathon.

Lilesa's 10000m best is only 27:46.97 but his half marathon performances are nearly world class. Although he has not run any half marathon in 2015, from 2012 to 2014, Lilesa has broken 60 minutes for the half marathon every year. His best, 59:22, was recorded in 2012 in Houston.

Lilesa ran the World Cross Country Championships five times, and his best finish is ninth in 2013. Lilesa will be running the Tokyo Marathon for the first time. Since he has run three Abbott Marathon Majors races – London, Berlin, and Chicago, and his best finishes are fourth, third and second, respectively, he is expected to run well in Tokyo also.

フェイサ・リレサは、2009年19歳の時にダブリンマラソンで初マラソンに挑戦。そして、いきなり2時間10分を切り、2時間9分12秒で優勝を果たした。その2カ月後にもアモイマラソン(中国)を走り、わずかながら自己記録を更新し、2時間8分47秒で優勝している。転機の一レースとなったのが、3回目のマラソンとなった2010年ロッテルダムマラソンだ。ロッテルダムは強豪選手が多く集まる世界超一流の大会。初めて優勝を逃したものの、4位に入り、自己ベストを3分以上も更新し、2時間5分23秒の20歳のマラソン最速記録を樹立し、2時間5分5分を記録した最も若いランナーになった。そして、翌2011年にはテグ世界選手権で銅メダルを獲得。さらにその翌年の2012年のシカゴマラソンでは2年半ぶりに自己ベストを更新し、22歳でのマラソン最速記録となる2時間4分52秒で走り、2番目に若い2時間4分ランナーになった。

フェイサは、これまで17回マラソンを走っており、途中棄権は世界選手権モスクワ大会、フランクフルト、シカゴと3回あるものの、完走したレースでは10位以下は一度もない。また、2時間10分以上を上回したレースも2回(10分台と11分台が1回ずつ)だけである。つまり、完走すればそこそこの成績は残っており、7年連続でシーズンベストは2時間10分を切っている。しかし、キャリア最初の2レース以降、優勝からは遠ざかっている。つまり世界の超一流レースを走るようになってからは優勝がないということだ。

10,000mのベストは27分46秒97に過ぎないが、ハーフマラソンでは世界のトップに近い選手だ。2015年は一度もハーフマラソンを走っていないが、2012年から2014年までは、シーズンに一度はハーフマラソンで60分を切っている。自己ベストの59分22秒は2012年ヒューストン・ハーフマラソンで記録したタイムだ。

世界クロスカントリー選手権にも5回出場し、2013年には最高成績となる9位に入っている。アボット・ワールドマラソンメジャーズでは、ロンドン、ベルリン、シカゴを走り、最高順位はそれぞれ4位、3位、そして2位。東京マラソンを走るの初めてだが、東京でも好成績が期待される。

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Delhi Half Marathon	Half Marathon	7th	1:00:50
20 Nov	Marathon des Alpes Maritimes Nice-Cannes	Marathon	4th	2:09:54
4 Sept	World Championships – Daegu	Marathon	3rd	2:10:32
10 Apr	Rotterdam Marathon	Marathon	7th	2:11:42
20 Mar	World Cross Country Championships – Punta Umbria	12Km	17th	35:13
20 Feb	Jan Media Cross Country Champ – Addis Ababa	12Km	4th	32:40

## 東京マラソン招待選手—海外男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International men

No. 04 アベル・キルイ (ケニア)  
KIRUI, Abel (KEN)

DOB : 6 Apr. 1982  
Age : 33  
Height : 176cm  
Weight : 58kg

**Personal Bests** **□**

10000m	28:16.77A	-2008
Half marathon	1:00:11	-2007
Marathon	2:05:04	-2009

**International Championships Highlights** **□**

Marathon  
1st in 2011 & 2009 World Championships;  
2nd in 2012 Olympic Games

**Progressions** **□**

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015			1:01:22	2:10:55
2014			1:02:01	2:09:04
2013			1:02:04	
2012			1:00:28	2:07:56
2011			1:02:08	2:07:38
2010			1:04:17	2:08:04
2009	13:48.2		1:00:27	2:05:04
2008		28:16.77A		2:07:38
2007			1:00:11	2:06:51
2006	13:58.07		1:01:15	2:15:22
2005		28:30.15		

※「A」は高地で出された記録

**Marathon career** **□**

Year	Time	Race	Place	Date
	2:10:55	Amsterdam	10th	18 Oct 2015
	DNF	Boston	DNF	20 Apr 2015
	2:09:45	Amsterdam	6th	19 Oct 2014
	2:09:04	Tokyo	10th	23 Feb 2014
	2:08:27	Olympic Games – London	2nd	12 Aug 2012
	2:07:56	London	6th	22 Apr 2012
	2:07:38	WC – Daegu	1st	4 Sept 2011
	DNF	London	DNF	25 Apr 2011
	2:13:01	New York	9th	7 Nov 2010
	2:08:04	London	5th	25 Apr 2010
	2:06:54	WC – Berlin	1st	22 Aug 2009
	2:05:04	Rotterdam	3rd	5 Apr 2009
	DNF	New York	DNF	2 Nov 2008
	DNF (pace)	Berlin	DNF (pace)	28 Sept 2008
	2:07:38	Wien	1st	27 Apr 2008
	DNF	Tokyo	DNF	17 Feb 2008
	DNF (pace)	Dubai	DNF (pace)	18 Jan 2007
	2:06:51	Berlin	2nd	30 Sept 2007
	2:10:41	Wien	3rd	29 Apr 2007
	2:15:22	Singapore	3rd	3 Dec 2006
	2:17:47	Berlin	9th	24 Sept 2006

**2015 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Oct	TCS Amsterdam Marathon	Marathon	10th	2:10:55
23 Aug	Klagenfurt	Half marathon	7th	1:03:42
17 May	Halifax	Half Marathon	1st	1:04:04
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	DNF	DNF
15 Feb	Mitja Marato de Barcelona	Half Marathon	6th	1:01:22

**2014 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
19 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	6th	2:09:45
14 June	Zwolle Half Marathon – Zwolle	Half marathon	6th	1:02:01
4 May	BIG 25 – Berlin	25Km	6th	1:14:22
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	10th	2:09:04
12 Jan	PWE Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	11th	1:05:38

**2013 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Feb	Marugame half Marathon	Half marathon	8th	1:02:04

**2012 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Oct	Great South Run – Southsea to Portsmouth	10 mile	6th	47:12
12 Aug	Olympic Games – London	Marathon	2nd	2:08:27
22 Apr	London marathon	Marathon	6th	2:07:56
26 Feb	Mitja Marato de Barcelona	Half marathon	1st	1:00:28

Abel Kirui is an ultimate championships runner, having won the 2009 and 2011 World Championships before finishing second in the 2012 Olympic Games marathon in London. In the World Championships marathon, not only Kirui has the Championships record, but he has two fastest times in the World Championships marathon to his credit. Furthermore, in the 2011 World Championships, Kirui won the gold medal by two minutes and 28 seconds, the largest winning margin ever in the World Championships marathon. Of the fifteen marathons Kirui has finished in his career, he won only three times – twice at the World Championships and the 2008 Wien City Marathon. However, he finished in top five spot nine times out of fifteen.

Since his marathon debut at the 2006 Berlin Marathon, where he served as a pace maker but finished ninth with 2:17:47, Kirui rapidly improved his personal best in the next three marathons. He ran 2:15:22 in the 2006 Singapore Marathon, 2:10:41 in the 2007 Wien City Marathon and then 2:06:51 for second place behind World Record setting Haile Gebrselassie in the 2007 Berlin Marathon. In 2008, at the Dubai Marathon, Kirui paced Haile for 30km in his world record attempt, before running Tokyo Marathon. Kirui, however, was forced to drop out in Tokyo. Later in the 2009 Rotterdam Marathon, Kirui recorded the personal best of 2:05:04, although he was only third.

In 2014, Kirui challenged the Tokyo Marathon course again, and this time he was tenth with 2:09:04. As for the Abbott World Marathon Majors races, Kirui has run Berlin, Tokyo, London, New York city and Boston Marathons, but not Chicago Marathon. His best finishes are second in Berlin, fifth in London, ninth in New York city, and tenth in Tokyo but he failed to finish in Boston.

Kirui will be running the Tokyo Marathon for the third time. One concern is that Kirui has not cracked 2:09 in the four marathons he ran in 2014 and 2015. On the positive note, Kirui ran 1:01:22 for the half marathon last year, his fastest half marathon since 2012.

アベル・キルイは選手権で強さを発揮するランナーだ。2009年、2011年と世界選手権を連覇すると、2012年のロンドン五輪でも銀メダルを獲得している。世界選手権の大会記録保持者だが、世界選手権歴代2位のタイムもキルイの記録だ。それだけではなく、2011年のテグ大会では、2位に世界選手権史上最大となる2分28秒もの大差を付けて優勝している。キルイは現在まで15回マラソンを完走しているが、優勝したのは、2回の世界選手権と2008年のウィーンマラソンの3回に過ぎない。だが、彼は15回中9回のレースで5位以内の成績を残している。

初めてマラソンを走ったのは2006年のベルリンマラソンで、それはペースメーカーとしての出場だったが、2時間17分47秒でフィニッシュした。その後は、2006年シンガポールマラソンで2時間15分22秒、2007年ウィーンマラソンで2時間10分41秒、そして2007年ベルリンマラソンでは世界記録を樹立したハイレ・ゲブレシラシエに次いで2時間6分51秒と、3レース続けて自己ベストを更新した。2008年1月のドバイマラソンは、ハイレの世界記録への挑戦を30kmまで先導。同年、東京マラソンに初挑戦したが、途中棄権に終わっている。その後、2009年のロッテルダムマラソンでは3位ながら、現在も自己ベストの2時間5分04秒を記録している。

2014年に東京に再挑戦したが、この時は2時間9分04秒で10位に入っている。アボット・ワールドマラソンメジャーズでは、ベルリン、東京、ニューヨークシティ、ロンドン、ボストンを走っており、シカゴはまだ走っていない。各レースでの最高成績は、ベルリンが2位、ロンドンが5位、ニューヨークシティが9位、そして東京が10位だが、ボストンは途中棄権に終わっている。

東京マラソンは3度目の挑戦となる。気になるのは2014年と2015年に走った4回のマラソンで、一度も2時間9分を切れていないことだ。一方、プラスの材料は、昨年ハーフマラソンで2012年以来最速となる1時間1分22秒を記録していることである。

**2011 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
4 Dec	LCM Wincanton Montferland Run – s-Heerenberg	15Km	8th	44:08
4 Sept	World Championships – Daegu	Marathon	1st	2:07:38
25 Apr	London Marathon	Marathon	DNF	DNF
6 Mar	Semi-Marathon de Paris	Half Marathon	7th	1:02:08

**2010 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Nov	New York Marathon	Marathon	9th	2:13:01
4 July	Sapporo Half marathon	Half marathon	13th	1:04:17
25 Apr	London Marathon	Marathon	5th	2:08:04

No. 05 エリウド・キプタヌイ (ケニア)  
KIPTANUI, Eliud (KEN)

DOB : 6 Jun. 1989  
Age : 26  
Height : 168cm  
Weight : 53kg

**Personal Bests** **□**

Half Marathon	1:01:24	-2011
Marathon	2:05:21	-2015

**International Championships Highlights** **□**

Marathon  
6th in 2011 World Championships

**Progressions** **□**

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015				2:05:21
2014				2:07:28
2013				2:15:10
2012			1:04:57	2:06:44
2011			1:01:24	2:09:08
2010				2:05:39
2009			1:03:49	2:12:17

**Marathon career** **□**

Year	Time	Race	Place	Date
	2:05:21	Berlin	2nd	27 Sept 2015
	2:10:11	Seoul	7th	15 Mar 2015
	2:07:28	Berlin	5th	28 Sept 2014
	2:14:41	Seoul	11th	16 Mar 2014
	2:15:26	Singapore	2nd	1 Dec 2013
	2:15:10	Seoul	17th	17 Mar 2013
	2:10:15	Beijing	2nd	25 Nov 2012
	2:09:59	Berlin	8th	30 Sept 2012
	2:06:44	Seoul	3rd	18 Mar 2012
	2:11:50	World Championships – Daegu	6th	4 Sept 2011
	2:09:08	Rotterdam	4th	10 Apr 2011
	DNF	Dubai Marathon	DNF	21 Jan 2011
	DNF (pace)	Fukuoka marathon	DNF (pace)	5 Dec 2010
	2:08:05	Berlin Marathon	5th	26 Sept 2010
	2:05:39	Praha Marathon	1st	9 May 2010
	2:12:17	Safaricom marathon-Kisumu	1st	6 Dec 2009

**2015 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:05:21
15 Mar	Seoul Marathon	Marathon	7th	2:10:11

**2014 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Sept	Berlin Marathon	Marathon	5th	2:07:28
16 Mar	Seoul International Marathon	Marathon	11th	2:14:41

**2013 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Singapore Marathon	Marathon	2nd	2:15:26
17 Mar	Seoul International Marathon	Marathon	17th	2:15:10

**2012 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Beijing Marathon	Marathon	2nd	2:10:15
30 Sept	Berlin Marathon	Marathon	8th	2:09:59
9 June	Mattoni Ceske Budejovice	Half Marathon	5th	1:04:57
18 Mar	Seoul International Marathon	Marathon	3rd	2:06:44

**2011 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
4 Sept	World Championships – Daegu	Marathon	6th	2:11:50
19 June	Olomouc Half Marathon	Half marathon	2nd	1:01:24
8 May	BIG 25 – Berlin	25Km	3rd	1:12:59
10 Apr	Rotterdam	Marathon	4th	2:09:08
21 Jan	Dubai Marathon	Marathon	DNF	DNF

**2010 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
26 Sept	Berlin Marathon	Marathon	5th	2:08:05
9 May	Praha Marathon	Marathon	1st	2:05:39

The race that made Eliud Kiptanui famous is his second marathon, the 2010 Praha Marathon. Running away from Adhane Yemane Tsegaye (ETH), 2:06 runner, Kiptanui won the race with 2:05:39, which was more than two minutes improvement of the course record. Since he covered the first half in 1:03:16 and then was able to speed up to cover the last half in 1:02:23, Kiptanui may be able to run faster marathon. His marathon debut was at Kisumu in December of 2009 where he won the marathon by more than seven minutes with 2:12:17. Actually Kiptanui was planning to run his second marathon at the Wien City Marathon scheduled for April of 2010. However, volcano eruption disrupted his travel as European airports shutdown. Thus he ran in Praha instead. After Praha, in September, Kiptanui ran the Berlin Marathon, and finished fifth in 2:08:05. In December Kiptanui was recruited by Fukuoka Marathon as a pace maker. Perhaps some fans may recall that Kiptanui did not do the proper job as a pace maker. The following year, Kiptanui ran the World Championships in Daegu. He stayed with the lead pack until 25km, but started to drift back around 30km and finished disappointing sixth with 2:11:50. Following year, Kiptanui was third in the 2012 Seoul International Marathon with 2:06:44, second fastest time of his career at that point, and then finished fifth in the 2014 Berlin Marathon with 2:07:28, third fastest time of his career at that point. However, there is no other noteworthy performance by Kiptanui besides aforementioned two races after Praha. For more than five years since Praha, Kiptanui was unable to improve his personal best. Thus he was nearly forgotten. Then he came back with a vengeance in the 2015 Berlin Marathon, when Kiptanui improved his best by 18 seconds to record 2:05:21. Tokyo Marathon could be a turning point of his marathon career, if he improves his personal best once again in Tokyo.

エリウド・キプタヌイの名が一躍有名になったのは、彼にとって2度目のマラソンとなった2010年のプラハマラソンだった。2時間6分44秒の記録を持つイエマネ・ツェガエ(エチオピア)を振り切り、大会記録を2分以上更新し、2時間5分39秒で優勝を果たした。キプタヌイは、前半を1時間3分16秒で通過すると、後半のペースは1時間2分23秒にスピードアップする余裕があった。

彼の初マラソンは、ケニアのキスムで2009年12月に行われたサファリマラソンだった。2位に7分以上の大差をつけて2時間12分17秒で優勝した。実は、2度目のマラソンには2010年4月のウィーンマラソンを走る予定だったが、火山噴火の影響で欧州の主要空港が閉鎖に追い込まれ、キプタヌイはウィーンに行くことができなかった。そのため、プラハマラソンにスライドを余儀なくされたのだ。プラハの後、9月に行われたベルリンマラソンは2時間8分05秒で5位に入っている。そして、同年12月の福岡国際マラソンにはペースメーカーとして出場した。その福岡で暴走したキプタヌイの姿を記憶しているファンも多いのではないだろうか。

2011年には世界選手権テグ大会のマラソンに出場。25kmまでは先頭集団に位置していたが、30kmから少しずつ遅れ始め、最終的には2時間11分50秒で6位といまひとつの成績だった。その後、2012年ソウル国際マラソンでは2時間6分44秒の自己2番目の記録で3位、2014年ベルリンマラソンでは自己3番目の2時間7分28秒で5位に入ったが、それ以外に注目すべきレースは全くなかった。衝撃のプラハマラソンから5年を経過しても自己ベストをなかなか更新できずにいた。彼の名がほとんど忘れ去られようとしていた頃、キプタヌイが再び注目される。2015年ベルリンマラソンで2時間5分21秒と、わずか18秒ではあったが、5年半ぶりに自己ベストを更新したのだ。東京マラソンはキプタヌイにとって転機レースとなるかもしれない。そのためには、2戦連続で自己ベスト更新が必要だ。

**2009 Results** **□**

Date	Race	Distance	Place	Time
Dec	Safaricom Marathon – Kisumu	Marathon	1st	2:12:17
25 Oct	Nairobi Marathon	Half Marathon	24th	1:03:49
17 July	Kraftprovet – Trollhattan	11.6Km	3rd	33:58.2
3 July	Bislett Games	3000m	5th	8:04:57

## 東京マラソン招待選手—海外男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International men

## No. 06 バーナード・キピエゴ(ケニア)

KIPYEGO, Bernard Kiprop (KEN)



DOB : 16 Jul. 1986  
Age : 29  
Height : 172cm  
Weight : 51kg

Personal Bests		
5000m	13:09.96	-2005
10000m	26:59.61	-2007
Half marathon	59:10	-2009
Marathon	2:06:19	-2015

## International Championships Highlights

10000m	
5th in 2009 World Championships	
Half Marathon	
2nd in 2009 World Half Marathon Championships	
World Cross Country Championships	
3rd in 2007 and 10th in 2008; 2nd in junior in 2005	
Marathon	
12th in 2013 World Championships	

One of the five runners who cracked 27 min for 10000m, 60min for half marathon and 2:07 for marathon

Progressions				
Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2016			1:08:33	
2015			1:04:17	<b>2:06:19</b>
2014			59:47	2:06:22
2013			1:02:54	2:07:19
2012			1:01:25	2:06:40
2011		28:35.1	59:45	2:06:29
2010			59:40	2:07:01
2009		27:18.47	<b>59:10</b>	
2008	13:30.40	27:08.06		
2007	13:13.40	<b>26:59.61</b>		
2006	13:20.78	27:19.45		
2005	<b>13:09.96</b>	27:04.45		

Marathon career				
Year	Time	Race	Place	Date
Personal Best	<b>2:06:19</b>	Amsterdam	1st	18 Oct 2015
	2:10:47	Boston	4th	20 Apr 2015
	2:06:22	Amsterdam	1st	19 Oct 2014
	2:07:58	Rotterdam	3rd	13 Apr 2014
	2:07:19	Beijing	2nd	20 Oct 2013
	2:14:01	WC – Moskva	12th	17 Aug 2013
	2:07:53	Tokyo	3rd	24 Feb 2013
	2:06:40	Chicago	6th	7 Oct 2012
	2:13:13	Boston	3rd	16 Apr 2012
	2:06:29	Chicago	3rd	9 Oct 2011
	2:07:16	Paris	2nd	10 Apr 2011
	2:08:50	Berlin	6th	26 Sept 2010
	2:07:01	Rotterdam	5th	11 Apr 2010

2016 Results				
Date	Race	Distance	Place	Time
10 Jan	Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	2nd	1:08:33

2015 Results				
Date	Race	Distance	Place	Time
18 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	1st	2:06:19
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	4th	2:10:47
11 Jan	PWE Halve-Marathon von Egmond	Half marathon	6th	1:04:17

2014 Results				
Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Cochin International Half Marathon	Half marathon	1st	1:02:38
19 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	1st	2:06:22
14 Sept	Meia Maratona SporZone – Porto&Gaia	Half marathon	1st	1:00:38
13 Apr	Marathon Rotterdam	Marathon	3rd	2:07:58
14 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	5th	59:47

2013 Results				
Date	Race	Distance	Place	Time
29 Dec	Cochin International Half Marathon – Kochi	Half marathon	1st	1:02:54
20 Oct	Beijing Marathon	Marathon	2nd	2:07:19
17 Aug	World Championships – Moskva	Marathon	12th	2:14:01
24 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:07:53
19 Jan	Kenyan Police Cross Country Champ – Nairobi	12Km	5th	36:35

Third in the 2007 World Cross Country Championships, fifth at 10000m in the 2009 World Championships and second in the 2009 World Half Marathon Championships, Bernard Kipyego has 10000m personal best of 26:59.61, recorded in 2007 and half marathon best of 59:10, recorded in 2009. Furthermore Kipyego recorded three sub-60 min half marathons before 2010. Thus his marathon debut was awaited with much anticipation. In his marathon debut, at the 2010 Rotterdam Marathon, where top four finishers cracked 2:06 for the first time, Kipyego, after staying with the leader until 30Km, finished fifth with 2:07:01. Although he was only sixth with 2:08:50 in his next marathon at Berlin in 2010, Kipyego was superb in the next two marathons. He was second in the 2011 Paris Marathon with 2:07:16 and third in the 2011 Chicago Marathon with his personal best of 2:06:29. Although warm weather prevented him from running another sub-2:10 marathon, Kipyego was still third among the loaded field of Boston Marathon in 2012. Kipyego ran another sub-2:07 marathon in the 2012 Chicago Marathon when he was sixth in 2:06:40. In the 2013 Tokyo Marathon, his first marathon in Asia, Kipyego was third with 2:07:53. In the 2013 World Championships in Moskva, Kipyego was 12th in 2:14:01, slowest time of his career as well as the lowest finishing position of his career. For the first time in his career, Kipyego finished worse than tenth. However, in both the 2013 Beijing Marathon and the 2014 Rotterdam Marathon, Kipyego ran 2:07 marathon. Furthermore, he ran 2:06:22 in the 2014 Amsterdam Marathon and 2:06:19 in the 2015 Amsterdam Marathon. He improved his marathon best two years in a row at Amsterdam. After his marathon debut in 2010, Kipyego cracked 60 minutes for the half marathon three-times.

In short, his marathon performances are quite consistent. Kipyego never dropped out of the marathon after thirteen starts. Furthermore, out of thirteen marathons he started, Kipyego cracked 2:09 ten times, and finished better than sixth in all marathons except for the World Championships in Moskva. Kipyego is a member of super-exclusive club. He is one of the five runners who have run sub-27 minutes 10000m, sub-60 minutes half marathon and sub-2:07 marathon. Other members of this exclusive club are Paul Tergat, Haile Gebrselassie, Samuel Wanjiru and Moses Mosop. Because all four aforementioned runners have run sub-2:06 marathon, Kipyego is expected to improve his marathon time substantially soon, perhaps in Tokyo.

バーナード・キピエゴは、2007年の世界クロスカントリー選手権で3位、2009年世界選手権では10,000mで5位、2009年の世界ハーフマラソン選手権では2位に入っている。10,000mの自己ベストは2007年に記録した26分59秒61、ハーフマラソンの自己ベストは2009年に記録した59分10秒だ。しかも、ハーフマラソンは、2010年までに3回も1時間の壁を破っており、キピエゴの初マラソンには大きな期待が掛かっていた。

初マラソンは2010年のロッテルダムマラソンだった。上位4人が初めて2時間6分を切ったレースで、キピエゴは30kmまで先頭集団に付いたものの、2時間7分1秒で5位に入っている。次のマラソンは2時間8分50秒で6位。2011年に走った2レースは、パリが2時間7分16秒で2位、シカゴでは当時の自己ベストとなる2時間6分29秒で3位と、好タイムで上位入賞を果たしている。2012年のボストンマラソンは暑さで全体的に遅かったが、並み居る強豪が失速するなか3位に入った。2012年のシカゴマラソンでは、2度目の2時間6分台となる2時間6分40秒で6位に入っている。

彼にとって初のアジアでのマラソンとなったのが2013年の東京マラソンで、2時間7分53秒で3位に入っている。2013年の世界選手権モスクワ大会は2時間14分1秒で12位と、彼のマラソン人生で最も遅いタイムであり、初めての2桁順位だった。だが、その後は2013年北京マラソンと2014年ロッテルダムマラソンで2時間7分台を記録。アムステルダムマラソンでは、2014年に2時間6分22秒、2015年に2時間6分19秒と、連続で自己ベストを更新している。また、初マラソン以後も、ハーフマラソンでは60分切りを3回果たしている。

総括すれば、キピエゴのマラソンの成績は安定していると言えるだろう。今まで走った13回のマラソンで途中棄権は一度もない。また、13回の10回、2時間9分以内をマーク。6位以下は世界選手権モスクワ大会の一度だけだ。

10,000m27分切り、ハーフマラソン1時間切り、そしてマラソンで2時間7分を切ったランナーは世界で5人しかいないが、キピエゴはその1人。他の4人は、ポール・テルガト、ハイレ・ゲブレシラシエ、サムエル・ワンジル、モーゼス・モンソップだが、いずれもマラソンの自己ベストは2時間5分台以下だ。キピエゴには大幅な自己ベスト更新の可能性がある。そのレースが東京かもしれない。

## No. 07 スティーブン・キプロティチ(ウガンダ)

KIPROTICH, Stephen (UGA)



DOB : 27 Feb. 1989  
Age : 27  
Height : 174cm  
Weight : 54kg

Personal Bests		
5000m	13:23.70	-2008
10000m	27:58.03	-2010
Half Marathon	1:01:15	-2013
Marathon	2:06:33	-2015

## International Championships Highlights

10000m	
5th in 2008 World Junior Championships	
Marathon	
2012 Olympic & 2013 World Champion; 9th in 2011, 6th in 2015 World Championships	
World Cross Country Championships	
6th in 2011, 23rd in 2009	
Junior race	
24th in 2006, 19th in 2008, 12th in 2008	

Progressions				
Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015			1:03:07	<b>2:06:33</b>
2014			1:01:35	2:11:37
2013			<b>1:01:15</b>	2:08:05
2012				2:07:50
2011			1:05:19	2:07:20
2010	13:50.5	<b>27:58.03</b>	1:03:22	
2009	13:37.60			
2008	<b>13:23.70</b>	28:00.98		
2007		28:42.54		

Marathon career				
Year	Time	Race	Place	Date
2:14:43	World Championships – Beijing	6th	22 Aug 2015	
Personal Best	<b>2:06:33</b>	Tokyo	2nd	22 Feb 2015
2:13:25	New York	5th	2 Nov 2014	
2:11:37	London	12th	13 Apr 2014	
2:13:05	New York	12th	3 Nov 2013	
2:09:51	World Championships – Moskva	1st	17 Aug 2013	
2:08:05	London	6th	21 Apr 2013	
2:08:01	Olympic Games – London	1st	12 Aug 2012	
2:07:50	Tokyo	3rd	26 Feb 2012	
2:12:57	World Championships – Daegu	9th	4 Sept 2011	
2:07:20	Enschede	1st	17 Apr 2011	

2015 Results				
Date	Race	Distance	Place	Time
22 Aug	World Championships – Beijing	Marathon	6th	2:14:43
20 June	Mattoni Olomouc Half Marathon	Half marathon	10th	1:03:07
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:06:33

2014 Results				
Date	Race	Distance	Place	Time
2 Nov	New York City Marathon	Marathon	5th	2:13:25
7 Sept	Great North Run – Newcastle to South Shields	Half marathon	3rd	1:01:35
13 July	Great North 10K – Gateshead	10Km	1st	29:39
13 Apr	London Marathon	Marathon	12th	2:11:37
2 Mar	Semi-Marathon de Paris	Half marathon	11th	1:02:51

2013 Results				
Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	New York City Marathon	Marathon	12th	2:13:05
17 Aug	World Championships – Moskva	Marathon	1st	2:08:05
21 Apr	London Marathon	Marathon	6th	2:08:05
3 Mar	Semi-Marathon de Paris	Half marathon	3rd	1:01:34
3 Feb	Mitja Marato de Granollers	Half marathon	1st	1:01:15

2012 Results				
Date	Race	Distance	Place	Time
12 Aug	Olympic Games – London	Marathon	1st	2:08:01
20 May	Bupa Great Manchester Run	10Km	4th	28:19
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:07:50

Only the third runner, after Rosa Mota (POR) and Gezahegne Abera (ETH), to win both the Olympic and World Championships gold medal at the marathon, Stephen Kiprotich is an ultimate championships runner. In 2012 London Olympics, Kiprotich became only the second Ugandan, after John Akii-bua, a 400m Hurdler, to win the Olympic Gold for Uganda. In 2011, twenty-one years old rising star from Uganda, Stephen Kiprotich made an impressive marathon debut at the Enschede Marathon. He recorded 2:07:20, nearly a minute faster than the Japanese debut record. Three and half months later in Daegu, at the 2011 World Championships, Kiprotich was ninth. Kiprotich who started running seriously in 2005 was fifth in the junior division of Ugandan Cross Country Championships, which qualified him for the 2006 World Cross Country Championships in Fukuoka. In his first international race, Kiprotich was 24th. Later, in 2007 and 2008 World Cross Country Championships, he was 19th and 12th, respectively in the junior division. Then in 2008 World Junior Championships, he was fifth at 10000m. In his first senior race in the World Cross Country Championships in 2009, he was only 23rd, but in 2011 he finished respectable sixth. In 2008, Kiprotich recorded the 5000m best of 13:23.70, and in 2010 he recorded 10000m best of 27:58.03. However, for the next eight marathons after his debut, Kiprotich was unable to improve his marathon personal best of 2:07:20 he recorded at his debut. Then finally at the last year's Tokyo Marathon, Kiprotich improved his best to 2:06:33.

It should be noted that not only Kiprotich is supreme at the championships, but he also excels in the marathon immediately preceding the championships. For example, in the 2012 Tokyo Marathon, six month before his Olympic victory, he finished third with 2:07:50, second fastest time of his career at the time. In the 2013 London Marathon, four months before the World Championships win in 2013, Kiprotich ran 2:08:05, third fastest non-championships time up to that time. Thus in 2015, the year of World Championships in Beijing, he was expected to run well in the 2015 Tokyo Marathon. Indeed, Kiprotich improved his personal best by nearly a minute to 2:06:33 in the second place finish. With second consecutive gold medal in the line, Kiprotich was ready and was planning to make his move at 35km. However, at 35km when he tried to make his move, his body did not respond. He was sixth with 2:14:43, slowest marathon time of his career. Since this is an Olympic year, another personal best is expected in Tokyo.

スティーブン・キプロティチは、モタ、アベラに続いて、五輪と世界選手権とのマラソンの両方で金メダルを獲得した3人目の選手で、選手権で力を発揮するランナーだ。2012年のロンドンオリンピックでは、1972年のミュンヘンオリンピックで400mHを世界記録で制したジョン・キーブアに次いで、ウガンダで2人目の五輪金メダリストとなっている。2011年、21歳の伸び盛りだったキプロティチは、エンスヘーデマラソンで初マラソンに挑むと、いきなり2時間7分20秒で優勝。この記録は初マラソン日本記録(2時間8分12秒)を1分近く上回る好タイムだ。そして、その3か月半後の世界選手権テグ大会で9位に入った。

2005年から本格的に走り始めたキプロティチは、2006年にウガンダクロスカントリー選手権のジュニアの部で5位に入り、福岡で行われた世界クロスカントリー選手権の出場権を得た。しかし、初めての国際レースとなったその大会は24位に終わっている。その後2007年、2008年と世界クロカン選手権のジュニアの部に出場し、19位、12位と少しずつ順位を上げると、2008年の世界ジュニア選手権10,000mで5位入賞を果たした。

初めてシニアの部に出場した2009年の世界クロカン選手権は23位に終わったが、2011年の世界クロカン選手権では6位入賞と立派な成績を残した。また、2008年には5000mの自己ベスト13分23秒70を、2010年には10,000mの自己ベスト27分58秒03を記録した。初マラソンでマークした2時間7分20秒という自己記録は、その後の8レースでは更新できなかったが、2015年の東京マラソンでようやく2時間6分33秒まで伸ばすことができた。

選手権に強だけでなく、選手権前のマラソンでも強さを発揮している。例えば、ロンドンオリンピックの6か月前の2012年東京マラソンでは、当時自己2番目の記録となる2時間7分50秒で走った。また、2013年には世界選手権4か月前のロンドンマラソンで、選手権以外で自己3番目の記録となる2時間8分5秒を記録している。さらに、世界選手権北京大会があった2015年には、東京マラソンで期待通りの走りを見せ、自己ベストを1分近く更新し、2時間6分33秒で2位に入っている。

しかし、2連覇がかかっていた2015年の世界選手権は、準備万端で臨み35kmで仕掛けるつもりだったが、その時点でもなぜか体が動かなくなったという。そして、2時間14分43秒で6位と、今までのマラソンで最も遅いタイムに終わってしまった。2回走った東京マラソンは、3位、2位。残すは1位だけだ。オリンピックイヤーだけに、昨年よりもさらに速いタイムが期待される。

## 東京マラソン招待選手—海外男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International men

## No. 08 サムエル・ドゥング (ケニア)

NDUNGU, Samuel (KEN)



DOB : 4 Apr. 1988  
Age : 27  
Height : 167cm  
Weight : 54kg

## Personal Bests

10,000m	27:48.03	-2007
Half marathon	1:00:55	-2011
Marathon	2:07:04	-2012

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015				2:09:08
2014				2:08:21
2013			1:01:48	2:07:26
2012	13:46.37		1:01:57	<b>2:07:04</b>
2011	13:38.14	28:22.55	<b>1:00:55</b>	
2010	13:36.24	27:58.51	1:01:19	
2009	13:36.69	28:08.15	1:01:29	

## Marathon career

Date	Race	Place	Date
	DNF (pace)	Honolulu	DNF (pace) 13 Dec 2015
	2:10:06	Chicago	3rd 11 Oct 2015
	2:09:08	Lake Biwa – Otsu	1st 1 Mar 2015
	2:08:21	Lisboa	1st 5 Oct 2014
	2:09:55	Shanghai	5th 1 Dec 2013
	2:07:26	Chicago	7th 7 Oct 2012
<b>Personal Best</b>	<b>2:07:04</b>	Lake Biwa – Otsu	1st 4 Mar 2012
	DNF (pace)	Lake Biwa – Otsu	DNF (pace) 6 Mar 2011
	DNF (pace)	Lake Biwa – Otsu	DNF (pace) 7 Mar 2010

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
13 Dec	Honolulu Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:10:06
1 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	1st	2:09:08

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Oct	Rock n Roll Maratona Meia Maratona de Lisboa	Marathon	1st	2:08:21

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Shanghai Marathon	Marathon	5th	2:09:55
15 Sept	Meia Maratona SporZone - Porto & Gaia	Half marathon	1st	1:01:48
3 Feb	Meigi Ekiden	Stage 4 - 9.8Km	3rd	27:19

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago Marathon	Marathon	7th	2:07:26
20 May	Gifu Half marathon	Half marathon	2nd	1:01:57
13 May	Chubu corporate team T&F Champ – Gifu	5000m	3rd	13:46.37
2 May	Wakayama GP	5000m	1st	14:14.37
4 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	1st	2:07:04
5 Feb	Meigi Ekiden	Stage 4 – 9.8Km	2nd	26:50

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Nittai University Distance – Yokohama	10000m	2r12	28:27.78
13 Nov	Chubu district Corporate Ekiden – Gero	Stage 2-7,2K	4th	21:28
15 Oct	Shizuoka Distance – Fukuroi	10000m	DNF	DNF
10 Oct	Chubu Corporate team T&F Champ – Tajimi	5000m	2r4	13:38.14
24 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ – Naruto	5000m	7th	13:39.29
24 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ – Naruto	5000m	3h1	14:03.83
15 May	Gifu Half marathon	Half marathon	7th	1:04:20
8 May	Chubu Corporate team T&F Champ – Gifu	5000m	1st	13:57.76
8 May	Chubu Corporate team T&F Champ – Gifu	5000m	1h1	14:48.24
23 Apr	Hyojo Relays – Kobe	10000m	5th	28:22.55
16 Apr	Chukyo University Saturday time trials – Toyota	5000m	3rd	13:54.10
6 Mar	Lake Biwa marathon – Otsu	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)
6 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	1st	1:00:55

Five years after joining the Aichi Steel track team in 2007, Samuel Ndungu made his marathon debut at the 2012 Lake Biwa Marathon. After serving as a pace maker in 2010 and 2011 editions of the Lake Biwa Marathon, Ndungu made his marathon debut in 2012 over the course he is quite familiar. Because of cold rain and wind, the race condition was far from ideal, but surging away from his competitors at 31km aid station, Ndungu won his debut marathon with 2:07:04. It was the second fastest debut marathon time on Japanese soil, behind Samuel Wanjiru's debut time of 2:06:39 from the 2007 Fukuoka Marathon. Ndungu ran five more marathons after his debut in Otsu but he was unable to improve his personal best. However, he ran under 2:10 in four out of five marathons. Only marathon he failed to crack 2:10 was at the 2015 Chicago marathon where the winning time was slow (2:09:25 by Dickson Chumba) because the race was run without the pace makers. In his marathon career Ndungu won three out of six marathons; his worst finish is seventh in the 2012 Chicago Marathon, but in Chicago Ndungu recorded the second fastest time of her career, 2:07:26. Furthermore, those six runners ahead of him in Chicago including Feyisa Lilesa and Bernard Kipyego are truly world class runners. Incidentally Lilesa and Kipyego will be running the Tokyo Marathon also. Breaking away at 31Km again, Ndungu also won the 2015 Lake Biwa Marathon, thus winning the Lake Biwa Marathon for the second time. Although his goal was to run 2:06 marathon, cold windy and rainy day prevented him from running a fast race. However, he won the race by more than two minutes.

Since his 5000m best, 13:28.44, was recorded in the 2008 Golden Games in Nobeoka, while his 10000m best, 27:48.03, was recorded in 2007 in Fukuroi, Ndungu is hardly a speed-star. Ndungu recorded his half marathon best of 1:00:55 when Ndungu won the 2011 Marugame Half Marathon. He also won the 2010 All-Japan Corporate team Half Marathon championships in Yamaguchi with 1:01:19.

For the first time in his career, Ndungu will be running the Japanese marathon other than Lake Biwa. As his two victories in the Lake Biwa Marathon indicate, Ndungu runs well in the cold rainy weather. So if the race day turns miserable in Tokyo, perhaps Ndungu's chance of winning the race may skyrocket.

2007年に愛知製鋼の陸上部に入部し、長い間実業団選手として活躍したサムエル・ドゥングは、2012年のびわ湖毎日マラソンで初マラソンに挑んだ。2010年、2011年と、びわ湖でペースメーカーを務めており、コースは知り尽くしていた。冷たい雨が降る厳しいコンディションのレースだったが、31kmの給水所でスパートし、2時間7分04秒で優勝を果たした。日本国内での初マラソンのタイムとしては、北京五輪の金メダリストであるサムエル・ワンジルが2007年福岡国際マラソンで記録した2時間6分39秒に次ぐ、2番目に速い記録だった。その後は5回マラソンを走っているが、初マラソンで記録した2時間7分04秒を更新できていない。だが、その5回のうち、2時間10分以上時間を要したのは、ペースメーカー不在で優勝タイムが遅かった(チュンバの2時間9分25秒)2015年のシカゴマラソンだけだ。全6回のマラソンで優勝は3回、最も悪くて7位と安定している。その7位に終わったのは2012年のシカゴマラソンだが、記録は2時間7分26秒と自己2番目の好タイムだった。また、彼より速くフィニッシュしたのは、今回の東京マラソンも走るフェイス・リレサやバーナード・キピエゴをはじめとする実力者ばかりだった。

2015年のびわ湖毎日マラソンも、初マラソンと同じ冷たい雨のレースになったが、再び31km過ぎにスパートし、びわ湖で2度目の優勝を果たした。目標にしていた2時間6分台は、当日の悪コンディションに阻まれたが、2位に2分以上の大差を付けて圧勝を飾った。

5000mのベストは2008年のゴールデンゲームズ延岡で記録した13分28秒44で、10,000mのベストは、2007年に袋井で記録した27分48秒03。決してスピードがある選手とはいえないが、ハーフマラソンのベストは2011年の香川丸亀ハーフマラソンを制してマークした1時間00分55秒で、2010年の実業団ハーフマラソンでも1時間1分19秒で優勝している。

今回、ドゥングは、びわ湖以外の日本のマラソンを初めて走る。びわ湖での2回のパフォーマンスが示すように、悪天候で無類の強さを発揮しており、もし冷たい雨のレースになればドゥングの株は急上昇するのではないかと。

## No. 09 ハビエル・ゲラ (スペイン)

GUERRA, Javier (ESP)



DOB : 10 Nov. 1983  
Age : 32  
Height : 173cm  
Weight : 78kg

## Personal Bests

10000m	28:53.03	-2009
Half Marathon	62:22	-2015,2016
Marathon	2:09:33	-2015

## International Championships Highlights

Year	Place	Year	Place
15th in 2013 and 13th in 2015 World Championships			
4th in 2014 Euro Championships			

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2016			<b>1:02:22</b>	
2015			<b>1:02:22</b>	<b>2:09:33</b>
2014			1:02:27	2:12:32
2013			1:04:07	2:12:21
2012	14:08.73	29:21.45		

## Marathon career

Date	Race	Place	Date
	2:17:00	World Championships – Beijing	13th 22 Aug 2015
<b>Personal Best</b>	<b>2:09:33</b>	London	7th 26 Apr 2015
	2:12:32	European Championships – Zurich	4th 17 Aug 2014
	2:14:33	World Championships – Moskva	15th 17 Aug 2013
	2:12:21	La Coruna	1st 21 Apr 2013

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Jan	Mitja Marato Internacional Vila de Santa Pola	Half Marathon	5th	1:02:22

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Dec	Cross Internacional Venta de Banos	10.68km	3rd	33:07
22 Nov	Cross Internacional de Soria	10km	5th	30:28
18 Oct	Great Birmingham Run	Half marathon	4th	1:04:45
22 Aug	World Championships – Beijing	Marathon	13th	2:17:00
26 Apr	London Marathon	Marathon	7th	2:09:33
28 Mar	Medio Maraton Azkoitia-Azpetia	Half marathon	8th	1:02:22
1 Feb	Mitja Marato de Granollers	Half marathon	2nd	1:02:44
25 Jan	Cross Internacional Juan Muguerza – Elgoibar	10.796km	8th	33:52
18 Jan	Cross Internacional de Itatica – Seville	10.8km	9th	33:44

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
31 Dec	San Silvestre Valedcana – Madrid	10Km	6th	28:53
21 Dec	Cross Internacional Venta de Banos	10.68km	7th	35:36
14 Dec	Cross Fiestas de la Virgen – Yecla	10km	2nd	30:19
6 Dec	Cross Internacional de la Constitucion – Burgos	9.985km	2nd	28:31
30 Nov	Cross Internacional de la Constitucion – Alcobendas	10Km	13th	30:12
17 Aug	European Championships – Zurich	Marathon	4th	2:12:32
18 May	Great Manchester Run	10km	7th	29:33
7 Apr	Great Ireland Run – Dublin	10Km	7th	30:25
29 Mar	World Half Marathon Championships – Kobenhavn	Half marathon	38th	1:02:27
16 Mar	Campeonato de Espana de Campo a Traves – Merida	12Km	11th	35:00
23 Feb	Campeonato de Espana Absoluto de Medio Maraton – La Coruna	Half marathon	2nd	1:03:09
2 Feb	Almond Blossom Cross Country – Albufeira	9.85km	5th	29:32
19 Jan	Cross Internacional de Itatica – Seville	10.8km	5th	32:29
12 Jan	Cross Internacional Juan Muguerza – Elgoibar	10.796km	6th	32:34
5 Jan	Cross Internacional Zornotza – Amorebieta	10.7km	4th	33:49

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
31 Dec	San Silvestre Valedcana – Madrid	10Km	4th	29:10
15 Dec	Cross Internacional Venta de Banos	10.575km	5th	32:48
8 Dec	European Cross Country Championships – Beograd	10km	42nd	30:48
17 Nov	Cross de Atapuerca – Burgos	9.807km	10th	29:27
17 Aug	World Championships – Moskva	Marathon	15th	2:14:33
9 June	Meeting of Albacete	Half marathon	2nd	1:04:16
21 Apr	Maraton a Coruna	Marathon	1st	2:12:21
23 Mar	Medio Maraton Azkoitia-Azpetia	Half marathon	7th	1:04:07
24 Feb	Campeonato de Espana Campo a Traves Por Clubes	11.5km	9th	32:14
3 Feb	European Champion Club Cup Cross Country – Castellon	10km	10th	29:39
20 Jan	Cross Intercional de Itatica – Seville	10.8km	8th	32:36
13 Jan	Cross Internacional Juan Muguerza – Elgoibar	10.796km	6th	33:43
6 Jan	Cross Internacional Zornotza – Amorebieta	10.7km	6th	32:59

Fourth in the 2014 European Championships marathon in Zürich, Javier Guerra also ran the World Championships Marathon twice and finished 15th in 2013 and 13th in 2015. He made his marathon debut in April of 2013 at the La Coruna Marathon and won with 2:12:21. Later he ran in the 2013 World Championships and the 2014 European Championships but Guerra was unable to improve his personal best. Guerra finally improved his personal best at the 2015 London Marathon. He was only seventh, but he cracked 2:10 marathon barrier for the first time with 2:09:33. Incidentally, the runners who finished ahead of him including Kipchoge, Kipsang and Kimetto are all world class runners.

Since his 5000m best, 13:46.12, recorded in 2007, his 10000m best, 28:53.03, recorded in 2009 and his 10Km road best, 28:39, recorded in 2009, are not exceptional, Guerra is not endowed with speed. In the 2002 World Junior Championships, Guerra was 15th in 5000m. However, he never ran in any other track events at the World Championships. He ran in the World Cross Country Championships only once in 2010 and finished 79th. His half marathon best, 1:02:22 was recorded in 2015 and he was 38th in the 2014 World Half Marathon Championships. Last month, Guerra matched his half marathon personal best in Santa Pola.

Guerra has not run in the Olympics yet. Last year, Guerra was the fastest Spaniard, and third fastest European at the marathon. In Tokyo Marathon, can Guerra run the time worthy of the Olympian?

2014年の欧州選手権のマラソンで4位に入ったハビエル・ゲラは、世界選手権でも2回マラソンを走り、2013年に15位、そして2015年に13位に入っている。

2013年4月にラ・コルナマラソンで初マラソンに挑み、2時間12分21秒で優勝。その後は2013年世界選手権、2014年欧州選手権を走ったが、自己ベストは更新できないでいた。ようやく自己ベストを更新したが、2015年のロンドンマラソン。7位だったが、2時間9分33秒と初めて2時間10分の壁を破った。彼の前にフィニッシュしたのは、キプチョゲ、キプサング、キメットといった超一流のマラソンランナーばかりだった。

5000mのベストは2007年に記録した13分46秒12で、10,000mのベストは2009年に記録した28分53秒03。10kmロードの記録も2009年に記録した28分39秒で、スピードに恵まれたランナーとはいえない。2002年の世界ジュニア選手権では、5000mで15位に入っているが、それ以外は世界選手権などにトラック種目での出場はない。世界クロスカントリー選手権の出場も2010年の1回だけで、79位だった。ハーフマラソンのベストは2015年に記録した1時間2分22秒で、2014年の世界ハーフマラソン選手権では38位に入っている。今年の1月には、サンタポラのハーフマラソンで自己ベストと並ぶタイムを叩き出している。

いまだオリンピックに出場したことはないが、2015年はスペインでも速いタイム、ヨーロッパでは3番目のタイムを記録している。東京マラソンではオリンピック代表にふさわしいタイムを期待したい。

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Dec	Euro Cross Country Champ – Budapest	9880m	8th	30:22
18 Nov	Cross Internacional de Soria	10km	9th	31:30
11 Nov	Cross de Atapuerca – Burgos	9807m	14th	29:11
21 July	Gert Rassaert Memorial – Ninove	5000m	20th	14:08.73
8 July	Meeting Ciutat de Mataro	5000m	13th	14:11.35
24 Mar	Trofeo Iberico – Lisboa	10000m	14th	29:21.45
10 Mar	10km Villa de Laredo	10Km	3rd	28:51
4 Mar	Campeonato de Espana de Campo a Traves- Gijon	12km	2nd	38:49
5 Feb	Euro Champ Clubs Cup Cross Country – Castellon	10km?	4th	28:41
22 Jan	Cross Internacional Juan Muguerza – Elgoibar	10796m	5th	33:29
15 Jan	Cross Internacional de Itatica – Seville	10.8km	12th	32:01
7 Jan	Great Edinburgh Cross Country – Edinburgh	8Km	6th	26:00

## 東京マラソン招待選手—海外男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International men

## No. 10 テクレマリアム・メディン (エリトリア)



DOB : 24 Jun. 1989  
Age : 26  
Height : 188cm  
Weight : 66kg  
Personal Bests  
5000m 13:04.55 -2010  
10000m 27:16.69 -2012  
Half marathon 61:47 -2014

## International Championships Highlights

10000m
32nd in 2008 & 7th in 2012 Olympics; 12th in 2009 & 19th in 2015 World Championships
5000m
15th in 2009 World Championships
World Cross Country Championships
9th in 2009, 2nd in 2010, 14th in 2011, 3rd in 2013 & 17th in 2015

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015		28:39.26		
2014		27:38.83	1:01:47	
2013	13:32.86	27:19.97	1:01:55	
2012	13:17.25	27:16.69		

## Making Marathon Debut

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Jan	Cross Internacional de Itatica	10.846Km	2nd	31:09

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
22 Aug	World Championships – Beijing	10000m	19th	28:39.26
24 July	Meeting Mini Estadio Anoeta – San Sebastian	10000m	8th	28:48.27
10 June	Huelva Meeting Iberoamericano de Atletismo	5000m	DNF	DNF
30 May	Prefontaine Classic – Eugene	10000m	DNF	DNF
28 Mar	World Cross Country Championships – Guiyang	12Km	17th	36:24
25 Jan	Cross Internacional Juan Muguerza – Elgoibar	10.796Km	1st	33:02
18 Jan	Cross Internacional de Itatica – Seville	10.8Km	1st	32:28

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Cross Internacional de Soria	10Km	2nd	30:02
16 Nov	Cross de Atapuerca – Burgos	9807m	4th	28:10
5 Oct	Rock n Roll Maratona e Meia Maratona de Lisboa	Half marathon	6th	1:03:34
21 Sept	Rock n Roll Philadelphia Half marathon	Half marathon	6th	1:03:02
30 May	Prefontaine Classic – Eugene	10000m	8th	27:38.83
16 Mar	Meia-Maratona Internacional de Lisboa	Half marathon	4th	1:01:47

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Nov	Cross Internacional de la Constitución – Alcobendas	9.5Km	2nd	28:01
17 Nov	Cross de Atapuerca – Burgos	9807m	3rd	29:01
6 Oct	Rock n Roll Portugal Half marathon – Lisboa	Half marathon	3rd	1:02:05
1 Sept	Luanda International Half Marathon	Half marathon	6th	1:04:35
10 Aug	World Championships – Moskva	10000m	DNF	DNF
4 July	Athletissima – Lausanne	5000m	11th	13:32.86
31 May	Prefontaine Classic – Eugene	10000m	7th	27:19.97
6 Apr	Hervis Prague Half Marathon – Praha	Half marathon	9th	1:01:55
24 Mar	World Cross Country Champ – Bydgoszcz	12Km	3rd	32:54

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Cross Internacional de la Constitución – Alcobendas		1st	28:23
11 Nov	Cross de Atapuerca – Burgos	9807m	4th	28:10
4 Aug	Olympic Games – London	10000m	7th	27:34.76
7 June	Bisbett Games – Oslo	5000m	15th	13:17.25
27 May	FBK Games – Hengelo	10000m	5th	27:16.69
18 Mar	African Cross Country Champ – Cape Town	12km	2nd	35:50
8 Jan	Cross Internacional Zornotza – Amorebieta	10.7km	5th	32:50

Medhin Teklemariam, whose 5000m best is 13:04.55 recorded in the 2010 Roma Golden Gala, and 10000m best is 27:16.69 recorded in the 2012 FBK Games in Hengelo, will be making his marathon debut in Tokyo. In the Tokyo Marathon, several Japanese including Hattori and Murayama will be making highly anticipated marathon debut. Teklemariam is also a notable marathon debutante. His best championships finishes are seventh at 10000m in the London Olympics, second in the 2010 World Cross Country Championships and third in the 2013 World Cross Country Championships, all respectable results. From his junior days, Teklemariam has run the World Cross Country Championships every year. In 2006 and 2007 he was 13th and 14th, respectively in the junior division. He ran the senior races starting in 2008 and finished 23rd, ninth, second, 14th, third and 17th in the successive years. In the World Cross Country Championships, not only Medhin won the individual medals twice, but he also contributed to the team medals for Eritrea. As for the championships on the track, he was 12th at 5000m in the 2006 World Junior Championships. Although he was still a junior runner, Teklemariam ran the 10000m in the 2008 Olympics. In the 2009 World Championships, he ran both the 5000m (15th) and 10000m (12th); he also ran 10000m (19th) in the 2015 World Championships. His best championships performance on the track is at 10000m in the 2012 Olympic where he was quite respectable seventh. All six runners who finished ahead of him – Farah, Rupp, Bekele brothers, Karoki and Tadesse – are all world class runners.

It is often said that good performances in the World Cross Country Championships lead to good performances at the marathon. For example, Carlos Lopes, who won the Olympic gold and set the world best at the marathon, was two-time World Cross Country Champion. Paul Tergat, who set marathon world record, won the World Cross Country Championships five times. However, there is counterexample. For example, Zersenay Tadesse, who has won the World Cross Country Championships, failed to succeed at the marathon. The intriguing question is: how would Teklemariam fare at the marathon?

5000m13分04秒55(2010年ローマ・ゴールデンギャラ)、10,000m27分16秒69(2012年ファン・ブランカ・クーン・ゲームズ)の自己記録を持つテクレマリアム・メディンが、東京で初マラソンに挑む。日本選手では、村山謙太、服部勇馬など注目の初マラソン組がいるが、海外選手でもテクレマリアムの初マラソンに注目だ。

選手権での戦績には、ロンドンオリンピック10,000m7位がある。また、世界クロスカントリー選手権では2010年に2位、2013年も3位と上々の結果を残している。世界クロカン選手権にはジュニア時代から何度も出場しており、2006年と2007年にはジュニアの部で13位、14位に入っている。2008年からはシニアの部に出場し、23位、9位、2位、14位、3位、17位と、個人で2度メダルを獲得している上、エリトリアチームの団体メダル獲得にも貢献している。トラックでも2006年には世界ジュニア選手権の5000mに出場し12位。2008年にはジュニアながら北京五輪で10,000mを走っている。2009年の世界選手権には5000m(15位)と10,000m(12位)の両種目に出場。2015年の世界選手権でも10,000m(19位)に出場している。特筆すべきはロンドン五輪10,000m7位の成績だ。上の6人は、ファラー、ラップ、ベケレ兄弟、カロキ、タデッセと、全員が超一流の選手だった。

世界クロカン選手権での好成績は、マラソンでの好成績に繋がると思われる。例えば、マラソンで金メダルを獲得し、世界記録も樹立したカーロス・ロープシュ(ポルトガル)は、世界クロカン選手権で2度優勝している。また、かつてマラソンの世界記録を樹立したポール・テルガト(ケニア)は世界クロカン選手権で5連勝をしている。その一方で、セルセナイ・タデッセ(エリトリア)のように世界クロカン選手権で優勝しているが、マラソンでは結果を残せていない選手がいるのも事実だ。テクレマリアムは、どちらのタイプの選手だろうか。

## 東京マラソン招待選手—国内男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – Domestic men

## No. 21 今井 正人 (福岡・トヨタ自動車九州)



DOB : 2 Apr. 1984  
Age : 31  
Height : 169cm  
Weight : 56kg  
Personal Bests  
5000m 13:47.15 -2014  
10000m 28:18.15 -2010  
Half marathon 1:02:37 -2005  
Marathon 2:07:39 -2015

## International Championships Highlights

World Cross Country Championships
25th in junior division in 2002, 63rd in 2006
3000m
15th in 2001 World Youth Championships
World Half Marathon Championships
21st in 2010

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015	14:04.42	28:52.84		2:07:39
2014	13:47.15	28:32.75	1:03:55	2:09:30
2013	13:51.14	28:27.69	1:03:24	2:10:29
2012	14:05.31	28:29.29		2:17:50
2011	13:58.76	28:48.09	1:04:21	2:10:32
2010	14:12.31	28:18.15	1:03:28	2:13:23
2009	13:55.65	28:57.36	1:03:33	
2008	14:24.64	29:14.41		2:18:34
2007	14:05.70	28:44.27		
2006	14:03.88	28:57.93		
2005			1:02:37	

## Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
2:07:39		Tokyo	7th	22 Feb 2015
2:14:36		New York	7th	2 Nov 2014
2:09:30		Beppu-Oita	2nd	2 Feb 2014
2:10:45		New York City	6th	3 Nov 2013
2:10:29		Tokyo	11th	24 Feb 2013
2:17:50		Lake Biwa Marathon	42nd	4 Mar 2012
2:10:32		Fukuoka Marathon	4th	4 Dec 2011
2:10:41		Lake Biwa Marathon	6th	6 Mar 2011
2:13:23		Fukuoka Marathon	5th	5 Dec 2010
2:18:34		Hokkaido marathon – Sapporo	10th	31 Aug 2008

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 – 15.8km	2nd	47:09

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	3r1	46:36
27 June	Yamaguchi Night meet	5000m	2r5	14:04.42
16 May	Kyushu Corporate team T&F	10000m	17r3	28:52.84
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	7th	2:07:39
1 Jan	New Year Ekiden	Stage – 22Km	2nd	1:03:01

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Kosa 10 Miler	10 Miles	5th	46:37
2 Nov	New York City Marathon	Marathon	7th	2:14:36
28 Sept	Omuta 10 Mile (Fukuoka Champ)	10 Miles	3rd	49:29
20 July	Shibetsu Half marathon	Half marathon	1st	1:04:07
7 June	JPN Athletics Championships – Fukushima	10000m	17th	28:52.04
17 May	Kyushu Corporate team T&F Champ – Kitakyushu	10000m	5th	28:34.75
10 May	Golden Games – Nobeoka	5000m	2rB	13:47.15
29 Apr	Nobeoka Spring Time Trials	5000m	7th	13:59.58
20 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	12th	28:32.75
5 Apr	Kanaguri Distance – Kumamoto	5000m	13r5	14:01.54
2 Feb	Beppu-Oita marathon	Marathon	2nd	2:09:30
19 Jan	Okukuma Road race	Half marathon	5th	1:03:55
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	2nd	1:03:44

A superstar of famed Hakone Ekiden, having set three stage bests including two new stage records over the tough uphill fifth stage, Masato Imai was expected to be a next great marathon runner. He fulfilled that expectation in the 2015 Tokyo Marathon when he ran 2:07:39, thus finally surpassing the personal best of his coach Koichi Morishita. The 1992 Olympic marathon silver medalist, Koichi Morishita coached the 2008 Olympic marathon champion Samuel Wanjiru in his early professional career. Imai's marathon debut at the 2008 Hokkaido Marathon was a much anticipated event. However, his 2:18:34 marathon in Sapporo left a lot to be desired. In his next marathon, the 2010 Fukuoka Marathon, Imai improved his marathon best by more than five minutes to 2:13:23, but the time was still not what was expected of him. However, his aggressive running in Fukuoka was highly regarded by experts. Imai improved his marathon best in each of his next two marathons, to 2:10:41 in the 2011 Lake Biwa marathon and then to 2:10:32 in the 2011 Fukuoka marathon. He did not improve his time in every race, however, slowly but surely Imai improved his marathon personal best. In the 2013 Tokyo Marathon, he improved his best to 2:10:29, and then in the 2014 Beppu-Oita Marathon, Imai finally cracked 2:10 for the marathon with 2:09:30. However, his marathon potential calls for faster marathon, which he finally fulfilled in the 2015 Tokyo Marathon. With the performance in the Tokyo Marathon last year, Imai was selected to run in the World Championships in Beijing. Unfortunately, he came down with an illness a month before the championships, and thus forced to miss the best opportunity to show his potential. He slowly came back and by the end of the last year, Imai ran Kosa 10 Miler and finished third with 46:36. Every year since 2010, Imai was either first or second fastest in the New Year Ekiden and this year was no exception. Imai seemed to be back in form and thus 31 years old Imai will make his, perhaps the last, attempt to make the Olympic Marathon team. Imai said, the reason why he finally succeeded at the marathon in his 10th marathon of his career is because he was able to train consistently for years without being disrupted with injury. Unfortunately, his training was disrupted from last summer to the fall. How would that missed training affect his marathon in Tokyo?

今井正人は、順天堂大学時代に箱根駅伝で名を馳せた。箱根駅伝の5区・山の上りで2回の区間新を含む3回連続の区間賞を獲得し、日本マラソン界を背負うランナーとして期待が集まっていた。その期待がようやく現実のものとなったのは、昨年の東京マラソンだった。自己ベストを大幅に更新し、2時間7分39秒の好記録をマーク。指導を受ける森下広一監督の自己ベスト2時間8分53秒をも越えた。

順天堂大学卒業後はトヨタ自動車陸上部に入部。バルセロナ五輪マラソンの銀メダリストで、北京五輪金メダリストでもあるサミュエル・ワンジルを育てた、森下広一監督の指導を受けており、今井への期待はさらに拍音が上がった。2010年北海道マラソンで挑んだ初マラソンは大きな注目を集めたが、2時間18分34秒で10位と期待はずれの結果に終わった。2度目のマラソンとなった2010年の福岡国際マラソンでは自己記録を5分以上更新し2時間13分23秒で走ったが、これもまだまだ期待の高さには見合わないタイムだった。だが、その一方でこの福岡では積極的な姿勢が高く評価された。続く2011年のびわ湖毎日マラソンは2時間10分41秒、そして2011年福岡国際マラソンは2時間10分32秒と2レース連続で自己ベストを更新した。その後も毎回ではないものの、確実に自己ベストを更新している。

初めての東京マラソンで自己ベストを2時間10分29秒に伸ばすと、2014年の別大マラソンでは、初めてのサブ10となる2時間9分30秒を記録した。しかし、まだまだ彼が期待されるタイムには程遠かった。今井がその才能に見合うタイムをようやく出したのが、前記の通り、昨年の東京マラソンだ。東京での成績によって世界選手権北京大会のマラソン代表を射止めた。しかし、大会1カ月前に髄膜炎で緊急入院、代表辞退を余儀なくされた。

今井のカムバックには時間を要したが、11月末の甲佐10マイルでは46分36秒で3位と好成績を取った。また、2010年以来ニューイヤー駅伝では区間1位か2位を記録しているが、今年も例外ではなかった。現在31歳の今井は、最後になるかもしれない五輪代表へのチャンスをもつために今回の東京マラソンを走る。昨年は10回目のマラソンでようやく期待された結果を出したが、「故障なしで練習を継続できたことが大きい」と言う。昨年の夏から秋にかけて長く練習を休むことになってしまったが、その影響はどう出るだろうか?

## 東京マラソン招待選手—国内男子

## No. 22 藤原 新 (東京・ミキハウス)

FUJIWARA, Arata (JPN)



DOB : 12 Sep. 1981  
Age : 34  
Height : 167cm  
Weight : 54kg

## Personal Bests

5000m	13:41.35	-2006
10000m	28:41.05	-2009
Half marathon	1:01:34	-2012
Marathon	2:07:48	-2012

## International Championships Highlights

Marathon
61st in 2009 World Championships; 45th in 2012 Olympic Games

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2016			1:02:57	
2015	14:08.40		1:03:46	2:11:50
2014			1:05:42	2:25:11
2013			1:02:44	
2012	13:54.83	29:00.98	<b>1:01:34</b>	<b>2:07:48</b>
2011	14:04.38			2:29:21
2010	14:10.80			2:09:34
2009		<b>28:41.05</b>	1:07:00	2:31:06
2008			1:03:44 (en route to marathon)	2:08:40
2007	13:49.70	28:52.84	1:02:29	2:38:37
2006	<b>13:41.35</b>	28:56.70	1:02:17	

## Marathon career

Date	Race	Time	Place	Date
		2:11:50	1st	20 Dec 2015
		2:17:05	1st	1 Nov 2015
	Hokkaido - Sapporo	2:16:49	1st	30 Aug 2015
	Tokyo	2:19:40	37th	22 Feb 2015
	Brisbane	2:25:11	15th	6 July 2014
	Tokyo	2:30:58	76th	23 Feb 2014
	Fukuoka	DNF	DNF	1 Dec 2013
	Fukuoka	2:09:21	4th	2 Dec 2012
	Olympic Games - London	2:19:11	45th	12 Aug 2012
	Tokyo	<b>2:07:48</b>	2nd	26 Feb 2012
	Tokyo	2:29:21	57th	27 Feb 2011
	New York	DNF	DNF	7 Nov 2010
	Ottawa	2:09:34	1st	30 May 2010
	Tokyo	2:12:34	2nd	28 Feb 2010
	WC - Berlin	2:31:06	61st	22 Aug 2009
	Fukuoka	2:09:47	3rd	7 Dec 2008
	Chico	2:23:10	16th	12 Oct 2008
	Tokyo	2:08:40	2nd	17 Feb 2008
	Otsu (Lake Biwa)	2:38:37	85th	4 Mar 2007

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Feb	Marugame half Marathon	Half Marathon	36th	1:02:57

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Dec	Hofu Marathon	Marathon	1st	2:11:50
15 Nov	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	DNF	DNF
1 Nov	Toyama Marathon	Marathon	1st	2:17:05
30 Aug	Hokkaido Marathon - Sapporo	Marathon	1st	2:16:49
7 Aug	Towada Hachimantai Ekiden	Stage 1 - 13.6Km	5th	41:18
16 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	5000m	32R	14:41.23
12 July	Hokuren Distance Challenge - Kitami	5000m	21R	14:08.40
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	37th	2:19:40
1 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	57th	1:03:46

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 July	Gold Coast Marathon - Brisbane	Marathon	15th	2:25:11
18 May	Gifu Seiryu half marathon	Half marathon	53rd	1:10:42
11 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	19th	1:05:42
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	76th	2:30:58
2 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	140th	1:09:09

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Fukuoka marathon	Marathon	DNF	DNF
29 Sept	Hakodate Half Marathon	Half marathon	1st	1:04:19
15 Sept	Great North Run - Newcastle to South Shields	Half marathon	4th	1:02:44

For Arata Fujiwara, Tokyo Marathon was often a turning point of his marathon career. Fujiwara ran Tokyo Marathon five times, and although his performances were dismal in both 2011 & 2014 edition of the races, in other three races, Fujiwara was second each time. Furthermore, Fujiwara set his marathon personal best twice, in 2008 and 2012 Tokyo Marathon. Virtual unknown before his second marathon, the 2008 Tokyo Marathon, which was his first Tokyo Marathon appearance, Arata Fujiwara shocked everyone when he finished second with a huge personal best of 2:08:40. On the strength of this race, Fujiwara was selected as an alternate for the Olympic marathon team. Although one of the marathon team members, Osaki, pulled out of the race in the last minute, Fujiwara did not get a chance to run in the Olympics. He had to wait four long years for another chance. In the 2012 Tokyo Marathon, Fujiwara was superb. He set another marathon personal best, 2:07:48. It was first sub-2:08 marathon by Japanese in five years. This time, Fujiwara was selected for the Olympic Marathon team. However, he was dismal 45th in the London Olympic Games. He also ran poorly in the 2009 World Championships in Berlin, where he was 61st. In short, Fujiwara ran six marathons oversea but ran well only once, in the 2010 Ottawa marathon. However, in 2013, Fujiwara ran the Great North Run (half marathon) and finished fourth behind three legends - Kenenisa Bekele, Mo Farah and Haile Gebrselassie. However, after winning the 2013 Hakodate Half Marathon in September of 2013, Fujiwara did not run a good race for a few years. In the 2014 Tokyo Marathon he was 76th, while last year Fujiwara was 37th in Tokyo. Then in August of 2015, Fujiwara finally won the race, at Hokkaido Marathon in Sapporo. Later in the year, in December, Fujiwara also won the Hofu Marathon with the time of 2:11:50, his fastest time since the 2012 Fukuoka Marathon. Comparing the results before the Tokyo Marathon in 2014 and 2015, Fujiwara has recorded much better racing results this year. Fujiwara ran his personal best in the 2012 Tokyo Marathon, while he ran the second fastest time of his career in the 2008 Tokyo Marathon. In short, Fujiwara ran his best at the Tokyo Marathon in the Olympic year. This is another Olympic year, and thus good result is expected for Fujiwara.

藤原新にとって、東京マラソンはたびたび転機レースとなっていた。これまで東京マラソンを5回走っているが、2011年と2014年に下位に沈んだのを除いて、2位が3回ある。また、2008年、2012年と2度も東京マラソンで自己ベストを更新しているのだ。2008年初めはほとんど名前を知られていなかったが、2度目のマラソンとなった東京マラソンで2時間8分40秒と大幅に自己記録を塗り替え2位に入り、周囲を驚かした。その結果で北京五輪の代表補欠に選ばれたが、大会直前に代表の大崎が欠場を表明したものの、藤原にその役割は回ってこなかった。五輪で走るために、4年の年月を待つことに。そして迎えたのが2012年の東京マラソンだった。藤原は2時間7分48秒と4年ぶりに自己ベストを更新。日本人では5年ぶりの2時間7分台で、文句なしの五輪代表となった。しかし、念願の五輪代表に選ばれたものの、ロンドン五輪では45位に沈んだ。2009年に走ったベルリン世界選手権でも61位に終わっており、海外のレースでは振るわないことが多い。海外マラソンは6回走っているが、満足のいく結果を残せたのは優勝した2010年のオタワマラソンだけだろう。だが、2013年9月のグレートノースラン(ハーフマラソン)では3人の伝説ランナー、ケネニサ・ベケレ、モファラ、そしてハイレ・ゲブレシラシエに次いで4位に入っている。しかし、2013年9月に函館ハーフマラソンで優勝してからは、失敗レースが続いた。一昨年の東京マラソンは76位、昨年は37位と振るわなかった。

藤原が、函館ハーフマラソン以来の優勝を果たしたのが2015年北海道マラソンだった。その後、12月の防府マラソンでも2時間11分50秒と、2012年福岡国際マラソン以来久々の好タイムで優勝している。直近のレース結果を見ると、2014年、2015年の東京マラソンの前よりも、今回のほうがはるかに好成績を残している。五輪イヤーの東京マラソンでは、2012年に自己ベスト、2008年に自己2番目の記録と、藤原は毎回好走を見せている。そして今年は五輪の年、今回も好成績を収めるか?

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	4th	2:09:21
12 Aug	Olympic Games - London	Marathon	45th	2:19:11
20 July	Ageriseelauf	14.5Km	2nd	41:41.7
1 July	Sapporo Half marathon	Half marathon	6th	1:02:48
27 June	Hokuren Distance Challenge - Fukagawa	5000m	7R	13:54.83
23 June Hoku	Hokuren Distance Challenge - Shibetsu	10000m	5R	29:00.98
23 June	Hokuren Distance Challenge - Shibetsu	10000m	1R	29:08.00
28 May	Bupa London 10000	10Km	2nd	29:24
20 May	Gifu Seiryu Half marathon	Half marathon	6th	1:03:05
13 May	Sendai Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:03:32
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:07:48
5 Feb	Marugame Half marathon	Half marathon	6th	1:01:34

## Tokyo Marathon Invited Athletes - Domestic men

## No. 23 松村 康平 (長崎・三菱日立パワーシステムズ長崎)

MATSUMURA, Kohei (JPN - Mitsubishi Hitachi Power Systems)



DOB : 25 Nov. 1986  
Age : 29  
Height : 176cm  
Weight : 59kg

## Personal Bests

5000m	13:48.14	-2015
10000m	28:27.04	-2013
Half marathon	1:03:21	-2011
Marathon	2:08.09	-2014

## International Championships Highlights

Marathon
2nd in 2014 Asian Games

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015	13:50.05	28:35.00	1:04:41	2:16:08
2014	<b>13:48.14</b>	28:38.80		<b>2:08:09</b>
2013	13:58.34	<b>28:27.04</b>		<b>2:10:02</b>
2012	13:59.68	29:14.48		2:11:18
2011	14:08.90	28:44.18	<b>1:03:21</b>	

## Marathon career

Date	Time	Race	Place	Date
	2:16:08	Tokyo	25th	22 Feb 2015
	2:12:39	Asian Games - Incheon	2nd	3 Oct 2014
	<b>2:08:09</b>	Tokyo	8th	23 Feb 2014
	2:10:02	Lake Biwa - Otsu	7th	3 Mar 2013
	2:11:18	Beppu-Oita	4th	5 Feb 2012

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 - 15.8km	12th	48:47

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Kosa 10 Milier	10 Miles	7th	46:41
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden - Fukuoka to Kitakyushu	Stage 7 - 14.2km	4th	42:48
17 Oct	Saga Distance	10000m	7R	29:05.44
25 Sept	JPN Corporate team T&F Champ	10000m	36th	29:18.55
26 July	Shibetsu Half Marathon	Half marathon	5th	1:04:41
9 July	Hokuren Distance Challenge - Fukagawa	10000m	15th	28:35.00
5 July	Hokuren Distance Challenge - Shibetsu	5000m	5th	13:35.05
6 June	Night Distance	5000m	28R	14:16.32
9 May	Golden games Nobeoka	5000m	3R	13:54.10
3 May	Nagasaki Night Time Trials	10000m	1st	29:15.66
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	25th	2:16:08
18 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden - Hiroshima	Stage 7 - 13km	11th	38:13
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 - 22km	21st	1:05:12

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Kosa 10 Milier	10 Miles	15th	46:47
23 Dec	Kyushu Corporate team Ekiden - Fukuoka	Stage 5 - 9.2km	7th	27:17
3 Oct	Asian Games - Incheon	Marathon	2nd	2:12:39
25 June	Hokuren Distance Challenge - Fukagawa	10000m	20R	28:55.29
7 June	JPN Athletics Championships - Fukushima	10000m	23rd	28:57.18
17 May	Kyushu Corporate team T&F Champ - Kitakyushu	10000m	7R	28:38.80
10 May	Golden Games in Nobeoka	5000m	3R	13:48.14
29 Apr	Nobeoka Spring time trials	5000m	4th	13:57.48
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	8th	2:08:09
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 - 22km	14th	1:05:31

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Kosa 10 Milers	10 Miles	9th	47:21
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage 4 - 12.2km	2nd	35:13
2 Nov	Grand Tour Kyushu - day 7	Stage 4 - 18km	1st	52:40
30 Oct	Grand Tour Kyushu - day 4	Stage 2 - 13.8km	1st	40:58
27 Oct	Grand Tour Kyushu - Day 1	Stage 3 - 14km	1st	41:01
28 Sept	Nagasaki Night meet	10000m	1st	29:02.73
20 Sept	All JPN Corporate team T&F Champ	10000m	15th	28:58.91
14 Sept	Chugoku Corporate team Time Trials	5000m	7R10	14:04.42
30 June	Hokuren Distance Challenge - Fukagawa	10000m	15R	28:27.04
26 June	Hokuren Distance Challenge - Shibetsu	5000m	9th	13:58.34
1 June	Sayagatani Time Trials	5000m	4R12	14:01.21
18 May	Kyushu Corporate team T&F Champ	10000m	9R	28:52.97
11 May	Golden Games in Nobeoka	5000m	3R	13:58.47
29 Apr	Spring Nobeoka Time Trials	5000m	2R	13:59.50
3 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	7th	2:10:02
20 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden - Hiroshima	Stage 7 - 13km	14th	38:41

In the 2014 Tokyo Marathon, Kohei Matsumura held on to a very fast pace and eventually finished eighth with 2:08:09, which is nearly two minutes improvement of his personal best. Since his 10000m best, 28:27.04 recorded in the Hokuren Distance Challenge in 2013, is similar to the 10000m best (28:26.98) by Takayuki Inubushi, former national marathon record holder, Matsumura was expected to run a 2:08 marathon, and indeed he ran 2:08:09 in Tokyo. He was the highest finishing Japanese in the Tokyo Marathon two year ago and thus selected to represent Japan in the 2014 Asian Games. Little more than seven months after the Tokyo Marathon, in Incheon, Matsumura missed a gold medal by one second but won a silver medal at the Asian Games. Matsumura, who made his marathon debut in the 2012 Beppu-Oita Marathon and finished fourth with 2:11:58, ran the 2013 Lake Biwa marathon for his second marathon and finished seventh in 2:10:12. It was more than a minute and half improvement of his personal best. In the 2013 Hokuren Distance Challenge, Matsumura improved the 10000m best to 28:27.04 and the 5000m best to 13:58.34. Following year, in 2014, Matsumura further improved his 5000m best to 13:48.14. His speed has improved. His half marathon best of 1:03:21 has not improved since 2011, but that is because he ran only one half marathon after 2011. In the 2014 New Year's Ekiden, Matsumura covered the 22km stage in 1:05:31, while in 2015 he covered the same stage in 1:05:12. In the 2013 Kosa 10 miler, Matsumura ran 47:21, while in the 2014 Kosa 10 miler, he ran 46:47. Both are improvement, albeit slight improvement, so Matsumura seemed to be in better form in 2015 compared to 2014. In the 2015 Tokyo Marathon, with the World Championships marathon team berth on the line, Matsumura was shooting for 2:07 marathon. Unfortunately, Matsumura started to drift back early around 12km and finished in dismal 25th with 2:16:08. Since his training was going well, only possible explanation was lack of proper recovery. Last November, Matsumura ran Kosa 10 miler again and although he was only ninth, his time was fastest in the last five years. As 29 years old, this is the best year for Matsumura to make the Olympic marathon team. Learning a lot from the last year's failure, Matsumura is expected to run better than two years ago.

2014年の東京マラソン、松村康平は高速ペースに付いていき、最終的には自己ベストを2分近く更新する2時間8分09秒で8位に入った。松村が2013年のホクレン・ディスタンスチャレンジでマークした10,000mの自己ベスト28分27秒04は元日本記録保持者の犬伏孝行の自己ベスト(28分26秒98)とほぼ同じ。それだけに2時間8分台の記録は狙えるだろうと思われていたが、一昨年の東京マラソンでその目標タイムを叩き出した。そのレースで日本人1位だった松村はアジア大会アジア代表に決定。そして、その7カ月後に韓国・仁川で行われたアジア大会では、1秒差で金メダルを逃したものの、銀メダルを獲得している。

松村は、2012年別大マラソンで初マラソンを走り、2時間11分58秒で4位に入った。2度目のマラソンとなった2013年びわ湖毎日マラソンでは2時間10分12秒で7位と、1分半以上自己ベストを更新している。2013年には、ホクレン・ディスタンスチャレンジで10,000m(28分27秒04)と5000m(13分58秒34)の両方で自己ベストを記録。翌2014年には5000mの自己ベストを13分48秒14まで伸ばし、一段とスピードに磨きかけた。ハーフマラソンの自己ベスト63分21秒は、2011年以來更新されていないが、単に2011年以降ハーフマラソンを走ったのが1回しかなかったからだろう。2014年のニューイヤー駅伝では22kmある4区を65分31秒で走っているが、2015年のニューイヤー駅伝では同区間を65分12秒で走った。また、2013年12月の甲佐10マイルでは47分21秒だったのが、その1年後には46分47秒で走った。両レースとも、わずかではあるが、記録を伸ばしている。

世界選手権の代表権がかかった2015年の東京マラソンは、2時間7分台を目標にしていたが、12km辺りから遅れ始め、2時間16分08秒で25位と振るわず、過去最低タイムで、最後の順位に終わった。練習はできていたというので、疲労が抜け切っていなかったのが原因と推測される。

## 東京マラソン招待選手—国内男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – Domestic men

## No. 24 佐野 広明 (埼玉・Honda)



DOB : 28 Feb. 1988  
Age : 28  
Height : 175cm  
Weight : 52kg

## Personal Bests

5000m	13:45.32	-2014
10000m	28:43.61	-2014
Half marathon	1:02:40	-2014
Marathon	2:09:12	-2015

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2016			1:04:18	
2015	14:04.57		1:03:41	2:09:12
2014	13:45.32	28:43.61	1:02:40	2:13:07
2013	14:17.18		1:03:24	2:10:29
2012		29:25.15		
2011		29:03.97	1:05:48	
2010		28:55.38		

## Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:09:12	Tokyo	9th	22 Feb 2015
	2:13:07	Lake Biwa – Otsu	11th	2 Mar 2014
	2:10:29	Chicago	7th	13 Oct 2013
	2:12:14	Nobeoka	1st	10 Feb 2013

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
31 Jan	Osaka Half Marathon	Half marathon	5th	1:04:18
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 – 15.5km	6th	47:38

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Heisei University Distance	5000m	7th	14:20.02
24 May	Nittai University distance – Yokohama	5000m	16r15	14:04.57
10 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	4th	1:03:41
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	9th	2:09:12
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 – 13.6km	1rth	39:34

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage7 – 13.5km	4th	40:45
7 Sept	Great North Run Newcastle	Half Marathon	7th	1:03:01
7 Aug	Towada Hachiman Ekiden	Stage3 – 16.2km	4th	46:23
25 June	Hokuren Distance Challenge	10000m	13rA	28:43.61
15 June	Nittai University Distance – Yokohama	5000m	3r34	13:45.32
11 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	2nd	1:02:40
29 Apr	Heisei University Distance – Konosu	5000m	2r9	14:02.15
19 Apr	Challenge Meet in Kumagaya	3000m	2r8	8:17.42
2 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	11th	2:13:07
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22Km	19th	1:05:37

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Kosa 10 Milier	10 Miles	3rd	46:48
13 Oct	Chicago Marathon	Marathon	7th	2:10:29
12 May	Sendai Half Marathon	Half marathon	8th	1:03:24
13 Apr	Saitama Corporate team distance	5000m	1st	14:17.18
10 Feb	Nobeoka Marathon	Marathon	1st	2:12:14

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Nov	Hachioji Distance	10000m	11r4	29:25.15

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Hakodate Half Marathon	Half Marathon	8th	1:05:48
23 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	17r2	29:03.97

## 2010 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
4 Dec	Nittai University Distance – Yokohama	10000m	22r11	28:55.38

Hiroaki Sano was aiming to crack 2:10 for the marathon at minimum in the last year's Tokyo Marathon, and he did succeed when Sano ran 2:09:12. It was a personal best and his first sub-2:10 clocking of his career. In 2014, he improved his 5000m best to 13:45.32, 10000m best to 28:43.61 and half marathon best to 1:02:40, but failed to improve the marathon best. After graduating from the University, Sano joined the Honda track team, but could not produce good results in the first three years with the team. Then in February of 2013, Sano ran his debut marathon in the Nobeoka West Japan Marathon, and won with 2:12:14. The following October, Sano ran the Chicago Marathon and finished seventh with 2:10:29. He almost cracked 2:10 for the marathon, the hallmark of elite marathon runners. "Marathon gave me a reason to run" said Sano, whose marathon career was a smooth ride so far. In 2014 he improved personal bests at every distance except for the marathon. His goal for his third marathon, the 2014 Lake Biwa Marathon, was to crack 2:10 at the marathon. "I was under a lot of attention for the first time in my career and thus felt quite tense," explained Sano of the reason why he was only 11th, lowest finish of his career, with 2:13:07, slowest time of his career. In attempt to amend the problem, Sano started to work on the speed on the track before running his fourth marathon, the 2015 Tokyo Marathon. Although he lost contact with the leader at 33km, Sano was second Japanese in the race behind Imai. After the last year's Tokyo Marathon, Sano said, "I going to aim for a low 2:08 in the next marathon." And his next marathon is the 2016 Tokyo Marathon. If successful, he has the chance to make the Olympic team.

「最低でもサブ10」と臨んだ昨年の東京マラソン、佐野広明は大幅に自己記録を更新する2時間9分12秒で走り、初めて2時間10分の壁を破った。2014年に、5000mで13分45秒32、10,000mで28分43秒61、ハーフマラソンで1時間02分40秒と、マラソン以外の種目で自己ベストを更新している。

佐野は、大学卒業後にホンダ陸上部に入部したが、3年経ってもなかなか結果を出せなかった。だが、2013年2月の延岡西日本マラソンで初マラソンに挑戦すると、2時間12分14秒でいきなり優勝を果たした。同年10月のシカゴマラソンでは2時間10分29秒の好記録をマークし、トップランナーの証でもある2時間10分切りまであと一歩と迫った。「自分が陸上を続けられるきっかけを作ってくれたのがマラソン」と話すように、佐野のマラソン人生はここまでは順調だった。

しかし、2014年は、マラソン以外の種目で自己ベストを更新したものの、マラソンだけは足踏みした。3度目のマラソンとなった2014年のびわ湖毎日マラソンでは、サブ10が目標だったが、「初めて注目されて緊張してしまった」と振り返る。そして、2時間13分07秒の自己ワースト記録で11位と、順位も自己最低に終わってしまった。その後は苦手だったトラック練習も積極的に取り組み、4度目のマラソンとして東京マラソンに挑戦した。そのレースでは33kmで集団から遅れをとったが、今井に次いで日本人2位となった。

昨年の東京マラソンを終えて「次は8分台前半を狙います」と佐野は話した。その「次」のマラソンが、今回の東京マラソンだ。目標通り2時間8分台前半で走れば、五輪も見えてくる。

## No. 25 五ヶ谷 宏司 (東京・JR東日本)



DOB : 22 Feb. 1988  
Age : 28  
Height : 161cm  
Weight : 46kg

## Personal Bests

10000m	28:58.84	-2008
Half marathon	1:02:52	-2009
Marathon	2:09:21	-2015

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015				2:09:21
2014		29:39.26	1:06:38	2:11:43
2013		29:57.30		2:14:26
2012		29:46.11		2:16:09

## Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:10:58	Berlin	9th	27 Sept 2015
	2:09:21	Tokyo	11th	22 Feb 2015
	2:11:43	Frankfurt	12th	27 Oct 2014
	2:23:00	Fukuoka	25th	1 Dec 2013
	2:14:26	Hokkaido – Sapporo	1st	25 Aug 2013
	2:16:09	Tokyo	26th	26 Feb 2012
	2:12:15	Chicago	7th	9 Oct 2011
	2:12:07	Lake Biwa – Otsu	10th	6 Mar 2011

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	9th	2:10:58
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	11th	2:09:21
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	12th	1:04:20

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	12th	2:11:43
28 Sept	Hakodate Half Marathon	Half marathon	6th	1:06:38
7 Aug	Towada Hachiman Ekiden	Stage 4 – 16.4km	2nd	50:23
25 June	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	10000m	14rC	29:39.26
15 June	Nittai University Distance – Yokohama	5000m	21r34	14:24.81
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 – 15.8km	18th	48:21

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	25th	2:23:00
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 2 – 15.3km	10th	46:23
28 Sept	Tokamachi Distance carnival	10000m	7r1	29:57.30
25 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	1st	2:14:26
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 7 – 15.5km	12th	48:13

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 6 – 10.6km	4th	30:23
29 Sept	Tokamachi Distance Carnival	10000m	11th	30:16.22
7 Aug	Towada Hachiman Ekiden	Stage 4 – 16.4km	6th	50:03
27 June	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	10000m	29rC	30:06.81
20 May	East JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	5000m	19r2	14:30.44
21 Apr	Tokyo Championships	10000m	6th	29:46.11
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	26th	2:16:09
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22Km	20th	1:05:27

Koji Gokaya lost contact with the lead pack soon after the half way, and was running 18th place at 30km. At that point, thinking "I need to break at least 2:10 at the marathon" he starts chasing the leaders. Covering the final 2.195km in 6:55, Gokaya cracked 2:10 in his seventh marathon with 2:09:21. "I am content with the result, but not satisfied with the result," said Gokaya after the race. After graduating from Senshu University, Gokaya joined JR East Japan track team and promptly run the 2011 Lake Biwa Marathon. It was his debut marathon and he finished tenth with 2:12:07. Following fall, he ran the Chicago Marathon. Although he place seventh, better than tenth place at his debut, his time, 2:12:15, was not an improvement of his personal best. His next marathon, his third marathon in Tokyo in 2012 was a failure for he was only 26th with 2:16:09. However, Gokaya won the 2013 Hokkaido Marathon in Sapporo without running a single 40km long run. His next marathon in Fukuoka was also a failure, for he was 25th with 2:23. However, in the 2014 Frankfurt Marathon, Gokaya finally improved his personal best with 2:11:43. Endowed with a sturdy body Gokaya can train hard without worrying about getting injured. Before the 2015 Tokyo Marathon, Gokaya ran more than a dozen 40km long run. He also ran a half marathon time trials with the pace under 3 minutes for each km. Furthermore Gokaya did speed-work such as 5x1km either day before or day after his 40km long run. Gokaya will be running his third Tokyo Marathon. In the last year's Tokyo Marathon, Gokaya was aiming for 2:07 Marathon. If he can successfully complete the aforementioned training, then 2:07 marathon is a distinct possibility.

昨年の東京マラソン、五ヶ谷宏司は中間点過ぎに先頭集団から遅れると、30km18位を走っていたが、その後「最低でも10分を切らない」と積極的に前を追った。そして、最後の2.195kmを6分55秒でカバーし、2時間9分21秒と、7回目のマラソンにして初めて2時間10分の壁を破った。だが、「結果には納得はしているが、満足はしていない」と五ヶ谷は言う。

五ヶ谷は、専修大学を卒業後、JR東日本の陸上部に入った。1年目からマラソンに挑戦し、2011年のびわ湖マラソンでは2時間12分07秒で10位と、そこそこのデビューを果たした。その年の秋にはシカゴマラソンに出場し、順位は7位と初マラソンを上回ったが、タイムは2時間12分15秒に留まり、自己ベスト更新はならなかった。3回目のマラソンは2012年の東京マラソンで、2時間16分09秒で26位と沈んだが、2013年の北海道マラソンでは、40km走を一度もせず、優勝を果たしている。同年暮れの福岡国際マラソンは、2時間23分もかかり25位とまたも失敗レースに終わったが、2014年のフランクフルトマラソンで2時間11分43秒と、ようやく初マラソンのタイムを越えることができた。

故障をしない頑強な体に恵まれ、2015年の東京マラソンの前には1年間で40km走を12回以上こなした。また、1km3分を切るペースでハーフマラソンのタイムトライアルをやったり、40km走の前日や翌日には1km×5本などのスピード練習を行ったりしたという。今回、五ヶ谷は3回目の東京マラソンに挑む。昨年の東京マラソンでは「7分台が目標だった」と言っていたが、これだけの練習を無事にこなせたのなら、今年の東京マラソンでは2時間7分台も夢ではないだろう。

## 東京マラソン招待選手—国内男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – Domestic men

## No. 26 出岐 雄大 (広島・中国電力)

DEKI, Takehiro (JPN • Chugoku Electric Power)



DOB : 12 Apr. 1990  
Age : 25  
Height : 160cm  
Weight : 53kg  
Personal Bests  
Marathon 2:10:02 -2012

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015			<b>1:02:11</b>	2:11:14
2014				
2013				
2012	14:03.71			<b>2:10:02</b>
2011	14:01.49	<b>29:02.10</b>		

## Marathon career

Year	Time	Race	Place	Date
2015	2:11:14	Tokyo	13th	22 Feb 2015
Personal Best	<b>2:10:02</b>	Lake Biwa – Otsu	9th	4 Mar 2012

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Nov	Chugoku district Corporate team Ekiden – Sera	Stage3-11.6Km	4th	37:27
25 Oct	Morrison's Great South Run 10 Miles	10 Miles	15th	48:43
5 July	Gold Coast Half marathon	Half marathon	1st	1:02:11
21 June	BAA 10K – Boston	10Km	8th	29:22
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	13th	2:11:14
18 Jan	JPN National Men's Inter-Prefectural Men's Ekiden	Stage7 – 13Km	1st	37:28
1 Jan	New Year's Ekiden	Stage5 – 15.8Km	4th	47:35

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Nov	Chugoku district Corporate team Ekiden	Stage7 – 13km	1st	38:05
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 7 – 15.5km	8th	49:01

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 July	Shibetsu Half Marathon	Half Marathon	DNF	DNF
3 Jan	Hakone Ekiden	Stage 10 – 23.1km	15th	1:13:19

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Chiba Ekiden	Stage 5 – 10Km	8th	30:11
8 Oct	Izumo Ekiden	Stage 6 – 10.2Km	3rd	29:30
11 Sept	National Collegiate Championships – Tokyo	5000m	6th	14:03.71
30 June	Kanto Region Collegiate Qualifier – Tokyo	10000m	36/4	31:13.01
29 Apr	Oda Memorial – Hiroshima	5000m	DNF	DNF
4 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	9th	2:10:02
22 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage 3 – 8.5Km	8th	24:28
3 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 – 23.2Km	1st	1:07:26

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Chiba Ekiden	Stage 5 – 10Km	5th	29:28
1 Oct	Setagaya Time Trials	5000m	2nd	14:04.30
10 Sept	National Collegiate Championships	5000m	8th	14:07.47
21 Aug	World University Games – Shenzhen	Half marathon	6th	1:07:34
2 July	Setagaya Time Trials	5000m	1/4	14:01.49
25 June	Kanto district Collegiate Ekiden qualifier	10000m	1st	29:02.10
14 May	Kanto District Collegiate Champ – Tokyo	10000m	6/2	29:30.80
23 Apr	Hyogo Relays – Kobe	10000m	1st	29:04.16
9 Apr	Setagaya Time Trials	5000m	2nd	14:05.56
26 Feb	Fukuoka Cross Country	10Km	15th	29:52

Takehiro Deki, who recorded the stage best in the 2011 All Japan Collegiate Ekiden and the 2012 Hakone Ekiden and attracted media attention, made his marathon debut two months after Hakone in the 2012 Lake Biwa Marathon. He stayed with the leader for the first 31Km and recorded 2:10:02, third fastest time by a Japanese collegiate runner and finish ninth. Deki is not endowed with great speed. He has yet to crack 29 minutes for 10000m, let alone cracking 28 minutes. Among his results 58:51 at the 2010 Takashimadaira 20Km where he defeated many professional runners and sixth place finish at the World University Games' half marathon stands out. After a senior year in college, Deki was unable to produce good result, due partly to injury problems. However, in 2015 Deki ran his second marathon, his first marathon in three years.

Second marathon for successful debutante may be the real test for marathon talent. Masakazu Fujiwara, Japanese marathon debut record holder at 2:08:12, only ran 2:12 marathon (albeit five years after his debut) in his second marathon. Yoshinori Oda, third fastest marathon debutante in Japan, ran only 2:18 in his second marathon and Tomoyuki Morita, fourth fastest marathon debutante in Japan, ran only 2:14 in his second marathon. Only Koichi Morishita, second fastest marathon debutante in Japan, won two consecutive marathons from his debut. Deki, who dropped his pace to over 16 minutes for the 5Km segment between 35K to 40K in his debut marathon, said, after the race, that he needs to work on the final 8 to 9Km of the race.

In January of 2015, Deki ran the 13km final stage of Inter-Prefectural Ekiden, and recorded the stage best. He then ran the 2015 Tokyo Marathon. Because his training went well Deki was expecting good result. He was 13th with 2:11:14, however. His second marathon was not as good as Morishita's result, but better than other runners who ran fast debut marathon. "Barely a satisfactory race," assess Deki, who also said, "I am glad to be back. I did the right thing." Last year after the Tokyo Marathon Deki said, "I need to aim for the Olympics." Now is the time for Deki to challenge at the Tokyo Marathon. Incidentally, Fujiwara won his third marathon of his career, 2010 Tokyo Marathon, but both Oda and Morita failed another marathon. Thus only Fujiwara and Morishita, who won the Olympic silver medal in his third marathon, were successful in their third marathon after spectacular marathon debut.

出岐雄大は、青山学院大時代に2011年全国大学駅伝2区で区間賞を獲得、そして2012年の箱根駅伝でもエース区間の2区で区間賞を獲得し注目された。その箱根から2カ月後のびわ湖毎日マラソンで、注目の初マラソンに挑戦した。そして、31km過ぎまで先頭集団に食らいつき、学生歴代3位となる2時間10分02秒の好タイムで9位に入った。

出岐は決してスピードのある選手ではない。トラックの10,000mでは、27分台はおろか、28分台でも走ったことがない。そんな彼の成績で光るのは、2010年の高島平20kmロードレースと2011年のユニバーシアードだ。2010年の高島平20kmロードレースは、実業団選手をも蹴散らし58分51秒で優勝。ユニバーシアードのハーフマラソンでは6位入賞を果たした。大学4年以降は、ケガなどもあってしばらく結果を出せない日が続いていたが、2015年には3年ぶりに2度目のマラソンに挑んだ。

初マラソンで好成績を残した選手の2度目のマラソンは、初マラソンよりも難しいといわれる。日本人の初マラソン記録保持者の藤原正和は、2度目のマラソン(初マラソンから5年が経過したが)が2時間12分台、初マラソン歴代3位の尾田賢典も、2時間18分台かかった。初マラソン歴代4位の森田知行の2度目のマラソンは2時間14分台。2度目のマラソンでも結果を出したのは、初マラソン歴代2位の森下広一くらいだろう。森下は、2度目のマラソンでも優勝を果たしている。出岐は、初マラソンのびわ湖では35km以降、5km16分台にペースが落ちており、「次のマラソンへの課題は、最後の8~9km」と語っていた。

2015年1月の都道府県男子駅伝の最終区13kmで区間1位の走りを見せると、周囲の期待はいっそう高まった。そして、2015年東京マラソンは練習も順調で「自分でも期待していた」と言うが、結果は2時間11分14秒で13位だった。森下のように大成功とまではいえないが、まずまずといえる2回目のマラソンだった。出岐は「最低限のレース」と出岐は評しているが、「戻ってこられてよかった。やってきたことは間違っていない」とも話す。昨年の東京マラソンの後、「オリンピックを目指す」と話したが、今回は五輪代表の選考をかけて東京で3度目のマラソンに挑む。ちなみに藤原正和は3度目のマラソンとなった2010年東京マラソンで優勝したが、尾田と森田は再び失敗レースに終わっている。初マラソンで好成績を残した選手が3度目のマラソンで成功したのは、藤原と、3度目のマラソンで五輪銀メダルを獲得した森下の2人だ。

## No. 27 宇賀地 強 (東京・コニカミノルタ)

UGACHI, Tsuyoshi (JPN • Konica Minolta)



DOB : 27 Apr. 1987  
Age : 28  
Height : 164cm  
Weight : 50kg  
Personal Bests  
5000m 13:29.50 -2012  
10000m 27:40.69 -2002  
Half marathon 1:00:58 -2001  
30Km 1:30:01 -2012  
Marathon 2:10:50 -2014

## International Championships Highlights

Year	5000m	10000m	Half Marathon	30Km	Marathon
2015	13:38.53	27:55.02			2:17:50
2014	13:44.46	28:18.87			<b>2:10:50</b>
2013	13:30.77	27:50.79	1:01:16		
2012	<b>13:29.50</b>	27:52.79	1:04:49	<b>1:30:01</b>	
2011	13:30.30	<b>27:40.69</b>	<b>1:00:58</b>		
2010	13:36.26	28:01.54	1:01:49	1:30:14	
2009	13:48.38	28:23.62	1:04:09	1:30:47	

## Progressions

Year	5000m	10000m	Half Marathon	30Km	Marathon
2016			1:02:41		
2015	13:38.53	27:55.02			2:17:50
2014	13:44.46	28:18.87			<b>2:10:50</b>
2013	13:30.77	27:50.79	1:01:16		
2012	<b>13:29.50</b>	27:52.79	1:04:49	<b>1:30:01</b>	
2011	13:30.30	<b>27:40.69</b>	<b>1:00:58</b>		
2010	13:36.26	28:01.54	1:01:49	1:30:14	
2009	13:48.38	28:23.62	1:04:09	1:30:47	

## Marathon career

Year	Time	Race	Place	Date
2015	2:17:50	Lake Biwa – Otsu	26th	1 Mar 2015
Personal Best	<b>2:10:50</b>	Fukuoka	9th	7 Dec 2014
	2:12:18	Sydney	4th	21 Sept 2014
	2:13:41	Dubai	18th	24 Jan 2014

## Last four half Marathon

Date	Race	Distance	Place	Time
2015	1:02:41	Marugame	23rd	7 Feb 2015
	1:01:16	Marugame	3rd	3 Feb 2013
	1:04:49	World Half Marathon – Kavarna	29th	6 Oct 2012
Personal Best	<b>1:00:58</b>	Marugame	2nd	6 Feb 2011
	1:01:49	World Half marathon – Nanning	12th	16 Oct 2010

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	23rd	1:02:41
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22km	7th	1:03:46

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance Challenge – Machida	10000m	15/7	27:55.02
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden – Saitama-Kumagaya	Stage5	1st	23:36
12 July	Hokuren Distance Challenge – Kitami	5000m	6/4	13:38.53
9 July	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	10000m	8/4	28:10.49
5 July	Hokuren Distance Challenge – Shibetsu	5000m	4/4	13:39.01
16 May	East JPN Corporate team T&F Champ – Kumagaya	10000m	4/2	28:38.19
1 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	26th	2:17:50
18 Jan	Inter-Prefectural Men Ekiden	Stage 7 – 13km	7th	38:07
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 5 – 15.8km	3rd	47:32

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	9th	2:10:50
21 Sept	Sydney Marathon	Marathon	4th	2:12:18
6 July	Hokuren Distance Challenge – Abashiri	10000m	11th	28:18.87
25 June	Hokuren Distance Challenge – Fukagawa	5000m	3/4	13:44.46
24 Jan	Dubai Marathon	Marathon	18th	2:13:41
1 Jan	New Year Ekiden	Stage 4 – 22km	3rd	1:04:04

Tsuyoshi Ugachi, who was a top runner in high school as well as in college, also became top professional runner soon after his college graduation. Thus Ugachi's marathon debut attracted a lot of attention. Perhaps in order to avoid the intense pressure associated with his marathon debut, Ugachi made his marathon debut abroad. In Dubai, Ugachi passed 10km in 29:57 and half marathon in 1:03:41, the pace for 2:06 or 2:07 marathon. However, he slowed in the last half of the race and finished with 2:13:41, not an impressive time. Ugachi ran four marathons so far in his career. In his second marathon in Sydney Ugachi ran 2:12:18, and then in his third marathon, his first domestic marathon in Fukuoka, he ran 2:10:50. Slowly but surely Ugachi has improved his marathon best. However, Ugachi was not satisfied with his performance in Fukuoka, and thus he decided to run the Lake Biwa Marathon scheduled three months later. He was expected to crack 2:10 for the marathon but he slowed down after 26km and finished 26th with 2:17:50. It was slowest time as well as lowest finishing position of his marathon career.

Every year since 2003 when he was a junior high school runner, Ugachi always ran the Inter-Prefectural Ekiden. He recorded the stage best in 2006 when he was a high school senior and then in 2011 Ugachi ran the anchor leg to help Tochigi Prefecture to the championships. He ran the World Cross Country Championships three times. His best finish is 22nd in junior division in 2006. In his college days Ugachi was a big gun for the Komazawa University track and ekiden team. He ran the second stage in the famed Hakone Ekiden, but never recorded the stage best. His best finish was third in his senior year. However, Ugachi recorded the stage best in both Izumo Ekiden and All JPN Collegiate Ekiden. Ugachi ran the World University Games twice in 2007 and 2009. He finished sixth at 10000m in 2009. He ran the World Half Marathon Championships in 2010 and 2012. He was 12th in 2010 but in 2012 Ugachi came down with a stomach problem and thus finished dismal 29th. His half marathon best is 1:00:58 he recorded in the 2011 Marugame Half marathon. It was third fastest half marathon time by Japanese at the time and still the seventh fastest time in history. He ran the 10000m in the 2013 World Championships, but he was only 15th. He never ran in the Olympics. Ugachi's strength is his ability to train hard, according to Oyagi, his collegiate coach. Can his hard training pays off in Tokyo?

高校、大学と各世代で常にトップクラスのランナーだった宇賀地強は、実業団に進んでからも一線活躍を続けた。それだけに彼の初マラソンにはかなりの注目が集まった。宇賀地が初マラソンに選んだのは、重圧のかかる国内のレースではなく、外国のレースだった。ドバイでの初マラソンは、10kmを29分57秒、ハーフを1時間3分41秒で通過し、2時間6分から7分台が期待される快調なペースでレースを進めた。しかし、その後大きく失速。結局、2時間13分41秒の平凡なタイムに終わった。今まで宇賀地は4回のマラソンを走っているが、2回目のマラソンはシドニーで2時間12分18秒、3回目の福岡国際マラソンでは2時間10分50秒と少しずつタイムを伸ばしてきた。しかし、福岡でのタイムに満足できず、3カ月後のびわ湖毎日マラソンで4回目のマラソンに挑んだ。しかし、2時間10分の壁を破ることが期待されていたが、26km過ぎから大きく失速。結果は2時間17分50秒で26位と、タイムも順位も自己ベストに終わった。

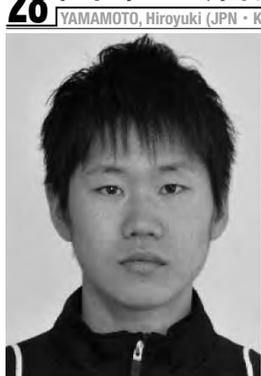
2003年、中学生の時に初めて都道府県対抗駅伝に出場すると、その年から毎年同駅伝を走り、高校3年生時の2006年には1区で区間賞、2011年にはアンカー区間を走り栃木を優勝に導いている。世界クロスカンントリー選手権も2005年、2006年、2008年と3回走り、最高成績は2006年で、ジュニアの部22位だった。

駒澤大学ではチームのエースとして活躍した。箱根駅伝では4年連続でエース区間の2区を走り、4年時は区間3位に入っている。また、出雲駅伝と全日本大学駅伝では区間賞を獲得している。ユニバーシアードには2007年と2009年の2回出場し、2009年には10,000mで6位入賞を果たしている。世界ハーフマラソン選手権も2010年と2012年の2回出場。2010年には12位でフィニッシュしたが、2012年はレース直前に体調を崩して29位に沈んだ。宇賀地のハーフマラソンのベストは、2011年の香川丸亀ハーフマラソンで2位に入った時に記録した1時間00分58秒。当時は日本歴代3位(今は歴代7位)の好記録だった。世界選手権では、2013年に10,000mに出場し15位に入っている。しかし、五輪にはまだ出場したことがない。駒澤大学時代の恩師・大八木弘明監督が「努力家」と評する選手、宇賀地の努力は東京で報われるだろうか?

## 東京マラソン招待選手—国内男子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – Domestic men

## No. 28 山本 浩之 (東京・コニカミノルタ)



DOB : 30 Apr. 1986  
Age : 29  
Height : 172cm  
Weight : 54kg

## Personal Bests

5000m	13:45.43	-2010
10000m	27:55.40	-2015
Half marathon	1:02:43	-2013
Marathon	2:11:48	-2015

## Progressions (since 2006)

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015	13:45.75	27:55.40		2:11:48
2014	13:54.29	28:24.93		2:21:54
2013	13:55.80	28:40.35	1:02:43	
2012	13:55.76	28:55.75		

## Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:11:48	Beppu-Oita	3rd	1 Feb 2015
	2:21:54	Hokkaido - Sapporo	17th	31 Aug 2014

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 - 15.8km	1st	46:58

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Nov	Hachioji Distance - Machida	10000m	167	27:55.40
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage1	3rd	33:21
16 May	East JPN Corporate team T&F Champ	10000m	3rd	28:36.25
9 May	Golden Games in Nobeoka	5000m	1R	13:45.75
26 Apr	Hyogo Relays - Kobe	10000m	5rG	28:22.92
1 Feb	Beppu-Oita Marathon	Marathon	3rd	2:11:48
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 - 15.5km	2nd	47:50

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 5 - 7.4km	1st	23:22
31 Aug	Hokkaido Marathon	Marathon	17th	2:21:54
6 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	10000m	16A	28:24.93
25 June	Hokuren Distance Challenge - Fukagawa	5000m	6th	13:54.29

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Hachioji Distance	10000m	142	28:52.65
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage 1	2nd	34:08
20 Sept	JPN Corporate team T&F Champ - Kumagaya	5000m	10th	14:16.35
3 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	10000m	2nd	28:40.35
26 June	Hokuren Distance Challenge - Shibetsu	5000m	10th	13:59.25
16 June	Nittai University Distance - Yokohama	5000m	1r27	13:55.80
17 Feb	Oume Road Race	30Km	4th	1:32:20
3 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	28th	1:02:43

Perhaps because Hiroyuki Yamamoto, who made his marathon debut in the 2014 Hokkaido Marathon in Sapporo, collided with the aid station table, he finished dismal 17th with slow 2:21:54. It was far from noteworthy marathon debut. His second marathon was at the 2015 Beppu-Oita Marathon. Yamamoto, who said "I did far better training before Beppu-Oita marathon compare to before the Hokkaido Marathon" was ready to run 2:09 marathon. He ran aggressively just behind the pace makers from 10km but slowed after 32km and finished 2:11:48, respectable marathon time.

His half marathon best, 1:02:43, is relatively modest but that may be because Yamamoto has not run any half marathon in 2014 and 2015. His 5000m best is 13:45.43 from 2010, but in 2015 Golden Games in Nobeoka, Yamamoto ran 13:45.75, almost improving his personal best. In the 2015 Hachioji Distance meet in November, Yamamoto improved his 10000m best from 28:24.93 to 27:55.40. Furthermore, before the last year's Beppu-Oita Marathon where he ran 2:11:48, Yamamoto ran 47:50 (second fastest) for 15.5km seventh stage of New Year Ekiden, while in this year at the New Year Ekiden, Yamamoto ran 46:58 (fastest) for 15.8km fifth stage. Comparing with last year, Yamamoto is definitely a better runner. Thus, in Tokyo, time much faster than his time in Beppu-Oita marathon is expected. Yamamoto, who is trying to balance between the training for the marathon and training for ekiden is shooting for "2:08 marathon and Olympic team berth." It is not a dream anymore.

2014年の北海道マラソンで初マラソンに挑んだ山本浩之だが、給水テーブルにぶつかって転倒したこともあり、2時間21分54秒で17位に終わった。彼のマラソンデビューは全く注目には値しないものだった。2回目のマラソンは昨年の別府大分マラソン。「北海道前の練習に比べたら雲泥の差」と言うほど順調に練習をこなして「2時間9分台も可能」と自信を持ってレースに臨んだ。10kmからペースメーカーのすぐ後ろに付いて積極的にレースを展開。32kmで力尽きて2時間11分48秒に終わったが、ようやくマラソンランナーといえるだけのタイムでは走った。

ハーフマラソンのベストは2013年の丸亀ハーフマラソンで記録した1時間2分43秒と平凡なタイムだが、山本はその後2014、2015年とハーフマラソンを走っていない。5000mの自己ベスト13分45秒43は2010年に記録したものの、2015年のゴールデンゲームズ延岡では13分45秒75と、自己ベストに迫る記録を出している。また、2015年の11月末の八王子ディスタンスでは10,000mで27分55秒40の好記録。それまでの自己ベストは28分24秒93だったが、大幅に更新した。また、ニューイヤークラブでは、まずまずのタイムで走った昨年の別大マラソン前は、15.5kmの7区で47分50秒の区間2位だったが、今年は少し長い5区15.8kmを46分58秒で走り区間賞を獲得している。昨年に比べて確実に一段階レベルが上がっており、昨年の別大よりもはるかに速いタイムが期待されている。駅伝とマラソンとの両立を目指している山本が掲げる目標は、「マラソンで2時間8分台とオリンピック代表を勝ち取る」ことだが、十分にそれを実現させる力はあるだろう。

## No. 29 村山 謙太 (宮崎・旭化成)



DOB : 23 Feb. 1993  
Age : 23  
Height : 176cm  
Weight : 56kg

## Personal Bests

5000m	13:34.53	-2014
10000m	27:39.95	-2015
Half marathon	1:00:50	-2014

## International Championships Highlights

10000m	
22nd in 2015 World Championships	

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015	13:53.81	27:39.95		
2014	13:34.53	27:49.94	1:00:50	
2013	14:11.79	28:18.11	1:01:19	
2012	14:13.43	28:14.27	1:02:56	
2011	13:47.19	28:17.57		

## Making Marathon Debut

## 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 - 22Km	10th	1:04:11

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	2nd	46:08
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden - Fukuoka to Kita-Kyushu	Stage 7 - 14.2km	1st	41:59
24 Oct	Nobeoka Fall Time Trials	10000m	4th	29:11.91
22 Aug	World Championships - Beijing	10000m	22nd	29:50.22
12 July	Hokuren distance Challenge - Kitami	5000m	17A	13:53.81
28 June	JPN National Championships	5000m	30th	13:57.91
26 June	JPN National Championships	10000m	11th	29:02.88
16 May	Kyushu Corporate team T&F Champ	1500m	1st	3:50.39
9 May	Golden Games in Nobeoka	10000m	1st	27:39.95
16 Apr	Hyogo Relays Carnival - Kobe	10000m	2rGP	28:09.28
4 Apr	Kanaguri Memorial - Kumamoto	1500m	13r2	3:48.22
21 Feb	Fukuoka International Cross Country	10Km	2nd	29:31
18 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden - Hiroshima	Stage 7 - 13km	4th	37:48
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 - 23.1km	4th	1:07:46

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Nov	Chiba Ekiden	Stage 1 - 5km	8th	13:45
2 Nov	Nationa Collegiate Ekiden Champ - Nagoya to Ise Shrine	Stage 1 - 14.6km	1st	42:58
6 July	Hokuren Distance Challenge - Abashiri	5000m	2rA	13:39.27
7 June	JPN National Championships - Fukushima	10000m	4th	28:39.03
16 May	Kanto region collegiate T&F Championships	10000m	1st	29:03.22
10 May	Golden Games - Nobeoka	5000m	1st	13:34.53
20 Apr	Hyogo Relays - Kobe	10000m	4th	27:49.94
29 Mar	World Half Marathon Championships - Kobenhavn	Half marathon	56th	1:03:52
2 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	2nd	1:00:50
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 2 - 23.2km	2nd	1:08:27

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Nov	Chiba Ekiden	Stage 1 - 5km	2nd	13:40
10 Oct	Izumo Ekiden	Stage 3 - 7.9km	1st	22:36
8 Sept	JPN Inter-Collegiate Championships	10000m	2nd	28:43.89
8 July	World University Games - Kazan	10000m	10th	30:02.46
25 May	Kanto Regional Collegiate T&F Champ	5000m	8th	14:11.79
11 May	Golden Games - Nobeoka	10000m	6th	28:21.53
20 Apr	Hyogo Relays - Kobe	10000m	1st	28:18.11
17 Mar	NYC Half	Half marathon	10th	1:02:02
3 Feb	Marugame Half Marathon	Half marathon	4th	1:01:19
17 Jan	Inter-Prefectural Men's Ekiden - Hiroshima	Stage 3 - 8.5km	1st	23:57
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage 5 - 23.4km	8th	1:24:25

Kenta Murayama, who recorded half marathon time of 1:00:50, Japanese Collegiate record and third fastest time by Japanese, at the time in the 2014 Marugame Half Marathon will be making the marathon debut. "I am running a marathon to see if I have a talent for the event," said Kenta. Hiroaki Oyagi, who coached many exceptional young talents in Komazawa University Ekiden team, says Kenta is the most talented of them all. He also said, "With the thought of moving up to the marathon after college, I worked on his speed in college days." So Kenta will be making highly anticipated marathon debut in Tokyo. In the 2015 Golden Games in Nobeoka, Kenta recorded 27:39.95 for the 10000m, sixth fastest 10000m time by Japanese at the time. However, considering his twin brother Kota set the national 10000m record late last year, Kenta may be able to run faster 10000m. In the 2014 Golden Games in Nobeoka, Kenta recorded the 5000m best of 13:34.53. Comparing his 5000m and 10000m bests, natural conclusion is that Kenta is endowed with exceptional endurance.

In his senior year in high school, in 2010, Kenta recorded the third fastest 10000m time, 28:23.18, by high school runner. While in high school, Kenta also recorded the stage best in the Inter-Prefectural Ekiden, and thus he was well known runner in his high school days. Since he was born in February, Kenta was eligible to run in the 2012 World Junior Championships. He was sixth at the 10000m while top five are all from Africa. During his days in Komazawa University, Kenta ran the stage two of Hakone Ekiden but he never recorded the stage best. He was second in his college junior year and fourth in his college senior year. However, Kenta recorded stage bests in the last two years of college at the All JPN Collegiate Ekiden. In his senior year, Kenta battled with his twin brother Kota and both credited with the same stage best time.

In 2014 Kenta ran the World Half Marathon Championships in Kobenhavn, but he finished 56th in 1:03:52. In the 2015 World Championships, he was 22nd with 29:50.22 at 10000m. After graduating from Komazawa University, Kenta joined Asahi Kasei track team, one of the major power house in the Corporate sponsored track team systems. Coach Takeshi Soh (fourth at the marathon in 1984 Olympics) of Asahi Kasei persuaded Kenta to try the marathon in the earliest opportunity. It will turn to reality this month in Tokyo. The fastest marathon debut time by Japanese is 2:08:12 by Masakazu Fujiwara, recorded in the 2003 Lake Biwa Marathon. Only two runners - Fujiwara and Koichi Morishita - have broken 2:09 in their debut. Oyagi has higher goal for Kenta, however. "My hope is that Kenta will break Atsushi Fujita's Komazawa Alumni marathon record of 2:06:51 and then improve his marathon best to around 2:05 in four years, for he has such a talent."

2014年の香川丸亀ハーフマラソンで当時日本歴代3位、そして日本学生記録となる1時間00分50秒を記録した村山謙太が、23歳で初マラソンに挑む。「自分にマラソンの適正があるのかを確認するためにマラソンを走る」と言うが、駒澤大学で20年間指導し、多くの若き才能を指導してきた大八木弘明監督によれば謙太の素材がナンバードという。大八木監督は「大学ではトラックである程度スピードをつけて、最終的にはマラソンをやりたいという思いで取り組んだ」と話す。その謙太が、ついにマラソンデビューを果たす時が来た。

2015年のゴールデンゲームズ延岡では10,000mで当時日本歴代6位となる27分39秒95を記録しているが、双子の弟・拓太が昨年暮れに10,000mの日本記録を樹立しているだけに、謙太もまだまだ記録を伸ばすことが可能だろう。2014年のゴールデンゲームズ延岡で記録した5000mのベスト13分34秒53と10,000mのベストとを比べると、村山は持久力に優れた選手であるといえる。

高校3年時の2010年には10,000mで高校歴代3位となる28分23秒18を記録し、都道府県駅伝では区間賞を獲得、高校時代から名を知られた選手だった。2月生まれなので、2012年も世界ジュニア選手権に出場権利があり、同大会には10,000mに出場し6位入賞を果たしている。ちなみに、5位までは全員がアフリカ勢だった。

駒澤大学時代は箱根駅伝のエース区間2区を2回走り、3年時が区間2位、4年時が区間4位だった。箱根での区間賞は一度もないが、全日本大学駅伝では3年時に4区で区間賞を獲得、4年時は1区で双子の弟と大激戦を演じ両者同タイムながら、謙太が区間賞に輝いている。

2014年には世界ハーフマラソン選手権コペンハーゲン大会に出場したが、1時間3分52秒で56位に沈み、2015年には世界選手権北京大会で10,000mに出場し、29分50秒22で22位に終わっている。

2015年の4月から旭化成の陸上部に所属しているが、入部前に宗猛総監督からマラソンを薦められたという。その計画が今年の東京マラソンで早くも実現する。日本人の初マラソン最高記録は、藤原正和が2003年びわ湖毎日マラソンで記録した2時間8分12秒で、これまで初マラソンで2時間9分を切ったのは藤原と森下広一の2人しかいないが……。大学時代の恩師・大八木監督は、「藤田敦史が持つ駒大卒業生の記録2時間6分51秒を早く破って、4年後には2時間5分前後まで自己ベストを伸ばして欲しい」と話す。「謙太はそこを目指せる選手だ」とも言葉を付け加えている。

## 東京マラソン招待選手—海外女子

## No. 31 エドナ・キプラガト (ケニア)

KIPLAGAT, Edna (KEN)



DOB : 15 Nov. 1979  
Age : 36  
Height : 163cm  
Weight : 47kg

## Personal Bests

Half marathon	1:07:41	-2012
Marathon	2:19:50	-2012

## International Championships Highlights

Marathon	2011 & 2013 World Champion; 5th in 2015 WC; 20th in 2012 Olympic Games
3000m	2nd in 1996 and 3rd in 1998 World Junior Championships
World Cross Country Championships	13th in Long in 2006; 4th in 1997, 5th in 1996 junior division

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015			1:08:21	2:27:16
2014			1:07:57	2:20:21
2013			1:08:48	2:21:32
2012		32:08	<b>1:07:41</b>	<b>2:19:50</b>
2011			1:09:00	2:20:46
2010		31:18		2:25:38
2009			1:11:13	

## Marathon career

Year	Time	Race	Place	Date
	2:28:18	World Championships - Beijing	5th	30 Aug 2015
	2:27:16	London	11th	26 Apr 2015
	2:36:24	New York	13th	2 Nov 2014
	2:20:21	London	1st	13 Apr 2014
	2:30:04	New York	9th	3 Nov 2013
	2:25:44	World Championships - Moskva	1st	10 Aug 2013
	2:21:32	London	2nd	21 Apr 2013
	2:27:52	Olympic Games - London	20th	5 Aug 2012
Personal Best	<b>2:19:50</b>	London	2nd	22 Apr 2012
	2:28:43	World Championships - Daegu	1st	27 Aug 2011
	2:20:46	London	3rd	17 Apr 2011
	2:28:20	New York	1st	7 Nov 2010
	2:25:38	Los Angeles	1st	21 Mar 2010
	2:50:20	Las Vegas	10th	4 Dec 2005

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
4 Oct	Great Scottish Run - Glasgow	Half marathon	1st	1:08:21
30 Aug	World Championships - Beijing	Marathon	5th	2:28:18
21 June	BAA 10-K Boston	10Km	2nd	32:15
13 June	New York Mini 10K	10Km	3rd	32:39
10 May	Great Manchester Run	10Km	3rd	31:57
26 Apr	London Marathon	Marathon	11th	2:27:16
24 Jan	Kenyan Police XC Championships - Nairobi	8Km	6th	28:45

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Nov	New York City Marathon	Marathon	13th	2:36:24
5 Oct	Great Scottish Run - Glasgow	Half marathon	1st	1:07:57
7 Sept	Great North Run - Newcastle to South Shields	Half marathon	5th	1:10:37
21 June	Mattoni Olomouc Half marathon	Half marathon	1st	1:08:53
18 May	Gifu Seiryu Half Marathon	Half marathon	2nd	1:11:18
13 Apr	London Marathon	Marathon	1st	2:20:21

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	New York City Marathon	Marathon	9th	2:30:04
10 Aug	World Championships - Moskva	Marathon	1st	2:25:44
2 June	Rock n Roll San Diego half marathon	Half marathon	1st	1:08:56
21 Apr	London Marathon	Marathon	2nd	2:21:32
24 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half marathon	1st	1:08:48
19 Jan	Kenyan Police Cross Country Championships - Nairobi	8Km	2nd	27:17

Two-time World Champion, having won in 2011 and 2013 editions of the championships, Edna Kiplagat recorded 2:19:50 in the 2012 London Marathon, thus became the 16th woman to crack the magical 2:20 marathon barrier. Although Catherine Ndereba also won the World Championships twice, Edna is the only woman with the back to back gold medals in the World Championships marathon. It is especially noted that in the 2011 World Championships, Edna led Kenyan medal sweep, only medal sweep in the World Championships women's marathon. In 1996 when she was 17 years old, Edna won a silver medal at 3000m in the World Junior Championships. Two years later in the 1998 World Junior Championships, Edna won a bronze medal. She ran the junior division of World Cross Country Championships twice, finishing fifth in 1996 and fourth in 1997, thus barely missing a medal. In her only appearance in the senior race of the World Cross Country Championships, Edna was 13th in 2006 at Fukuoka. Later, based in Boulder Colorado, Edna started running road races in the US. In 2005, she made her marathon debut in the Las Vegas Marathon, but 10th place with 2:50:20 hardly attracted any attention. She continued to run road races in the US and started winning many of them. Her first serious marathon attempt was at the 2010 Los Angeles Marathon where she won. However, Los Angeles Marathon is not a world class marathon, and thus she was hardly noticed. The race that made her famous is the 2010 New York City Marathon. She ran away from Shalane Flanagan and Mary Keitany, both making a marathon debut, and won convincingly. A few years later they both became great marathon runners. Next, in the 2011 London Marathon, Edna finished second to Mary Keitany, who became the tenth runner to crack the 2:20 marathon barrier in the race. Her time, 2:20:46, was a huge personal best. (Note: Shobukhova, who was second in the race, was later disqualified and thus Edna moved up to second) Four months later despite falling at 38km in the World Championships, Edna won quite impressively. In the 2012 London Marathon, although Edna was second behind Keitany, who cracked the 2:20 marathon barrier for the second time, Edna also became sub-2:20 marathon runner. She became the 16th woman to crack 2:20 marathon barrier. Edna seemed to be on a roll. However, in the London Olympic Games, she finished disappointing 20th. In 2013, Edna ran the London Marathon for the third time, but again she finished second. However in Moskva, at the World Championships, Edna won second consecutive World Championships. Then in 2014, in her fourth London Marathon, Edna ran away from sub-2:20 runner Florence Kiplagat (no relation) and debutante Tirunesh Dibaba, and finally won the London Marathon. However, her next few marathons left lot to be desired. Edna was 13th in the 2014 New York City Marathon and 11th in the 2015 London Marathon. Then in the 2015 World Championships in Beijing, Edna was left behind when four runners surged away late in the race. She finished fifth. However, there is a sign of hope for Edna. In the Great Scottish run in Glasgow, Edna ran 1:08:21 for the half marathon, third fastest half marathon of her career.

エドナ・キプラガトは、2011年と2013年の世界選手権で連覇を成し遂げた。ケニアのキャサリン・ヌデレバも世界選手権で2回金メダルを獲得しているが、世界選手権の女子マラソンを「連覇」したのはエドナだけである。また、2011年の世界選手権は、優勝したエドナを筆頭にケニア勢がメダルを独占した。世界選手権の女子マラソンでメダル独占は、史上初めてのことで、この1回限りだ。

1996年、17歳の時に世界ジュニア選手権に出場し3000mで銀メダルに輝いた。その2年後にも同種目で銅メダルを獲得している。世界クロスカントリー選手権のジュニアの部では、メダルには届かなかったものの、1996年に5位、翌1997年は4位に入っている。2006年の世界クロカン選手権福岡大会にはニアの部で出場し13位だった。

その後、コロラド州のボルダーを拠点とし、米国のロードレースを走るようになった。2005年にラスベガスマラソンで初マラソンに挑んだが、2時間50分20秒で10位と、全く注目し得る成績ではなかった。その後、米国のロードレースに出場し続け、頻りに優勝するようになる。

2010年のロサンゼルスマラソンで初めて本格的なマラソンに挑むと、いきなり優勝を果たした。しかし、ロサンゼルスマラソンは世界的にはメジャーなレースとはいえず、彼女への注目度はそんなに高くはなかった。エドナを一躍世界的に有名にしたのは、2010年のニューヨークシティマラソンだ。のちに一流のマラソンランナーとなるフラナガン(米国)とケイタニー(ケニア)の初マラソンに注目が集まるなか、見事に優勝を果たしたのがエドナだった。翌2011年のロンドンマラソンは、ケイタニーが2時間20分を破った10人目の女子ランナーとなり優勝したが、エドナは2時間20分46秒と大幅に自己ベストを更新し2位に入り、注目を集めた。注:レースで2位だったジョブホフ(ロシア)は後に失格、エドナが3位から2位に上がった。その4ヵ月後の世界選手権のマラソンでは、38kmで転倒したにもかかわらず優勝を果たした。翌2012年のロンドンマラソンでは、2度目の2時間20分切りを達成したケイタニーに続き、エドナも2時間19分50秒で走り、16人目のサブ2時間20分ランナーになった。彼女は絶頂期を迎えているかのように思えたが、同じロンドンで行われた五輪のマラソンでは20位に沈んだ。2013年には3度目のロンドンマラソンに出場したが、結果はまたしても2位。だが、その年の世界選手権モスクワ大会では見事に連覇を成し遂げている。そして、2014年には4度目のロンドンマラソン挑戦で、2時間19分台ランナーのフローレンス・キプラガット(血縁関係はない)や、初マラソンに挑戦するトラックの女王ティルネッシュ・ディババを振り切り、念願の優勝を成し遂げた。

その後は、2014年ニューヨークシティマラソンで13位、2015年のロンドンマラソンでも11位と低迷が続いた。そして、昨年の世界選手権北京大会では、レース後半4人が抜け出した時に付いていくことができず5位に終わった。しかし、復調の兆しが見えないわけではない。昨年最後のレースのグラスゴウのハーフマラソンでは、自己3番目の記録となる1時間8分21秒で優勝している。

## Tokyo Marathon Invited Athletes - International women

## No. 32 アベル・ケベデ (エチオピア)

KEBEDE, Aberu (ETH)



DOB : 12 Sep. 1986  
Age : 29  
Height : 158cm  
Weight : 44kg

## Personal Bests

Marathon	2:20:30	-2012
Half marathon	1:07:39	-2009
10000m	30:48:26	-2009

## International Championships Highlights

Marathon	12th in 2011 World Championships; 13th in 2013 World Championships
Half Marathon	3rd in 2009 World Half Marathon Championships
World Cross Country Championships	16th in junior race in 2007

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015				2:20:48
2014			1:08:41	2:22:21
2013				2:23:28
2012		31:09:28		<b>2:20:30</b>
2011			1:08:28	2:24:34
2010		32:17:74		2:23:58
2009		<b>30:48:26</b>	<b>1:07:39</b>	
2008			1:11:43	

## Marathon career

Year	Time	Race	Place	Date
	2:20:48	Berlin	2nd	27 Sept 2015
	2:26:52	Boston	7th	20 Apr 2015
	2:21:17	Dubai	5th	23 Jan 2015
	2:22:21	Frankfurt	1st	26 Oct 2014
	2:23:21	London	5th	13 Apr 2014
	2:23:28	Shanghai	1st	1 Dec 2013
	2:38:04	World Championships - Moskva	13th	10 Aug 2013
	2:25:34	Tokyo	1st	24 Feb 2013
Personal Best	<b>2:20:30</b>	Berlin	1st	30 Sept 2012
	2:24:04	London	6th	22 Apr 2012
	2:20:33	Dubai	5th	27 Jan 2012
	2:31:22	World Championships - Daegu	12th	27 Aug 2011
	2:24:34	London	9th	17 Apr 2011
	2:23:58	Berlin	1st	26 Sept 2010
	2:25:29	Rotterdam	1st	11 Apr 2010
	2:24:26	Dubai	2nd	22 Jan 2010

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:20:48
24 May	Corrida de Mulher	5Km	3rd	15:58
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	7th	2:26:52
23 Jan	Dubai Marathon	Marathon	5th	2:21:17

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	1st	2:22:21
21 Sept	Rock n Roll Philadelphia Running Festival	Half marathon	1st	1:08:41
13 Apr	London Marathon	Marathon	5th	2:23:21
14 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	8th	1:09:22

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Dec	Shanghai Marathon	Marathon	1st	2:23:28
10 Aug	World Championships - Moskva	Marathon	13th	2:38:04
24 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:25:34

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Great Ethiopian Run - Addis Ababa	10Km	1st	33:27
30 Sept	Berlin Marathon	Marathon	1st	2:20:30
1 June	Prefontaine Classic - Eugene	10000m	5th	31:09:28
10 May	ETH Championships - Addis Ababa	10000m	1st	32:48:55
22 Apr	London Marathon	Marathon	6th	2:24:04
27 Jan	Dubai Marathon	Marathon	5th	2:20:33

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Delhi Half Marathon - New Delhi	Half Marathon	8th	1:09:07
27 Aug	World Championships - Daegu	Marathon	12th	2:31:22
17 Apr	London Marathon	Marathon	9th	2:24:34
20 Mar	Meia-Maratona Internacional de Lisboa	Half marathon	1st	1:08:28

Aberu Kebede holds a distinction of recording the fastest season average (in case of three marathon in the season) of 2:21:42, which was recorded in 2012 when she ran 2:20:33 in Dubai marathon, 2:24:04 in London marathon, and 2:20:30 in Berlin marathon; it is a mark of consistency. She ran 16 marathons since her debut in the 2010 Dubai marathon where she was second with 2:24:26. Aberu won six of them - 2010 Rotterdam, 2010 and 2012 Berlin marathons, 2013 Tokyo Marathon, 2013 Shanghai Marathon and 2014 Frankfurt Marathon. She never finished worse than 9th except in the 2011 World Championships in Daegu, where she was 12th and 2013 World Championships in Moskva where she was 13th. She never ran slower than 2:27 except in the warm weather race in Daegu where she ran 2:31:22 and in Moskva where she ran 2:38:04. Three years ago, Aberu Kebede missed the Tokyo Marathon course record by six seconds, but in her career she has surpassed the current Tokyo Marathon course record, 2:22:23, five times, and thus the course record is well within her reach. That is not all. She is also endowed with good speed. Her personal best at 10000m is 30:48:26 and her half marathon best is 1:07:39, both recorded in 2009. Furthermore Aberu ran sub-1:08 half marathon twice and sub-1:09 half marathon six times. She was third in the 2009 World Half Marathon Championships, where she recorded her personal best of 1:07:39. So Aberu Kebede may be ready to crack 2:20 at the marathon. If she is successful, Aberu will be the 20th runner and the fifth Ethiopian to crack the 2:20 barrier. It will also be the first time on the Japanese soil. The Japanese all-comers record of 2:21:18, by the 2004 Olympic champion, Mizuki Noguchi, recorded in 2003 Osaka Ladies Marathon, is other obvious target for Aberu Kebede.

Before she won the 2013 Tokyo Marathon, she won the 2012 Berlin Marathon with fast time of 2:20:30. Although she failed to win the Berlin Marathon in September of 2015, her time was 2:20:48, quite close to her personal best. So, if the Berlin to Tokyo trend is any indication, good performance in Tokyo Marathon is quite possible again. In its ten year history of the Tokyo Marathon, nobody won this marathon twice. Thus if Aberu wins, it will be the first.

アベル・ケベデが2012年に走った3回のマラソン(ドバイマラソンでの2時間20分33秒、ロンドンマラソンでの2時間24分04秒、そしてベルリンマラソンでの2時間20分30秒)の平均値、2時間21分42秒は、シーズン3回のマラソンの平均値として最速だ。彼女がいかにか安定感のあるランナーか、その根拠にもなる。

2010年ドバイでの初マラソンは2時間24分26秒で2位、その後15回マラソンを走り、優勝したのは、2010年ロンドンマラソン、2010年と2012年のベルリンマラソン、2013年東京マラソン、2013年上海マラソン、2014年フランクフルトマラソンの計6回。2度出場した世界選手権は、2011年テグ大会が12位、2013年モスクワ大会が13位だったが、それ以外に9位以下は1度もない。また、夏マラソンの世界選手権(テグ大会2時間31分22秒、モスクワ大会2時間38分04秒)を除けば、2時間27分以上かかったレースが1度もない。

前回の東京マラソンはあと6秒で大会記録更新を逃したが、現在の大会記録2時間22分23秒よりも速かったレースは5回もある。それゆえ、大会新記録樹立は十分に望める。

彼女はスピードにも恵まれた選手で、2009年に10,000m30分48秒、ハーフマラソン1時間7分39秒の自己記録をマークしている。アベルは、ハーフで68分切りを2回、69分切りを6回しているが、2009年世界ハーフマラソン選手権では自己ベストを1時間7分39秒まで伸ばして銅メダルを獲得した。マラソンでも2時間20分の壁を破る日は間近に迫っているはずだ。もし20分切りを成功すれば史上20人目で、エチオピア人として5人目となる。日本国内のレースでは初めての事。野口みずきが2003年大阪国際女子マラソンで記録した日本国内最高記録2時間21分18秒も格好のターゲットだろう。

2012年のベルリンマラソンを2時間20分30秒の好タイムで制した。2013年の東京マラソンでも優勝した。2015年のベルリンマラソンは優勝こそ逃したものの、タイムは2時間20分48秒と自己ベストに近かった。それゆえ、今回の東京も期待できるはず。東京マラソンは今回10回目を迎えるが、男女ともに2回優勝した選手はいない。もしケベデが勝てば初めての事となる。

## 2010 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Nov	New Delhi Half Marathon	Half marathon	4th	1:08:39
26 Sept	Berlin Marathon	Marathon	1st	2:23:58
26 June	Znamensky Memorial - Zhukovskiy	10000m	1st	32:17:74
23 May	Sunfesta World 10Km - Bangalore	10Km	5th	32:21
11 Apr	Rotterdam Marathon	Marathon	1st	2:25:29
22 Jan	Dubai Marathon	Marathon	2nd	2:24:26

## 東京マラソン招待選手—海外女子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International women

## No. 33 シュレ・デミセ (エチオピア)



DOB : 21 Jan. 1996
Age : 20
Height : 165cm
Weight : 45kg
<b>Personal Bests</b>
Half marathon 1:08:53 -2014
Marathon 2:20:59 -2015

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015			1:13:47	2:20:59
2014			1:08:53	
2013			1:11:03	

## Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:23:37	Toronto	1st	18 Oct 2015
	2:27:15	Boston	8th	20 Apr 2015
<b>Personal Best</b>	2:20:59	Dubai	4th	23 Jan 2015

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	1st	2:23:37
26 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	2nd	1:13:47
10 June	ETH Champ – Addis Ababa	10000m	2nd	32:54.09
20 Apr	Boston Marathon	Marathon	8th	2:27:14
23 Jan	Dubai Marathon	Marathon	4th	2:20:59

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Oct	Wantu Cup – Linvi	Half marathon	5th	1:12:12
14 Sept	Mezza Maraton Internazionale del Concilio Citta di Trento	Half marathon	1st	1:14:11
1 May	15km du Puy-en-Velay	15Km	4th	51:56
30 Mar	Warsaw Half Marathon – Warszawa	Half marathon	2nd	1:11:22
16 Mar	African Cross Country Champ – Kampala	6km	11th	20:30
2 Mar	Maratona Roma-Ostia	Half marathon	4th	1:08:53
9 Feb	Jan Meda International Cross Country – Addis Ababa	6Km	3rd	19:40

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 June	Mattoni Ceske Budejovice half marathon	Half marathon	2nd	1:12:16
7 Apr	Semi-Marathon de Rabat	Half marathon	3rd	1:11:03

Shure Demise's marathon debut was quite shocking one. Two days after she turned 19 years old, Demise ran her first marathon in the 2015 Dubai Marathon, and finished in fourth with 2:20:59. Not only it was the fifth fastest marathon debut time in history, but it was also two and half minutes improvement of the world junior marathon record. Born in the farming family of ten brothers and sisters, Shure started to admire the 1992 and 2000 Olympic 10000m champion Derartu Tulu, whom she watched on television; it gave the motivation for her to start running. After she started running Shure started to admire two-time defending Olympic 10000m champion Tirunesh Dibaba also. When she was 16 years old, Shure ran 10km road race at 2400m altitude in Ethiopia and finished with very respectable 33:24. Thus she started to attract attention. In the February of 2014, Shure ran the Jan-Meda Cross Country, famed Ethiopian Cross Country race and finished third in the junior division; this brought further attention to her. Although most of Ethiopian runners turn to track first before they move up to the marathon, Shure decided to concentrate on road racing and then move up to the marathon. In March of 2014, Shure recorded a personal best of 1:08:53 in the Roma to Ostia half marathon. Thus with confidence about her ability for road racing, Shure decided to move up to the marathon without experience in track races. However, before her marathon debut in Dubai in 2015, Shure knew little about the marathon. For example, she didn't even know that it is OK to drink water during the marathon. Shure made a spectacular marathon debut, and thus much expectation fell on her after the race. Following Dubai, although she was only eighth in the Boston Marathon in April, Shure set her goal of breaking the course record in the Toronto Waterfront Marathon. In Toronto, Shure broke away from Sharon Cherop (KEN) and Fatuma Sado (ETH) and won the race comfortably with 2:23:37. It was her first marathon win of her career, but she fell short of her goal, the course record. She then decided to run the Tokyo Marathon. Unfortunately her training was interrupted for two weeks during December, but she is now training well. Because of her injury, she has not set her goal for Tokyo marathon yet, but will wait till mid-February before deciding on her goal. Her goal this year, of course, is to make the Olympic marathon team, but she realizes that she must win the Tokyo Marathon in order to be considered for the team, for many fast Ethiopians are also trying to make the team.

シュレ・デミセの初マラソンは衝撃的だった。19歳を迎えた誕生日の2日後、2015年ドバイマラソンで初マラソンに挑むと、2時間20分59秒で4位に入った。当時、初マラソン世界歴代5位となる記録だった。また、従来の世界ジュニア記録を2分半も更新する世界ジュニア新記録でもあった。

農業を営む両親のもとに生まれ、5人の兄弟と5人の姉妹という大所帯に育った。そして、1992年、2000年のオリンピック女子10,000mで金メダルを獲得したデラルツ・ツルをテレビで見ただけ、走るようになった。走るようになってからは、現在五輪10,000m2連勝中であるティルネシュ・ディババにも憧れるようになったという。そして、デミセは16歳の時にエチオピアの2400mの高地で行われた10kmのロードレースで33分24秒を記録し、一躍注目されるようになった。2014年2月にはエチオピアで有名なクロスカントリーレースのジュニアの部で3位に入り、さらに注目を集める。しかし、エチオピアの他のランナーがトラックでの成功を目指すなか、彼女はロードレースに集中することを決意したという。そして、2014年3月にローマ・オスティア・ハーフマラソンで1時間8分53秒を記録しロードに自信を深めると、彼女はトラックを経ず、マラソンに距離を延ばす決意を固めた。

ドバイでの初マラソンの時は、「レース中に水を飲むこと」さえも知らなかったと言うが、いきなり速いタイムを叩き出し、将来への期待を背負うことになった。4月のボストンマラソンは8位に終わったが、10月のトロントマラソンはコース記録更新に目標を定めると、シャロン・チェロップ(ケニア)、ファツマ・サド(エチオピア)などの強豪を振り切り、2時間23分37秒の好記録でマラソン初優勝を成し遂げた。しかし、残念ながら、目標の大会記録には及ばなかった。

その彼女が4回目のマラソンに選んだのが東京だ。昨年12月に故障し、2週間ほど練習の中断を余儀なくされたが、今は順調に練習をこなしている。ケガがあったので、東京での目標設定は2月半ば過ぎになるという。夢はエチオピアの五輪マラソンチームに選ばれることだが、エチオピアには多くの強豪選手がいて、しのぎを削って五輪代表を狙っている。選ばれるためには、東京マラソンで優勝しなければならぬと考えている。

## No. 34 ベルハネ・ディババ (エチオピア)



DOB : 11 Sep. 1993
Age : 22
Height : 160cm
Weight : 45kg
<b>Personal Bests</b>
Half marathon 1:09:34 -2014
Marathon 2:22:30 -2014

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015				2:23:15
2014			1:09:34	2:22:30
2013				2:23:01
2012				2:29:22
2011				
2010	9:21.09			

## Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:24:24	Chicago	3rd	11 Oct 2015
	2:23:15	Tokyo	1st	22 Feb 2015
	2:27:02	Chicago	4th	12 Oct 2014
<b>Personal Best</b>	2:22:30	Tokyo	2nd	23 Feb 2014
	2:23:01	Frankfurt	3rd	27 Oct 2013
	2:23:51	Nagoya Women	2nd	10 Mar 2013
	2:29:22	Valencia	1st	18 Nov 2012
	2:34:58	Sao Paulo	2nd	17 June 2012
	2:33:07	Barcelona	4th	25 Mar 2012

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:24:24
26 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	DNF	DNF
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:23:15

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Oct	Chicago Marathon	Marathon	4th	2:27:02
1 June	Rock n Roll San Diego half marathon	Half marathon	1st	1:09:34
3 May	Okpeke Road Race	10Km	3rd	32:59
23 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:22:30

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	3rd	2:23:01
10 Mar	Nagoya Women's Marathon	Marathon	2nd	2:23:51

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Nov	Valencia Marathon	Marathon	1st	2:29:22
17 June	Sao Paulo Marathon	Marathon	2nd	2:34:58
25 Mar	Barcelona Marathon	Marathon	4th	2:33:07

## 2011 Results None

## 2010 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Aug	Dieci Miglia del Garda – Brescia	5 mile	1st	28:44
31 July	Le Miglia de Agordo – Taibon Agordino	5.54Km	1st	18:24
12 May	East Africa Trials for Youth Olympics – Khartoum	3000m	3rd	9:21.09

In the 2013 Frankfurt Marathon Birhane Dibaba finished third with 2:23:01, which was the fastest marathon by 20 years old. She improved the record for the fastest marathon by 20 years old, previously set by Merima Mohammed when she ran 2:23:14 in the 2013 Paris Marathon. Four months later in the 2014 Tokyo Marathon, still 20 years old, Birhane Dibaba further improved the single age record for 20 years old to 2:22:30 when she finished second. The time is also the second fastest time in the Tokyo Marathon. However, note that 2:20:59, fastest time by 19 years old as well as the World Junior Marathon record, recorded by Shure Demise in the 2015 Dubai Marathon, is faster.

Birhane Dibaba made a marathon debut at the 2012 Barcelona Marathon where she was fourth with 2:33:07. Although she failed to improve her personal best in her next marathon in Sao Paulo, starting with the 2012 Valencia Marathon Birhane Dibaba improved her marathon personal best in the next four marathons. She won the 2012 Valencia Marathon with 2:29:22, improved her personal best to 2:23:51 in the 2013 Nagoya Women's Marathon, and then further improved the personal best to 2:23:01 in the 2013 Frankfurt marathon, culminating in the current personal best of 2:22:30, which was recorded at the 2014 Tokyo Marathon. After the Tokyo Marathon in 2014, where she improved her marathon best, Birhane Dibaba improved personal best for 10km on the road to 32:59 and half marathon best to 1:09:34. In short, she improved the personal bests at all distances in 2014. However, in the 2014 Chicago Marathon, her marathon her personal best streak came to an end, for she was only fourth with 2:27:02. In 2015 Tokyo Marathon, 21 years old Birhane Dibaba had a chance to improve a single age record for 21 years old, which stands at 2:23:11 by Yoko Shibui from the 2001 Osaka Ladies Marathon. She did win the Tokyo Marathon, but she missed the record by mere four seconds. Birhane Dibaba excelled in the Tokyo Marathon, having finished first and second with fast time; furthermore she never finished worse than fourth at the marathon. Dibaba is currently third with 34 points in the Abbott Marathon Majors Series IX race, and thus can win the Series IX if she wins the Tokyo Marathon. Furthermore, in its ten years history of the Tokyo Marathon, no man or woman has won this event more than once. If Dibaba, the defending champion, wins the Tokyo marathon, she will be the first to successfully defend her crown.

2013年10月にフランクフルトマラソンを走ったベルハネ・ディババは、20歳として最速となる2時間23分01秒を記録して3位に入った。それまでの20歳の記録は、メリマ・モハメッド・ハセンが2013年パリマラソンで記録した2時間23分14秒だったが、それを13秒更新した。そのフランクフルトマラソンから4カ月後、まだ20歳だったディババは、2014年の東京マラソンで2位ながら2時間22分30秒で走り、20歳最高記録を再び更新した。そのタイムは、現在でも東京マラソンの歴代2位の記録である。しかしながら、2015年のドバイマラソンで、今回の東京マラソンにも出場するシュレ・デミセが記録した19歳のマラソン最速記録(2時間20分59秒、世界ジュニア記録でもある)はさらに速い。

ベルハネ・ディババの初マラソンは、2012年のバルセロナマラソンで、2時間33分07秒で4位に入った。次戦のサンパウロマラソンでは自己ベストを更新することはできなかったが、2012年バレンシアマラソンからは4大会連続で自己ベストを更新する。2012年バレンシアマラソンは2時間29分22秒で優勝。続く2013年名古屋ウィメンズマラソンでは、2時間23分51秒と大幅に自己ベストを更新した。その後も、2013年フランクフルトマラソンで2時間23分01秒を記録。2014年の東京マラソンでは2時間22分30秒(現在の自己ベスト)まで記録を伸ばしている。2014年東京マラソンの後は、ロード10km32分59秒、ハーフマラソン1時間9分34秒と、全ての距離で自己ベストを更新した。しかし、2014年シカゴマラソンは2時間27分02秒で4位と、4回続いていた自己ベストの連続記録がストップしてしまった。

昨年の東京マラソンは、21歳になったベルハネ・ディババに、渋井陽子(2011年大阪国際女子マラソン)が出した21歳の最高記録2時間23分11秒の更新に期待がかかっていた。しかし、優勝はしたものの、渋井の記録には4秒及ばなかった。とはいえ、東京マラソンでは好タイムで2位、1位と確実に好成績を連発している。また、マラソンで4位以下はない。

今回の東京マラソンでは、彼女にさらに大きな期待がかかっている。ディババは、現在アボット・ワールドマラソンメジャーズシリーズIXで34点を獲得し3位に付けており、東京で優勝すればシリーズIXでの優勝が可能となる。また、10回目を迎える東京マラソンで、男女ともに2回優勝した選手はいない。ディフェンディングチャンピオンのディババが勝てば、初めての複数回優勝者となる。

## 東京マラソン招待選手—海外女子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International women

## No. 35 アマネ・ゴベナ (エチオピア)

GOBENA, Amane (ETH)



DOB : 11 Sep. 1982  
Age : 33  
Height : 164cm  
Weight : 43kg

## Personal Bests

5000m	15:19.50	-2004
Half marathon	1:08:16	-2009
Marathon	2:23:29	-2015

## International Championships Highlights

World Cross Country Championships	8th in 2002 and 11th in 2004
-----------------------------------	------------------------------

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015			1:13:44	<b>2:23:29</b>
2014			1:12:20	2:27:05
2013			1:15:07	2:23:50
2012				2:28:38
2011				2:31:49
2010			1:09:24	2:24:13
2009			<b>1:08:16</b>	2:26:53
2008			1:12:16	
2007	<b>15:49.31</b>			

## Marathon career

Date	Time	Race	Place	Date
	2:31:58	Istanbul	1st	15 Nov 2015
	DNF	Chicago	DNF	11 Oct 2015
<b>Personal Best</b>	<b>2:23:29</b>	Paris	2nd	12 Apr 2015
	2:28:46	Istanbul	1st	16 Nov 2014
	2:28:29	Toronto	4th	19 Oct 2014
	2:27:37	Los Angeles – Santa Monica	1st	10 Mar 2014
	2:27:05	Dubai	6th	24 Jan 2014
	2:29:36	Paris	7th	7 Apr 2013
	2:23:50	Dubai	3rd	25 Jan 2013
	2:28:38	Istanbul	2nd	11 Nov 2012
	2:37:31	Seoul	10th	20 Mar 2011
	2:31:49	Xiamen	1st	2 Jan 2011
	2:32:29	Istanbul	3rd	18 Oct 2010
	2:24:13	Seoul	1st	21 Mar 2010
	2:25:14	Osaka	1st	29 Jan 2010
	2:28:31	Toronto	1st	27 Sept 2009
	2:26:53	Los Angeles	2nd	25 May 2009
	2:32:06	Houston	5th	18 Jan 2009

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Nov	Istanbul Marathon	Marathon	1st	2:31:58
11 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
26 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	1st	1:13:44
30 May	Freihofer's Run for Women's 5K – Albany	5Km	6th	15:59
25 May	Bolder Boulder	10Km	2nd	33:38
12 Apr	Marathon de Paris	Marathon	2nd	2:23:29

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Nov	Istanbul Marathon	Marathon	1st	2:28:46
19 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	4th	2:28:29
1 June	Rock n Roll San Diego Half Marathon	Half Marathon	5th	1:12:20
26 May	Bolder Boulder 10K	10Km	6th	34:24.8
10 Mar	LA Marathon – Los Angeles to Santa Monica	Marathon	1st	2:27:37
31 Jan	Abu Dhabi	10Km	1st	31:44
24 Jan	Dubai Marathon	Marathon	6th	2:27:05

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	3rd	1:15:07
1 June	Freihofer's Run for Women's 5K – Albany	5Km	6th	16:06
27 May	Bolder Boulder	10Km	2nd	34:09
7 Apr	Paris Marathon	Marathon	7th	2:29:36
25 Jan	Dubai Marathon	Marathon	3rd	2:23:50

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
11 Nov	Eurasia Istanbul Marathon	Marathon	2nd	2:28:38

Although Amane Gobena was passed by Meseret Mengistu in the final 500m of the 2015 Paris Marathon, Gobena still improved her marathon personal best by 20 seconds to finish second with 2:23:30. She thus improved her personal best of 2:23:50 recorded in the 2013 Dubai Marathon.

She has not competed in the World Championships or Olympic Games at track or road events, but Gobena ran short course twice in the World Cross Country Championships. She finished eighth in 2002 and eleventh in 2004. Each time Ethiopia won the team gold.

Gobena made her marathon debut in the 2009 Houston Marathon, and finished fifth with 2:32:06. However, such performance was hardly noticed. A month later in the 2009 RAK Half Marathon, Gobena ran 1:08:16, a world class time and four minutes personal best. Three months later she ran the Los Angeles Marathon, and finished second with a huge personal best of 2:26:53. Considering her half marathon best of 1:08:16, Gobena should be able to run faster marathon yet. Although she failed to improve her personal best at her third marathon in Toronto, Gobena finally won the marathon. Gobena won the next two marathons in Osaka and Seoul with personal best. In the 2010 Osaka Women's Marathon, Gobena broke away from Marisa Barros, sixth in the World Championships, with 4km to go and improved her personal best by more than a minute and half to 2:25:14. In Seoul, she further improve her marathon best by a minute to 2:24:13. Thus her marathon career was on the right track. However, she was not able to improve her marathon best in her next four marathons. She had to wait until the 2013 Dubai Marathon before improving her personal best again. In Dubai, although she was only third, Gobena improved her marathon best to 2:23:50. Gobena finally ran the marathon time for a typical runner with the half marathon best of 1:08:16. Two years later she improved her marathon best in Paris Marathon. Gobena dropped out of her next marathon in Chicago. It was first DNF in her marathon career. However, a month later she won the Istanbul Marathon. Looking back, 2010 Osaka Women's Marathon was a turning point of her marathon career. Can Tokyo Marathon be her next turning point of her marathon career?

アマネ・ゴベナは、2015年パリマラソンでは最後の500mで逆転されてしまったが、自己ベストとなる2時間23分30秒で2位に入った。2013年のドバイマラソン(3位)でマークした2時間23分50秒を2年ぶりに20秒更新した。

トラック種目やロード種目で世界選手権、五輪の出場経験はないが、世界クロスカントリー選手権には2度ショートコースに出場している。2002年には8位、2004年には11位に入り、2回ともエチオピアは団体金メダルを獲得している。

ゴベナの初マラソンは2009年のヒューストンマラソン。2時間32分06秒で5位という成績は全く目立たなかったが、その1か月後のRAKハーフマラソンでは68分16秒と、世界トップクラスのタイムを叩き出し、ハーフの自己ベストを4分も更新した。その3か月後のロサンゼルスマラソンでは、大幅に自己記録を更新し2時間26分53秒で2位に入ったが、まだまだハーフのベストに見合う記録ではなかった。3度目のマラソンとなったトロントマラソンでは、ベストこそ更新できなかったが、初めて優勝。その後2010年の大阪国際女子マラソン、そしてソウル国際マラソンと、2大会連続で優勝を果たした。大阪は残り4kmで世界選手権6位のバロスを振り切り、自己ベストを1分半以上更新し、2時間25分14秒で制した。そして、ソウルでは2時間24分13秒とその記録をさらに1分更新した。

ここまでは順調だったゴベナのマラソンキャリアだが、次の4レースでは自己ベストを更新できなかった。次にゴベナが自己ベストを更新したのは、2013年ドバイマラソンでのこと。3位だったが、2時間23分50秒と、ようやくハーフのベストに見合うタイムで走った。そして、その2年後のパリで現在の自己ベストを記録した。パリの次戦となったシカゴマラソンは初めて途中棄権に終わったが、その1か月後のイスタンブールマラソンは優勝を果たしている。

今から思えば、6年前の大阪国際女子マラソンが彼女にとって転機のレースだったといえるかもしれない。今回の東京マラソンは、彼女にとって再び転機のレースになるだろうか。

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Mar	Seoul Marathon	Marathon	10th	2:37:31
27 Feb	World's Best 10K – San Juan	10Km	7th	33:17
2 Jan	Xiamen International Marathon	Marathon	1st	2:31:49

## No. 36 アシエテ・デイド (エチオピア)

DIDO, Ashete Bekele (ETH)



DOB : 17 Apr. 1988  
Age : 27  
Height : 165cm  
Weight : 46kg

## Personal Bests

Half marathon	1:11:18	-2014
Marathon	2:23:43	-2015

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015				<b>2:23:43</b>
2014			<b>1:11:18</b>	2:24:59
2013				2:27:47
2012				2:31:23
2011				2:34:00

## Marathon career

Date	Time	Race	Place	Date
	2:26:55	Praha	5th	3 May 2015
<b>Personal Best</b>	<b>2:23:43</b>	Dubai	10th	23 Jan 2015
	2:24:59	Frankfurt	3rd	26 Oct 2014
	2:28:04	Praha	3rd	11 May 2014
	2:29:21	Nagoya	9th	9 Mar 2014
	2:27:47	Kosice	1st	8 Oct 2013
	2:32:23	Chongqing	3rd	23 Mar 2013
	2:40:22	Sea of Galilee	1st	10 Jan 2013
	2:33:29	Dublin	4th	29 Oct 2012
	2:31:23	Roma	2nd	18 Mar 2012
	2:34:00	Reims	4th	16 Oct 2011

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 May	Prague International Marathon	Marathon	5th	2:26:55
23 Jan	Dubai Marathon	Marathon	10th	2:23:43

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	3rd	2:24:59
11 May	Prague International Marathon	Marathon	3rd	2:28:04
9 Mar	Nagoya Women's Marathon	Marathon	9th	2:29:21
19 Jan	Mitja Marato Intern Vila de Santa Pola	Half marathon	1st	1:11:18

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Oct	Kosice Peace Marathon	Marathon	1st	2:27:47
23 Mar	Chongqing Marathon	Marathon	3rd	2:32:23
10 Jan	Tiberias Inter Marathon – Sea of Galilee	Marathon	1st	2:40:22

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Oct	Dublin Marathon	Marathon	4th	2:33:29
18 Mar	Maratona della Città di Roma	Marathon	2nd	2:31:23

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Oct	Marathon de Reims	Marathon	4th	2:34:00

Ashete Bekele Dido, who made her marathon debut in the 2011 Reims Marathon, race almost exclusively at the marathon. In fact, all the races she ran during the last five years are at the marathon distance except for the half marathon race at Santa Pola in January of 2014. In her second marathon in Roma, Ashete improved her marathon time from 2:34:00 recorded in her debut marathon to 2:31:23. However, in her next three marathons, Ashete was unable to improve her marathon best. Furthermore, she was unable to crack 2:30 marathon barrier in first five races of her marathon career. However, in her sixth marathon, at Kosice, she finally cracked 2:30 barrier with 2:27:47. After a victory in Kosice, she finished ninth with 2:29:21 in the 2014 Nagoya Women's Marathon. Dido moved up to a higher level in the 2014 Frankfurt marathon. She improved her marathon best nearly three minutes and finished third in 2:24:59. Three months later in the 2015 Dubai Marathon, she was only tenth, but further improved her marathon best by more than a minute to 2:23:43. Three and a half months later, Ashete ran the Praha Marathon and finished fifth with 2:26:55, third best time of her marathon career. Of her eleven career marathons, Dido always finished with fifth or higher except in two races – 2015 Dubai Marathon where she finished tenth but set her current personal best, and ninth place finish at the 2014 Nagoya Women's Marathon. That is not all. Ever since she cracked 2:30 marathon barrier at the 2013 Kosice Marathon, she always cracked 2:30 for the marathon.

Ashete will be running her second marathon in Japan, after Nagoya in 2014, and she is expected to crack 2:30 again and finish near the top.

2011年にフランスのランスマラソンで初マラソンを走ったアシエテ・デイドだが、マラソン以外のレースはほとんど走っていない。この5年間に出場したレースは、2014年1月に走ったハーフマラソンを除いて全てマラソンである。

初マラソンで記録した2時間34分00秒を、2回目のローママラソンで2時間31分23秒まで更新したが、その後3回のマラソンでは自己ベストを更新できなかった。しかも、最初の5レースでは2時間30分の壁を破れなかった。だが、6レース目のコースマラソンでついに2時間30分を切り、2時間27分47秒で優勝。2014年名古屋ウィメンズマラソンは2時間29分21秒で9位に入った。

デイドが、もう一段上のレベルのマラソンランナーになったのは、2014年のフランクフルトマラソンだ。自己ベストを3分近く更新する2時間24分59秒で3位に入ったのだ。それから3か月後の2015年ドバイマラソンは10位だったが、2時間23分43秒と、さらに1分以上自己ベストを更新した。その3か月半後にはブラハマラソンを走り、自己3番目の記録、2時間26分55秒で5位に入った。11回マラソンを走っているデイドだが、自己ベストを出したドバイでの10位と名古屋の9位以外、5位以下のフィニッシュはない。また、2013年コースマラソンで2時間30分の壁を破って以降、全てのレースで2時間30分を切っている。

日本でのマラソンは2014年の名古屋以来2度目だが、今回も2時間30分を切って上位入賞ができるだろうか。

## 東京マラソン招待選手—海外女子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International women

No. 37 ヘラー・キプロプ (ケニア)  
KIPROP, Helah (KEN)

DOB : 7 Apr. 1985  
Age : 30  
Height : 170cm  
Weight : 50kg

Personal Bests		
Half marathon	1:07:39	-2013
Marathon	2:24:03	-2015

International Championships Highlights		
Marathon	2nd in 2015 World Championships	

Progressions				
Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015			1:08:23	2:24:03
2014		32:20	1:08:36	2:27:14
2013		32:26	1:07:39	2:28:02
2012		31:44	1:08:26	
2011			1:08:57	
2010		32:30	1:13:03	

Marathon career					
	Time	Race	Place	Date	
	2:27:36	World Champ – Beijing	2nd	30 Aug 2015	
Personal Best	2:24:03	Tokyo	2nd	22 Feb 2015	
	2:27:14	Frankfurt	5th	26 Oct 2014	
	2:27:29	Seoul	1st	16 Mar 2014	
	2:28:02	Berlin	4th	29 Sept 2013	
	DNF (pace)	London	DNF (pace)	21 Apr 2013	

2016 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
31 Jan	Discovery Kenya Cross Country – Eldoret	8Km	4th	26:09	

2015 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
29 Nov	Delhi Half Marathon	Half marathon	2nd	1:08:35	
30 Aug	World Championships – Beijing	Marathon	2nd	2:27:36	
20 June	Mattoni Olomouc Half Marathon	Half marathon	4th	1:09:25	
17 May	World 10K – Bangalore	10Km	4th	32:19	
26 Apr	Istanbul Half Marathon	Half marathon	2nd	1:08:23	
22 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:24:03	

2014 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
7 Dec	Cochin Half Marathon	Half marathon	1st	1:11:40	
26 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	5th	2:27:14	
14 Sept	Mattoni Usti Half Marathon	Half marathon	2nd	1:10:48	
6 Sept	Birell Grand Prix – Praha	Half marathon	4th	32:33	
14 June	Zwolle Half Marathon – Zwolle	Half marathon	1st	1:09:46	
6 June	Oelder Sparkassen City Lauf	10Km	1st	32:20	
18 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	5th	33:19	
16 Mar	Seoul International Marathon	Marathon	1st	2:27:29	
14 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	4th	1:08:36	

2013 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
29 Dec	Cochin International Half Marathon – Kochi	Half marathon	1st	1:11:54	
29 Sept	Berlin Marathon	Marathon	4th	2:28:02	
19 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	6th	32:26	
21 Apr	London Marathon	Marathon	DNF (pace)	DNF (pace)	
7 Apr	Vattenfall Berliner Halbmarathon	Half marathon	1st	1:07:54	
15 Feb	RAK Half Marathon	Half marathon	6th	1:07:39	
13 Jan	Halve Maraton von Egmond	Half Marathon	1st	1:10:55	

2012 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
2 Dec	Tuskys Wareng Cross Country – Eldoret	8Km	4th	27:54	
30 Sept	Delhi Half marathon	Half marathon	3rd	1:11:18	
29 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	3rd	1:15:56	
10 June	Zilveren Kruis Achmea Half – Zwolle	Half marathon	1st	1:09:41	
3 June	Zwitzerloot Dakrun – Groesbeek	10Km	1st	31:44	
27 May	TCS World 10K – Bangalore	10Km	1st	32:22	
12 May	Goteborgsvarvet	Half marathon	4th	1:10:09	
1 Apr	Berliner Halbmarathon	Half marathon	2nd	1:08:26	

2011 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
25 Sept	Meia-Maraton de Portugal – Lisboa	Half marathon	2nd	1:08:57	

Although she lost the race for the finish in the final straight on the track, Helah Kiprop won a silver medal in the 2015 World Championships marathon in Beijing. She also finished second in last year's Tokyo Marathon with 2:24:03.

Kiprop started running European road races in 2005, and in 2009, Kiprop ran her first sub-70 minutes half marathon – 69:29 in Nice. She moved up to another level in 2011, when she improved half marathon personal best further to 68:57 in Lisboa. In 2012 Kiprop improved half marathon personal best further to 68:26 at the Berlin Half marathon in April and then recorded 31:44 for the road 10km in June. She continued to improve in 2013, improving half marathon best to 67:39 in the RAK half marathon and then won the Berlin Half marathon with 67:54, defeating Ongori Philes who defeated her by one second in 2012. Two weeks later she paced the London Marathon to the half-way point in April and then made her marathon debut in September's Berlin Marathon where she was fourth with 2:28:02, not impressive but quite respectable debut. Following year, Kiprop improved her marathon best to 2:27:29 in Seoul in March and then further improved the best to 2:27:14 in the October's Frankfurt Marathon. In short, ever since her debut in the 2013 Berlin Marathon, Kiprop improved her personal best in three consecutive marathons, culminating in the 2015 Tokyo Marathon where she improved her best by more than three minutes to 2:24:03. Although she failed to improve her personal best in the 2015 World Championships, she won a silver medal. Kiprop never finished worse than fifth in her five marathons. She never ran slower than her debut marathon time of 2:28:02 either. Considering her half marathon personal best of 67:39 is the same as the half marathon best of Aberu Kebede, and Kebede has run 2:20:30 for the marathon, Kiprop should be able to run around 2:20 for the marathon. However, time is of secondary importance for her in this year's Tokyo Marathon, for Kiprop has 32 points in fifth place in the Abbott Marathon Majors Series IX race, and thus finishing position is far more important for her. If Kiprop wins the Tokyo Marathon, she will have 41 points and thus ties with Keitany and Mare Dibaba. However, Mare Dibaba finished ahead of Kiprop in the World Championships in Beijing.

ヘラー・キプロプは、昨年の世界選手権北京大会の女子マラソンでラストスパート合戦に敗れたとはいえ、見事に銀メダルを獲得している。また、昨年の東京マラソンでも2時間24分03秒で2位に入っている。

2005年から欧州のロードレースを走り始めたキプロプは、2009年のニスハーフマラソンで69分29秒と初めて70分の壁を破った。それから2年後の2011年には、リスボンのハーフマラソンで68分57秒。さらに、2012年4月にはベルリンハーフマラソンで68分26秒まで伸ばし、6月にはロードの10kmでも31分44秒の自己ベストをマークしている。そして、2013年のRAKハーフマラソンで、現在のベストである67分39秒を記録した。その後、4月のベルリンハーフマラソンは67分54秒で優勝し、前年1秒差で敗れたオンゴリ・フィレスにも勝利した。その2週間後の2013年ロンドンマラソンでは中間点までペースメーカーを務め、9月にベルリンマラソンで初マラソンに挑んだ。2時間28分02秒で4位と鮮烈なデビューとまではいえないが、注目に値するデビュー戦だった。その翌年には3月のソウルマラソンで2時間27分29秒。そして10月のフランクフルトマラソンでは2時間27分14秒と自己ベストを連発。そして、昨年の東京マラソンでは2時間24分03秒と、一気に自己ベストを3分以上も更新した。8月の世界選手権は2時間27分36秒に終わり、自己ベストの連続記録更新は4レースで途絶えたが、マラソン5戦は全て5位以内で、デビュー戦のタイム(2時間28分02秒)を下回ったことは1度もない。

キプロプのハーフマラソンの自己ベスト67分39秒は、アベル・ケベデのハーフマラソンの自己ベストと同じ。つまりは、ケベデのマラソン自己ベスト(2時間20分30秒)と同等の記録も期待できる。しかし、今回のキプロプにとって自己ベスト更新よりもはるかに重要なのが順位だ。アボット・ワールドマラソンメジャーズのシリーズIXでは現在32点で5位に付けており、ディババと同様に、東京で優勝すればシリーズIXでの得点が41点となり、ケイタニー、そしてM.ディババと並ぶが、北京世界選手権では、M.ディババに敗れている。

2010 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
26 Sept	ABN AMRO Singelloop – Utrecht	10Km	2nd	32:54	
19 Sept	Dam tot Damloop – Amsterdam to Zaandam	10 Mile	11th	55:08	
12 Sept	Alsterlauf Hamburg	10Km	2nd	32:49	
5 Sept	Brabants Dagblad – Tilburg	10Km	6th	33:10	
4 June	Oelder Sparkassen City Lauf – Oelder	10Km	1st	32:20	
23 May	Sotokoto Safari Half marathon – Nairobi	Half marathon	1st	1:17:52	
5 Apr	Klap tot Klap Loop – Stadskanaal	10Km	1st	32:49	
3 Apr	Int'l Paderborner Osterlauf – Paderborn	10Km	2nd	32:30	
28 Mar	Poznan Half marathon	Half marathon	1st	1:13:03	
24 Jan	Mitja Marato Internacional – Alicante	Half marathon	2nd	1:15:24	

No. 38 マヤ・ノイエンシュワンダー (スイス)  
NEUENSCHWANDER, Maja (SUI)

DOB : 13 Feb. 1980  
Age : 36  
Height : 168cm  
Weight : 53kg

Personal Bests		
Half marathon	71:08	-2015
Marathon	2:26:49	-2015

International Championships Highlights		
Marathon	53rd in 2012 Olympics; 25th in 2010 & 9th in 2014 European Championships	

Progressions				
Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015			1:11:08	2:26:49
2014			1:12:43	2:31:08
2013			1:13:44	2:29:42
2012				2:31:56

Marathon career					
	Time	Race	Place	Date	
Personal Best	2:26:49	Berlin	6th	27 Sept 2015	
	2:30:09	Wien	1st	12 Apr 2015	
	2:31:08	European Championship – Zurich	9th	16 Aug 2014	
	2:29:42	Frankfurt	10th	27 Oct 2013	
	2:30:50	Hamburg	2nd	21 Apr 2013	
	2:34:50	Olympic Games – London	53rd	5 Aug 2012	
	2:31:56	Zurich	2nd	22 Apr 2012	
	2:33:45	Berlin	13th	25 Sept 2011	
	2:35:07	Roma	10th	20 Mar 2011	
	2:45:17	European Championships – Barcelona	25th	31 July 2010	
	2:35:44	Berlin	9th	20 Sept 2009	
	2:36:48	Paris	10th	5 Apr 2009	
	2:38:53	Berlin	12th	28 Sept 2008	
	2:40:42	Zurich	7th	20 Apr 2008	
	2:40:01	Berlin	15th	30 Sept 2007	
	2:44:49	Zurich	4th	1 Apr 2007	
	2:45:22	Berlin	13th	24 Sept 2006	
	2:44:24	Zurich	3rd	9 Apr 2006	

2015 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
13 Dec	Silvesterlauf Zurich	9Km	2nd	22:11	
5 Dec	Course de l' Escalade – Geneve	7.25km	7th	25:18	
29 Nov	Basler Stadtlauflauf – Basel	7.55km	5th	20:24	
29 Nov	La Corrida Bulloise – Bulle	8km	11th	21:53	
27 Sept	Berlin Marathon	Marathon	6th	2:26:49	
6 Sept	Switzerland Marathon Light – Samen	Half marathon	1st	1:12:25	
14 June	Schweizer Frauenlauf 5k – Bern	5Km	3rd	17:12	
16 May	Swiss Club Champ – Bern	3000m	4th	10:05:09	
12 Apr	Vienna City Marathon – Wien	Marathon	1st	2:30:09	
8 Mar	City Pier City Half Marathon – Den Haag	Half marathon	1st	1:11:08	

2014 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
14 Dec	Silvesterlauf Zurich	6.6km	4th	21:57	
6 Dec	Course de l' Escalade – Geneve	4.79km	6th	16:16	
29 Nov	Basler Stadtlauflauf	5.9km	5th	20:05	
15 Nov	La Corrida Bulloise – Bulle	6km	9th	21:03	
16 Aug	European Championships – Zurich	Marathon	9th	2:31:08	
14 June	Schweizer Frauenlauf 5K – Berlin	5km	3rd	16:38	
31 May	Swiss Club Champ – Winterthur	3000m	4th	9:58:31	
10 May	Grand Prix von Bern	10 Mile	3rd	57:13	
4 May	BIG 25 Berlin	25km	3rd	1:27:01	
30 Mar	Vattenfall Berliner Halbmarathon – Berlin	Half marathon	4th	1:12:43	

2013 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
27 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	10th	2:29:42	
21 Sept	Greifenseelauf Half marathon – Zurich to Uster	Half marathon	3rd	1:13:44	
27 July	Swiss Champ – Luzern	5000m	3rd	16:48:50	
25 June	Swiss 10000m Champ – Brugg	10000m	1mx	34:50:92	
8 June	Swiss Club Champ – Lausanne	3000m	3rd	9:59:27	
9 June	Schweizer Frauenlauf 5k – Bern	5km	10th	17:33	
21 Apr	Marathon Hamburg	Marathon	2nd	2:30:50	

Finished ninth at the 2014 European Championships marathon in Zurich, Maja Neuschwander improved her marathon personal best by nearly three minutes at the 2015 Berlin Marathon when she finished sixth with 2:26:49. In the same year, in Den Haag, Maja improved her half marathon personal best by more than a minute and half to 1:11:08.

In 1998 Maja ran her first international championships at the European Cross Country Championships and finished 16th in the junior division. The following year, in 1999, she ran the 5000m in the European Junior Championships and finished seventh. In 2000, she ran her first half marathon in Uster and finished fifth with 1:16:26. She stayed away from the racing for a few years. In 2006, she made her marathon debut in the Zürich Marathon to finish third in 2:44:24. For the next few years, Maja ran the Zürich Marathon in the spring and the Berlin Marathon in the fall, and she cracked 2:40 marathon barrier for the first time with 2:38:53 in the 2008 Berlin Marathon. In 2009, she improved her marathon best in Paris Marathon and then again in Berlin Marathon. The following year, in the 2010 European Championships in Barcelona, she finished 25th at the marathon. She continued to run marathons, in Roma, Berlin and Zürich, and continued to improve the personal best. After running the 2012 Olympic Marathon in London, in 2013, she ran Hamburg and Frankfurt Marathon and improved her personal best in both races. In Frankfurt, she cracked 2:30 marathon barrier for the first time with 2:29:42. After the 2014 European Championships, she won the marathon for the first time in the 2015 Wien City Marathon. Then in the Berlin Marathon, she dramatically improved her personal best to 2:26:49.

Of the 13 marathons she contested in her career, Maja improved her personal best in all races except for three championships marathon and Wien Marathon which she won. Another personal best is possible in Tokyo.

2014年欧州選手権チューリッヒ大会のマラソンで9位に入ったマヤ・ノイエンシュワンダーは、翌2015年のベルリンマラソンで3分近く自己記録を更新し、2時間26分49秒で6位に入った。同年、オランダのデーンハーグでハーフマラソンに出場すると、1時間11分08秒で走り、自己記録を1分半以上更新している。

1998年に最初の国際レースとなる欧州クロスカントリー選手権に出場し、ジュニアの部で16位に入っている。その翌年の1999年には、欧州ジュニア選手権の5000mで7位。2000年にはウスターで初めてハーフマラソンを走り、1時間16分26秒で5位に入ったが、しばらくレースからは遠ざかった。

初マラソンは2006年のチューリッヒで、2時間44分24秒で3位に入っている。その後は毎年、春のチューリッヒマラソンと秋のベルリンマラソンを走り、2008年のベルリンでは初めて2時間40分を切る2時間38分53秒を記録した。2009年にはパリとベルリンで自己ベストを更新し、2010年欧州選手権バルセロナ大会のマラソンで25位に入っている。その後も、ローマ、ベルリン、チューリッヒでマラソンを走り、順調に自己ベストを更新し続けた。

2012年にはロンドン五輪にも出場。2013年にはハンブルグとフランクフルトで2度自己ベストを更新した。特に、フランクフルトでは2時間29分42秒と初めて2時間30分の壁を破った。2014年の欧州選手権の後、2015年のウィーンマラソンで初めてマラソンで優勝を果たした。また、秋のベルリンマラソンでは大幅に自己ベストを更新している。

過去13回のマラソンでは、3回の選手権マラソンと優勝したウィーンマラソンを除いて、連続して自己ベストを更新している。今回の東京マラソンでも自己ベスト更新が期待される。

2012 Results					
Date	Race	Distance	Place	Time	
16 Dec	Silvesterlauf Zurich	6.3km	8th	21:16	
5 Aug	Olympic Games – London	Marathon	53rd	2:34:50	
9 June	Schweizer Frauenlauf 5k – Bern	5km	9th	16:58	
9 June	Swiss Club Champ – Bern	3000m	4th	9:47:15	
22 Apr	Zurich Marathon	Marathon	2nd	2:31:56	

## 東京マラソン招待選手—海外女子

## Tokyo Marathon Invited Athletes – International women

No. 39 イザベラ・アンデション (スウェーデン)  
ANDERSSON, Isabella (SWE)

DOB : 12 Nov. 1980  
Age : 35  
Height : 168cm  
Weight : 51kg

## Personal Bests

Half marathon	1:10:02	-2010
Marathon	2:23:41	-2011

## International Championships Highlights

Marathon	7th at 2011 World Championships; 3rd in 2010 European Champ; 17th in 2012 Olympics
Half Marathon	32nd in 2014 World Half Marathon Champ

## Progressions

Year	5,000m	10,000m	Half Marathon	Marathon
2015		34:54.59	1:11:31	2:34:14
2014			1:12:16	2:32:28
2013	16:17.89	33:15.25	1:10:55	2:26:05
2012			1:10:30	2:25:41
2011			1:11:07	<b>2:23:41</b>
2010			<b>1:10:02</b>	2:25:10
2009			1:11:35	2:33:52
2008			1:11:06	2:34:14

## Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:34:14	Stockholm	1st	30 May 2015
	2:32:28	Stockholm	1st	31 May 2014
	2:33:49	Stockholm	1st	1 June 2013
	2:26:05	Dubai	7th	25 Jan 2013
	2:27:36	London – OG	17th	5 Aug 2012
	2:29:57	London	14th	22 Apr 2012
	2:25:41	Dubai	10th	27 Jan 2012
	2:28:29	New York	8th	6 Nov 2011
	2:30:13	World Championships – Daegu	7th	27 Aug 2011
	2:37:28	Stockholm	1st	28 May 2011
Personal Best	<b>2:23:41</b>	Dubai	3rd	21 Jan 2011
	2:25:10	Frankfurt	4th	31 Oct 2010
	2:34:43	European Championships – Barcelona	3rd	31 July 2010
	2:31:35	Stockholm	1st	4 June 2010
	2:26:52	Dubai	5th	22 Jan 2010
	2:33:52	Stockholm	1st	30 May 2009
	2:34:14	Stockholm	1st	31 May 2008
	2:51:10	Växjö	1st	14 Oct 2006

## 2015 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Sept	Stockholm Halvmarathon	Half marathon	1st	1:17:20
5 Sept	Tjejmiljen – Stockholm	10Km	3rd	35:24
7 Aug	Swedish Athletics Championships – Soderhamn	10000m	1st	34:54.59
30 May	Stockholm Marathon	Marathon	1st	2:34:14
9 May	Kungsholmen Runt 2015 – Stockholm	Half marathon	1st	1:11:56
18 Apr	Swedish 10K Championships – Malmo	10Km	1st	32:34
29 Mar	Berliner Halbmarathon	Half marathon	3rd	1:11:31
1 Feb	European Champion Clubs Cup Cross Country – Guadalajara	6Km	16th	21:59

## 2014 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Sept	Lidingoloppet – Stockholm	30Km	2nd	1:58:29
13 Sept	Stockholm Halve marathon	Half marathon	5th	1:18:03
31 May	Stockholm Marathon	Marathon	1st	2:32:28
26 Apr	Women's Health Halvmarathon – Stockholm	Half marathon	1st	1:16:02
29 Mar	World Half Marathon Championships – Kopenhagen	Half marathon	32nd	1:12:16

## 2013 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Sept	SWE vs FIN dual meeting – Stockholm	10000m	1st	33:15.25
7 Sept	Tjejmiljen – Stockholm	10Km	1st	33:42
1 Sept	SWE Athletics Championships – Boras	5000m	2nd	16:17.89
30 Aug	SWE Athletics Championships – Boras	10000m	1st	33:22.95
19 July	Kraftprovet – Trohatten	11.6Km	1st	40:12
29 June	Kalmar Malkars Half Marathon – Kalmar	Half marathon	1st	1:13:34
1 June	Stockholm Marathon	Marathon	1st	2:33:49
18 May	Göteborgsvarvet – Göteborg	Half marathon	4th	1:15:17
24 Mar	Wehr Minerals Venloop – Venlo	Half marathon	2nd	1:10:55
25 Jan	Dubai Marathon	Marathon	7th	2:26:05

A bronze medalist at the 2010 European Championships in Barcelona and seventh in the 2011 World Championships in Daegu, Isabella Andersson recorded her personal best of 2:23:41 at the 2011 Dubai Marathon. Born in Kenya and moved to Sweden in order to learn about Orienteering, Isabella Moraa Amoro married Swedish husband in 2006 and became Isabella Andersson. In 2009 Isabella gained Swedish citizenship and then ran in the European Cross Country Championships in December and finished 18th. In 2010, she ran the Dubai Marathon, and recorded a huge personal best of 2:26:52 in fifth place. Two month later in Venloop, she recorded her personal best of 1:10:02 at the half marathon. After winning a bronze medal in Barcelona, Isabella improved her personal best to 2:25:10 in the 2010 Frankfurt Marathon and then further improved the personal best to 2:23:41 in the 2011 Dubai Marathon. Although Isabella was unable to improve her personal best after Dubai in 2011, Isabella was seventh in Daegu in 2011 and finished 18th in the 2012 London Olympic Games with 2:27:36, fifth fastest time of her career. She won the Stockholm Marathon seven times.

In 2012, in Göteborg, Isabella ran 1:10:30 for the half marathon, and in 2013, she recorded the season best of 1:10:55 at the half marathon. In 2014, she was 32nd in the World Half Marathon Championships. Although thirty-five years old Andersson has not cracked a 2:30 marathon barrier in the last three years, since she ran 32:34 for 10km road race and 1:11:31 for the half marathon in 2015, Isabella should be able to crack 2:30 for the marathon again.

イザベラ・アンデションは、2010年の欧州選手権バルセロナ大会のマラソン銅メダリストで、2011年の世界選手権でも7位に入っている選手だ。

ケニア生まれでオリエンテーリングを習うためにスウェーデンに移り住んだ。旧名はイザベラ・モラー・アモロで、2006年にスウェーデン人と結婚してイザベラ・アンデションとなる。2009年にスウェーデン国籍を得ると、同年12月の欧州クロスカントリー選手権に出場し18位。翌2010年にはドバイマラソンを走り、大幅に自己ベストを更新する2時間26分52秒で5位に入った。その2カ月後にはオランダのフェンローでハーフマラソンを走り、1時間10分02秒の自己ベストを記録している。欧州選手権バルセロナ大会で銅メダルを獲得した後は、2010年フランクフルトマラソンで自己記録を2時間25分10秒まで伸ばし、次戦の2011年のドバイマラソンではその自己ベストを更に2時間23分41秒まで伸ばした。その後は自己ベストを更新できずにいるが、世界選手権テグ大会で7位。そしてロンドン五輪では自己5番目の記録となる2時間27分36秒で18位に入った。また、ストックホルムマラソンでは実に7回も優勝している。

2012年にはイェテボリハーフマラソンで1時間10分30秒を記録。翌2013年は1時間10分55秒がシーズンベストだ。2014年の世界ハーフマラソン選手権は32位だった。

現在35歳になったアンデションは、この3年間は2時間30分を切れずにいるが、昨年は10kmロードを32分34秒、ハーフマラソンを1時間11分31秒で走っている。マラソンでも、再び2時間30分を切るはずだ。

## 2012 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Lidingoloppet – Stockholm	10Km	2nd	35:45
15 Sept	Stockholm Halvmarathon	Half marathon	1st	1:14:48
2 Sept	FIN vs SWE – Göteborg	10000m	2nd	34:16.88
1 Sept	Tjejmiljen – Stockholm	10Km	2nd	34:18
26 Aug	Swedish Athletics Championships – Stockholm	5000m	1st	16:25.14
24 Aug	Swedish Athletics Championships – Stockholm	10000m	1st	33:16.67
5 Aug	Olympic Games – London	Marathon	18th	2:27:36
12 May	Göteborgsvarvet – SWE Half marathon champ	Half marathon	5th	1:10:30
29 Apr	SWE Cross Country champ – Linköping	8Km	1st	27:48
28 Apr	SWE Cross Country champ – Linköping	4Km	1st	13:18
22 Apr	London Marathon	Marathon	14th	2:29:57
27 Jan	Dubai marathon	Marathon	10th	2:25:41

## 2011 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Nov	New York City Marathon	Marathon	8th	2:28:29
25 Sept	Lidingoloppet	Half marathon	1st	35:26
17 Sept	Stockholm Halvmarathon	Half marathon	1st	1:11:07
10 Sept	Finland vs Sweden – Helsinki	5000m	1st	16:20.35
9 Sept	Finland vs Sweden – Helsinki	10000m	1st	34:12.84
3 Sept	Tjejmiljen 10K – Stockholm	10Km	1st	33:25
27 Aug	World Championships – Daegu	Marathon	7th	2:30:13
28 May	Stockholm Marathon	Marathon	1st	2:37:28
21 May	Göteborgsvarvet	Half marathon	8th	1:14:16
21 Jan	Dubai marathon	Marathon	3rd	2:23:41

## ペースメーカー

## Pace Makers

## ペースメーカー（男子）

## Pace Makers for MEN

**Pace**  
**1** ベルセリウス・キピエゴ (ケニア)  
 KIPYEGO, Barselius (KEN)

## Personal Best

トルコ・アダナハーフ Adana, Turkey 1:00:46 -2016

生年月日 / Date of Birth : 23 Jul. 1993  
 年齢・性別 / Age・Sex : 22・男子 Men  
 身長 / Height : 173cm  
 体重 / Weight : 52kg

**Pace**  
**2** ノバート・キゲン (ケニア)  
 KIGEN, Nobert (KEN)

## Personal Best

フランス・ラロシェル LaRochelle, France 2:09:25 -2015

生年月日 / Date of Birth : 24 Jan. 1993  
 年齢・性別 / Age・Sex : 23・男子 Men  
 身長 / Height : 171cm  
 体重 / Weight : 52kg

**Pace**  
**3** ニコラス・ロティチ (ケニア)  
 ROTICH, Nicholas (KEN)

## Personal Best

ユールテンスバイク 10000m Golden Spike, Leiden 28:44.71 -2015

生年月日 / Date of Birth : 29 Dec. 1996  
 年齢・性別 / Age・Sex : 19・男子 Men  
 身長 / Height : 158cm  
 体重 / Weight : 55kg

エリート選手（男子）出場者数

うち海外招待選手 10名

うち国内招待選手 9名

83名

(2016年2月28日現在)

## ペースメーカー（女子）

## Pace Makers for WOMEN

**Pace**  
**6** デービッド・マリウス (ケニア)  
 MARUS, David (KEN)

## Personal Best

オランダ・ライデン Leiden, Holland 2:24:23 -2015

生年月日 / Date of Birth : 12 Jan. 1984  
 年齢・性別 / Age・Sex : 32・男子 Men  
 身長 / Height : 161cm  
 体重 / Weight : 55kg

**Pace**  
**7** 西山 容平 (徳島・大塚製薬)  
 NISHIYAMA, Yohei (JPN)

## Personal Best

香川丸亀ハーフ Marugame 1:02:38 -2012

生年月日 / Date of Birth : 18 Apr. 1988  
 年齢・性別 / Age・Sex : 27・男子 Men  
 身長 / Height : 168cm  
 体重 / Weight : 55kg

**Pace**  
**8** 山川 雄大 (徳島・大塚製薬)  
 YAMAKAWA, Yudai (JPN)

## Personal Best

延岡西日本 Nobeoka 2:14:28 -2014

生年月日 / Date of Birth : 27 May. 1990  
 年齢・性別 / Age・Sex : 25・男子 Men  
 身長 / Height : 164cm  
 体重 / Weight : 55kg

エリート選手（女子）出場者数

うち海外招待選手 9名

57名

(2016年2月28日現在)

# RUN as ONE - Tokyo Marathon

## RUN as ONE TOKYO MARATHON 2016

全国の大会と一緒に、マラソンを盛り上げていきます

Promoting a Nationwide Marathon Movement Together with Marathon Races Throughout Japan

### 準エリート（国内）に続き、 準エリート（国外）と一般がスタート

全国のマラソン大会と連携し、マラソンムーブメントの全国的な盛り上げに資する取組みとして「Run as ONE - Tokyo Marathon」プログラムを東京マラソン2015よりスタートしました。このプログラムを通じ、東京マラソンに参加するランナーの皆さんに世界トップレベルのレースを体感してもらい、国内の競技力向上やさらなるマラソンファンの増加を目指します。また、東京マラソン2016から新たに海外のランナーにも準エリート（国外）を設け、海外からもより高いレベルのランナーが東京マラソンに集まることを期待しています。さらに、日本陸上競技連盟公認大会以外の国内大会とも広く提携し、各大会から選出された一般ランナーにも参加の機会を提供します。

### “Wild Card Award” の表彰について

準エリートの上位選手は、「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016 “Wild Card Award”」が授与されます。この表彰を通じて、走力の高いランナーや競技志向の市民ランナーからの注目を集め、マラソンへの関心向上や、次世代ランナーのチャレンジを応援していきます。



### Following the Semi-Elite athletes in Japan, this program is now open to Semi-Elite athletes from overseas and general runners.

The Run as One - Tokyo Marathon program was introduced at Tokyo Marathon 2015 as way to contribute to the surge in marathon interest nationwide by linking up with other marathon races held throughout Japan. Offering the opportunity to take part in the Tokyo Marathon, this program helps runners experience racing at the world's top level, while striving to boost Japan's athletic capabilities and further expand the number of marathon fans. Starting from Tokyo Marathon 2016, runners from other countries will also be given the opportunity to compete in the Semi-Elite (Overseas) category, and this is expected to attract superior athletes from around the world. Moreover, by linking up with other domestic sporting events certified by the Japan Association of Athletics Federations, it will also be possible for general runners selected from other individual events to participate.

### About the Wild Card Award

As part of the RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016 program, the “Wild Card Award” will be presented to top three Semi-Elite athletes. This award was established not only with the goals of promoting advancements in competitiveness and athletic capabilities, and expanding interest in marathon running, but also providing continued support for the challenges of the next generation of upcoming runners.



### RUN as ONE - Tokyo Marathon

#### ネーミングについて

全国のマラソン大会と連携し、マラソンムーブメントの全国的な盛り上げに資する取組みとして「Run as ONE - Tokyo Marathon」プログラムを東京マラソン2015よりスタートしました。このプログラムを通じ、東京マラソンに参加するランナーの皆さんに世界トップレベルのレースを体感してもらい、国内の競技力向上やさらなるマラソンファンの増加を目指します。また、東京マラソン2016から新たに海外のランナーにも準エリート（国外）を設け、海外からもより高いレベルのランナーが東京マラソンに集まることを期待しています。さらに、日本陸上競技連盟公認大会以外の国内大会とも広く提携し、各大会から選出された一般ランナーにも参加の機会を提供します。

#### About the Program Name

This name arises from a deeply held desire to see all marathon races, runners, volunteers and spectators throughout Japan come together and be united as “ONE.”

# RUN as ONE - Tokyo Marathon

## 「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016」実施概要 RUN as ONE - Tokyo Marathon 2016 Program Information

### 準エリート Semi-Elite Athletes

■出場対象 Eligibility 推薦基準タイム ●マラソン男子2時間55分以内、女子3時間40分以内等  
Qualifying Times ●Men: Under 2:55:00; Women: Under 3:40:00

■国内 Japan 国内在住者(国籍は問わない)で、提携陸上競技協会・提携大会からの推薦を受けた日本陸上競技連盟に登録している推薦基準タイムをクリアしたランナー(各都道府県から50人程度)  
Residents of Japan (any nationality) recommended by affiliated track and field associations or associated meets, and registered with the Japan Association of Athletics Federations (up to 50 participants from each prefecture).

#### 準エリート（国内）

都道府県	提携陸協・大会名	都道府県	提携陸協・大会名	都道府県	提携陸協・大会名
北海道	函館ハーフマラソン大会	大阪府	板橋 City マラソン	大阪府	大阪陸協
青森県	青森陸協	東京都	江東シーサイドハーフマラソン大会	兵庫県	神戸マラソン
岩手県	一関国際ハーフマラソン大会	東京都	いたばしリバーサイドハーフマラソン大会	奈良県	奈良陸協
宮城県	仙台国際ハーフマラソン大会	東京都	世田谷 246 ハーフマラソン	和歌山県	和歌浦ベイマラソン with ジャズ
秋田県	田沢湖マラソン	東京都	立川シティハーフマラソン	和歌山県	紀州口熊野マラソン
山形県	高島ロードレース	東京都	日本学生ハーフマラソン選手権大会	鳥取県	鳥取マラソン
山形県	酒田シティハーフマラソン大会	東京都	足立フレンドリーマラソン	鳥取県	鳥根陸協
福島県	猪苗代湖ハーフマラソン	山梨県	山梨陸協	広島県	ヒロシマ MIKAN マラソン
福島県	会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会	新潟県	新潟マラソン選手権大会 / しばた女子マラソン競走大会	山口県	防府競売マラソン
茨城県	かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会	新潟県	新潟シティマラソン	山口県	下関海響マラソン
茨城県	大田原マラソン大会	富山県	カーター記念黒部水マラソン	徳島県	とくしまマラソン
栃木県	高根沢町元気あっぶハーフマラソン大会兼長距離走大会	富山県	富山マラソン	香川県	香川丸亀国際ハーフマラソン大会
群馬県	ぐんま県民マラソン	石川県	金沢ロードレース	高知県	高知龍馬マラソン
群馬県	上尾シティマラソン・上尾シティハーフマラソン	石川県	石川陸協	佐賀県	さが桜マラソン
埼玉県	ふかやシティハーフマラソン	福井県	福井陸協	佐賀県	佐賀陸協
千葉県	佐倉朝日健康マラソン大会	岐阜県	岐阜陸協	長崎県	雲仙小浜 SPA リゾートマラソン
千葉県	千葉県民マラソン大会	三重県	中日三重お伊勢さんマラソン	大分県	大分陸協
東京都	青梅マラソン大会	滋賀県	あいの土山マラソン	宮崎県	青島太平洋マラソン
東京都	府中多摩川マラソン大会	大阪府	大阪マラソン	鹿児島県	鹿児島マラソン

提携大会一覧(11月27日現在)

※陸協・大会によっては東京マラソン2016への推せんがない場合があります

### ■国外 Overseas

国外在住者(国籍は問わない)で、2014年、2015年に実施された下記対象レースで基準タイムをクリアし、記録を証明するための公式記録(リザルト)を提出できるランナー(200人程度)

【対象レース】①IAAFのゴールド・シルバー・ブロンズラベルの大会 ②AIMS公認大会

※東京マラソン財団にて厳正なる選考を行い、選考結果を通知

Overseas residents (any nationality) who exceed the qualifying time set in the following Qualifying Races held in 2014 and 2015 and are able to submit an official result to certify their record (up to 200 participants).

[Qualifying Races] (1) IAAF Gold, Silver and Bronze Label races; (2) AIMS-certified races

\*The Tokyo Marathon Foundation performs a strict and fair selection of runners, and provides notification of selection results.

### 一般 General Runners

■出場対象 Eligibility 国内の各提携大会から選出されたランナー(各提携大会から3人程度)

※提携大会は一定の条件を満たす大会を公募

Runners are selected from affiliated meets held throughout Japan (approx. 3 runners per meet).

\*Applications accepted from select affiliated meets that meet the specified criteria.

#### 一般 提携大会一覧

都道府県	大会名(正式名称)	都道府県	大会名(正式名称)	都道府県	大会名(正式名称)
北海道	旭川ハーフマラソン	東京都	ハイテクハーフマラソン	島根県	萩・石見空港マラソン全国大会
岩手県	イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会	東京都	江東シーサイドマラソン大会	愛媛県	愛媛マラソン
山形県	白鷹若駒マラソン大会	東京都	東京マラソンオフィシャルイベント	福岡県	筑後川マラソン
福島県	円谷幸吉メモリアルマラソン大会	東京都	東京トライアルハーフマラソン	鹿児島県	出水ソルマラソン大会
群馬県	前橋・渋川シティマラソン	神奈川県	よこすかシーサイドマラソン	沖縄県	おきなわマラソン
群馬県	榛名湖マラソン	新潟県	柏崎マラソン		
埼玉県	小江戸川越ハーフマラソン	静岡県	しまだ大井川マラソン in リバティ		

提携大会一覧(11月13日現在)

※大会によっては東京マラソン2016への選出がない場合があります

# チャリティランナー

## Charity Runner

# CHARITY

TOKYO MARATHON 2016



東京マラソン2016を通じて10万円以上寄付をいただいた方の中でご希望者には、チャリティ活動をPRしていただくためにチャリティランナーとして参加していただきます(マラソンのみ先着3,000人まで)。寄付をしてチャリティランナーとして走る、寄付をした上でチャリティランナーに思いを託すなど、参加のカタチはさまざまです。

Among individuals donating 100,000 yen or more, those who wish to participate in the marathon can do so as charity runners (marathon only; up to 3,000 runners on a first-come, first-served basis), representing all supporters by running the Tokyo Marathon, carrying and spreading the message of goodwill.

寄付先13事業別エントリー人数		Numbers of Entrants by Recipient Program
一般財団法人 東京マラソン財団スポーツレガシー事業	<b>240</b>	Tokyo Marathon Foundation Sports Legacy Program
特定非営利活動法人国連UNHCR協会	<b>348</b>	Japan Association for UNHCR
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	<b>239</b>	Special Olympics Nippon
公益財団法人そらぶちキッズキャンプ	<b>228</b>	Solaputi Kids' Camp
公益財団法人東京都スポーツ文化事業団	<b>106</b>	Tokyo Sport Benefits Corporation
公益財団法人東京都農林水産振興財団	<b>112</b>	Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries
公益財団法人東京防災救急協会	<b>127</b>	Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association
公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン	<b>371</b>	Ronald McDonald House Charities Japan
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	<b>214</b>	Japanese Para-Sports Association
認定特定非営利活動法人ファミリーハウス	<b>269</b>	Family House
公益財団法人プラン・ジャパン	<b>140</b>	Plan Japan
公益財団法人山梨県緑化推進機構	<b>105</b>	Yamanashi Land Afforestation Promotion Organization
東日本大震災復興支援事業	<b>501</b>	Recovery Support for the Great East Japan Earthquake
<b>Total : 3,000</b>		

東京マラソン2016チャリティに関してはP160-161を参照ください。

Please see P160-161 for Tokyo Marathon 2016 Charity.

[www.runwithheart.jp](http://www.runwithheart.jp)



車いす選手紹介  
WHEELCHAIR ATHLETES



TOKYO  
MARATHON  
2016



## 車いすマラソン *Wheelchair Marathon*

車いす招待選手  
Invited Wheelchair Athletes



車いすエリート競技者  
Elite Wheelchair Athletes



車いす一般  
General Wheelchair Participants



## 車いす 10km *10km Wheelchair*

車いす  
Wheelchair



※上：男子 下：女子  
※ Above: Men; Below: Women



ナンバーカードはヘルメット及びレーサー後部に着用。  
Number cards are put on their helmet and the back of the racer frame.

# WHEELCHAIR ATHLETES

[www.marathon.tokyo/](http://www.marathon.tokyo/)

- 72** レース展望／エリート選手リスト  
Race Overview / Athletes List
- 73** エリート募集要項  
Elite Race Information
- 74** レース競技規則  
Governing Rules
- 76** パラリンピック選考会関連データ  
Data of Paralympics Trial
- 77** 海外招待選手 男子  
International Invited Athletes MEN
- 80** 国内招待選手 男子  
Domestic Invited Athletes MEN
- 84** 海外招待選手 女子  
International Invited Athletes WOMEN
- 86** 国内招待選手 女子  
Domestic Invited Athletes WOMEN

# 車いすエリートレース展望

## Wheelchair Race Preview

東京マラソン車いすレースディレクター  
副島正純

By Masazumi Soejima - Wheelchair Race Director

10回目となる東京マラソン、今大会より車いすレースの部が国際化されます。国内選手に関しては過去9回大会すべてに出場している選手もいます、私もその中のひとりです。その私がレースディレクターへ就任しイメージする東京マラソンは、世界記録を望む高速レースです。

現世界記録(男子)は、1999年の大分国際車いすマラソン大会でハインツ・フライ(スイス)選手が出した1時間20分14秒。この16年更新されていません。

この記録を東京マラソンで更新することが目標です。車いすマラソンはコースの起伏や路面の状態がタイムが大きく変わります。アボット・ワールドマラソンメジャーズの中でも、東京マラソンは起伏が少なく、路面も綺麗で好タイムを望めるコースになります。問題なのは当日の気象条件です。これまでの東京マラソンでも雨や風に苦しめられ、なかなかタイムが伸びませんでした。

しかし、今回男子は、2015年ロンドンマラソン兼世界選手権優勝者のジョシュア・ジョージ選手、2015年シカゴマラソン優勝者のカート・フェンリー選手、2015年ニューヨークシティマラソン優勝者のエルンスト・バンダイク選手。この3人が入ることで力強いレースに変わると考えています。

この世界のトップ選手に対し、国内の洞ノ上・山本・吉田・鈴木選手がどう仕掛けていくのか。国内選手にとっては、今大会はリオデジャネイロパラリンピックマラソン選考大会になっています。総合3位以内で国内1位、1時間28分30秒以内をクリアすると推薦枠が獲得できます。国内選手はこの内容を念頭に置き、果敢に攻めてもらいたいです。

女子は、東京マラソンを8連覇し、コースを熟知している土田和歌子選手が、2015年のボストンマラソン、ロンドンマラソン兼世界選手権、シカゴマラソン、ニューヨークシティマラソンを制しているタチアナ・マクファーデン選手とどのようなレースを展開していくのが楽しみです。

今大会からの車いすレース国際化により、先頭集団のスピード、駆け引き、42.195km全てに緊張感と迫力がある大会になります。

スタートからフィニッシュまで選手たちの熱い走りへ、応援をよろしく願っています。

The Tokyo Marathon wheelchair race will turn international starting this year, its tenth anniversary year. Some of the Japanese wheelchair athletes, including myself, have competed in all nine editions of the Tokyo Marathon. As a new director of wheelchair races, I want to see very fast race that will challenge the world record in Tokyo.

The current men's world record is 1:20:14 by Heinz Frei (SUI) which was recorded in the 1999 Oita International Wheelchair Marathon. This record has stayed intact for 16 years. The goal is to break this record in the Tokyo Marathon.

The wheelchair races will be affected by course undulation as well as the pavement condition. The Tokyo Marathon course has least undulation as well as best surface condition among the Abbott World Marathon Majors races, and thus Tokyo Marathon has the good chance for the record. The problem is the weather on the race day. Historically, Tokyo Marathon has been marred with rain and wind and thus fast time has not been realized.

However, this year, Joshua George (USA), World Champion who also won the 2015 Virgin Money London Marathon, Kurt Fernley (AUS), 2015 Bank of America Chicago Marathon champion, and Ernst Van Dyk (RSA), 2015 TCS New York City Marathon champion, will be in the field, and thus it is expected to be a different race this year. How would domestic athletes - Hiroyuki Yamamoto, Kota Hokinoue, Ryota Yoshida, and Tomoki Suzuki - challenge these world bests wheelchair athletes? For the Japanese wheelchair athletes, Tokyo Marathon is the Rio de Janeiro Olympic team qualifying race. First Japanese wheelchair athlete in the race under 1:28:30, provided he finishes in the overall top three, will have a chance to compete at the Olympic Games. With this criterion in mind, I wish that Japanese athletes will compete aggressively against the international field.

On the women's race, how Wakako Tsuchida, eight-time winner of the Tokyo Marathon will challenge Tatyana McFadden (USA), who won the latest Boston, London, Chicago and New York City Marathons. Can Tsuchida take advantage of her knowledge of the course in this competition against McFadden, who is considered as one of the best in the world at the present time?

With the internationalization of the wheelchair race, speed and tactics of the lead pack will bring excitement and tension all along the 42.195km marathon distance. Cheer the athletes along the course from the start to finish.

## 車いすエリート選手リスト

### Elite Wheelchair Athletes

#### 車いすエリート選手 (男子) Elite Wheelchair Athletes (Men)

No	氏名	NAME	国/登録陸協名 Nation	国/クラブ名 Nation/Team	出場資格記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB	年齢 Age
1001	エルンスト・バンダイク	VAN DYK, Ernst	RSA	南アフリカ	1:30:54	2015 ニューヨーク	1:18:27	42
1002	カート・フェンリー	FEARNLEY, Kurt	AUS	オーストラリア	1:30:46	2015 シカゴ	1:18:51	34
1003	ジョシュア・ジョージ	GEORGE, Joshua	USA	アメリカ	1:31:31	2015 ロンドン	1:22:55	31
1004	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	福岡	ヤフー	1:26:45	2015 大分	1:20:52	41
1005	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	福岡		1:25:02	2015 大分	1:23:16	49
1006	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	東京	SUS	1:27:38	2015 ソウル	1:27:38	34
1007	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	千葉	関東パラ陸上競技協会	1:36:06	2015 大分	1:30:36	21
1021	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	長崎	ソシオSOEJIMA	1:25:15	2015 大分	1:18:50	45
1022	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	大阪	ハカラバシフィック	1:25:16	2015 大分	1:25:16	31
1023	久保 恒造	KUBO, Kozo	北海道	日立ソリューションズ	1:27:42	2015 ソウル	1:23:24	34
1024	渡辺 勝	WATANABE, Sho	福岡	TOPPAN	1:30:51	2013 オェンジンゲン	1:30:51	24
1025	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	大阪	大阪ランナース	1:34:31	2013 大分	1:32:57	37
1026	西 勇輝	NISHI, Yuki	東京	国士館大学	1:37:40	2015 大分	1:37:40	22
1027	ジョン・スミス	Smith, Charles John	GBR	イギリス	1:40:36	2015 ニューヨーク	1:40:36	26

車いすエリート選手(男子)出場者数

うち海外招待選手 3名

うち国内招待選手 4名

14名

#### 車いすエリート選手 (男子) Elite Wheelchair Athletes (Men)

No	氏名	NAME	国/登録陸協名 Nation	国/クラブ名 Nation/Team	出場資格記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB	年齢 Age
1101	タチアナ・マクファーデン	MCFADDEN, Tatyana	USA	アメリカ	1:43:04	2015 ニューヨーク	1:35:06	26
1102	アマンダ・マグローリー	MCGRORY, Amanda	USA	アメリカ	1:45:55	2014 シカゴ	1:36:39	29
1103	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	東京	八千代工業	1:38:07	2013 大分	1:34:06	41
1121	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	神奈川	アクセンチュア	1:54:36	2013 大分	1:54:36	32

車いすエリート選手(女子)出場者数

うち海外招待選手 2名

うち国内招待選手 1名

4名

# 東京マラソン 2016 車いすエリート 募集要項

## Wheelchair Elite Race Information

1	特別協賛	東京メトロ
2	日程	2016年2月28日(日) 9:05 スタート
3	コース	東京マラソンコース(日本陸上競技連盟・IAAF/AIMS公認) 東京都庁～飯田橋～皇居前～日比谷～品川～銀座～日本橋～浅草雷門～築地～豊洲～東京ビッグサイト(公認記録はマラソンのみ)
4	参加資格	(1) 次の①・②・③の条件を満たす競技者 ① 大会当日(2016年2月28日)現在満19歳以上の者 ② 2015年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ2016年IPC登録予定者で大会当日までに登録を完了し、IPC ATHLETICS国際クラス(T53・T54)を所有している者 ③ IPC公認大会で、2013年2月1日以降申込期日までに男子1時間50分以内、女子2時間00分以内の公認記録を有する者 (2) 日本パラ陸上競技連盟が推薦し、大会が招待する国内・国外の競技者
5	対象クラス	T53 / T54 (IPC ATHLETICS 国際クラスに準ずる。なお、今大会ではクラス分けは行わない。)
6	競技規則	2014 - 2015 IPC ATHLETICS競技規則(大会開催日に適用される最新のIPC ATHLETICS競技規則)及び本大会規定による。なお、IPC ATHLETICSの規則により、ドーピング検査を実施する。また、参加する全ての選手にIPC ATHLETICS競技規則の広告に関する規程が適用される。
7	定員	男女計 30人(招待選手含む)
8	参加料	10,800円 ※申し込み後の参加取り消しについては返金しない。
9	参加申込	(1) 期間 2015年12月14日(月)から2016年1月12日(火) 17:00必着 (2) 方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2016@tokyo42195.orgへ「車いす(エリート)参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。なお、携帯電話からの申込みは不可とする。
10	出場者決定	1月21日(木)以降、参加案内、ナンバーカード引換証とともに出場決定通知を送付する。
11	表彰	「東京マラソン2016車いすマラソン」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
12	賞金	1位 1,000,000円、2位 500,000円、3位 300,000円、4位 100,000円、5位 80,000円、6位 60,000円、7位 40,000円、8位 20,000円 世界記録 1,000,000円(男女1位のみ) 日本記録 500,000円(男女国内1位のみ) ※金額はいずれも税込み。
13	選手受付	2月27日(土) 13:00～16:00 ヒルトン東京 2月28日(日) 6:30～7:00
14	テクニカルミーティング	※希望者のみ 2月27日(土)17:00～ ヒルトン東京
15	個人情報の取り扱いについて	主催者及び日本パラ陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を守り、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本パラ陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
16	その他	(1) 主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加料の返金は一切行わない。 (2) 主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。 (3) 競技中に発生した事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。 (4) ドーピングコントロール 国際陸上競技連盟アンチドーピング規則および規定、もしくは日本アンチドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。 (5) TUE申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は「治療使用特例(TUE)」の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ( <a href="http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html">http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html</a> )、又は日本アンチドーピング機構 ホームページ( <a href="http://www.playtruejapan.org/">http://www.playtruejapan.org/</a> )を確認すること。 (6) 未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得 2015年1月1日より、世界アンチドーピング規程、国際基準、及び日本アンチドーピング規程が改定され、未成年(20歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。 ① 本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し携帯すること。同意書は <a href="http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf">http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf</a> からダウンロード出来る。 ② 未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(大会医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくなると、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。 (7) 大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。 (8) 賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。 (9) 本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。

※大会名称などその他の情報はP6大会要項を参照

# 東京マラソン2016 車いすレース 競技規則

# Tokyo Marathon 2016 Wheelchair Marathon GOVERNING RULES

- 1 本大会は、2014-2015 IPC ATHLETICS 競技規則（大会開催日に適用となる最新の IPC ATHLETICS 競技規則）及び大会規定により実施する。
- 2 全ての選手は、衣類及び車いすについて、IPC ATHLETICS 競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。
- 3 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
- 4 本大会では、性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。
- 5 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
- 6 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。
- 7 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。競技役員及び警察官以外の者から助力を受けた場合は、失格とすることができる。
- 8 競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。
- 9 競技者は、走行中、医師及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。
- 10 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
- 11 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなければならない。
- 12 クラスについては、下記の国際クラス分け表による。
- 13 本大会では、ドーピング検査を実施する。
- 14 関門の制限時間を次のとおり設ける。
- |          |           |
|----------|-----------|
| 5km地点    | 20分00秒    |
| 10km地点   | 35分00秒*   |
| 15km地点   | 48分00秒    |
| 30km地点   | 1時間33分00秒 |
| フィニッシュ地点 | 2時間00分00秒 |
- \*10kmは、車いす10kmレース制限時間。車いすマラソンもこの時間を超過してレース続行できない。
- 15 給水所を次の通り設ける。
- 5km、7km、10km、12km、15km、17km、22km、25km、27km、30km、32km、35km、38km、40km地点付近
- 16 車いすについては、次の通りとする。
- 車いすは最低でも2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
  - 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ているはならず、また2つの後輪の車軸を結んだ幅より広く突き出ているはならない。車いす本体の地面からの高さは最高50cmとする。
  - 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ているはならない。
  - 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んで、後輪70cm・前輪50cmを超えてはならない。
  - 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。
  - 電動車いすおよび車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーを取り付けた車いすを使用してはならない。
  - ミラーの使用を禁止する。
  - 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。
  - 競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。
  - フェアリングの使用または空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。
  - 車いすは招集場で測定され、競技開始前にその場を離れることはできない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前又は終了後に競技役員が再検査することができる。
  - 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。

- 1 This marathon will be held in compliance with the IPC Athletics Rules and Regulations for 2014-2015.
- 2 All participating athletes must follow IPC Athletics Rules and Regulations regarding advertising and displays on clothes and wheelchairs during IPC Athletics Recognized Competitions.
- 3 Athletes must follow the designated lanes in the course from start to finish.
- 4 Drafting behind an athlete from gender within a distance of 5m or less is prohibited.
- 5 Any athletes who intentionally interfere with, or touch other athletes during the race will be disqualified.
- 6 Wearing a helmet is required.
- 7 Only the race officials or police officers are permitted to assist an athlete in case of crash or tumble during the race. Athletes will be disqualified if he/she is assisted in any manner influential to the better race result.
- 8 Only the race officials are allowed to assist the repair of wheels and wheelchairs during the race.
- 9 Athletes must retire immediately from the race when so ordered by the medical officials or the race officials.
- 10 Athletes must obey the directions of the race officials and police officers.
- 11 Athletes must ensure that no part of their lower limbs touch the ground or track during the event.
- 12 Classification: Please refer to the International Classification System.
- 13 Doping Control will be conducted at Tokyo Marathon 2016.
- 14 Athletes must reach the following checkpoints within the given times:
- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 5km checkpoint  | 20 min 00 sec        |
| 10km checkpoint | 35 min 00 sec *      |
| 15km checkpoint | 48 min 00 sec        |
| 30km checkpoint | 1 hour 33 min 00 sec |
| Finish          | 2 hour 00 min 00 sec |
- \*10km checkpoint is Finish of wheelchair 10km race  
If any athletes fail to arrive at any checkpoint in time, he / she will be forcibly picked up.
- 15 Drinks  
Drinks will be provided at the following points.  
5km,7km,10km,12km,15km,17km,22km,25km,27km,30km,32km,35km,38km,40km
- 16 Regulations for wheelchairs are as follows:
- At IPC Competitions the wheelchair shall have two (2) large wheels and one (1) small wheel. In other Recognized Competitions the wheelchair may have two (2) large wheels and a maximum of two (2) small wheels. In all competitions the small wheel(s) must be at the front of the chair.
  - Wheelchair Dimensions. No part of the main body (defined as the vertical plane of the back edge and wheels including the seat) of the wheelchair may extend forwards beyond the hub of the front wheel and be wider than the inside of the hubs of the two rear wheels. The maximum height from the ground of the main body of the wheelchair shall be 50 cm.
  - No part of the wheelchair may protrude behind the vertical plane of the back edge of the rear tyres.
  - Wheel Dimensions The maximum diameter of the large wheel including the inflated tire shall not exceed 70 cm. The maximum diameter of the small wheel including the inflated tire shall not exceed 50 cm.
  - Only one plain, round, push-rims allowed for each large wheel.
  - No mechanical gears or levers are allowed to propel the wheelchair.
  - The use of mirrors is not permitted in wheelchair track or road races.
  - Only hand operated, mechanical steering devices are allowed.
  - The athlete must be able to turn the front wheel(s) manually both to the left and to the right.
  - The use of fairings or similar devices specifically designed to improve the aerodynamic performance of the athlete in the wheelchair are not permitted.
  - Wheelchairs will be measured and inspected in the Call Room and once inspected must not be taken from the competition area before the start of the event. Wheelchairs can be re-examined by the officials before or after the event.
  - It is the responsibility of the athlete to ensure that no part of their lower limbs can fall from their wheelchair to the ground or track during the event.

## 国際クラス分け表

- T53 このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋または下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル T1-7 と同等の活動制限がある。
- T54 このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。  
車いす上で身体を起き上がり、回転する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル T8-S4 レベルと同等の活動制限がある。

(※) 上記は、IPC Athletics Classification Rules and Regulations 2014【日本語翻訳版】から抜粋したものであり、内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照ください。  
[http://jaafd.org/pdf/committee3/c3\\_2014\\_ipc-class-manual\\_jp.pdf](http://jaafd.org/pdf/committee3/c3_2014_ipc-class-manual_jp.pdf)

## CLASSIFICATION SYSTEM GOVERNING RULES

- T53 These athletes will have normal arm muscle power with no abdominal or lower spinal muscle activity. Use different techniques to compensate for lack of abdominal musculature including lying horizontal. In general when acceleration occurs, the trunk rises off the legs due to a lack of abdominal muscles to hold the trunk down; there is no active downward movement of the trunk to assist with propulsion. Usually have to interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T1-7
- T54 These athletes will have normal arm muscle power with a range of trunk muscle power extending from partial trunk control to normal trunk control. Athletes who compete in this group may have significant leg muscle power. These athletes have reasonable to normal trunk control which allows them to hold their trunk down when the propulsion force is applied to the push rim. Usually do not interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Can shift direction of the wheelchair by sitting up and applying a trunk rotational force to the wheelchair. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T8-S4. Athletes competing in this class must meet one or more of the MDC presented in Section 2.1.4 (limb deficiency), 2.1.5 (impaired PROM) and 2.1.6 (impaired muscle power) or 2.1.7 (leg length difference).

\*\* For further information, please refer to the following IPC Athletics website.  
<http://www.paralympic.org/Athletics/Rulesandregulations/Classification>

# パラリンピック選考対象競技会関連データ

## DATA of Paralympic Games Trial Selection Race of Japan Wheelchair Marathon

### リオ 2016 パラリンピック競技大会 車いすマラソン日本代表候補選手選考について

2016年9月に開催されるリオ2016パラリンピック競技大会車いすマラソン日本代表候補選手の日本パラリンピック委員会(以下JPC)へ下記のとおり推薦する。なお医学的な問題、ドーピング問題、その他参加が不可能な状況が発生した場合は、推薦を取り消すことがある。

#### 1. 推薦選手の条件

- (1) 2015年と2016年の日本パラ陸上競技連盟の登録会員であること。
- (2) 2015年と2016年シーズンのIPC陸上競技部門に登録し、ライセンスを取得していること。
- (3) 国際クラスを取得しかつ、クラスステータスが、ConfirmedまたはFixed Review Date 2017以上の選手とする  
(New・Reviewステータスは対象とならない)。
- (4) JPCへの推薦は次項2の条件を満たす最大男女各3名までとする。

#### 2. 推薦に対しての選考方法は、下記の(1)～(4)とする。

- (1) 第35回大分国際車いすマラソン大会(2015年11月8日開催)で外国選手を含む3位以内、かつ日本人1位の選手。  
ただし、男子選手は1時間27分00秒以内、女子選手は1時間43分30秒以内の記録とする。
- (2) 東京マラソン2016(2016年2月28日開催)で外国選手を含む3位以内、かつ日本人1位の選手。ただし、男子選手は1時間28分30秒以内、女子選手は1時間46分00秒以内の記録とする。
- (3) 2016マラソンワールドカップ(ロンドン2016年4月24日)において、「リオパラリンピックの実施予定マラソン種目の5位までの選手の内、上位3名で、2015IPC陸上競技世界選手権大会マラソンの部・IPC陸上競技世界選手権大会(ドーハ)・リオ2016ランキング出場枠で参加資格を獲得していない選手のNPCに枠が割り当てられる」これに該当する日本最上位の選手1名。  
ただし、上記(1)(2)で推薦が決定した選手が、5位以内に入ってNPCに枠が割り当てられた場合はその選手を除外し、(1)(2)において決定していない選手で5位以内の最上位選手を推薦する。
- (4) 上記(1)～(3)にどの選手も該当しなかった場合は、2015年IPC陸上競技部門世界ランキング(T53/T54マラソン)と2016年1月から5月末までのIPC陸上競技部門世界ランキング(T53/T54マラソン)を通じた日本人最上位記録の選手から選考委員会においてJPCへ推薦する。

以上

#### 終了した選考対象競技会の日本人選手成績

● 第35回大分国際 車いすマラソン大会	(T34/53/54クラス男子順位)	(T34/53/54クラス女子順位)
	2位 山本 浩之 1時間25分02秒	6位 高崎 瑞貴 2時間19分57秒
	3位 副島 正純 1時間25分15秒	
	4位 西田 宗城 1時間25分16秒	

# 東京マラソン車いす招待選手—海外男子

## Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – International men

### No. 1001 エルンスト・バンダイク (南アフリカ)

VAN DYK, Ernst (RSA)



#### プロフィール / Profile

DOB : 4 Apr. 1973

Age : 42

#### 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:30:54	ニューヨークシティ (NYC)	1	-2015

#### 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:18:27	ボストン (Boston)	1	-2004

#### 備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:20:36	ボストン (Boston)	1st	-2014

ボストンマラソンでは2001年から2006年、2008年から2010年、2014年と10回も優勝しているエルンスト・バンダイクは、2005年のニューヨークシティマラソンとパリマラソンでも優勝している。生まれつき脚がないエルンストだが、両親の薦めで最初は水泳を、その後に車椅子競技を始めた。1992年のバルセロナパラリンピックは両種目に出場したが、その後は車椅子種目に専念している。2000年のシドニーパラリンピックでは400mで銅メダルを、4年後の2004年アテネパラリンピックでは800mと1500mで銀メダルを獲得。そして、2008年北京パラリンピックでは車椅子マラソンで銅メダルを獲得している。

Ten-time Boston Marathon Champion, having won from 2001 to 2006, 2008 to 2010 and 2014, Ernst van Dyk also won the 2005 New York City marathon and the Paris Marathon. He was born with congenital absence of both legs in South Africa. Encouraged by his parents, Van Dyk competed first in swimming and then wheelchair events. He competed in both events in the 1992 Barcelona Paralympics. Thereafter Van Dyk concentrated in wheelchair events. He won bronze medal at 400m in the 2000 Sydney Paralympics; he won the silver at both 800m and 1500m in the 2004 Athens Paralympics. In 2008 Beijing Paralympics, he won bronze in the wheelchair marathon.

## 東京マラソン車いす招待選手—海外男子

## Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – International men

No. 1002 クート・フェンリー (オーストラリア)  
FEARNLEY, Kurt (AUS)

## プロフィール / Profile

DOB : 23 Mar. 1981  
Age : 34

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:30:46	シカゴ (Chicago)	1	-2015

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:18:51	ボストン (Boston)	2	-2011

## 備考 Remark

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:20:36	ニューヨークシティ (NYC)	5th	-2015

クート・フェンリーは、仙骨の形成不全で生まれ、生後1週間も命がもたない、と医者に宣告を受けていたという。子宮内での発育不全で腰椎と仙骨の一部が欠けていて、脚で体重を支えられない状態で生まれてきた。だが、彼はあらゆるスポーツに挑戦していく。フェンリーが初めてメダルを獲得した陸上競技の種目は高跳びだった。そして、14歳の時に車椅子レースに参加するようになり、2000年シドニーパラリンピックでは800mで銀メダルを獲得した。その4年後の2004年アテネパラリンピックでは、5000mとマラソンで金メダルに輝いた。フェンリーは、ニューヨークシティマラソンを4回（2006年から2009年）、シカゴマラソンも4回（2007年から2009年、2011年）、ロンドンマラソンを2回（2009年、2013年）制している。

Kurt Fearnley was born with sacral agenesis and doctors didn't believe he would live more than a week. Because of his development problem during his mother's pregnancy, he is missing part of lumbar and sacrum, and thus his legs aren't strong enough to carry his weight. Nevertheless he took part in all sports. Fearnley won his first athletics medal in the high jump. He took up wheelchair racing at the age of 14, and won silver medal at 800m in the 2000 Sydney Paralympics. Four years later he won gold medals in the 5000m and marathon in the 2004 Athens Paralympics. Fearnley won the New York City Marathon four-times (2006-2009), Chicago Marathon four times (2007-2009, 2011), and London twice (2009, 2013).

No. 1003 ジョシュア・ジョージ (アメリカ)  
GEORGE, Joshua (USA)

## プロフィール / Profile

DOB : 18 Mar. 1984  
Age : 31

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:31:31	ロンドン (London)	1	-2015

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:22:55	ミネソタ・グランマーズ (Duluth, MN)	1	-2012

## 備考 Remark

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:30:55	ニューヨークシティ (NYC)	2nd	-2015

ジョシュア・ジョージは、4歳の時に12階の窓から落下したが、命は取り留めた。車椅子生活を余儀なくされるようになったものの、奇跡的に脳、上半身、内臓は無事だった。下半身不随にもかかわらず、両親はジョシュアにできる限り普通の生活を送らせると決意。ジョシュアは様々なスポーツに取り組んだ。

ジョシュアは、準地元であるシカゴマラソンで3回優勝。2004年のパラリンピックでは100mと400mで銅メダルを獲得している。その4年後の2008年のパラリンピックでは100m、200m、400m、そして800mで金メダルに輝いた。2013年のIPC世界選手権でも800mで金メダルを獲得、そしてその2年後の2015年IPC世界選手権では、マラソンで金メダルを獲得している。

Joshua George survived the fall from a twelfth story window when he was four years old. Miraculously there was no damage to his brain, vital organs or upper body. Unfortunately he became wheelchair bound. However, his parents were determined that Joshua will have full and active normal life. Joshua started to participate in all kinds of sports. Joshua won the Chicago Marathon in three-times. He participated in the 2004 Paralympics, winning bronze medals in 100m and 400m. Four years later in the 2008 Paralympics Joshua won gold medal in 100m and silver medal in 800m. At the 2006 IPC World Championships, he won gold medals at 100m, 200m, 400m and 800m. He also won gold medal at 800m in the 2013 IPC World Championships, and two years later won gold in the marathon in the 2015 IPC World Championships.

## 東京マラソン車いす招待選手一国内男子

## Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – Domestic men

## No. 1004 洞ノ上 浩太 (福岡・ヤフー)

HOKINOUE, Kota (JPN)



## プロフィール / Profile

DOB : 30Mar. 1974  
Age : 41

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:26:45	大分国際 (Oita)	5	-2015

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:20:52	ソウル (Seoul)	2	-2013

## 備考 Remark

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:30:23	東京 (Tokyo)	1st	-2015

2009年から東京マラソンで4年連続2位に終わった洞ノ上浩太だが、2015年大会でついに優勝を果たした。また、2010年と2012年のソウル国際車椅子マラソンでも優勝している。

2000年にオートバイ事故で車椅子生活を余儀なくされたが、友人のアドバイスがあって2002年から車椅子レースに参加するようになった。2008年の北京パラリンピックには5000mとマラソンに出場し、両種目で5位入賞を果たしている。5000mで日本人が決勝進出を果たすのは初めてのことであった。2010年6月には5000m(9分55秒04)と1万m(19分51秒80)の2種目で日本記録を樹立。その年の12月には、アジア・パラゲームズ広州大会の車椅子マラソンで金メダルを獲得している。

しかし、2010年のボストンで3位、同年のベルリンで2位、2011年のニューヨークでも3位と、メジャーマラソンではもう一歩のところまで優勝を逃していた。2007年から毎年出場している東京マラソンも同様で、3位が2回、2位が4回と毎回好成績を残すも、なかなか優勝に届かなかった。だが、2015年についに優勝。今年は2連勝がかかる。

After finishing Second in Tokyo Marathon from 2009 to 2012, Kota Hokinoue finally won the wheelchair division of 2015 Tokyo Marathon. He also won the 2010 & 2012 Seoul International Wheelchair marathon. Hokinoue was confined to wheelchair after the motorcycle accident in 2000. Following an advice from his friend, Hokinoue started to compete in wheelchair races in 2002. He competed at both 5000m and marathon in the 2008 Beijing Paralympics and finished fifth in both events. In 5000m, he qualified for the final, first by Japanese athlete. In June of 2010 Hokinoue set the national records at both 5000m (9:55:04) and 10000m (19:51.80); in December, at the Asian Para Games, he won the wheelchair marathon. Hokinoue was third in 2010 Boston, second in 2010 Berlin, and third in 2011 New York marathon; the gold just escaped him in the Marathon Majors until 2015 when he finally won the 2015 Tokyo Marathon. Hokinoue competed in every Tokyo Marathon ever contested and finished third twice and second four times, before finally won the 2015 edition of Tokyo Marathon. Can he repeat this year?

## No. 1005 山本浩之 (福岡)

YAMAMOTO, Hiroyuki (JPN)



## プロフィール / Profile

DOB : 31 May. 1966  
Age : 49

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:25:02	大分国際 (Oita)	2	-2015

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:23:16	ソウル (Seoul)	3	-2011

## 備考 Remark

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:30:43	東京 (Tokyo)	1st	-2014

20歳の時にオートバイ事故に遭い車椅子生活を余儀なくされた山本浩之は、退院後に車椅子バスケットボールを始めた。約10年間バスケットボールの選手生活を送った後、車椅子マラソンに転向。2007年の大分国際車いすマラソンで2位に入ると、その翌年の2008年北京パラリンピックでは1位からわずか5秒遅れの1時間23分22秒で6位に入った。その後、大分車いすマラソンでは2007年、2009年、2012年、2013年に2位(日本人1位)に入っている。東京マラソンは、2010年に初優勝を果たすと、翌2011年は3位。2013年は2位に終わったが、2012年と2014年にも優勝している。ただ、東京では3回優勝しているものの連覇はまだない。連覇がかかった2015年は7位に終わっている。

Confined to the wheelchair after the motorcycle accident when he was 20 years old, he took up wheelchair basketball soon after released from the hospital. After 10 years playing wheelchair basketball, Yamamoto ventured into wheelchair racing. In his first major international competition, the 2007 Oita International Wheelchair Marathon, Yamamoto was second (first Japanese). Following year, he was sixth in the 2008 Beijing Paralympics marathon with 1:23:22, only five seconds behind the winner. Another year later he again finished second (first Japanese) in the 2009 Oita International Wheelchair Marathon. He also finished second (first Japanese) in the 2012 and 2013 edition. In 2010 Yamamoto won the Tokyo Marathon for the first time. Although he was third in 2011 and second in 2013, Yamamoto won the 2012 and 2014 editions of the Tokyo Marathon. So Yamamoto has won the Tokyo marathon three times, in 2010, 2012 and 2014, but never in consecutive years. In 2015, with two consecutive victory on the line, Yamamoto finished only seventh.

## 東京マラソン車いす招待選手一国内男子

## Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – Domestic men

No. 1006 吉田 竜太 (東京・SUS)  
YOSHIDA, Ryota (JPN)

## プロフィール / Profile

DOB : 28 Sep. 1981  
Age : 34

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:27:38	ソウル (Seoul)	4	-2015

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:27:38	ソウル (Seoul)	4	-2015

## 備考 Remark

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:30:36	東京 (Tokyo)	3rd	-2015

事故により脊髄を損傷し車椅子生活を送ることになった吉田竜太は、その後車椅子マラソンで頭角を現す。2013年には競技活動に専念できる環境を求めて、SUS株式会社に入社した。2015年4月に行われたIPC世界選手権のマラソンでは1時間35分35秒で11位、5月のソウル国際車椅子マラソンでは1時間27分38秒の自己ベストで4位に入っている。10月のシカゴマラソンは14位、11月の大分国際車いすマラソンは、10km過ぎに先頭集団から引き離され1時間32分10秒で8位、12月のホノルル・マラソンは、副島に次ぎ1時間33分29秒で2位に入っている。昨年の東京マラソンは3位に入ったが、今回はリオデジャネイロ・パラリンピック代表権を狙って挑む。

Injured his spinal cord in an accident, Ryota Yoshida became wheelchair bound. However, later Yoshida start to excel at the wheelchair marathons. In 2013, in pursuit of ideal environment to concentrate on the competitions, Yoshida joined SUS Corporation. In April at the 2015 IPC World Championships Marathon, Yoshida was 11th with 1:35:35. In May at the Seoul International Wheelchair marathon he was fourth in his personal best of 1:27:38. In October, he was 14th at the Chicago Marathon. In the Oita International Wheelchair Marathon Yoshida lost contact with the leader after 10km and finished eighth with 1:32:10. In the Honolulu Marathon in December, Yoshida finished second to Soejima with 1:33:29. Yoshida was third in the Tokyo Marathon last year. This year he will try to qualify for the Rio de Janeiro Paralympics in the Tokyo Marathon.

No. 1007 鈴木 朋樹 (千葉・関東パラ陸上競技協会)  
SUZUKI, Tomoki (JPN)

## プロフィール / Profile

DOB : 14 Jun. 1994  
Age : 21

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:36:16	大分国際 (Oita)	9	-2015

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:30:36	東京 (Tokyo)	2	-2015

## 備考 Remark

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:30:36	東京 (Tokyo)	2nd	-2015

生後間もない8カ月の時に交通事故で脊髄を損傷した鈴木朋樹は、物心がついた時から車椅子生活だった。そして、小学5年の時に2012年のパラリンピック車椅子マラソン5位の花岡伸和に出会い、本格的に車椅子レースに参加するようになる。

2015年の東京マラソンで初マラソンに挑むと、1時間30分23秒で2位に入った。10月のIPC世界選手権では800mと1500mに出場し、決勝には進めなかったものの、果敢なレース運びが高く評価された。2度目のマラソンとなった昨年11月の大分国際は最初から果敢に飛ばしたが、1時間36分16秒で9位に終わっている。昨年12月の日産カップのハーフ・マラソンは47分00秒で優勝しているが、リオデジャネイロ・パラリンピック代表選考レースとなる今回の東京マラソンでは、どのようなレースを展開するのだろうか？

Soon after his birth, eight month old Tomoki Suzuki injured his spinal cord in the traffic accident, and thus became wheelchair bound. When he was in fifth grade, Suzuki met with Nobukazu Hanaoka, who was fifth at the wheelchair marathon in the 2012 Paralympics, and he started to compete seriously in the wheelchair races. Suzuki made his marathon debut in the 2015 Tokyo Marathon and finished second with 1:30:23. In October, Suzuki competed at the IPC World Championships, but failed to advance to the final in both 800m and 1500m. However, his aggressive racing style was highly praised. In his second marathon, Oita International Wheelchair marathon in November, Suzuki started the race in quite an aggressive pace, but faded in the later part of the race to finish ninth with 1:36:16. Following month in December, he won the Nissan Cup, half marathon race, with 47:00. Tokyo Marathon is the qualifying race for the Rio de Janeiro Paralympics Marathon. What kind of racing strategy would Suzuki employ in Tokyo?

## 東京マラソン車いす招待選手—海外女子

## Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – International women

## No. 1101 タチアナ・マクファアデン (アメリカ)

MCFADDEN, Tatyana (USA)



## プロフィール / Profile

DOB : 21 Apr. 1989  
Age : 26

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:43:04	ニューヨークシティ (NYC)	1	-2015

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:35:06	ボストン (Boston)	1	-2014

## 備考 Remark

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:41:10	シカゴ (Chicago)	1st	-2015

ソビエトのレニングラード(現在のサンクトペテルブルグ)で生まれたタチアナは、生まれつき脊椎捻折で下半身麻痺だった。生みの母親に孤児院に入れられ、その孤児院も高価な車椅子を彼女に提供できなかったため、タチアナは最初の6年間は這って移動するしかなかった。タチアナにとって大きな転機となったのは、米国保健局の身体障害者理事デボラ・マクファアデンに出会ったことだった。彼女に連れられてアメリカ・ボルチモアに引っ越したタチアナは、8歳から車椅子レースに参加するようになった。2004年アテネパラリンピックでは100mで銀メダル、200mで銅メダルを獲得。4年後の2008年パラリンピックでは200m、400m、800mで銀メダルを獲得している。2009年までは短距離種目だけに参加していたが、その後車椅子マラソンに参加するようになり、2009年のシカゴマラソンで優勝を果たした。2010年にはニューヨークシティマラソンを、2011年にはロンドンマラソンとシカゴマラソンを制している。そして、2013年IPC世界選手権では100mから5000mまで全ての種目で6個の金メダルに輝いた。同年、ボストン、ロンドン、シカゴ、そしてニューヨークと、4大会を全て制した初めての選手になった。また、2014年には母国ロシアのソチで開催された冬季パラリンピックにも参加している。その後も車椅子マラソンで大活躍。2014年にはボストン、ロンドン、ニューヨークでV。2015年はロンドンとニューヨークで優勝している。2014年のボストンは、土田和歌子選手と抜きつ抜かれつの大接戦の末の優勝だった。

Born in Leningrad Soviet Union with spina bifida, Tatyana was paralyzed from the waist down. Her mother abandoned her in an orphanage, and since orphanage could not afford a wheelchair, she walked on her hands for the first six years of her life. Turning point of her life came when she met Deborah McFadden, a commissioner of disabilities for the US Health Department. Tatyana was adopted by Deborah McFadden, and moved to Baltimore. Tatyana began racing at the age of eight. She won a silver medal at 100m and bronze medals at 200m in the 2004 Athens Paralympics. She also competed in the 2008 Paralympics and won silver medal in 200m, 400m and 800m. Tatyana who was competing exclusively in the sprint events until 2009 ventured into the marathon, and won the Chicago Marathon in 2009. She then won New York in 2010, London and Chicago in 2011. In 2013 Tatyana won six gold medals – 100m to 5000m – in the 2013 IPC Athletics World Championships. In the same year she won the Boston, London, Chicago and New York Marathons, first to do so in the same year. In 2014 Tatyana also competed in the Sochi Paralympic Games. She continued to excel at the marathon distance and won the Boston, London and New York in 2014 and London and New York in 2015.

## No. 1102 アマンダ・マグロリー (アメリカ)

MCGRORY, Amanda (USA)



## プロフィール / Profile

DOB : 9 Jun. 1986  
Age : 29

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:45:55	シカゴ (Chicago)	3	-2014

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:36:39	ミネソタ・グランマーズ (Duluth, MN)	1	-2012

## 備考 Remark

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:46:31	ロンドン (London)	1st	-2011

5歳の時に横断性脊髄炎で下半身不随となり、アマンダ・マグロリーの人生は暗転した。車椅子がなくてはならない生活となったが、10歳の時に両親が彼女を車椅子スポーツのプログラムに登録。ここからアマンダの車椅子レースのキャリアが始まった。当初、彼女は自身をスプリンターだと思っていたという。しかし、元マラソンのチャンピオンであるスコット・ホーロンベックの考えは違っており、アマンダにはマラソンの適性があると考えていた。そして、彼の見通しは正しかった。2006年のIPC世界選手権は800mで優勝したが、同年のニューヨークシティマラソンでも優勝を果たしている。2009年にはロンドンマラソンを、2011年にはロンドンとニューヨークを制した。2011年と2012年のパリマラソン、2010年のシカゴマラソンでも優勝している。

At the age of five, Amanda McGrory was diagnosed with transverse myelitis, leaving her paralyzed from the waist down. Wheelchair bound, Amanda's quest to find ways to be active started. At the age of 10, her parents enrolled her in a wheelchair sports program, and thus began her career in wheelchair racing. Initially, she thought herself as a sprinter. However, former marathon champion Scot Hollonbeck disagreed. Scot thought Amanda would be a good marathoner. Scot turned out to be correct. She won the 800m in the 2006 IPC World Championships, and also won the 2006 New York Marathon. In 2009, she won the London Marathon. In 2011 Amanda won both the London Marathon and New York Marathon. She also won 2011 and 2012 Paris Marathon as well as 2010 Chicago Marathon.

## 東京マラソン車いす招待選手—国内女子

## Tokyo Marathon Invited Wheelchair Athletes – Domestic women

No. **1103** **土田 和歌子** (東京・八千代工業)  
 TSUCHIDA, Wakako (JPN)



## プロフィール / Profile

DOB : 15 Oct. 1974  
 Age : 41

## 資格記録 Qualified Time

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:38:07	大分国際 (Oita)	2	-2013

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:34:06	ボストン (Boston)	1	-2011

## 備考 Remark

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:46:30	東京 (Tokyo)	1st	-2015

1998年の長野パラリンピックのアイススレッジと2004年アテネパラリンピックの5000m車椅子レースで優勝した土田和歌子は、夏季と冬季との両方のパラリンピックで金メダルを獲得した初めての日本人選手だ。

高校生の時に交通事故で車椅子生活を余儀なくされた土田は、アイススレッジでその才能を開花させた。1998年の長野パラリンピックでは1000mと1500mで優勝を果たした。その後、車椅子レースに参戦。2000年シドニー五輪の公開競技で銀メダルを獲得した後、シドニーパラリンピックでも銅メダルを獲得している。その4年後のアテネパラリンピックでは5000mで念願の金メダルを獲得、車椅子マラソンでも銀メダルを獲得している。

ボストンマラソンでは5連覇の実績があるが、東京マラソンでは8連覇中だ。2010年はロンドンとベルリンでも優勝。2001年に大分国際車いすマラソンで1時間38分32秒の世界記録(当時)を樹立すると、2013年の同大会では再び世界記録を樹立し、1時間38分07秒まで記録を伸ばした。負け知らずの東京では、9連覇を目指す。

First Japanese ever to win the gold medal in both the summer and winter Paralympics, Wakako Tsuchida won the 5000m wheelchair race in the 2004 Athens Paralympics as well as the ice sledge race in the 1998 Nagano Paralympics. Having forced to confine to a wheelchair after a traffic accident when she was a high school student, Tsuchida tried ice sledge and found instant success. She won both 1000m and 1500m at ice sledging in the 1998 Nagano Paralympics, and then ventured into a wheelchair racing. After winning a silver medal at the exhibition event of the Sydney Olympics, she won bronze medal in the Sydney Paralympics. Four years later in Athens, Tsuchida won the gold at 5000m. She also won a silver medal at the wheelchair marathon in Athens. Tsuchida's have won the Boston Marathon five times and Tokyo eight times. In 2010, she also won London and Berlin. Tsuchida set the wheelchair marathon world record of 1:38:32 in the 2001 Oita International wheelchair marathon. In 2013 she set another world record, 1:38:07, in Oita. Undefeated in the Tokyo Marathon, Tsuchida will try to extend her winning streak to nine.



TOKYO  
MARATHON  
2016



① 2007\_Marathon Winner NJENGA, Daniel ② 2007\_Wheelchair Winner SOEJIMA, Masazumi ③ 2008\_Marathon Winner ROTHLIN, Victor ④ 2010\_Marathon Winner FUJIWARA, Masakazu ⑤ 2009\_Marathon Winner KIPSANG, Salim ⑥ 2012\_Marathon Winner KIPYEGO, Michael ⑦ 2015\_Marathon Winner NEGESSE, Endeshaw ⑧ 2012\_Marathon 4th GEBRSELASSIE, Haile ⑨ 2011\_Marathon Winner MEKONNEN, Hailu ⑩ 2013\_Marathon Winner KIMETTO, Dennis ⑪ 2014\_Marathon Winner CHUMBA, Dickson ⑫ 2008\_10km Wheelchair Women GR Holder YAMAOKI, Tomomi ⑬ 2015\_Wheelchair Women 8times Winner Tsuchida, Wakako ⑭ 2007\_Marathon Women Winner NIHA, Hitomi ⑮ 2015\_Wheelchair Winner HOKINOUE, Kota ⑯ 2014\_Marathon Women Winner TSEGAYE, Tirfi 2nd DIBABA, Birhane 3rd KABUU, Lucy ⑰ 2007\_Tokyo Marathon was her final competitive race ARIMORI, Yuki ⑱ 2008\_10 km Women GR Holder WATANABE, Miho ⑲ 2011\_10 km Men GR Holder MINO, Takashi ⑳ 2009\_Marathon JPN1st MAEDA, Kazuhiro ㉑ 2011\_Marathon JPN1st KAWAUCHI, Yuki ㉒ 2010\_Wheelchair Winner YAMAMOTO, Hiroyuki ㉓ 2010\_Marathon 3rd SATO, Atsushi 4th KAWAUCHI, Yuki 5th ADACHI, Tomoya ㉔ 2012\_Marathon JPN1st FUJIWARA, Arata

STATISTICS & RESULTS  
 大会結果

# STATISTICS & RESULTS

[www.marathon.tokyo/](http://www.marathon.tokyo/)

- 90** **世界歴代パフォーマンストップ 50**  
All-Time Top 50 World Marathon Performances
- 92** **日本歴代パフォーマンストップ 50**  
Japanese All-Time Performances Top 50
- 94** **アボット・ワールドマラソンメジャース歴代トップ 50**  
Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50
- 96** **日本国内パフォーマンストップ 50**  
Japan All Comers Performance List
- 98** **東京マラソンパフォーマンストップ 25**  
All-Time Top 50 Tokyo Marathon Performances
- 99** **順位別最高記録**  
Best Marks for Places
- 100** **世界主要マラソン大会結果**  
Major Marathon Results
- 102** **東京マラソン大会結果**  
Tokyo Marathon Results

## 世界歴代パフォーマンストップ50 男子

## All-Time Top 50 World Marathon Performances Men

★ 2016 大会出場選手

Performance	Time / 記録	Name	名前	Nation / 国	Date / 日付	Venue / 大会名
1	2:02:57	1 KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014.09.28	Berlin
★ 2	2:03:13	2 MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014.09.28	Berlin
3	2:03:23	3 KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2013.09.29	Berlin
4	2:03:38	4 MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011.09.25	Berlin
5	2:03:42	KIPSANG, Wilson		KEN	2011.10.30	Frankfurt
6	2:03:45	KIMETTO, Dennis		KEN	2013.10.13	Chicago
7	2:03:52	MUTAI, Emmanuel		KEN	2013.10.13	Chicago
8	2:03:59	5 GEBRELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2008.09.28	Berlin
9	2:04:00	6 KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2015.09.27	Berlin
10	2:04:05	KIPCHOGE, Eliud		KEN	2013.09.29	Berlin
11	2:04:11	KIPCHOGE, Eliud		KEN	2014.10.12	Chicago
12	2:04:15	7 MUTAI, Geoffrey	ジョフリー・ムタイ	KEN	2012.09.30	Berlin
13	2:04:16	KIMETTO, Dennis		KEN	2012.09.30	Berlin
14	2:04:23	8 ABSHERO, Ayele	アエレ・アブシェロ	ETH	2012.01.27	Dubai
15	2:04:24	9 ABERA, Tesfaye	テスファエ・アベラ	ETH	2016.01.22	Dubai
16	2:04:26	GEBRELASSIE, Haile		ETH	2007.09.30	Berlin
17	2:04:27	10 KIBET, Duncan	ダンカン・キベト	KEN	2009.04.05	Rotterdam
17	2:04:27	10 KWAMBAL, James	ジェームズ・クワンバイ	KEN	2009.04.05	Rotterdam
19	2:04:28	12 KITWARA, Sammy Kirop	サミー・キトワラ	KEN	2014.10.12	Chicago
20	2:04:29	KIPSANG, Wilson		KEN	2014.04.13	London
21	2:04:32	13 MEKONNEN, Tsegaye	ツェガエ・メコネン	ETH	2014.01.24	Dubai
★ 21	2:04:32	13 CHUMBA, Dickson Kiptolo	ディクソン・チュンバ	KEN	2014.10.12	Chicago
23	2:04:33	15 BERHANU, Lemi	レミ・ベルハヌ	ETH	2016.01.22	Dubai
24	2:04:38	16 KEBEDE, Tsegay	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012.10.07	Chicago
25	2:04:40	MUTAI, Emmanuel		KEN	2011.04.17	London
26	2:04:42	KIPCHOGE, Eliud		KEN	2015.04.26	London
27	2:04:44	KIPSANG, Wilson		KEN	2012.04.22	London
28	2:04:45	17 DESISA, Lelisa	レリサ・デシサ	ETH	2013.01.25	Dubai
29	2:04:46	MEKONNEN, Tsegaye		ETH	2016.01.22	Dubai
30	2:04:47	KIPSANG, Wilson		KEN	2015.04.26	London
31	2:04:48	MAKAU, Patrick		KEN	2010.04.11	Rotterdam
31	2:04:48	18 TSEGAY, Yemane	イエマネ・ツェガエ	ETH	2012.04.15	Rotterdam
31	2:04:48	18 SHIFERAW, Berhanu	ベルハヌ・シフェラウ	ETH	2013.01.25	Dubai
34	2:04:49	20 TOLA, Tadese	タデセ・トラ	ETH	2013.01.25	Dubai
35	2:04:50	21 SEFIR, Dino	ディノ・セフィル	ETH	2012.01.27	Dubai
35	2:04:50	21 FELEKE, Getu	ゲトゥ・フェレケ	ETH	2012.04.15	Rotterdam
37	2:04:52	23 LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	2012.10.07	Chicago
37	2:04:52	23 NEGESSE, Endeshaw	エンデシヨウ・ネゲセ	ETH	2013.01.25	Dubai
39	2:04:53	GEBRELASSIE, Haile		ETH	2008.01.18	Dubai
39	2:04:53	25 KOECH, Bernard	バーナード・コエチ	KEN	2013.01.25	Dubai
41	2:04:54	26 GENETI, Markos	マルコス・ゲネテ	ETH	2012.01.27	Dubai
42	2:04:55	27 TERGAT, Paul	ポール・テルガト	KEN	2003.09.28	Berlin
42	2:04:55	MUTAI, Geoffrey		KEN	2010.04.11	Rotterdam
42	2:04:55	27 BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2014.04.13	London
45	2:04:56	29 KORIR, Sammy	サミー・コリル	KEN	2003.09.28	Berlin
45	2:04:56	29 MAIYO, Jonathan	ジョナサン・マイヨ	KEN	2012.01.27	Dubai
47	2:04:57	KIPSANG, Wilson		KEN	2010.10.31	Frankfurt
48	2:05:00	KIPCHOGE, Eliud		KEN	2014.04.13	Rotterdam
49	2:05:03	31 MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2012.04.15	Rotterdam
★ 50	2:05:04	32 KIRUI, Abel	アベル・キルイ	KEN	2009.04.05	Rotterdam
50	2:05:04	32 BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2014.04.06	Paris

## 世界歴代パフォーマンストップ50 女子

## All-Time Top 50 World Marathon Performances Women

★ 2016 大会出場選手

Performance	Time / 記録	Name	名前	Nation / 国	Date / 日付	Venue / 大会名
1	2:15:25	1 RADCLIFFE, Paula	ポーラ・ラドクリフ	GBR	2003.04.13	London
2	2:17:18	RADCLIFFE, Paula		GBR	2002.10.13	Chicago
3	2:17:42	RADCLIFFE, Paula		GBR	2005.04.17	London
4	2:18:37	2 KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2012.04.22	London
5	2:18:47	3 NDEREBA, Catherine	キャサリン・ヌデレバ	KEN	2001.10.07	Chicago
6	2:18:56	RADCLIFFE, Paula		GBR	2002.04.14	London
7	2:18:58	4 GELANA, Tiki	ティキ・ゲラナ	ETH	2012.04.15	Rotterdam
8	2:19:12	5 NOGUCHI, Mizuki	野口みずき	JPN	2005.09.25	Berlin
9	2:19:19	6 MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008.09.28	Berlin
9	2:19:19	KEITANY, Mary		KEN	2011.04.17	London
11	2:19:25	7 CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2015.09.27	Berlin
12	2:19:26	NDEREBA, Catherine		KEN	2002.10.13	Chicago
13	2:19:31	8 MERGIA, Aselefech	アセレフェチ・メルギア	ETH	2012.01.27	Dubai
14	2:19:34	9 KABUU, Lucy	ルーシー・カブー	KEN	2012.01.27	Dubai
15	2:19:36	10 KASTOR, Deena	ディーナ・カスター	USA	2006.04.23	London
16	2:19:39	11 SUN, Yingjie	孫英傑	CHN	2003.10.19	Beijing
17	2:19:41	12 SHIBUI, Yoko	渋谷陽子	JPN	2004.09.26	Berlin
17	2:19:41	12 TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2016.01.22	Dubai
19	2:19:44	14 KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キブラガト	KEN	2011.09.25	Berlin
20	2:19:46	15 TAKAHASHI, Naoko	高橋尚子	JPN	2001.09.30	Berlin
★ 21	2:19:50	16 KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	2012.04.22	London
22	2:19:51	17 ZHOU, Chunxiu	周春秀	CHN	2006.03.12	Seoul
23	2:19:52	18 DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2012.01.27	Dubai
23	2:19:52	DIBABA, Mare		ETH	2015.01.03	Xiamen
25	2:19:55	NDEREBA, Catherine		KEN	2003.04.13	London
26	2:19:57	19 JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2013.10.13	Chicago
27	2:20:02	MERGIA, Aselefech		ETH	2015.01.23	Dubai
28	2:20:03	CHERONO, Gladys		KEN	2015.01.23	Dubai
29	2:20:14	20 JEPTOO, Priscah	プリスカ・ジェプトゥー	KEN	2012.04.22	London
30	2:20:15	JEPTOO, Priscah		KEN	2013.04.21	London
31	2:20:18	TSEGAYE, Tirfi		ETH	2014.09.28	Berlin
32	2:20:21	KIPLAGAT, Edna		KEN	2014.04.13	London
32	2:20:21	KABUU, Lucy		KEN	2015.01.23	Dubai
34	2:20:24	KIPLAGAT, Florence		KEN	2014.04.13	London
35	2:20:27	21 TADESE, Feyse	フェイセ・タデセ	ETH	2014.09.28	Berlin
36	2:20:30	22 BEKELE, Bezunesh	ベズネッシュ・ベケレ	ETH	2012.01.27	Dubai
★ 36	2:20:30	22 KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	2012.09.30	Berlin
38	2:20:33	KEBEDE, Aberu		ETH	2012.01.27	Dubai
39	2:20:35	24 DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2014.04.13	London
40	2:20:38	ZHOU, Chunxiu		CHN	2007.04.22	London
41	2:20:42	25 ADERE, Berhane	ベルハネ・アデレ	ETH	2006.10.22	Chicago
42	2:20:43	26 LOROUPE, Tegla	テグラ・ロルーベ	KEN	1999.09.26	Berlin
42	2:20:43	26 OKAYO, Margaret	マーガレット・オカヨ	KEN	2002.04.15	Boston
44	2:20:46	KIPLAGAT, Edna		KEN	2011.04.17	London
45	2:20:47	LOROUPE, Tegla		KEN	1998.04.19	Rotterdam
45	2:20:47	28 BOGOMOLOVA, Galina	ガリーナ・ボゴモロワ	RUS	2006.10.22	Chicago
47	2:20:48	29 SUMGONG, Jemima Jelagat	ジェミマ・ジェラガト・スムゴン	KEN	2013.10.13	Chicago
47	2:20:48	KEBEDE, Aberu		ETH	2015.09.27	Berlin
47	2:20:48	29 BERISO, Amane	アマネ・ベリソ	ETH	2016.01.22	Dubai
50	2:20:57	RADCLIFFE, Paula		GBR	2005.08.14	Helsinki
50	2:20:57	KIPLAGAT, Florence		KEN	2012.04.22	London

# 日本歴代パフォーマンスストップ50 男子

## Japanese All-Time Performances Top 50 Men

★ 2016 大会出場選手

Performance	Time / 記録	名前	Name	Team / 所属	Date / 日付	Venue / 大会名
1	2:06:16	1 高岡 寿成	TAKAOKA, Toshinari	カネボウ	2002.10.13	シカゴ
2	2:06:51	2 藤田 敦史	FUJITA, Atsushi	富士通	2000.12.03	福岡
3	2:06:57	3 犬伏 孝行	INUBUSHI, Takayuki	大塚製薬	1999.09.26	ベルリン
4	2:07:13	4 佐藤 敦之	SATO, Atsushi	中国電力	2007.12.02	福岡国際
5	2:07:35	5 児玉 泰介	KODAMA, Taisuke	旭化成	1986.10.19	北京
★ 6	2:07:39	6 今井 正人	IMAI, Masato	トヨタ自動車九州	2015.02.22	東京
7	2:07:40	7 谷口 浩美	TANIGUCHI, Hiromi	旭化成	1988.10.16	北京
8	2:07:41	高岡 寿成	カネボウ	2005.02.13	東京国際	
★ 9	2:07:48	8 藤原 新	FUJIWARA, Arata	東京陸協	2012.02.26	東京
10	2:07:50	高岡 寿成	カネボウ	2004.10.10	シカゴ	
11	2:07:52	9 油谷 繁	ABURAYA, Shigeru	中国電力	2001.03.04	びわ湖毎日
11	2:07:52	9 国近 友昭	KUNICHIKA, Tomoaki	エスビー食品	2003.12.07	福岡
13	2:07:55	11 諏訪 利成	SUWA, Toshinari	日清食品	2003.12.07	福岡
14	2:07:57	12 伊藤 国光	ITO, Kunimitsu	鐘 紡	1986.10.19	北京
15	2:07:59	13 森下 由輝	MORISHITA, Yoshiteru	旭化成	2001.03.04	びわ湖毎日
15	2:07:59	高岡 寿成	カネボウ	2003.12.07	福岡国際	
17	2:08:00	14 前田 和浩	MAEDA, Kazuhiro	九電工	2013.02.24	東京
18	2:08:05	15 三木 弘	MIKI, Hiroshi	旭化成	1999.02.14	東京NY
19	2:08:07	16 早田 俊幸	HAYATA, Toshiyuki	アラコ	1997.12.07	福岡
★ 20	2:08:09	17 松村 康平	MATSUMURA, Kohei	三菱重工長崎	2014.02.23	東京
21	2:08:12	18 藤原 正和	FUJIWARA, Masakazu	中 大	2003.03.02	びわ湖毎日
22	2:08:14	19 川内 優輝	KAWAUCHI, Yuki	埼玉県庁	2013.03.17	ソウル国際
23	2:08:15	20 中山 竹通	NAKAYAMA, Takeyuki	ダイエー	1985.04.14	W杯
23	2:08:15	川内 優輝	埼玉県庁	2013.02.03	別府大分毎日	
25	2:08:16	犬伏 孝行	大塚製薬	2000.02.13	東京国際	
26	2:08:18	21 小島 忠幸	OJIMA, Tadayuki	旭化成	2004.03.07	びわ湖毎日
26	2:08:18	中山 竹通	ダイエー	1987.12.06	福岡	
28	2:08:21	中山 竹通	ダイエー	1986.10.05	アジア大会	
29	2:08:24	22 堀端 宏行	HORIBATA, Hiroyuki	旭化成	2012.12.02	福岡国際
30	2:08:27	23 瀬古 利彦	SEKO, Toshihiko	エスビー食品	1986.10.26	シカゴ
31	2:08:28	24 清水 康次	SHIMIZU, Koji	NTT西日本	2003.03.02	毎日
32	2:08:35	25 武井 隆次	TAKEI, Ryuji	エスビー食品	2002.03.03	毎日
32	2:08:35	25 中本 健太郎	NAKAMOTO, Kentaro	安川電機	2013.02.03	別府大分毎日
34	2:08:36	27 大崎 悟史	OOSAKI, Satoshi	NTT西日本	2008.03.02	びわ湖毎日
34	2:08:36	佐藤 敦之	中国電力	2004.03.07	びわ湖毎日	
36	2:08:37	28 尾方 剛	OGATA, Tsuyoshi	中国電力	2003.12.07	福岡国際
38	2:08:37	川内 優輝	埼玉陸協	2011.02.27	東京	
38	2:08:38	前田 和浩	九電工	2012.02.26	東京	
38	2:08:38	瀬古 利彦	エスビー食品	1983.02.13	東京NY	
40	2:08:40	藤原 新	JR東日本RT	2008.02.17	東京	
41	2:08:43	29 小島 宗幸	OJIMA, Muneyuki	旭化成	1998.03.01	毎日
41	2:08:43	中山 竹通	ダイエー	1986.02.09	東京	
43	2:08:44	30 山本 亮	YAMAMOTO, Ryo	佐川急便	2012.03.04	びわ湖毎日
44	2:08:45	31 西田 隆維	NISHIDA, Takayuki	エスビー食品	2001.02.04	別大
45	2:08:46	小島 宗幸	旭化成	1999.04.18	ロッテルダム	
45	2:08:46	大崎 悟史	NTT大阪	2004.02.08	東京国際	
47	2:08:47	32 佐保 希	SAHO, Nozomi	旭化成	1997.12.07	福岡
48	2:08:48	33 佐藤 信之	SATO, Nobuyuki	旭化成	1998.12.06	福岡
48	2:08:48	小島 忠幸	旭化成	2003.12.07	福岡	
50	2:08:49	34 奥谷 亘	OKUTANI, Wataru	SUBARU	2006.12.03	福岡国際

as of February 01, 2016

# 日本歴代パフォーマンスストップ50 女子

## Japanese All-Time Performances Top 50 Women

★ 2016 大会出場選手

Performance	Time / 記録	名前	Name	Team / 所属	Date / 日付	Venue / 大会名
1	2:19:12	1 野口 みずき	NOGUCHI, Mizuki	グローバリー	2005.09.25	ベルリン
2	2:19:41	2 渋井 陽子	SHIBUI, Yoko	三井住友海上	2004.09.26	ベルリン
3	2:19:46	3 高橋 尚子	TAKAHASHI, Naoko	積水化学	2001.09.30	ベルリン
4	2:21:18	野口 みずき	グローバリー	2003.01.26	大阪国際女子	
5	2:21:22	渋井 陽子	三井住友海上	2002.10.13	シカゴ	
6	2:21:37	野口 みずき	シスメックス	2007.11.18	東京国際女子	
7	2:21:45	4 千葉 真子	CHIBA, Masako	豊田自動織機	2003.01.26	大阪国際女子
8	2:21:49	高橋 尚子	積水化学	2002.09.29	ベルリン	
9	2:21:51	5 坂本 直子	SAKAMOTO, Naoko	天満屋	2003.01.26	大阪国際女子
10	2:22:12	6 山口 衛里	YAMAGUCHI, Eri	天満屋	1999.11.21	東京国際女子
11	2:22:17	7 福士 加代子	FUKUSHI, Kayoko	ワコール	2016.01.31	大阪国際女子
12	2:22:19	高橋 尚子	積水化学	2000.03.12	名古屋国際女子	
13	2:22:46	8 土佐 礼子	TOSA, Reiko	三井住友海上	2002.04.14	ロンドン
14	2:22:48	9 前田 彩里	MAEDA, Sairi	ダイハツ	2015.03.08	名古屋ウィメンズ
15	2:22:56	10 弘山 晴美	HIROYAMA, Harumi	資生堂	2000.01.30	大阪国際女子
16	2:23:11	渋井 陽子	三井海上	2001.01.28	大阪国際女子	
17	2:23:14	高橋 尚子	積水化学	2000.09.24	オリンピック	
18	2:23:23	11 重友 梨佐	SHIGETOMO, Risa	天満屋	2012.01.29	大阪国際女子
19	2:23:26	弘山 晴美	資生堂	2006.03.12	名古屋国際女子	
19	2:23:26	12 大南 博美	OONINAMI, Hiromi	UFJ銀行	2004.09.26	ベルリン
21	2:23:30	13 小崎 まり	OZAKI, Mari	ノーリツ	2003.01.26	大阪国際女子
21	2:23:30	14 尾崎 好美	OZAKI, Yoshimi	第一生命	2008.11.16	東京国際女子
23	2:23:34	15 木崎 良子	KIZAKI, Ryoko	ダイハツ	2013.03.10	名古屋ウィメンズ
24	2:23:42	渋井 陽子	三井住友海上	2009.01.25	大阪国際女子	
25	2:23:43	16 大南 敬美	OONINAMI, Takami	UFJ銀行	2002.04.21	ロッテルダム
26	2:23:48	17 原 裕美子	HARA, Yumiko	京セラ	2007.01.28	大阪国際女子
27	2:23:56	尾崎 好美	第一生命	2011.02.20	横浜国際女子	
28	2:23:57	土佐 礼子	三井住友海上	2004.03.14	名古屋国際女子	
29	2:23:58	渋井 陽子	三井住友海上	2006.03.12	名古屋国際女子	
30	2:23:59	小崎 まり	ノーリツ	2005.01.30	大阪国際女子	
31	2:24:05	野口 みずき	シスメックス	2013.03.10	名古屋ウィメンズ	
32	2:24:09	18 赤羽 有紀子	AKABA, Yukiko	ホクレン	2011.04.17	ロンドン
33	2:24:14	尾崎 好美	第一生命	2012.03.11	名古屋ウィメンズ	
33	2:24:14	野口 みずき	グローバリー	2003.08.31	世界選手権	
35	2:24:19	原 裕美子	京セラ	2005.03.13	名古屋国際女子	
36	2:24:20	原 裕美子	京セラ	2005.08.14	世界選手権	
37	2:24:21	福士 加代子	ワコール	2013.01.27	大阪国際女子	
38	2:24:25	19 大島 (田中) めぐみ	OOSHIMA, Megumi	しまむら	2005.03.13	名古屋国際女子
38	2:24:25	福士 加代子	ワコール	2015.10.11	シカゴ	
40	2:24:27	20 加納 由理	KANO, Yuri	SWAC	2008.11.16	東京国際女子
41	2:24:28	21 中里 麗美	NAKAZATO, Remi	ダイハツ	2012.03.11	名古屋ウィメンズ
42	2:24:29	中里 麗美	ダイハツ	2011.02.20	横浜国際女子	
43	2:24:33	22 松岡 理恵	MATSUOKA, Rie	天満屋	2002.04.07	パリ
44	2:24:33	22 森本 友	MORIMOTO, Tomo	天満屋	2006.05.07	ウィーン
45	2:24:34	弘山 晴美	資生堂	2002.01.27	大阪国際女子	
46	2:24:36	土佐 礼子	三井海上	2000.03.12	名古屋国際女子	
47	2:24:38	福士 加代子	ワコール	2011.10.09	シカゴ	
48	2:24:39	高橋 尚子	ファイテン	2005.11.20	東京国際女子	
48	2:24:39	小崎 まり	ノーリツ	2007.01.28	大阪国際女子	
50	2:24:42	24 伊藤 舞	ITO, Mai	大塚製薬	2015.03.08	名古屋ウィメンズ

as of February 01, 2016

## アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50 男子

## Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 Men

Performance	Time / 記録	Rank	Name	名前	Nation 国	Date / 日付	Venue / 大会名
1	2:02:57	1	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014.09.28	Berlin
2	2:03:02	2	MUTAI, Geoffrey	ジョフリー・ムタイ	KEN	2011.04.18	Boston
3	2:03:06	3	MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2011.04.18	Boston
4	2:03:13	4	MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014.09.28	Berlin
5	2:03:23	5	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2013.09.29	Berlin
6	2:03:38	6	MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011.09.25	Berlin
7	2:03:45		KIMETTO, Dennis			2013.10.13	Chicago
8	2:03:52		MUTAI, Emmanuel			2013.10.13	Chicago
9	2:03:59	7	GEBRSELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2008.09.28	Berlin
10	2:04:00	8	KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2015.09.27	Berlin
11	2:04:05		KIPCHOGE, Eliud			2013.09.29	Berlin
12	2:04:11		KIPCHOGE, Eliud			2014.10.12	Chicago
13	2:04:15		MUTAI, Geoffrey			2012.09.30	Berlin
14	2:04:16		KIMETTO, Dennis			2012.09.30	Berlin
15	2:04:26		GEBRSELASSIE, Haile			2007.09.30	Berlin
16	2:04:28	9	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014.10.12	Chicago
17	2:04:29		KIPSANG, Wilson			2014.04.13	London
18	2:04:32	10	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2014.10.12	Chicago
19	2:04:38	11	KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012.10.07	Chicago
20	2:04:40		MUTAI, Emmanuel			2011.04.17	London
21	2:04:42		KIPCHOGE, Eliud			2015.04.26	London
22	2:04:44		KIPSANG, Wilson			2012.04.22	London
23	2:04:47		KIPSANG, Wilson			2015.04.26	London
24	2:04:52	12	LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	2012.10.07	Chicago
25	2:04:53	13	GEBREMARIAM, Gebregziabher	ゲブレグジャベル・ゲブレマリアム	ETH	2011.04.18	Boston
26	2:04:55	14	BIWOTT, Stanley Kipleting	スタンレー・ビウオット	KEN	2014.04.13	London
27	2:04:58	15	HALL, Ryan	ライアン・ホール	USA	2011.04.18	Boston
28	2:05:05		MUTAI, Geoffrey			2011.11.06	New York
29	2:05:08		MAKAU, Patrick			2010.09.26	Berlin
30	2:05:10	16	WANJIRU, Samuel	サムエル・ワンジル	KEN	2009.04.26	London
31	2:05:10		MUTAI, Geoffrey			2010.09.26	Berlin
32	2:05:15	17	LEL, Martin	マーティン・レル	KEN	2008.04.13	London
33	2:05:16		KITWARA, Sammy			2013.10.13	Chicago
34	2:05:19		KEBEDE, Tsegaye			2010.04.25	London
35	2:05:20		KEBEDE, Tsegaye			2009.04.26	London
36	2:05:21	18	KIPTANUI, Eliud	エリウド・キプタヌイ	KEN	2015.09.27	Berlin
37	2:05:24		WANJIRU, Samuel			2008.04.13	London
38	2:05:25	19	WORKU, Bazu	バズ・ウォルク	ETH	2010.09.26	Berlin
39	2:05:27	20	GHARIB, Jaouad	ジャウアド・ガリブ	MAR	2009.04.26	London
40	2:05:27	21	REGASSA, Tilahun	ティラウン・レガサ	ETH	2012.10.07	Chicago
41	2:05:30	22	GOUMRI, Abderrahim	アブデラヒム・グムリ	MAR	2008.04.13	London
42	2:05:36	23	KWAMBAL, James	ジェームズ・クワンバイ	KEN	2008.09.28	Berlin
43	2:05:37		MOSOP, Moses			2011.10.09	Chicago
44	2:05:41		WANJIRU, Samuel			2009.10.11	Chicago
45	2:05:42		CHUMBA, Dickson			2014.02.23	Tokyo
46	2:05:45		LEL, Martin			2011.04.17	London
47	2:05:45		MAKAU, Patrick			2011.04.17	London
48	2:05:50		KIMETTO, Dennis			2015.04.26	London
49	2:05:51	24	BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2014.10.12	Chicago
50	2:05:52	25	CHERUIYOT, Robert Kiprono	ロバート・チェルイヨット	KEN	2010.04.19	Boston

※ 2006 年以降のワールドマラソンメジャーズでの記録を対象

※ List starts from 2006 when World Marathon Majors were inaugurated

## アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50 女子

## Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 Women

Performance	Time / 記録	Rank	Name	名前	Nation 国	Date / 日付	Venue / 大会名
1	2:18:37	1	KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2012.04.22	London
2	2:18:57*	2	JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2014.04.21	Boston
3	2:19:19	3	MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008.09.28	Berlin
3	2:19:19		KEITANY, Mary			2011.04.17	London
5	2:19:25	4	CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2015.09.27	Berlin
6	2:19:36	5	KASTOR, Denna	ディーナ・カスター	USA	2006.04.23	London
7	2:19:44	6	KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キブラガト	KEN	2011.09.25	Berlin
8	2:19:50	7	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	2012.04.22	London
9	2:19:57		JEPTOO, Rita			2013.10.13	Chicago
9	2:19:57	8	DEBA, Buzunesh	ブズネシュ・ディバ	ETH	2014.04.21	Boston
11	2:20:14	9	JEPTOO, Priscah	プリスカ・ジェプトゥー	KEN	2012.04.22	London
12	2:20:15		JEPTOO, Priscah			2013.04.21	London
13	2:20:18	10	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2014.09.28	Berlin
14	2:20:21		KIPLAGAT, Edna			2014.04.13	London
15	2:20:24		KIPLAGAT, Florence			2014.04.13	London
16	2:20:27	11	TADESE, Feyse	フェイセ・タデセ	ETH	2014.09.28	Berlin
17	2:20:30	12	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	2012.09.30	Berlin
18	2:20:35	13	DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2014.04.13	London
18	2:20:35	14	DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2014.04.21	Boston
20	2:20:38	15	CHUNXIU, Zhou	周 春秀	CHN	2007.04.22	London
21	2:20:41	16	JELAGAT, Jemima	ジェミマ・ジェラガト	KEN	2014.04.21	Boston
22	2:20:42	17	ADERE, Berhane	ベルハネ・アデレ	ETH	2006.10.22	Chicago
23	2:20:46		KIPLAGAT, Edna			2011.04.17	London
24	2:20:47	18	BOGOMOLOVA, Galina	ガリーナ・ボゴモロワ	RUS	2006.10.22	Chicago
25	2:20:48		JELAGAT, Jemima			2013.10.13	Chicago
26	2:20:48		KEBEDE, Aberu			2015.09.27	Berlin
27	2:20:57		KIPLAGAT, Florence			2012.04.22	London
28	2:21:13		KIPLAGAT, Florence			2013.09.29	Berlin
29	2:21:14	19	FLANAGAN, Shalane	シャレーン・フラナガン	USA	2014.09.28	Berlin
30	2:21:19		TSEGAYE, Tirfi			2012.09.30	Berlin
31	2:21:28	20	MELKAMU, Meselech	メセレク・メルカム	ETH	2014.04.21	Boston
32	2:21:29	21	PETROVA, Lyudmila	リュドミラ・ペトロワ	RUS	2006.04.23	London
32	2:21:29	22	DULIBA, Aleksandra	アレクサンドラ・デュリバ	BLR	2014.04.21	Boston
34	2:21:31	23	TAFAL, Askale Magarsa	アスカレ・タファ	ETH	2008.09.28	Berlin
35	2:21:32		KIPLAGAT, Edna			2013.04.21	London
36	2:21:34	24	WAMI, Gete	ゲテ・ワミ	ETH	2006.09.24	Berlin
37	2:21:42		TADESE, Feyse			2014.04.13	London
38	2:21:45		WAMI, Gete			2007.04.22	London
39	2:21:46	25	CHEPKEMEI, Susan	スーザン・チェプケメイ	KEN	2006.04.23	London
40	2:21:52		ADERE, Berhane			2006.04.23	London
41	2:21:58		BOGOMOLOVA, Galina			2006.04.23	London
42	2:22:02		FLANAGAN, Shalane			2014.04.21	Boston
43	2:22:03	26	BAYSA, Atsede	アツェデ・バイッサ	ETH	2012.10.07	Chicago
44	2:22:04		JEPTOO, Rita			2012.10.07	Chicago
45	2:22:09	27	DIBABA, Ejegayehu	エジェガエフ・ディババ	ETH	2011.10.09	Chicago
46	2:22:11		MIKITENKO, Irina			2009.04.26	London
47	2:22:18		MIKITENKO, Irina			2011.09.25	Berlin
48	2:22:23		TSEGAYE, Tirfi			2014.02.23	Tokyo
49	2:22:28	28	CHEROP, Sharon	シャロン・チェロップ	KEN	2013.09.29	Berlin
50	2:22:30	29	DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2014.02.23	Tokyo

※ 2006 年以降のワールドマラソンメジャーズでの記録を対象

※ List starts from 2006 when World Marathon Majors were inaugurated

\* Following the positive A and B samples from an out-of-competition test in September 2014, Rita Jeptoo's standings and the final results of the Women's World Marathon Majors 2013/14 series will be determined at the completion of the due legal process and the outcome of any appeal.  
2014 年 9 月の競技外検査にて検体 A および B に関し陽性反応が出たリタ・ジェプトゥーの 2013-2014 WMM シリーズ順位および最終結果は、法的手続きおよび不服申し立て等の結果により決定されます。

## 日本国内パフォーマンスストップ50 男子

## Japan All Comers Performance List Men

Performance		Name	名前	Nation 国	Place / 順位	Venue / 大会名	Date / 日付
Time / 記録							
1	2:05:18	1	KEBEDE, Tsegaye	ETH	1	Fukuoka	2009.12.06
2	2:05:42	2	CHUMBA, Dickson	KEN	1	Tokyo	2014.02.23
3	2:05:57	3	TOLA, Tadese	ETH	2	Tokyo	2014.02.23
4	2:06:00	4	NEGESSE, Endeshaw	ETH	1	Tokyo	2015.02.22
5	2:06:10		KEBEDE, Tsegaye		1	Fukuoka	2008.12.07
6	2:06:13	5	KIPSANG, Wilson	KEN	1	Otsu (Lake Biwa)	2011.03.06
7	2:06:30	6	KITWARA, Sammy	KEN	3	Tokyo	2014.02.23
8	2:06:33	7	THYS, Gert	RSA	1	Tokyo	1999.02.14
9	2:06:33	7	KIPROTICH, Stephen	UGA	2	Tokyo	2015.02.22
10	2:06:34		CHUMBA, Dickson		3	Tokyo	2015.02.22
11	2:06:39	9	WANJIRU, Samuel	KEN	1	Fukuoka	2007.12.02
12	2:06:50	10	EJIGU, Deriba Merga	ETH	2	Fukuoka	2007.12.02
12	2:06:50	10	KIMETTO, Dennis	KEN	1	Tokyo	2013.02.24
14	2:06:51	12	FUJITA, Atsushi	JPN	1	Fukuoka	2000.12.03
15	2:06:52	13	GBRSELASSIE, Haile	ETH	1	Fukuoka	2006.12.03
16	2:06:58	14	GITAU, Joseph	KEN	1	Fukuoka	2012.12.02
16	2:06:58	14	KIPYEGO, Michael	KEN	2	Tokyo	2013.02.24
16	2:06:58		KIPYEGO, Michael		4	Tokyo	2014.02.23
19	2:07:04	16	NDUNGU, Samuel	KEN	1	Otsu (Lake Biwa)	2012.03.04
20	2:07:05	17	SOME, Peter	KEN	5	Tokyo	2014.02.23
21	2:07:13	18	SATO, Atsushi	JPN	3	Fukuoka	2007.12.02
22	2:07:15	19	KOSGEI, Japhet	KEN	1	Tokyo	2000.02.13
22	2:07:15	19	BARANOVSKIY, Dmitriy	UKR	2	Fukuoka	2006.12.03
24	2:07:19	21	GHARIB, Jaouad	MAR	3	Fukuoka	2006.12.03
25	2:07:20	22	BONG-JU, Lee	KOR	2	Tokyo	2000.02.13
25	2:07:20	22	DECHASA, Shumi	BRN	4	Tokyo	2015.02.22
27	2:07:22		SOME, Peter		5	Tokyo	2015.02.22
28	2:07:23	24	RÖTHLIN, Viktor	SUI	1	Tokyo	2008.02.18
29	2:07:25	25	GENETI, Markos	ETH	6	Tokyo	2015.02.22
30	2:07:28	26	THUGWANE, Josiah	RSA	1	Fukuoka	1997.12.07
31	2:07:34	27	PeñA, Antonio	ESP	1	Otsu (Lake Biwa)	2001.03.04
32	2:07:35	28	MEKONNEN, Hailu	ETH	1	Tokyo	2011.02.27
33	2:07:36	29	NDAMBIRI, Josphat Muchiri	KEN	1	Fukuoka	2011.12.04
34	2:07:37		KIPYEGO, Michael		1	Tokyo	2012.02.26
34	2:07:37	30	KIPSANG, Geoffrey	KEN	6	Tokyo	2014.02.23
36	2:07:39		KOSGEI, Japhet		1	Otsu (Lake Biwa)	2003.03.02
36	2:07:39	31	SZOST, Henryk	POL	2	Otsu (Lake Biwa)	2012.03.04
36	2:07:39	31	IMAI, Masato	JPN	7	Tokyo	2015.02.22
39	2:07:40	33	CHIMSA, Deressa	ETH	7	Tokyo	2014.02.23
40	2:07:41	34	TAKAOKA, Toshihiko	JPN	1	Tokyo	2005.02.13
41	2:07:42	35	RIOS, Jose	ESP	1	Otsu (Lake Biwa)	2004.03.07
42	2:07:48	36	FUJIWARA, Arata	JPN	2	Tokyo	2012.02.26
43	2:07:50		KIPROTICH, Stephen		3	Tokyo	2012.02.26
44	2:07:52	37	LEONE, Giacomo	ITA	2	Otsu (Lake Biwa)	2001.03.04
44	2:07:52	37	ABURAYA, Shigeru	JPN	3	Otsu (Lake Biwa)	2001.03.04
44	2:07:52	37	KUNICHIKA, Tomoaki	JPN	1	Fukuoka	2003.12.07
44	2:07:52	37	TEKESTE, Kebede	ETH	2	Fukuoka	2009.12.06
48	2:07:53	41	KIPYEGO, Bernard	KEN	3	Tokyo	2013.02.24
49	2:07:54	42	ABERA, Gezahegne	ETH	1	Fukuoka	1999.12.05
50	2:07:55	43	OUAADI, Mohamed	FRA	2	Fukuoka	1999.12.05
50	2:07:55	43	SUWA, Toshihiko	JPN	2	Fukuoka	2003/12/7

## 日本国内パフォーマンスストップ50 女子

## Japan All Comers Performance List Women

Performance		Name	名前	Nation 国	Place / 順位	Venue / 大会名	Date / 日付
Time / 記録							
1	2:21:18	1	NOGUCHI, Mizuki	JPN	1	Osaka	2003.01.26
2	2:21:37		NOGUCHI, Mizuki		1	Tokyo	2007.11.18
3	2:21:45	2	CHIBA, Masako	JPN	2	Osaka	2003.01.26
4	2:21:51	3	SAKAMOTO, Naoko	JPN	3	Osaka	2003.01.26
5	2:22:08	4	KIRWA, Eunice Jepkirui	BRN	1	Nagoya	2015.03.08
6	2:22:12	5	YAMAGUCHI, Eri	JPN	1	Tokyo	1999.11.21
7	2:22:17	6	FUKUSHI, Kayoko	JPN	1	Osaka	2016.01.31
8	2:22:19	7	TAKAHASHI, Naoko	JPN	1	Nagoya	2000.03.12
9	2:22:22	8	KIPLAGAT, Lornah	KEN	4	Osaka	2003.01.26
10	2:22:23	9	TSEGAYE, Tirfi	ETH	1	Tokyo	2014.02.23
11	2:22:30	10	DIBABA, Berhane	ETH	2	Tokyo	2014.02.23
12	2:22:48	11	MAEDA, Sairi	JPN	2	Nagoya	2015.03.08
13	2:22:54	12	SIMON, Lidia	ROM	1	Osaka	2000.01.30
14	2:22:56	13	HIROYAMA, Harumi	JPN	2	Osaka	2000.01.30
14	2:22:56	14	PROKOPCUKA, Jelena	LAT	1	Osaka	2005.01.30
16	2:23:07	15	CHEROMEI, Lydia	KEN	1	Yokohama	2012.11.18
17	2:23:11	16	SHIBUI, Yoko	JPN	1	Osaka	2001.01.28
18	2:23:15		DIBABA, Birhane		1	Tokyo	2015.02.22
19	2:23:23	17	SHIGETOMO, Risa	JPN	1	Osaka	2012.01.29
20	2:23:24		SIMON, Lidia		1	Osaka	1999.01.31
21	2:23:26		HIROYAMA, Harumi		1	Nagoya	2006.03.12
22	2:23:30	18	OZAKI, Mari	JPN	5	Osaka	2003.01.26
22	2:23:30	18	OZAKI, Yoshimi	JPN	1	Tokyo	2008.11.16
24	2:23:31	20	WANJIRU, Esther	KEN	3	Osaka	2000.01.30
24	2:23:31	20	KOSGEI, Salina	KEN	2	Tokyo	2007.11.18
26	2:23:34	22	KIZAKI, Ryoko	JPN	1	Nagoya	2013.03.10
27	2:23:42		SHIBUI, Yoko		1	Osaka	2009.01.25
28	2:23:46	23	LOROUPE, Tegla	KEN	2	Osaka	1999.01.31
29	2:23:48	24	HARA, Yumiko	JPN	1	Osaka	2007.01.28
30	2:23:51	25	ONDIEKI, Lisa	AUS	1	Osaka	1988.01.31
30	2:23:51		DIBABA, Berhane		2	Nagoya	2013.03.10
32	2:23:52	26	MAYOROVA, Albina	RUS	1	Nagoya	2012.03.11
33	2:23:55		KIPLAGAT, Lornah		1	Osaka	2002.01.27
34	2:23:56		OZAKI, Yoshimi		1	Yokohama	2011.02.20
35	2:23:57	27	TOSA, Reiko	JPN	1	Nagoya	2004.03.14
36	2:23:58		SHIBUI, Yoko		2	Nagoya	2006.03.12
37	2:23:59		OZAKI, Mari		2	Osaka	2005.01.30
38	2:24:02	28	CHEPCHUMBA, Joyce	KEN	1	Tokyo	2000.11.19
39	2:24:03	29	KIPROP, Helah	KEN	2	Tokyo	2015.02.22
40	2:24:05		NOGUCHI, Mizuki		3	Nagoya	2013.03.10
41	2:24:07		PROKOPCUKA, Jena		1	Nagoya	2014.03.09
41	2:24:07		PROKOPCUKA, Jena		1	Osaka	2015.01.25
43	2:24:14		OZAKI, Yoshimi		2	Nagoya	2012.03.11
44	2:24:16	30	KABUU, Lucy	KEN	3	Tokyo	2014.02.23
45	2:24:19		HARA, Yumiko		1	Nagoya	2005.03.13
46	2:24:21		FUKUSHI, Kayoko		1	Osaka	2013.01.27
47	2:24:25	31	OSHIMA, Megumi	JPN	2	Nagoya	2005.03.13
48	2:24:26	32	GELANA, Tiki	ETH	3	Tokyo	2015.02.22
49	2:24:27	33	KANO, Yuri	JPN	2	Tokyo	2008.11.16
50	2:24:28	34	NAKAZATO, Remi	JPN	3	Nagoya	2012.03.11

## 東京マラソンパフォーマンスストップ25

## All-Time Top 25 Tokyo Marathon Performances

## 男子 Men

Performance	Time / 記録	Name	氏名	国 Nation	順位 Place	日付 Date
1	2:05:42	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	1	2014.02.23
2	2:05:57	TOLA, Tadese	タデセ・トラ	ETH	2	2014.02.23
3	2:06:00	NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH	1	2015.02.22
4	2:06:30	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	3	2014.02.23
5	2:06:33	KIPROTICH, Stephen	スティープン・キプロティチ	UGA	2	2015.02.22
6	2:06:34	CHUMBA, Dickson			3	2015.02.22
7	2:06:50	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	1	2013.02.24
8	2:06:58	KIPYEGO, Michael	マイケル・キピエゴ	KEN	2	2013.02.24
9	2:06:58	KIPYEGO, Michael			4	2014.02.23
10	2:07:05	SOME, Peter	ピーター・ソメ	KEN	5	2014.02.23
11	2:07:20	DECHASA, Shumi	シュミ・デチャサ	BRN	4	2015.02.22
12	2:07:22	SOME, Peter			5	2015.02.22
13	2:07:23	ROTHLIN, Viktor	ビクトル・ロスリン	SUI	1	2008.02.17
14	2:07:25	GENETI, Markos	マルコス・ゲネティ	ETH	6	2015.02.22
15	2:07:35	MEKONNEN, Hailu	ハイル・メコネン	ETH	1	2011.02.27
16	2:07:37	KIPYEGO, Michael			1	2012.02.26
17	2:07:37	KIPSANG, Geoffrey	ジョフリー・キプサンク	KEN	6	2014.02.23
18	2:07:39	IMAI, Masato	今井 正人	JPN	7	2015.02.22
19	2:07:40	CHIMSA, Deressa	デレサ・チムサ	ETH	7	2014.02.23
20	2:07:48	FUJIWARA, Arata	藤原 新	JPN	2	2012.02.26
21	2:07:50	KIPROTICH, Stephen			3	2012.02.26
22	2:07:53	KIPYEGO, Bernard	バーナード・キピエゴ	KEN	3	2013.02.24
23	2:07:58	KEBEDE, Tsegay	ツェガエ・ケベデ	ETH	8	2015.02.22
24	2:08:00	MAEDA, Kazuhiro	前田 和浩	JPN	4	2013.02.24
25	2:08:02	KWAMBAL, James	ジェームズ・クワンバイ	KEN	5	2013.02.24

as of February 23, 2015

## 女子 Women

Performance	Time / 記録	Name	氏名	国 Nation	順位 Place	日付 Date
1	2:22:23	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	1	2014.02.23
2	2:22:30	DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2	2014.02.23
3	2:23:15	DIBABA, Birhane			1	2015.02.22
4	2:24:03	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロプ	KEN	2	2015.02.22
5	2:24:16	KABUU, Lucy	ルーシー・カブー	KEN	3	2014.02.23
6	2:24:26	GELANA, Tiki	ティキ・ゲラナ	ETH	3	2015.02.22
7	2:24:35	ROTICH, Caroline	キャロライン・ロティチ	KEN	4	2014.02.23
8	2:25:28	HABTAMU, Atsedo	アツェデ・ハブタム	ETH	1	2012.02.26
9	2:25:34	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	1	2013.02.24
10	2:25:38	NASUKAWA, Mizuho	那須川 瑞穂	JPN	1	2009.03.22
11	2:26:00	ESAYIAS, Yeshe	イエシ・イセイアス	ETH	2	2012.02.26
12	2:26:01	ESAYIAS, Yeshe			2	2013.02.24
13	2:26:02	KIROP, Helena	ヘレナ・キロップ	KEN	3	2012.02.26
14	2:26:03	RONO, Janet	ジャンネット・ロノ	KEN	5	2014.02.23
15	2:26:08	OKUBO, Eri	大久保 絵里	JPN	4	2012.02.26
16	2:26:41	MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	3	2013.02.24
17	2:26:43	CHEPYEGO, Kaptich, Selly	カプッチ・セリー・チェピエゴ	KEN	4	2015.02.22
18	2:26:46	ARKHIPOVA, Tatiana	タチアナ・アルヒポワ	RUS	5	2012.02.26
19	2:26:51	MAYOROVA, Albina	アルビナ・マヨロワ	RUS	4	2013.02.24
20	2:26:54	DANIEL, Flomena Cheyech	チェイエチ・ダニエル	KEN	5	2015.02.22
21	2:28:18	MAYOROVA, Albina			6	2014.02.23
22	2:28:22	DULA, Lishan	リジャン・ドゥラ	BRN	6	2012.02.26
23	2:28:30	OZAKI, Yoshimi	尾崎 好美	JPN	5	2013.02.24
24	2:28:36	KUMA, Eyerusalem	イエルサレム・クマ	ETH	7	2012.02.26
24	2:28:36	ITO, Mai	伊藤 舞	JPN	7	2014.02.23

as of February 23, 2015

# 順位別最高記録

## Best Marks for Places

as of February 3, 2016

### 日本国内順位別最高記録 (男子) Best Marks for Places in Japan (Men)

順位 Place	Time / 記録	氏名	Name	国 Nation	日付 Date	大会名 Venue
1	2:05:18	ツェガエ・ケベデ	KEBEDE, Tsegaye	ETH	2009.12.6	Fukuoka
2	2:05:57	タデセ・トラ	TOLA, Tadesse	ETH	2014.2.23	Tokyo
3	2:06:30	サミー・キトワラ	KITWARA, Sammy	KEN	2014.2.23	Tokyo
4	2:06:58	マイケル・キピエゴ	KIPYEGO, Michael	KEN	2014.2.23	Tokyo
5	2:07:05	ピーター・ソメ	SOME, Peter	KEN	2014.2.23	Tokyo
5	2:07:25	マルコス・ゲネティ	GENETI, Markos	ETH	2015.2.22	Tokyo
7	2:07:39	今井 正人	IMAI, Masato	KEN	2015.2.22	Tokyo
8	2:07:58	ツェガエ・ケベデ	KEBEDE, Tsegaye	ETH	2015.2.22	Tokyo

### 日本国内順位別最高記録 (女子) Best Marks for Places in Japan (Women)

順位 Place	Time / 記録	氏名	Name	国 Nation	日付 Date	大会名 Venue
1	2:21:18	野口 みずき	NOGUCHI, Mizuki	JPN	2003.1.26	Osaka
2	2:21:45	千葉 真子	CHIBA, Masako	JPN	2003.1.26	Osaka
3	2:21:51	坂本 直子	SAKAMOTO, Naoko	JPN	2003.1.26	Osaka
4	2:22:22	ローナ・キブラガト	KIPLAGAT, Lornah	KEN	2003.1.26	Osaka
5	2:23:30	小崎 まり	OZAKI, Mari	JPN	2003.1.26	Osaka
5	2:25:33	野口 みずき	NOGUCHI, Mizuki	JPN	2012.3.11	Nagoya
7	2:25:49	オレーナ・シュルフノ	SHURKHNO, Olena	UKR	2012.3.11	Nagoya
8	2:26:08	赤羽 有紀子	AKABA, Yukiko	JPN	2012.3.11	Nagoya
9	2:26:23	宮内 洋子	MIYAUCHI, Yoko	JPN	2012.03.11	Nagoya

### 世界順位別最高記録 (男子) Best Marks for Places – All Competitions (Men)

順位 Place	Time / 記録	氏名	Name	国 Nation	日付 Date	大会名 Venue
1	2:02:57	デニス・キメット	KIMETTO, Dennis	KEN	2014.9.28	Berlin
2	2:03:06*	モーゼス・モソップ	MOSOP, Moses	KEN	2011.4.18	Boston
	2:03:13	エマニュエル・ムタイ	MUTAI, Emmanuel	KEN	2014.9.28	Berlin
3	2:04:32	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	2014.10.12	Chicago
4	2:04:52	エンデショー・ネゲセ	NEGESSE, Endeshaw	ETH	2013.1.25	Dubai
5	2:04:53	バーナード・コエチ	KOECH, Bernard	ETH	2013.1.25	Dubai
6	2:05:41	ヤミ・ダディ	DADI, Yami	ETH	2012.1.27	Dubai
7	2:05:42	アブドラ・シャミ	SHAMI, Abdullah	ETH	2012.1.27	Dubai
8	2:05:42	デレサ・チムサ	CHIMSA, Deressa	ETH	2012.1.27	Dubai

\*Boston is not a standard course

\*ボストンマラソンはIAAFの非公認大会

### 世界順位別最高記録 (女子) Best Marks for Places – All Competitions (Women)

順位 Place	Time / 記録	氏名	Name	国 Nation	日付 Date	大会名 Venue
1	2:15:25	ポーラ・ラドクリフ	RADCLIFFE, Paula	GBR	2003.4.13	London
2	2:19:26	キャサリン・ヌデレバ	NDEREBA, Catherine	KEN	2002.10.13	Chicago
3	2:19:52	マレ・ディババ	DIBABA, Mare	ETH	2012.1.27	Dubai
4	2:20:30	ベズネッシュ・ベケレ	BEKELE, Bezunesh	ETH	2012.1.27	Dubai
5	2:20:33	アベル・ケベデ	KEBEDE, Aberu	ETH	2012.1.27	Dubai
5	2:21:30	リディア・チェロメイ	CHEROMEI, Lydia	KEN	2012.1.27	Dubai
7	2:22:39	シャロン・チェロップ	CHEROP, Sharon	KEN	2012.1.27	Dubai
8	2:23:06	アレクサンドラ・デュリバ	DULIBA, Aleksandra	BLR	2015.1.23	Dubai
9	2:26:23	宮内 洋子	MIYAUCHI, Yoko	JPN	2012.03.11	Nagoya

# 世界主要マラソン大会 結果

as of February 3, 2016

# Major Marathon Results

パリ		Paris		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.04.12				
1	KORIR, Mark	マーク・コリル	KEN	2:05:49
2	KANDA, Luka	ルカ・カンダ	KEN	2:07:20
3	TOLA, Seboka	ソボカ・トラ	ETH	2:07:33
<b>女子 Women</b>				
1	MENGISTUH, Meseret	メセレト・メンギストウ	ETH	2:23:26
2	GOBENA, Amare	アマネ・ゴベナ	ETH	2:23:30
3	JEPKESHO, Visiline	ビシリン・ジェブケシヨ	KEN	2:24:44

ボストン (AbbottWMM)		Boston		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.04.20				
1	DESISA, Lelisa	レリサ・デシサ	ETH	2:09:17
2	TSEGAY, Yemane	イエマネ・ツェガエ	ETH	2:09:48
3	CHEBET, Wilson	ウィルソン・チェベト	KEN	2:10:22
<b>女子 Women</b>				
1	ROTICH, Caroline	キャロライン・ロティチ	KEN	2:24:55
2	DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2:24:59
3	DEBA, Buzunesh	ブズネッシュ・デバ	ETH	2:25:09

ロンドン (AbbottWMM)		London		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.04.26				
1	KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2:04:42
2	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2:04:47
3	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2:05:50
<b>女子 Women</b>				
1	TUFA, Tigist	ティギスト・トゥファ	KEN	2:23:22
2	KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2:23:40
3	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2:23:41

世界選手権北京大会		15th IAAF World Championships		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.08.22				
1	GHEBRESLASSIE, Ghirmay	ギルメイ・ゲブレセラシエ	ERI	2:12:28
2	TSEGAY, Yemane	イエマネ・ツェガエ	ETH	2:13:08
3	MUTAI, Munyo Solomon	ムニョ・ソロモン・ムタイ	UGA	2:13:30
<b>女子 Women</b>				
1	DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2:27:35
2	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロブ	KEN	2:27:36
3	KIRWA, Eunice Jepkirui	ユニスジェブキルイ・キルワ	BRN	2:27:39

ベルリン (AbbottWMM)		Berlin		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.09.27				
1	KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2:04:00
2	KIPTANUI, Eliud	エリウド・キプタヌイ	KEN	2:05:21
3	LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	2:06:57
<b>女子 Women</b>				
1	CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2:19:25
2	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	2:20:48
3	HAILU, Meseret	メセレト・ハイル	ETH	2:24:33

シカゴ (AbbottWMM)		Chicago		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.10.11				
1	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2:09:25
2	KITWARA, Sammy Kirop	サミー・キトワラ	KEN	2:09:50
3	NDUNGU, Samuel	サムエル・ドゥング	KEN	2:10:06
<b>女子 Women</b>				
1	KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キブラガト	KEN	2:23:33
2	MELESE, Yebrgual	イエブレグアル・メレセ	ETH	2:23:43
3	DIBABA, Berhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2:24:24

ニューヨークシティ (AbbottWMM)		New York City		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.11.01				
1	BIWOTT, Stanley	スタンレー・ピウォット	KEN	2:10:34
2	KAMWOROR, Geoffrey	ジョフリー・カムウォロル	KEN	2:10:48
3	DESISA, Lelisa	レリサ・デシサ	ETH	2:12:10
<b>女子 Women</b>				
1	KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2:24:25
2	MERGIA, Aselefech	アセレフェチェ・メルジア	ETH	2:25:32
3	TUFA, Tigist	ティギスト・トゥファ	ETH	2:25:50

ドバイ		Dubai		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2016.01.22				
1	ABERA, Tesfaye	テスファイエ・アベラ	ETH	2:04:24
2	BERHANU, Lemi	レミ・ベルハヌ	ETH	2:04:33
3	MEKONNEN, Tsegaye	ツェガエ・メコネン	ETH	2:04:46
<b>女子 Women</b>				
1	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2:19:41
2	BERISO, Amare	アマネ・ベリソ	ETH	2:20:48
3	MELKAMU, Meselech	メセレク・メルカム	ETH	2:22:29

【Japan】びわ湖毎日		Lake Biwa Mainichi		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.03.01				
1	NDUNGU, Samuel	サムエル・ドゥング	KEN	2:09:08
2	MEUCCI, Daniele	ダニエル・メウッチ	ITA	2:11:10
3	BAT-OCIR, Ser-od	セルオド・バトオチル	MNG/NTN	2:11:18

【Japan】名古屋ウイメンズ		Nagoya Women's		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>女子 Women</b> 2015.03.08				
1	KIRWA, Eunice Jepkirui	ユニスジェブキルイ・キルワ	BRN	2:22:08
2	MAEDA, Sairi	前田 彩里	JPN/ ダイハツ	2:22:48
3	ITO, Mai	伊藤 舞	JPN/ 大塚製薬	2:24:42

【Japan】北海道		Hokkaido		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.08.30				
1	FUJIWARA, Arata	藤原 新	JPN/ ミキハウス	2:16:49
2	TANIGAWA, Tomohiro	谷川 智浩	JPN/ コニカミノルタ	2:17:03
3	TAMURA, Hideaki	田村 英晃	JPN/JR 東日本	2:17:04
<b>女子 Women</b>				
1	OKADA, Yui	岡田 唯	JPN/ 大塚製薬	2:32:10
2	YOSHIDA, Kaori	吉田 香織	JPN/ 東京陸協	2:33:14
3	MIZUGUCHI, Yuko	水口 侑子	JPN/ デンソー	2:33:20

【Japan】さいたま国際		Saitama Int.		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>女子 Women</b> 2015.11.15				
1	BAYSA, Atsede	アツェデ・バイサ	ETH	2:25:44
2	YOSHIDA, Kaori	吉田 香織	JPN/ ランナーズパルス	2:28:43
3	CHESIR, Rebecca Kangogo	レベッカカンゴゴ・チェンシャイー	KEN	2:29:11

【Japan】福岡国際		Fukuoka Int.		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2015.12.06				
1	MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2:08:18
2	FELEKE, Getu	ゲトゥ・フェレケ	ETH	2:08:31
3	SASAKI, Satoru	佐々木 悟	JPN/ 旭化成	2:08:56

【Japan】大阪国際女子		Osaka Int. Women's		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>女子 Women</b> 2016.01.31				
1	FUKUSHI, Kayoko	福士 加代子	JPN/ ワコール	2:22:17
2	HORIE, Misato	堀江 美里	JPN/ ノーリツ	2:28:20
3	TAKENAKA, Risa	竹中 理沙	JPN/ 資生堂	2:29:14

【Japan】別府大分		Beppu-Oita		
Place / 順位	Name	氏名	所属 Team / 国 Nation	Time / タイム
<b>男子 Men</b> 2016.02.07				
1	ABERA, Melaku	メラク・アベラ	ETH/ 黒崎播磨	2:09:27
2	MARITIM, Anthony	アンソニー・マリティム	KEN	2:11:17
3	HAILU, Shume	シュメ・ハイル	ETH	2:11:41

# 東京マラソン2015 大会結果

# Tokyo Marathon 2015 Results

10km : Net Time  
GR : Game Record

## マラソン男子 Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	エンデショー・ネゲセ	NEGESSE, Endeshaw	ETH エチオピア	2:06:00	
2	スティーブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA ウガンダ	2:06:33	
3	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:06:34	
4	シュミ・デチャサ	DECHASA, Shumi	BRN バーレーン	2:07:20	
5	ピーター・ソメ	SOME, Peter	KEN ケニア	2:07:22	
6	マルコス・ゲネティ	GENETI, Markos	ETH エチオピア	2:07:25	
7	今井 正人	IMAI, Masato	JPN 福岡・トヨタ自動車九州	2:07:39	
8	ツェガエ・ケベデ	KEBEDE, Tsegay	ETH エチオピア	2:07:58	

## マラソン女子 Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	ヘルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:23:15	
2	ヘラー・キプロ	KIPROP, Helah	KEN ケニア	2:24:03	
3	ティキ・ゲラナ	GELANA, Tiki	ETH エチオピア	2:24:26	
4	カプチッチ・セリー・チェビエゴ	CHEPYEGO, Kaptich, S	KEN 福岡・九電工	2:26:43	
5	チェイエチ・ダニエル	DANIEL, Flomena Chey	KEN ケニア	2:26:54	
6	イェシ・イセイアス	ESAYIAS, Yeshi	ETH エチオピア	2:30:15	
7	扇 まどか	Ogi, Madoka	JPN 長崎・十八銀行	2:30:25	
8	アルピナ・マヨロフ	MAYOROVA, Albina	RUS ロシア	2:34:21	

## 車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:30:23	
2	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	JPN 千葉	1:30:36	
3	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:30:36	
4	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN 長崎	1:32:06	
5	久保 恒造	KUBO, Kozo	JPN 北海道	1:32:10	
6	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN 大阪	1:33:23	
7	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:37:01	
8	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	JPN 大阪	1:40:38	

## 車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・八千代工業	1:46:30	★

## マラソン準エリート男子 Marathon : Semi - Elite (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	猪浦 舜	INOUE, Shun	JPN 埼玉・駒澤大学	2:17:54	
2	松本 匠	MATSUMOTO, Takumi	JPN 徳島	2:22:17	
3	片山 弘之	KATAYAMA, Hiroyuki	JPN 徳島・徳島市陸協	2:22:22	

## マラソン準エリート女子 Marathon : Semi - Elite (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	大和田 啓実	OOWADA, Hiromi	JPN 東京	2:46:39	
2	酒見 範子	SAKEMI, Noriko	JPN 佐賀	2:50:55	
3	桑原 絵理	KUWAHARA, Eri	JPN 福島	2:51:13	

## 10km ジュニア & ユース男子 10km : Junior&Youth (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	佐藤 亜星	SATO, Asei	JPN 宮城	32:53	
2	佐藤 忠俊	SATO, Tadatashi	JPN 福島	33:02	
3	石井 海	ISHII, Kai	JPN 宮城	33:07	

## 10km ジュニア & ユース女子 10km : Junior&Youth (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	原田 紗枝	HARADA, Sae	JPN 千葉	37:14	
2	榎原 遥	SAKAKIBARA, Haruka	JPN 宮城	37:27	
3	中原 奈美	NAKAHARA, Nami	JPN 福島	37:56	

## 10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	嶋崎 康介	SHIMAZAKI, Kosuke	JPN 東京	27:07	
2	松尾 充浩	MATSUO, Mitsuhiro	JPN 大阪	35:21	
3	櫻井 雄太	SAKURAI, Yuuta	JPN 東京	36:13	

## 10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women) No entry

## 10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	鈴木 卓	SUZUKI, Taku	JPN 新潟	41:38	
2	吉田 英世	YOSHIDA, Hideyo	JPN 茨城	48:28	
3	安藤 久志	ANDO, Hisashi	JPN 岡山	52:36	

## 10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	近藤 寛子	KONDO, Hiroko	JPN 滋賀	47:18	
2	金野 由美子	KONNO, Yumiko	JPN 東京	47:20	
3	宮城 好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	51:19	

## 10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	萩原 和輝	HAGIWARA, Kazuki	JPN 東京	40:27	
2	大橋 哲	OHASHI, Tetsu	JPN 神奈川	41:34	
3	新垣 正範	SHINGAKI, Masanori	JPN 沖縄	41:56	

## 10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	村上 あゆみ	MURAKAMI, Ayumi	JPN 東京	45:06	
2	濱村 幸子	HAMAMURA, Sachiko	JPN 東京	51:42	
3	大脇 真悠	OWAKI, Mayu	JPN 埼玉	55:55	

## 10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	長谷川 秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	42:51	
2	奥村 公朗	OKUMURA, Kimio	JPN 愛知	44:53	
3	関 哲也	SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	47:35	

## 10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	乾 麻理子	INUI, Mariko	JPN 東京	53:31	
2	桑原 あゆみ	KUWABARA, Ayumi	JPN 東京	56:45	
3	猪坂 徳子	INOSAKA, Noriko	JPN 兵庫	57:29	

★ = 8年連続優勝 / 8-time winner

# 東京マラソン2014 大会結果

# Tokyo Marathon 2014 Results

10km : Net Time  
GR : Game Record

## マラソン男子 Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:05:42	GR
2	タデセ・トラ	TOLA, Tadesse	ETH エチオピア	2:05:57	GR
3	サミー・キトワラ	KITWARA, Sammy	KEN ケニア	2:06:30	GR
4	マイケル・キビエゴ	KIPYEGO, Michael	KEN ケニア	2:06:58	
5	ピーター・ソメ	SOME, Peter	KEN ケニア	2:07:05	
6	ジョフリー・キブサンク	KIPSANG, Geoffrey	KEN ケニア	2:07:37	
7	テレサ・チムサ	CHIMSA, Deressa	ETH エチオピア	2:07:40	
8	松村 康平	MATSUMURA, Kohei	JPN 長崎・三菱重工長崎	2:08:09	

## マラソン女子 Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	ティルフィ・ツェガエ	TSEGAYE, Tirfi	ETH エチオピア	2:22:23	GR
2	ベルハネ・ディババ	DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:22:30	GR
3	ルーシー・カブー	KABUU, Lucy	KEN ケニア	2:24:16	GR
4	キャロライン・ロティチ	ROTICH, Caroline	KEN ケニア	2:24:35	GR
5	ジャネット・ロノ	RONO, Janet	KEN ケニア	2:26:03	
6	アルビナ・マヨロワ	MAYOROVA, Albina	RUS ロシア	2:28:18	
7	伊藤 舞	ITO, Mai	JPN 徳島・大塚製薬	2:28:36	
8	新宅 里香	SHINTAKU, Rika	JPN 埼玉・しまむら	2:31:15	

## 車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:30:43	
2	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN 長崎・シーズアスリート	1:30:44	
3	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:34:45	
4	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN 大阪	1:34:46	
5	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:38:55	
6	Senbeta James	SENBETA, James	USA アメリカ	1:39:01	
7	西原 宏明	NISHIHARA, Hiroaki	JPN 京都	1:39:27	
8	高原 圭司	TAKAHARA, Keiji	JPN 岡山	1:44:24	

## 車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:08	★
2	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川	2:04:05	
3	高峯 瑞貴	TAKASAKI, Mizuki	JPN 東京	2:07:35	

## 10kmU-18男子 10km : U-18 (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	黒田 雄紀	KURODA, Yuki	JPN 神奈川	32:41	
2	水口 敬斗	MIZUGUCHI, Keito	JPN 福島	33:22	
3	酒井 洋輔	SAKAI, Yosuke	JPN 福島	33:25	
4	内山 武	UCHIYAMA, Takeru	JPN 福島	33:35	
5	向後 功一朗	KOUGO, Koichiro	JPN 千葉	33:38	
6	三瓶 真裕	SANPEI, Masahiro	JPN 千葉	33:52	
7	賀澤 拓海	KAZAWA, Takumi	JPN 福島	33:53	
8	齋藤 希	SAITOU, Nozomi	JPN 宮城	34:06	

## 10kmU-18女子 10km : U-18 (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	千葉 悠里奈	CHIBA, Yurina	JPN 宮城	37:31	
2	室田 知美	MUROTA, Tomomi	JPN 福島	37:57	
3	工藤 菜子	KUDO, Machiko	JPN 宮城	38:11	
4	館 舞耶	TATE, Maya	JPN 福島	38:32	
5	櫻井 結花	SAKURAI, Yuka	JPN 千葉	39:07	
6	松本 水月	MATSUMOTO, Mizuki	JPN 福島	39:11	
7	澤田 奈々	SAWADA, Nana	JPN 福島	39:29	
8	石井 星麗菜	ISHII, Serena	JPN 東京	39:50	

## 10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	弘岡 正樹	HIROOKA, Masaki	JPN 神奈川	26:40	
2	佐藤 友析	SATO, Tomoki	JPN 静岡	29:13	
3	初海 達也	HATSUUMI, Tatsuya	JPN 神奈川	31:10	
4	松尾 充浩	MATSUO, Mitsuhiro	JPN 大阪	34:09	
5	浜上 悟	HAMAGAMI, Satoru	JPN 石川	36:51	

★ = 7年連続優勝 / 7-time winner

## 10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women) No entry

## 10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	鈴木 卓	SUZUKI, Taku	JPN 新潟	40:18	
2	内田 勝久	UCHIDA, Katsuhisa	JPN 東京	50:30	
3	船橋 勝	FUNABASHI, Masaru	JPN 東京	54:30	
4	安藤 久志	ANDO, Hisashi	JPN 岡山	55:25	
5	ishizawa kousaku	ISHIZAWA, Kousaku	JPN 神奈川	58:40	
6	鈴木 宏泰	SUZUKI, Hiroyasu	JPN 神奈川	59:25	
7	杉山 翼人	SUGIYAMA, Hayato	JPN 茨城	1:00:06	
8	星野 健司	HOSHINO, Kenji	JPN 神奈川	1:02:51	

## 10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	青木 洋子	AOKI, Yoko	JPN 東京	51:11	
2	山田 敦子	YAMADA, Atsuko	JPN 兵庫	51:27	
3	石井 喜美江	ISHII, Kimie	JPN 東京	53:17	
4	宮城 好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	54:36	
5	Yim Man Ching	CHING, Yim Man	GBR イギリス	55:59	
6	Chen Kuan Ling	LING, Chen Kuan	TPE 台湾	1:00:27	
7	Annie Yan Tung Chung	CHUNG, Annie Yan Tung	HKG 香港	1:01:51	
8	細川 早苗	HOSOKAWA, Sanae	JPN 東京	1:02:26	

## 10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	小磯 夏樹	KOISO, Natsuki	JPN 東京	35:25	
2	矢島 一也	YAJIMA, Kazuya	JPN 神奈川	37:23	
3	齋藤 新樹	SAITO, Araki	JPN 東京	41:34	
4	仲田 尚平	NAKADA, Shohei	JPN 東京	43:27	
5	菊間 勇宏	KIKUMA, Takehiro	JPN 東京	45:01	
6	増田 剛大	MASUDA, Takahiro	JPN 東京	45:55	
7	漆原 直輝	URUSHIBARA, Naoki	JPN 東京	46:09	
8	梶浦 幹太	KAJIURA, Kanta	JPN 神奈川	46:31	

## 10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	幸長 菜央	YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉	44:35	
2	濱村 幸子	HAMAMURA, Sachiko	JPN 東京	51:44	
3	岩附 千陽	IWATSUKI, Chiharu	JPN 埼玉	56:25	
4	鈴木 梢	SUZUKI, Kozue	JPN 東京	57:24	
5	奥 日咲子	OKU, Hisako	JPN 栃木	1:04:02	
6	河野 紗乃	KONO, Suzuno	JPN 東京	1:04:26	
7	平山 夏子	HIRAYAMA, Natsuko	JPN 神奈川	1:04:34	
8	藤本 絵里子	FUJIMOTO, Eriko	JPN 東京	1:07:01	

## 10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	長谷川 秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	41:05	
2	佐藤 良憲	SATO, Yoshinori	JPN 東京	43:01	
3	平山 経政	HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN 神奈川	44:53	
4	谷村 多晶	TANIMURA, Kazuaki	JPN 東京	49:02	
5	関 哲也	SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	50:37	
6	後藤 泰久	GOTO, Yasuhisa	JPN 埼玉	51:39	
7	長田 雅孝	OSADA, Masataka	JPN 静岡	52:08	
8	高橋 潤	TAKAHASHI, Jun	JPN 静岡	52:40	

## 10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	ベッカーマン 直美	BECKERMAN, Naomi	JPN 神奈川	50:09	
2	山本 恵子	YAMAMOTO, Keiko	JPN 兵庫	55:58	
3	乾 麻理子	INUI, Mariko	JPN 東京	57:22	
4	柳下 利子	YAGISHITA, Toshiko	JPN 神奈川	1:01:16	
5	水橋 朱音	MIZUHASHI, Akane	JPN 埼玉	1:02:21	
6	大久保 八恵	OKUBO, Yae	JPN 東京	1:02:38	
7	後藤 理恵	GOTO, Rie	JPN 東京	1:07:14	
8	小笠原 佳子	OGASAWARA, Yoshiko	JPN 青森	1:09:11	

# 東京マラソン2013 大会結果

# Tokyo Marathon 2013 Results

マラソン男子 Marathon (Men) GR : Game Record

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	デニス・キメット	KIMETTO, Dennis	KEN ケニア	2:06:50	GR
2	マイケル・キビエゴ	KIPYEGO, Michael	KEN ケニア	2:06:58	GR
3	バーナード・キビエゴ	KIPYEGO, Bernard	KEN ケニア	2:07:53	
4	前田 和浩	MAEDA, Kazuhiro	JPN 福岡・九電工	2:08:00	
5	ジェームズ・クワンバイ	KWAMBAI, James	KEN ケニア	2:08:02	
6	ギルバート・キルワ	KIRWA, Gilbert	KEN ケニア	2:08:17	
7	フェイス・ベケレ	BEKELE, Feyisa	ETH エチオピア	2:09:05	
8	ディノ・セフィル	SEFIR, Dino	ETH エチオピア	2:09:13	

マラソン女子 Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	アベル・ケベデ	KEBEDE, Aberu	ETH エチオピア	2:25:34	
2	イェシ・イセアス	ESAYIAS, Yeshi	ETH エチオピア	2:26:01	
3	イリーナ・ミキテンコ	MIKITENKO, Irina	GER ドイツ	2:26:41	
4	アルビナ・マヨロワ	MAYOROVA, Albina	RUS ロシア	2:26:51	
5	尾崎 好美	OZAKI, Yoshimi	JPN 東京・第一生命	2:28:30	
6	ヘラリア・ジョアンネス	JOHANNES, Helalia	NAM ナミビア	2:29:20	
7	吉川 美香	YOSHIKAWA Mika	JPN 神奈川・パナソニック	2:30:20	
8	ナスタシア・スタラボイタワ	STARAVOITAVA, Nastass	BLR ベラルーシ	2:30:45	

車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・シーズアスリート	1:27:53	
2	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:29:07	
3	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・エイベックス・マーケティング	1:34:42	
4	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:37:56	
5	島田 一彦	SHIMADA, Kazuhiko	JPN 茨城	1:38:36	
6	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN 大阪	1:40:07	
7	吉野 誠二	YOSHINO, Seiji	JPN 兵庫	1:44:00	
8	真下 和也	MASHITA, Kazuya	JPN 京都	1:48:28	

車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:29	★
2	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川	1:52:14	

10kmU-18 男子 10km : U-18 (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	藤 飛翔	FUJI, Tsubasa	JPN 福島	34:34	
2	根本 厚生	NEMOTO, Natsuo	JPN 福島	36:06	
3	小川 広	OGAWA, Hiro	JPN 福島	36:31	
4	本郷 拓海	HONGO, Takumi	JPN 福島	36:55	
5	五十嵐 拓也	IGARASHI, Takuya	JPN 福島	36:57	
6	飛鳥方 朋之	ASUKATA, Tomoyuki	JPN 岩手	37:04	
7	住吉 秀昭	SUMIYOSHI, Hideaki	JPN 福島	37:20	
8	佐藤 克哉	SATO, Katsuya	JPN 福島	37:35	

10kmU-18 女子 10km : U-18 (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	胡口 奈穂	KOGUCHI, Nao	JPN 福島	42:21	
2	柿沼 美羽	KAKINUMA, Miu	JPN 福島	43:01	
3	猪狩 美咲	IGARI, Misaki	JPN 福島	43:21	
4	坂本 ちほ	SAKAMOTO, Chiho	JPN 福島	43:24	
5	佐藤 美穂	SATO, Miho	JPN 福島	43:32	
6	小野 夏子	ONO, Natsuko	JPN 福島	43:41	
7	菅野 愛理	KANNO, Airi	JPN 福島	44:02	
8	佐藤 早也伽	SATO, Sayaka	JPN 宮城	44:04	

10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山口 充弘	YAMAGUCHI, Mitsuhiro	JPN 神奈川	26:22	☆
2	初海 達也	HATSUUMI, Tatsuya	JPN 神奈川	30:05	
3	佐藤 友析	SATO, Tomoki	JPN 静岡	30:59	
4	林 浩久	HAYASHI, Hirohisa	JPN 静岡	31:06	
5	今泉 武	IMAIZUMI, Takeshi	JPN 茨城	34:54	
6	鳥海 宏	TORIUMI, Hiroshi	JPN 神奈川	34:59	
7	梶間 弘寿	KAJIMA, Koji	JPN 茨城	35:25	
8	箭本 佳広	YAMOTO, Yoshihiro	JPN 東京	35:43	

10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	兼子 未希	KANEKO, Miki	JPN 東京	34:06	

10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	鈴木 卓	SUZUKI, Taku	JPN 新潟	44:34	
2	吉田 英世	YOSHIDA, Hideyo	JPN 茨城	51:10	
3	菊池 儀	KIKUCHI, Takashi	JPN 埼玉	51:28	
4	内田 勝久	UCHIDA, Katsuhisa	JPN 東京	55:14	
5	鈴木 宏泰	SUZUKI, Hiroyasu	JPN 神奈川	1:01:09	
6	井上 祐治	INOUE, Yuji	JPN 東京	1:04:49	
7	廣瀬 信雄	HIROSE, Nobuo	JPN 神奈川	1:06:19	
8	森 康二	MORI, Koji	JPN 愛知	1:06:37	

10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	宮城 好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	55:19	
2	山田 敦子	YAMADA, Atsuko	JPN 兵庫	57:16	
3	石井 喜美江	ISHII, Kimie	JPN 東京	1:01:06	
4	数野 静子	KAZUNO, Shizuko	JPN 静岡	1:07:50	
5	高田 唯	TAKADA, Yui	JPN 埼玉	1:08:15	
6	細川 早苗	HOSOKAWA, Sanae	JPN 東京	1:09:33	
7	宮島 敬子	MIYAJIMA, Keiko	JPN 東京	1:19:26	
8	熊谷 由華	KUMAGAI, Yuka	JPN 東京	1:20:55	

10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	渡辺 峻佑	WATANABE, Ryosuke	JPN 東京	42:40	
2	中島 健太	NAKAJIMA, Kenta	JPN 神奈川	45:35	
3	鈴木 恭平	SUZUKI, Kyohei	JPN 東京	46:19	
4	萩原 和輝	HAGIWARA, Kazuki	JPN 東京	46:31	
5	松村 隆二	MATSUMURA, Ryuji	JPN 東京	46:44	
6	古山 和昭	FURUYAMA, Kazuaki	JPN 新潟	47:12	
7	川邊 正弥	KAWABE, Masaya	JPN 東京	48:09	
8	酒井 健太	SAKAI, Kenta	JPN 神奈川	50:56	

10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	樋口 敦子	HIGUCHI, Atsuko	JPN 新潟	51:06	
2	宮地 菜摘	MIYAJI, Natsumi	JPN 埼玉	1:01:33	
3	大脇 真悠	OWAKI, Mayu	JPN 埼玉	1:03:41	
4	池永 久美子	IKENAGA, Kumiko	JPN 大阪	1:06:46	
5	菅沼 恵美	SUGANUMA, Emi	JPN 東京	1:10:52	
6	中見 有佳	NAKAMI, Yuka	JPN 埼玉	1:15:10	
7	杉井 伸子	SUGII, Nobuko	JPN 埼玉	1:15:21	
8	野村 郁奈子	NOMURA, Kanako	JPN 宮崎	1:17:48	

10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	星川 望	HOSHIKAWA, Nozomu	JPN 東京	51:46	
2	和地 孝三	WACHI, Kozo	JPN 東京	53:12	
3	楠 修次	KUSU, Nobuji	JPN 東京	53:38	
4	宅島 徹	TAKUSHIMA, Toru	JPN 東京	55:40	
5	中川 貴己	NAKAGAWA, Takami	JPN 東京	58:13	
6	中野 章	NAKANO, Akira	JPN 福島	1:02:45	
7	笹山 陽平	SASAYAMA, Yohei	JPN 東京	1:06:11	
8	渡邊 博	WATANABE, Hiroshi	JPN 埼玉	1:06:40	

10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	小林 信江	KOBAYASHI, Nobue	JPN 大阪	55:14	☆
2	柳下 利子	YAGISHITA, Toshiko	JPN 神奈川	1:07:25	
3	乾 麻理子	INUI, Mariko	JPN 東京	1:09:25	
4	竹森 培子	TAKEMORI, Masuko	JPN 京都	1:11:30	
5	佐田 博子	SATA, Hiroko	JPN 京都	1:18:13	
6	山田 朋子	YAMADA, Tomoko	JPN 東京	1:23:46	
7	アグタ・ジョアン	AGUTA, Joan	PHI フィリピン	1:27:26	
8	森 敏子	MORI, Toshiko	JPN 東京	1:39:43	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

★ = 6年連続優勝 / 6-time winner  
☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

# 東京マラソン2012 大会結果

# Tokyo Marathon 2012 Results

マラソン男子 Marathon (Men) GR : Game Record

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	マイケル・キピエコ	KIPYEGO, Michael Kipkorir	KEN ケニア	2:07:37	
2	藤原 新	FUJIWARA, Arata	JPN 東京・東京陸協	2:07:48	
3	ステイブン・キプロティチ	KIPROTICH, Stephen	UGA ウガンダ	2:07:50	
4	ハイレ・ゲブレシラシエ	GEBRESELASSIE, Haile	ETH エチオピア	2:08:17	
5	ビクトル・ロスリン	ROTHLIN, Viktor	SUI スイス	2:08:32	
6	前田 和浩	MAEDA, Kazuhiro	JPN 福岡・九電工	2:08:38	
7	松宮 隆行	MATSUMIYA, Takayuki	JPN 東京・コニカミノルタ	2:09:28	
8	ハイル・メコネン	MEKONNEN, Hailu	ETH エチオピア	2:09:59	

マラソン女子 Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	アツエデ・ハブタム	HABTAMU, Atsede	ETH エチオピア	2:25:28	GR
2	イェシ・イセイアス	ESAYIAS, Yeshi	ETH エチオピア	2:26:00	
3	ヘレナ・キロップ	KIROP, Helena	KEN ケニア	2:26:02	
4	大久保 絵里	OKUBO, Eri	JPN 東京・SWAC	2:26:08	
5	タチアナ・アルヒボア	ARKHIPOVA, Tatiana	RUS ロシア	2:26:46	
6	リシャン・ドゥラ	DULA, Lishan	BRN バーレーン	2:28:22	
7	イエルサレム・クマ	KUMA, Eyerusalem	ETH エチオピア	2:28:36	
8	カテリーナ・ステツェンコ	STETSENKO, Kateryna	UKR ウクライナ	2:28:38	

車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:29:26	
2	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・チームサンディスク	1:29:31	
3	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:30:37	
4	廣道 純	HIROMICHI, Jun	JPN 大分	1:31:38	
5	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:32:48	
6	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	JPN 大阪	1:34:51	
7	塩田 清高	SHIOTA, Kiyotaka	JPN 埼玉	1:41:33	
8	橋爪 淳	HASHIZUME, Atsushi	JPN 神奈川	1:48:52	

車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:31	★
2	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川	1:58:43	
3	高峯 瑞貴	TAKASAKI, Mizuki	JPN 東京	2:13:32	

10kmU-18 男子 10km : U-18 (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	齋藤 将輝	SAITO, Masaki	JPN 福島	33:43	
2	佐久間 祥	SAKUMA, Sho	JPN 福島	33:54	
3	新川 大誠	NAKAGAWA, Taisei	JPN 福島	34:42	
4	新田 勝士	NITTA, Katsuji	JPN 福島	35:22	
5	阿部 直人	ABE, Naoto	JPN 福島	36:00	
6	立花 克広	TACHIBANA, Katsuhiro	JPN 福島	36:02	
7	三宅 一輝	MIYAKE, Kazuki	JPN 宮城	36:16	
8	太田 元紀	OTA, Genki	JPN 福島	36:22	

10kmU-18 女子 10km : U-18 (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	鳴原 優子	SHIGIHARA, Yuko	JPN 福島	41:34	
2	矢野 汐織	YANO, Shiori	JPN 福島	41:47	
3	大久保 七海	OKUBO, Nanami	JPN 福島	42:05	
4	前田 未夢	MAEDA, Miyu	JPN 青森	42:10	
5	阿部 愛実	ABE, Manami	JPN 宮城	44:43	
6	根本 陽香	NEMOTO, Haruka	JPN 福島	45:06	
7	藤田 好美	FUJITA, Yoshimi	JPN 福島	45:14	
8	中村 朱里	NAKAMURA, Akari	JPN 東京	45:22	

10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山口 充弘	YAMAGUCHI, Mitsuhiro	JPN 神奈川	26:59	
2	弘岡 正樹	HIROOKA, Masaki	JPN 神奈川	27:41	
3	関口 武志	SEKIGUCHI, Takeshi	JPN 東京	35:00	
4	鳥海 宏	TORIUMI, Hiroshi	JPN 神奈川	35:18	
5	櫻井 雄太	SAKURAI, Yuta	JPN 東京	35:51	
6	梶間 弘寿	KAJIMA, Koji	JPN 茨城	36:11	
7	星 光晴	HOSHI, Mitsuharu	JPN 茨城	36:51	
8	今泉 武	IMAIZUMI, Takeshi	JPN 茨城	38:52	

10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women) No entry

10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	重田 雅敏	SHIGETA, Masatoshi	JPN 東京	53:02	
2	柴 聡一郎	SAKAE, Soichiro	JPN 神奈川	54:24	
3	舟橋 剛二	FUNABASHI, Koji	JPN 静岡	56:34	
4	池津 克尋	IKEZU, Katsuhiko	JPN 東京	59:01	
5	吉村 憲治	YOSHIMURA, Kenji	JPN 東京	1:00:51	
6	森 康二	MORI, Koji	JPN 愛知	1:03:02	
7	井上 祐治	INOUE, Yuji	JPN 東京	1:05:29	
8	渡辺 克美	WATANABE, Katsumi	JPN 新潟	1:05:48	

10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山田 敦子	YAMADA, Atsuko	JPN 兵庫	58:23	
2	細川 早苗	HOSOKAWA, Sanae	JPN 東京	1:07:53	
3	吉村 瞳	YOSHIMURA, Hitomi	JPN 東京	1:08:08	
4	中川 順子	NAKAGAWA, Junko	JPN 千葉	1:25:52	
5	安田 章代	YASUDA, Akiyo	JPN 埼玉	1:32:53	
6	島田 公子	SHIMADA, Kimiko	JPN 東京	1:33:43	
7	伊東 好江	ITO, Yoshie	JPN 埼玉	1:43:57	

10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	佐藤 嵩仁	SATO, Takahito	JPN 神奈川	41:43	
2	小椋 夏樹	KOISO, Natsuki	JPN 東京	43:24	
3	川邊 正弥	KAWABE, Masaya	JPN 東京	44:30	
4	酒井 健太	SAKAI, Kenta	JPN 神奈川	46:53	
5	古山 和昭	FURUYAMA, Kazuaki	JPN 新潟	47:03	
6	山中 悠暉	YAMANAKA, Yuki	JPN 神奈川	48:22	
7	山下 大介	YAMASHITA, Daisuke	JPN 埼玉	48:38	
8	萩原 和輝	HAGIWARA, Kazuki	JPN 東京	48:51	

10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	田口 恵	TAGUCHI, Megumi	JPN 東京	1:02:34	
2	吉川 美保	YOSHIKAWA, Miho	JPN 東京	1:04:58	
3	鈴木 梢	SUZUKI, Kozue	JPN 東京	1:05:58	
4	平山 夏子	HIRAYAMA, Natuko	JPN 神奈川	1:07:44	
5	石渡 美紀子	ISHIWATA, Mikiko	JPN 千葉	1:08:04	
6	下村 楳	SHIMOMURA, Maki	JPN 東京	1:10:54	
7	波塚 覚子	NAMITSUKA, Satoko	JPN 東京	1:11:41	
8	Tadique EVA	EVA, Tadique	PHI フィリピン	1:13:51	

10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	関 哲也	SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	46:12	
2	小堤 進	OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城	51:32	
3	谷村 多晶	TANIMURA, Kazuaki	JPN 東京	52:30	
4	楠 修次	KUSU, Nobuji	JPN 東京	54:48	
5	松室 上二	MATSUMURO, Joji	JPN 埼玉	55:35	
6	戸塚 仁	TOTSUKA, Hitoshi	JPN 東京	57:08	
7	後藤 泰久	GOTO, Yasuhisa	JPN 埼玉	58:56	
8	李 圭潤	LEE, Kyu-yoon	KOR 韓国	59:23	

10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	小林 信江	KOBAYASHI, Nobue	JPN 大阪	54:52	
2	乾 麻理子	INUI, Mariko	JPN 東京	1:05:43	
3	大久保 八恵	OKUBO, Yae	JPN 東京	1:12:26	
4	桜井 綾子	SAKURAI, Ayako	JPN 東京	1:19:36	

# 東京マラソン2011 大会結果

# Tokyo Marathon 2011 Results

マラソン男子 Marathon (Men) GR : Game Record

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	ハイル・メコネン	MEKONNEN, Hailu	ETH エチオピア	2:07:35	
2	ポール・ビウォット	BIWOTT, Paul	KEN ケニア	2:08:17	
3	川内 優輝	KAWAUCHI, Yuki	JPN 埼玉・埼玉陸協	2:08:37	
4	尾田 賢典	ODA, Yoshinori	JPN 愛知・トヨタ自動車	2:09:03	
5	サイラス・ジュイ	NJUJ, Cyrus Gichobi	JPN 茨城・日立電線	2:09:10	
6	フェリックス・リモ	LIMO, Felix	KEN ケニア	2:10:50	
7	幸田 高明	KODA, Takaaki	JPN 宮崎・旭化成	2:11:08	
8	サリム・キフサンク	KIPSANG, Salim	KEN ケニア	2:11:25	

マラソン女子 Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	樋口 紀子	HIGUCHI, Noriko	JPN 京都	2:28:49	
2	タチアナ・ペトロワ	PETROVA, Tatiana	RUS ロシア	2:28:56	
3	渋谷 陽子	SHIBUI, Yoko	JPN 東京・三井住友海上	2:29:03	
4	勝又 美咲	KATSUMATA, Misaki	JPN 東京・第一生命	2:31:10	
5	鈴木 澄子	SUZUKI, Sumiko	JPN 北海道・ホクレン	2:32:02	
6	山崎 里菜	YAMAZAKI, Rina	JPN 神奈川・パナソニック	2:32:51	
7	宮崎 翔子	MIYAZAKI, Syoko	JPN 千葉・豊田自動織機	2:33:10	
8	平田 裕美	HIRATA, Yumi	JPN 東京・資生堂	2:33:14	

車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:25:38	GR
2	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:26:13	GR
3	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:30:17	
4	安岡 チョーク	YASUOKA, Choke	JPN 東京	1:32:55	
5	廣道 純	HIROMICHI, Jun	JPN 大分	1:32:56	
6	Brett McArthur	MCARTHUR, Brett	AUS オーストラリア	1:32:57	
7	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	JPN 大阪	1:32:57	
8	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:32:58	

車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:40:08	★

10km 一般男子 10km (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	三野 貴史	MINO, Takashi	JPN 千葉	32:18	
2	Germain Jacq	JACQ, Germain	FRA フランス	33:40	
3	島本 涼平	SHIMAMOTO, Ryohei	JPN 東京	34:28	
4	有田 健人	ARITA, Taketo	JPN 千葉	35:42	
5	松井 一朗	MATSUI, Ibuki	JPN 埼玉	36:33	
6	小村 慶太郎	KOMURA, Keitaro	JPN 千葉	36:59	
7	佐藤 雅彦	SATO, Masahiko	JPN 神奈川	37:13	
8	Ondrej Votruba	VOTRUBA, Ondrej	JPN 東京	37:14	

10km 一般女子 10km (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	伊豫田 歩	IYOTA, Ayumi	JPN 茨城	43:38	
2	Pui yan chow	CHOW, Pui Yan	HKG 香港	43:50	
3	鈴木 亜希	SUZUKI, Aki	JPN 東京	44:53	
4	Wynnie Fung	FUNG, Wynnie	HKG 香港	45:03	
5	松下 秀弥	MATSUSHITA, Hidemi	JPN 東京	47:53	
6	田中 紀子	TANAKA, Noriko	JPN 東京	48:01	
7	大川 あゆみ	OOKAWA, Ayumi	JPN 神奈川	49:36	
8	水戸 香麻合	MITO, Kaori	JPN 東京	52:00	

10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	庄司 和浩	SHOJI, Kazuhiro	JPN 茨城	24:29	GR
2	野村 寛	NOMURA, Hiroshi	JPN 茨城	26:32	
3	弘岡 正樹	HIROOKA, Masaki	JPN 神奈川	28:14	
4	今泉 武	IMAIZUMI, Takeshi	JPN 茨城	34:19	
5	梶岡 弘寿	KAJIMA, Kouji	JPN 茨城	34:19	
6	鳥海 宏	TORIUMI, Hiroshi	JPN 神奈川	35:13	
7	櫻井 雄太	SAKURAI, Yuta	JPN 東京	36:42	
8	星 光晴	HOSHI, Mitsuharu	JPN 茨城	37:18	

★ = 4年連続優勝 / 4-time winner

10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women) No entry

10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	八木 陽平	YAGI, Yohei	JPN 東京	46:35	
2	佐野 一貴	SANO, Kazuki	JPN 東京	49:10	
3	福本 真秀	FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川	50:27	
4	菊池 儀	KIKUCHI, Takashi	JPN 埼玉	51:37	
5	吉田 英世	YOSHIDA, Hideyo	JPN 茨城	51:46	
6	吉村 憲治	YOSHIMURA, Kenji	JPN 東京	55:10	
7	安藤 久志	ANDO, Hisashi	JPN 岡山	56:16	
8	鈴木 宏泰	SUZUKI, Hiroyasu	JPN 神奈川	56:48	

10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	宮城 好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	52:26	GR
2	山田 敦子	YAMADA, Atsuko	JPN 大阪	1:05:44	
3	石井 喜美江	ISHII, Kimie	JPN 東京	1:06:28	
4	細川 早苗	HOSOKAWA, Sanae	JPN 東京	1:08:10	
5	数野 静子	KAZUNO, Shizuko	JPN 静岡	1:10:05	
6	伊藤 洋美	ITO, Hiromi	JPN 福島	1:11:30	
7	吉村 瞳	YOSHIMURA, Hitomi	JPN 東京	1:16:39	
8	七田 皇花	SHICHIDA, Kimika	JPN 東京	1:18:28	

10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	高田 泰志	TAKADA, Taishi	JPN 埼玉	37:20	GR
2	小磯 夏樹	KOISO, Natsuki	JPN 東京	37:25	
3	柴山 幸樹	SHIBAYAMA, Kouki	JPN 神奈川	37:42	
4	金箱 浩史	KANEBAKO, Hirofumi	JPN 神奈川	37:45	
5	土佐 健二	TOSA, Kenji	JPN 新潟	39:30	
6	今野 雄太	KONNO, Yuta	JPN 神奈川	40:43	
7	山中 悠暉	YAMANAKA, Yuki	JPN 神奈川	41:10	
8	齋藤 新樹	SAITO, Araki	JPN 東京	42:32	

10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	幸長 菜央	YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉	45:37	GR
2	澤 麻衣子	SAWA, Maiko	JPN 滋賀	47:29	
3	山中 のぞみ	YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉	48:38	
4	池永 久美子	IKENAGA, Kumiko	JPN 大阪	1:03:15	
5	石渡 美紀子	ISHIWATA, Mikiko	JPN 千葉	1:07:30	
6	江副 暁	EZOE, Aki	JPN 東京	1:09:26	
7	平山 夏子	HIRAYAMA, Natsuko	JPN 神奈川	1:11:15	
8	野村 郁奈子	NOMURA, Kanako	JPN 宮崎	1:21:56	

10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	守屋 英海	MORIYA, Hidemi	JPN 東京	44:04	
2	平山 経政	HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN 神奈川	47:39	
3	小泉 武嗣	KOIZUMI, Takeshi	JPN 高知	51:19	
4	長谷川 秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	51:25	
5	和地 孝三	WACHI, Kouzou	JPN 東京	52:16	
6	荒井 靖宏	ARAI, Yasuhiro	JPN 東京	52:19	
7	楠 修次	KUSU, Nobuji	JPN 東京	52:23	
8	名塚 菊夫	NAZUKA, Kikuo	JPN 群馬	53:10	

10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	乾 麻理子	INUI, Mariko	JPN 東京	1:01:49	
2	大久保 八恵	OKUBO, Yae	JPN 東京	1:23:00	
3	坂本 美里	SAKAMOTO, Misato	JPN 山梨	1:29:07	

# 東京マラソン2010 大会結果

# Tokyo Marathon 2010 Results

マラソン男子

Marathon (Men)

GR : Game Record

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	藤原 正和	FUJIWARA, Masakazu	JPN 埼玉・Honda	2:12:19	
2	藤原 新	FUJIWARA, Arata	JPN 東京・JR 東日本	2:12:34	
3	佐藤 敦之	SATO, Atsushi	JPN 広島・中国電力	2:12:35	
4	川内 優輝	KAWAUCHI, Yuki	JPN 埼玉・埼玉陸協	2:12:36	
5	足立 知弥	ADACHI, Tomoya	JPN 宮崎・旭化成	2:12:46	
6	ジョセフ・ムワニキ	MUWANIKI, Joseph	KEN 東京・コニカミノルタ	2:12:53	
7	ラシド・キスリ	KISRI, Rachid	MAR モロッコ	2:12:59	
8	幸田 高明	KODA, Takaaki	JPN 宮崎・旭化成	2:13:04	

マラソン女子

Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	アレフティナ・ビクティミロワ	BIKTIMIROVA, Alevtina	RUS ロシア	2:34:39	
2	ロベ・グタ	GUTA, Robe	ETH エチオピア	2:36:29	
3	ヌタ・オラル	OLARU, Nuta	ROM ルーマニア	2:36:42	
4	河野 真己	KOUNO, Maki	JPN 東京・AC・KITA	2:39:01	
5	楊 静 (ヤン・ジン)	YANG, Jing	CHN 中国	2:41:04	
6	佐藤 由美	SATO, Yumi	JPN 東京・資生堂	2:43:01	
7	花堂 若菜	HANADOU, Wakana	JPN 鹿児島・南九州畜産興業	2:44:03	
8	ジュリア・モンビ	MUMBI, Julia	KEN 千葉・ユニバーサルエンターテインメント	2:45:11	

車いすマラソン男子

Wheelchair Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:35:19	
2	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:40:07	
3	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:40:20	
4	花岡 伸和	HANAOKA, Nobukazu	JPN 千葉・オーエックス	1:44:55	
5	渡辺 智輔	WATANABE, Shusuke	JPN 大分・ホンダアスリート	1:54:44	
6	小林 大	KOBAYASHI, Masaru	JPN 三重・ASSATC	2:01:59	
7	小林 宏	KOBAYASHI, Hiroshi	JPN 神奈川・横浜ストラーダ	2:08:12	
8	沢 晃一	SAWA, Koichi	JPN 神奈川・ラ・ストラーダ	2:10:25	

車いすマラソン女子

Wheelchair Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:53:01	★

10km 一般男子

10km (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	本橋 佑哉	MOTOHASHI, Yuya	JPN 千葉・我孫子消防	33:51	
2	北 重治	KITA, Shigeharu	JPN 神奈川・ハートブレイク	33:52	
3	久保田 和也	KUBOTA, Kazuya	JPN 茨城・タナカ	36:04	
4	Jay Johannesen	JOHANNESSEN, Jay	USA アメリカ	36:25	
5	松田 博司	MATSUDA, Hiroshi	JPN 千葉	37:07	
6	稲垣 陽平	INAGAKI, Yohei	JPN 茨城・日本トレン	37:14	
7	榎戸 忠昭	ENOKIDO, Tadaaki	JPN 東京・駿河台大学	37:22	
8	柴田 昌和	SHIBATA, Masakazu	JPN 東京	37:23	

10km 一般女子

10km (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	矢藤 尚美	YATO, Naomi	JPN 静岡・N-RC	44:34	
2	Lynne Odonnell	ODONNELL, Lynne	USA アメリカ・JAFA BOWERMAN	45:03	
3	北爪 佑美	KITAZUME, Yumi	JPN 東京・亀有中学校	47:19	
4	新井 彩佳	ARAI, Ayaka	JPN 埼玉	48:18	
5	内田 晴花	UCHIDA, Haruka	JPN 埼玉・熊谷女子高校	50:03	
6	高下 ちなみ	TAKASHITA, Chinami	JPN 東京・都立保谷高校	50:47	
7	橋本 育美	HASHIMOTO, Ikumi	JPN 群馬・栄大マラソン部	51:04	
8	細矢 三津子	HOSOYA, Mitsuko	JPN 東京・アトミクラブ	53:25	

10km 車いす男子

10km : Wheelchair (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	川口 幸治	KAWAGUCHI, Yukiharu	JPN 千葉・オーエックス	28:29	
2	田中 誠治	TANAKA, Seiji	JPN 山梨・テルメタ	30:23	
3	田口 勉	TAGUCHI, Tsutomu	JPN 埼玉	31:08	
4	野村 寛	NOMURA, Hiroshi	JPN 茨城	33:04	
5	梶間 弘寿	KAJIMA, Koji	JPN 茨城・水曜会	37:53	
6	星 光晴	HOSHI, Mitsuharu	JPN 茨城・チーム星	39:13	
7	佐々木 法宏	SASAKI, Norihiro	JPN 東京	39:51	
8	山口 和夫	YAMAGUCHI, Kazuo	JPN 茨城	40:20	

★ = 3年連続優勝 / 3-time winner

10km 車いす女子

10km : Wheelchair (Women) No entry

10km 視覚障害者男子

10km : Visually Impaired (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	舟橋 剛二	FUNABASHI, Koji	JPN 静岡	46:41	
2	八木 陽平	YAGI, Yohei	JPN 東京・JBMA	47:23	
3	佐野 一貴	SANO, Kazuki	JPN 東京・バンバンクラブ	49:34	
4	武井 実良	TAKEI, Miyoshi	JPN 東京・マラ界	54:18	
5	千葉 健一	CHIBA, Kenichi	JPN 岩手	55:34	
6	安藤 久志	ANDO, Hisashi	JPN 岡山・旭化成水鳥	58:10	
7	藤崎 義彦	FUJISAKI, Yoshihiko	JPN 神奈川・バンバンクラブ	58:50	
8	石井 勝己	ISHII, Katsumi	JPN 茨城・植村整形外科	1:00:33	

10km 視覚障害者女子

10km : Visually Impaired (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	斎藤 玉貴	SAITO, Tamaki	JPN 山形・バンバンクラブ	55:12	GR
2	宮城 好子	MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉・アキレス	55:34	GR
3	武田 光代	TAKEDA, Mitsuyo	JPN 千葉	1:01:46	
4	黒澤 伸子	KUROSAWA, Shinko	JPN 東京	1:05:38	
5	千葉 信野	CHIBA, Shino	JPN 千葉・東京福祉大学	1:06:44	
6	伊東 好江	ITO, Yoshie	JPN 埼玉・バンバン	1:08:09	
7	坂下 左代子	SAKASHITA, Sayoko	JPN 千葉	1:08:31	
8	高島 道子	TAKASHIMA, Michiko	JPN 岐阜	1:10:41	

10km 知的障害者男子

10km : Intellectually Challenged (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	矢島 一也	YAJIMA, Kazuya	JPN 神奈川・小田原養護同窓	37:27	GR
2	小林 慶哉	KOBAYASHI, Keiya	JPN 埼玉・埼玉障害者陸協	38:57	
3	佐藤 嵩仁	SATO, Takahito	JPN 神奈川・横浜ウインズ	40:49	
4	松浦 亮輝	MATSUURA, Ryoki	JPN 東京・マスターUNO	42:45	
5	海北 秀太	KAIHOKU, Shuta	JPN 埼玉・久喜啓和寮	46:14	
6	西村 千紘	NISHIMURA, Chihiro	JPN 東京・マスターUNO	47:16	
7	佐藤 弘明	SATO, Hiroaki	JPN 東京	48:23	
8	日高 亮太	HIDAKA, Ryota	JPN 東京・こびし走友会	49:49	

10km 知的障害者女子

10km : Intellectually Challenged (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山中 のぞみ	YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉	47:30	GR ★
2	幸長 菜央	YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉・AWRT	47:38	GR
3	浅倉 香	ASAKURA, Kaori	JPN 神奈川・横浜ウインズ	52:51	
4	樋口 敦子	HIGUCHI, Atsuko	JPN 新潟・fclはまかせ	53:42	
5	西村 真優子	NISHIMURA, Mayuko	JPN 東京	56:33	
6	石渡 美紀子	ISHIWATA, Mikiko	JPN 千葉	1:12:12	
7	石井 利絵子	ISHII, Rieko	JPN 東京・東京YMCA	1:12:25	
8	平山 夏子	HIRAYAMA, Natsuko	JPN 神奈川・本郷ランナーズ	1:12:29	

10km 移植者男子

10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	関 哲也	SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	45:41	☆
2	小堤 進	OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城・和城産業	48:47	
3	平山 経政	HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN 神奈川	50:22	
4	名塚 菊夫	NAZUKA, Kikuo	JPN 群馬・前橋清陵高校	52:30	
5	楠 修次	KUSU, Nobuji	JPN 東京・チームばいかに	53:28	
6	和地 孝三	WACHI, Kozo	JPN 東京・国分寺走ろう会	54:05	
7	荒井 靖宏	ARAI, Yasuhiro	JPN 東京	56:32	
8	CHAZ WILSON	WILSON, Chaz	USA アメリカ	57:00	

10km 移植者女子

10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	近藤 千津子	KONDO, Chizuko	JPN 東京	1:12:47	
2	乾 麻理子	INUI, Mariko	JPN 東京	1:13:46	

★ = 4年連続優勝 / 4-time winner  
☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

# 東京マラソン2009 大会結果

# Tokyo Marathon 2009 Results

マラソン男子 Marathon (Men) GR : Game Record

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	サリム・キブサンク	KIPSANG, Salim	KEN ケニア	2:10:27	
2	前田 和浩	MAEDA, Kazuhiro	JPN 福岡・九電工	2:11:01	
3	高橋 謙介	TAKAHASHI, Kensuke	JPN 愛知・トヨタ自動車	2:11:25	
4	サミー・コリル	KORIR, Sammy	KEN ケニア	2:11:57	
5	大島 健太	OSHIMA, Kenta	JPN 東京・日清食品グループ	2:12:54	
6	佐藤 智之	SATO, Tomoyuki	JPN 宮崎・旭化成	2:13:12	
7	ドミトロ・バラノフスキー	BARANOVSKYY, Dmytro	UKR ウクライナ	2:13:27	
8	アスナケ・ロロ	RORO, Asnake Fekadu	ETH エチオピア	2:13:40	

マラソン女子 Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	那須川 瑞穂	NASUKAWA, Mizuho	JPN 千葉・アルゼ	2:25:38	GR
2	佐伯 由香里	SAHAKU, Yukari	JPN 千葉・アルゼ	2:28:55	GR
3	土佐 礼子	TOSA, Reiko	JPN 東京・三井住友海上	2:29:19	GR
4	アレフティナ・ビクティミロワ	BIKTIMIROVA, Alevtina	RUS ロシア	2:29:33	GR
5	シタイエ・ゲメチュ	GEMECHU, Shitaye	ETH エチオピア	2:29:59	
6	嶋原 清子	SHIMAHARA, Kiyoko	JPN 東京・SWAC	2:31:57	
7	大南 博美	OMINAMI, Hiromi	JPN 愛知・トヨタ車体	2:32:11	
8	ルミニツァ・タルボシュ	TALPOS, Luminita	ROM ルーマニア	2:32:22	

車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:33:11	★
2	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:37:28	
3	廣道 純	HIROMICHI, Jun	JPN 大分・TDKラムダ	1:42:33	
4	島田 一彦	SHIMADA, Kazuhiko	JPN 茨城	1:42:46	
5	田中 秀夫	TANAKA, Hideo	JPN 山口・山口県庁	1:42:51	
6	塩田 清高	SHIOTA, Kiyotaka	JPN 埼玉・チームイケイケ	1:46:35	
7	渡邊 敏貴	WATANABE, Toshiki	JPN 東京・関東身障陸協	1:49:31	
8	橋爪 淳	HASHIZUME, Atsushi	JPN 神奈川・横浜ストラーダ	1:53:36	

車いすマラソン女子 Wheelchair Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:46:31	☆

10km 一般男子 10km (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山本 伸幸	YAMAMOTO, Nobuyuki	JPN 石川・鹿島AC	33:38	
2	新井 拓也	ARAI, Takuya	JPN 埼玉・坂鶴消防	34:19	
3	中嶋 聡	NAKAJIMA, Satoshi	JPN 東京・錦城学園高校	35:15	
4	青木 健至	AOKI, Kenji	JPN 埼玉・DREAM	35:38	
5	榎戸 忠昭	ENOKIDO, Tadaaki	JPN 東京・駿河台大学	36:06	
6	田中 吉典	TANAKA, Yoshinori	JPN 東京・中央大学	36:18	
7	Jay Johannesen	JOHANNESSEN, Jay	USA アメリカ	36:31	
8	橋本 裕志	HASHIMOTO, Hiroshi	JPN 福岡・アワーズ	36:35	

10km 一般女子 10km (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	渡辺 美保	WATANABE, Miho	JPN 東京・順天高校	37:36	☆
2	渡邊 洋香	WATANABE, Hiroka	JPN 東京・錦城学園高校	43:18	
3	北村 知恵	KITAMURA, Chie	JPN 東京	47:22	
4	工藤 仁美	KUDO, Hitomi	JPN 千葉	47:43	
5	Laura Maeji	MAEJI, Laura	USA アメリカ	47:57	
6	多胡 玲	TAGO, Rei	JPN 神奈川	48:04	
7	佐藤 美紀	SATO, Miki	JPN 東京・立川高校陸上部	48:30	
8	Jennifer Stolle	STOLLE, Jennifer	USA アメリカ	48:55	

10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	庄司 和浩	SHOJI, Kazuhiro	JPN 茨城・チームしまだ	25:36	
2	野村 寛	NOMURA, Hiroshi	JPN 茨城・茨城WRC	27:38	
3	川口 幸治	KAWAGUCHI, Yukiharu	JPN 千葉・オーエックス	27:58	
4	今泉 武	IMAIZUMI, Takeshi	JPN 茨城・茨城 WRC	33:15	
5	梶間 弘寿	KAJIMA, Koji	JPN 茨城・水曜会	34:05	
6	星 光晴	HOSHI, Mitsuharu	JPN 茨城・チーム星	35:21	
7	大濱 正浩	OHAMA, Masahiro	JPN 大阪・大阪ランナーズ	36:38	
8	山口 和夫	YAMAGUCHI, Kazuo	JPN 茨城・茨城WRC	36:51	

★ = 3年連続優勝 / 3-time winner  
☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	高峯 瑞貴	TAKASAKI, Mizuki	JPN 神奈川	29:07	
2	緑川 まり子	MIDORIKAWA, Mariko	JPN 東京	31:49	

10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	福本 真秀	FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川・SWAC	44:30	GR ☆
2	八木 陽平	YAGI, Yohei	JPN 東京・JBMA	45:08	GR
3	小林 正一	KOBAYASHI, Masakazu	JPN 神奈川・木曜ランナーズ	47:27	
4	石井 勝己	ISHII, Katsumi	JPN 茨城・植村整形外科	49:56	
5	菊池 儀	KIKUCHI, Takashi	JPN 埼玉・博報堂DYIO	51:53	
6	千葉 健一	CHIBA, Kenichi	JPN 岩手・盲人マラソン協会	54:26	
7	廣瀬 信雄	HIROSE, Nobuo	JPN 神奈川・荻野走友会	54:47	
8	武井 実良	TAKEI, Miyoshi	JPN 東京	56:00	

10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	仁茂田 ルリ子	NIMODA, Ruriko	JPN 東京・パンパクラブ	57:24	GR
2	小笠原 さゆり	OGASAWARA, Sayuri	JPN 東京・パンパクラブ	57:31	GR
3	武田 光代	TAKEDA, Mitsuyo	JPN 千葉・JBMA	1:00:23	GR
4	坂下 左代子	SAKASHITA, Sayoko	JPN 千葉・JBMA	1:06:15	
5	黒澤 絵美	KUROSAWA, Emi	JPN 茨城・JBMA	1:07:09	
6	富山 千代子	TOMIYAMA, Chiyoko	JPN 宮崎・宮崎キズナズ	1:17:45	
7	飯干 順子	IIBOSHI, Junko	JPN 宮崎	1:18:07	
8	高橋 和代	TAKAHASHI, Kazuyo	JPN 神奈川・パンパクラブ	1:18:55	

10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	今野 雄太	KONNO, Yuta	JPN 神奈川・横浜ウインズ	38:41	GR ☆
2	齋藤 新樹	SAITO, Araki	JPN 東京	41:18	
3	松浦 亮輝	MATSUURA, Ryoki	JPN 東京・UNO. AC	42:32	
4	井上 佑基	INOUE, Yuki	JPN 千葉・ニッポンランナーズ	43:33	
5	佐藤 嵩仁	SATO, Takahito	JPN 神奈川・横浜ウインズ	43:41	
6	荒井 雅人	ARAI, Masato	JPN 埼玉・ひばり園	46:42	
7	西村 千紘	NISHIMURA, Chihiro	JPN 東京・UNO. AC	47:00	
8	浅野 浩慶	ASANO, Hiroyoshi	JPN 東京・UNO. AC	47:02	

10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山中 のぞみ	YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉・MJRC	49:18	★
2	幸丸 菜央	YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉・SOさいたま	49:50	
3	浅倉 香	ASAKURA, Kaori	JPN 神奈川・横浜ウインズ	54:10	
4	樋口 敦子	HIGUCHI, Atsuko	JPN 新潟・SON・新潟	54:44	
5	西村 真優子	NISHIMURA, Mayuko	JPN 東京・東京YMCA	55:30	
6	高橋 董	TAKAHASHI, Sumire	JPN 東京・武蔵台養護学校	1:00:39	
7	菅沼 恵美	SUGANUMA, Emi	JPN 東京	1:04:13	
8	菅原 明日香	SUGAWARA, Asuka	JPN 埼玉	1:07:20	

10km 移植者男子 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	関 哲也	SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川・ホールディング	43:41	GR
2	守屋 英海	MORIYA, Hidemi	JPN 東京	48:16	
3	小堀 進	OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城・チームリボン	49:47	
4	名塚 菊夫	NAZUKA, Kikuo	JPN 群馬・前橋清陵高校	50:22	
5	和地 孝三	WACHI, Kozo	JPN 東京・国分寺走ろう会	53:20	
6	生田 裕也	IKUTA, Yuuya	JPN 愛知・日本移植者協議会	53:35	
7	楠 修次	KUSU, Nobuji	JPN 東京・チーム南風	55:20	
8	荒井 靖宏	ARAI, Yasuhiro	JPN 東京	1:00:54	

10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	田結庄 彩知	TAINOSHO, Sachi	JPN 東京	1:17:31	
2	中山 菜都美	NAKAYAMA, Natsumi	JPN 静岡	1:28:26	

★ = 3年連続優勝 / 3-time winner  
☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

# 東京マラソン2008 大会結果

# Tokyo Marathon 2008 Results

GR : Game Record

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	ビクトル・ロスリン	ROTHLIN, Victor	SUI スイス	2:07:23	GR
2	藤原 新	FUJIWARA, Arata	JPN 東京・JR 東日本	2:08:40	GR
3	ジュリアス・ギタヒ	GITAHU, Julius	JPN 東京・日清食品	2:08:57	GR
4	諏訪 利成	SUWA, Toshinari	JPN 東京・日清食品	2:09:16	GR
5	入船 敏	IRIFUNE, Satoshi	JPN 東京・カネボウ	2:09:40	GR
6	梅木 蔵雄	UMEKI, Kurao	JPN 広島・中国電力	2:11:00	
7	小林 誠治	KOBAYASHI, Seiji	JPN 長崎・三菱重工長崎	2:11:02	
8	高塚 和利	TAKATSUKA, Kazutoshi	JPN 茨城・小森コーポレーション	2:11:15	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	クラウディア・ドレハー	DREHER, Claudia	GER ドイツ	2:35:35	
2	水谷 理紗	MIZUTANI, Risa	JPN 茨城・筑波大学	2:48:59	
3	加瀬沢 好美	KASEZAWA, Yoshimi	JPN 神奈川・秦野運動公園	2:51:18	
4	山内 美根子	YAMAUCHI, Mineko	JPN 東京・セカンドウィンド AC	2:52:02	
5	田辺 ミヨ	TANABE, Miyo	JPN 千葉・AC KITA	2:52:07	
6	石田 裕子	ISHIDA, Yuko	JPN 岐阜・関体協	2:53:02	
7	塚本 恭子	TSUKAMOTO, Yasuko	JPN 東京・東京陸協	2:53:53	
8	ウワンリン	Wan-Ling, Wu	TPE 台湾	2:54:11	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:27:15	GR ☆
2	花岡 伸和	HANAOKA, Nobukazu	JPN 千葉	1:29:42	
3	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・SUNDISK	1:32:46	
4	田中 秀夫	TANAKA, Hideo	JPN 山口・山口県庁	1:44:24	
5	山本 哲雄	YAMAMOTO, Tetsuo	JPN 茨城・茨城WRC	1:45:23	
6	小林 宏	KOBAYASHI, Hiroshi	JPN 神奈川・横浜ストラーダ	1:45:27	
7	繁野 道秋	SHIGENO, Michiaki	JPN 新潟	1:47:03	
8	沢 晃一	SAWA, Koichi	JPN 神奈川・ラ・ストラーダ	1:54:42	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・ヒューマントラスト	1:45:19	GR

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	伴 卓磨	BAN, Takuma	JPN 東京・モントブラン	33:28	
2	小川 晃平	OGAWA, Kohei	JPN 東京・錦城学園高校	34:04	
3	久保田 和也	KUBOTA, Kazuya	JPN 茨城・タナカ	35:03	
4	山本 慎一郎	YAMAMOTO, Shinichiro	JPN 東京・調布市陸協	35:06	
5	鬼島 政春	KIJIMA, Masaharu	JPN 新潟・立川ブランド	36:16	
6	岡田 朋和	OKADA, Tomokazu	JPN 埼玉・ワセダクラブ	36:16	
7	Fabrizio Raponi	RAPONI, Fabrizio	ITA イタリア	36:25	
8	江黒 弘樹	EGURO, Hiroki	JPN 埼玉・栗橋高校	36:30	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	渡辺 美保	WATANABE, Miho	JPN 東京・順天高校	35:36	GR
2	柳生 麻衣	YAGYU, Mai	JPN 東京・順天高校	38:49	
3	谷川 真理	TANIGAWA, Mari	JPN 東京・アミノバイタル AC	38:59	
4	小此木 晶子	OKONOGI, Shoko	JPN 埼玉・順天高校	39:10	
5	リディア・シモン	SIMON, Lidia	ROM ルーマニア	40:13	
6	ワレンチナ・エゴロワ	YEGOROVA, Valentina	RUS ロシア	40:59	
7	酒井 未来乃	SAKAI, Mirano	JPN 埼玉・順天高校	42:12	
8	峯崎 彩乃	MINEZAKI, Ayano	JPN 東京・順天高校	42:43	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	松浦 辰雄	MATSUURA, Tatsuo	JPN 福島 福島身障連	24:33	GR ☆
2	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	26:00	GR
3	尾澤 清二	OZAWA, Seiji	JPN 埼玉	28:53	
4	高橋 省吾	TAKAHASHI, Shogo	JPN 愛知・アームサイクル	31:16	
5	今泉 武	IMAZUMI, Takeshi	JPN 茨城・茨城WRC	32:27	
6	梶間 弘寿	KAJIMA, Koji	JPN 茨城・水曜会	35:51	
7	星 光晴	HOSHI, Mitsuharu	JPN 茨城・チーム星	36:19	
8	山田 佳弘	YAMADA, Yoshihiro	JPN 千葉	40:57	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	八巻 智美	YAMAKI, Tomomi	JPN 福島・FALD	28:28	GR
2	竹下 いつみ	TAKESHITA, Izumi	JPN 神奈川・ラ・ストラーダ	28:35	GR
3	田中 照代	TANAKA, Teruyo	JPN 愛知・アームサイクル	30:54	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	福本 真秀	FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川	45:34	GR
2	小林 正一	KOBAYASHI, Masakazu	JPN 神奈川・木曜ランナーズ	45:38	GR
3	舟橋 剛二	FUNABASHI, Koji	JPN 静岡・静岡県庁	45:42	GR
4	安部 雄	ABE, Yu	JPN 福島	47:29	GR
5	石井 勝己	ISHII, Katsumi	JPN 茨城・植村整形外科	48:35	GR
6	八木 陽平	YAGI, Yohei	JPN 東京・JBMA	50:19	
7	亀井 健二	KAMEI, Kenji	JPN 東京・武蔵U・M・C	52:26	
8	鈴木 卓	SUZUKI, Taku	JPN 東京	54:01	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	今泉 晶子	IMAZUMI, Akiko	JPN 東京	1:00:32	GR
2	坂下 左代子	SAKASHITA, Sayoko	JPN 千葉・JDやじろペー	1:06:28	
3	早川 美奈子	HAYAKAWA, Minako	JPN 埼玉・パンパクラブ	1:10:52	
4	畑 千尋	HATA, Chihiro	JPN 東京・アキレスTC	1:11:16	
5	阪本 喜代子	SAKAMOTO, Kiyoko	JPN 熊本	1:20:55	
6	石山 祐子	ISHIYAMA, Yuko	JPN 東京・パンパクラブ	1:21:04	
7	星加 理絵	HOSHIKA, Rie	JPN 東京・パンパクラブ	1:21:31	
8	富山 千代子	TOMIYAMA, Chiyoko	JPN 宮崎・キズナーズ	1:22:58	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	今野 雄太	KONNO, Yuta	JPN 神奈川・横浜ウインズ	39:18	
2	鈴木 大樹	SUZUKI, Hiroki	JPN 神奈川・横浜ウインズ	39:34	
3	村田 龍太	MURATA, Ryuta	JPN 東京	41:04	
4	柴山 幸樹	SHIBAYAMA, Koki	JPN 神奈川・横浜ウインズ	41:17	
5	大久保 健史	OKUBO, Takeshi	JPN 東京・奥戸福祉館	42:24	
6	左奈田 浩彰	SANADA, Hiroaki	JPN 神奈川・横浜ウインズ	43:22	
7	成田 裕介	NARITA, Yusuke	JPN 東京	44:38	
8	中川 崇	NAKAGAWA, Takashi	JPN 東京	46:19	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山中 のぞみ	YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉・MJRC松戸	49:28	☆
2	浅倉 香	ASAKURA, Kaori	JPN 神奈川・高等養護OB	53:23	
3	樋口 敦子	HIGUCHI, Atsuko	JPN 新潟・SON・新潟	55:54	
4	菅沼 恵美	SUGANUMA, Emi	JPN 東京	1:06:24	
5	高橋 重	TAKAHASHI, Sumire	JPN 東京	1:06:42	
6	鈴木 梢	SUZUKI, Kozue	JPN 東京・田無養護OB	1:13:39	
7	平山 夏子	HIRAYAMA, Natsuko	JPN 神奈川・本郷ランナーズ	1:18:45	
8	石渡 美紀子	ISHIWATA, Mikiko	JPN 千葉	1:21:19	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	小堤 進	OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城・チームリボン	51:26	
2	名塚 菊夫	NAZUKA, Kikuo	JPN 群馬・前橋清陵高校	51:48	
3	楠 修次	KUSU, Nobuji	JPN 東京・三鷹市役所	55:47	
4	和地 孝三	WACHI, Kozo	JPN 東京・国分寺走ろう会	56:09	
5	大久保 通方	OKUBO, Michikata	JPN 大阪・グリーンリボン	1:03:48	
6	木下 雄介	KINOSHITA, Yusuke	JPN 千葉	1:11:42	
7	高橋 一隆	TAKAHASHI, Kazutaka	JPN 埼玉	1:16:55	
8	片岡 太志	KATAOKA, Futoshi	JPN 東京	1:16:58	

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	大内 敦子	OUCHI, Atsuko	JPN 埼玉	1:13:30	
2	増田 美紀	MASUDA, Miki	JPN 千葉	1:24:15	
3	中山 菜都美	NAKAYAMA, Natsumi	JPN 静岡	1:30:16	
4	目黒 めぐみ	MEGURO, Megumi	JPN 東京	1:39:15	

☆ = 2年連続優勝 / 2-time winner

# 東京マラソン2007 大会結果

# Tokyo Marathon 2007 Results

マラソン男子 Marathon (Men) GR : Game Record

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	ダニエル・ジェンガ	NJENGA, Daniel	KEN ヤクルト	2:09:45	
2	佐藤 智之	SATO, Tomoyuki	JPN 旭化成	2:11:22	
3	入船 敏	IRIFUNE, Satoshi	JPN カネボウ	2:12:44	
4	林 昌史	HAYASHI, Masashi	JPN ヤクルト	2:15:28	
5	徳本 一善	TOKUMOTO, Kazuyoshi	JPN 日清食品	2:15:55	
6	バンデルレイ・デリマ	DE LIMA, Vanderlei	BRA ブラジル	2:16:08	
7	小林 誠治	KOBAYASHI, Seiji	JPN 三菱重工長崎	2:17:13	
8	板山 学	ITAYAMA, Manabu	JPN 日清食品	2:17:29	

マラソン女子 Marathon (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	新谷 仁美		JPN 豊田自動織機	2:31:01	
2	谷川 真理			2:49:54	
3	田中 光		JPN 旭化成東京 JC	2:50:02	
4	レノン・マイアナ		GBR チーム RTN	2:52:04	
5	有森 裕子			2:52:45	
6	須田 由美子		JPN 日立市陸協	2:55:31	
7	阿部 三千代		JPN eA 東京	2:56:14	
8	石川 純子		JPN チームミスノ	2:56:20	

車いすマラソン男子 Wheelchair Marathon (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	副島 正純		JPN シーズアスリート	1:32:21	
2	廣道 純		JPN TDK ラムダ	1:37:45	
3	洞ノ上 浩太		JPN SUN DISK	1:43:12	
4	樋口 政幸			1:45:00	
5	山本 哲雄		JPN 茨城 WRC	1:50:27	
6	植田 一弥		JPN マウントアジ RC	1:53:46	
7	渡邊 敏貴			1:55:19	
8	永易 久和		JPN ラ・ストラータ	1:56:31	

10km 一般男子 10km (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	西郷 祐一郎		JPN 千葉	33:14	
2	藤代 和敏		JPN 八王子藤森走友会	34:12	
3	松沢 玲央			34:21	
4	島本 涼平		JPN 江戸川養護学校	34:32	
5	大舟 幸信		JPN 小岩郵便局	34:35	
6	井上 明德			35:10	
7	橋本 渉		JPN 南平高校陸上部	35:25	
8	榎戸 忠昭		JPN 駿河台大学	35:37	

10km 一般女子 10km (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	グレタ・トラスコット		オーストラリア	37:46	
2	渡辺 美保		順天高校	38:00	
3	山本 沙樹		順天高校	38:07	
4	大橋 春香		順天高校	38:33	
5	柳生 麻衣		順天高校	39:01	
6	小此木 晶子		順天高校	39:27	
7	峯崎 彩乃		順天高校	40:08	
8	酒井 未来乃		順天高校	41:57	

10km 車いす男子 10km : Wheelchair (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	松浦 辰雄		JPN 福島身障陸連	26:23	
2	吉川 博史		JPN 埼玉 WRC	27:28	
3	須藤 健一		JPN 千葉 WRC	28:11	
4	中村 拓也		JPN 関東身体障害者陸協	32:54	
5	今泉 武		JPN 茨城 WRC	34:00	
6	布川 英之			34:03	
7	谷口 公仁		JPN ホーブランナー	36:12	
8	梶間 弘寿		JPN 水曜会	36:24	

10km 車いす女子 10km : Wheelchair (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	藤田 道子		JPN 宮城車いす MC	29:23	
2	八巻 智美		JPN FALD	29:24	
3	竹下 いつみ			32:56	

10km 視覚障害者男子 10km : Visually Impaired (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	石井 勝己		JPN 植村整形外科	49:47	
2	亀井 健二		JPN J・B・M・A	53:19	
3	千葉 健一		JPN 盲人マラソン協	53:52	
4	富田 祥平			55:14	
5	三嶽 正雄			1:03:04	
6	新免 徹郎		JPN アキレス TC	1:04:52	
7	飛永 敬志			1:05:49	
8	安部 雄			1:13:23	

10km 視覚障害者女子 10km : Visually Impaired (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	坂下 左代子		JPN JD やじろペー	1:04:53	
2	星加 理絵		JPN バンバンククラブ	1:13:02	
3	今泉 晶子			1:17:55	
4	富山 千代子		JPN 宮崎キズナズ	1:29:57	

10km 知的障害者男子 10km : Intellectually Challenged (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	大久保 健史		JPN 葛飾養護 OB	39:18	
2	左奈田 浩彰		JPN 横浜ウインズ	39:41	
3	今野 雄太		JPN 横浜ウインズ	40:09	
4	松本 拓也		JPN 横浜 WINS	41:03	
5	鈴木 大樹		JPN 横浜ウインズ	42:33	
6	木村 雄哉		JPN サンクステンブ	43:20	
7	柴山 幸樹		JPN 横浜ウインズ	43:34	
8	一戸 秀行			44:08	

10km 知的障害者女子 10km : Intellectually Challenged (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	山中 のぞみ		JPN MJRC 松戸	49:12	
2	鈴木 梢		JPN 田無養護 OB	1:05:46	
3	高橋 董		JPN 武蔵台養護学校	1:09:04	
4	菅沼 恵美			1:14:07	
5	本間 真由美		JPN 東京都江東区	1:19:23	
6	佐々木 優香			1:33:27	
7	野村 郁奈子		JPN ユニファイドラン	1:34:25	

10km 10km : Organ Transplant Recipients (Men)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	守屋 英海		JPN 東京	46:10	
2	石井 裕己		JPN 日移協	47:56	
3	小堀 進		JPN 和城産業	50:18	
4	生田 裕也			1:03:46	
5	河野 浩幸		JPN 熊本大学病院移植外科	1:09:45	
6	名雪 等		JPN ありのみ走友会	1:22:30	
7	横原 直道		JPN 米子養護学校	1:35:05	
8	井上 和孝		JPN 三愛ランナース	1:38:33	

10km 移植者女子 10km : Organ Transplant Recipients (Women)

Place/順位	氏名	Name	Nation/国 or 所属	Time/タイム	Record/記録
1	石川 友子		JPN 神奈川	1:09:48	
2	小西 尚子			1:20:06	
3	小島 綾		JPN 日本移植者協議会	1:21:34	
4	野峯 昭子			1:33:42	
5	伊従 みゆき		JPN イカスミボール	1:34:32	





世界二世学院

コース・運営  
COURSE & OPERATIONS



TOKYO  
MARATHON  
2016

# 大会関係者ユニフォーム Uniform

## RACE



## STAFF



## MEDICAL



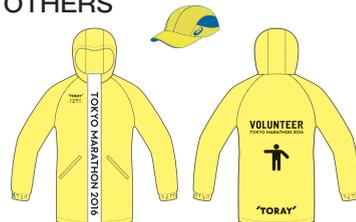
## FLUID & FOOD



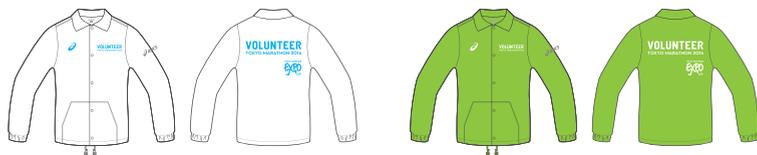
## FOREIGN LANGUAGE



## OTHERS



## EXPO



## TEAM SAFTY



## RUNNING POLICE



コース・運営  
COURSE & OPERATIONS

# COURSE & OPERATIONS

[www.marathon.tokyo/](http://www.marathon.tokyo/)

- 124** 通過予想時刻  
Pace Chart
- 125** コース高低差  
Course Elevation
- 126** ペース早見表  
Pace Guide
- 128** 給水所／救護所  
Fluid / Medical Stations
- 129** 関門  
Checkpoints
- 130** ボランティア  
Volunteers
- 132** 警備体制  
Security Measures
- 134** 医療救護体制  
Medical Aid Systems
- 136** マナーアップ  
Manners Up
- 138** 緊急時対応  
Contingency Operation

# 通過予想時刻(1km毎)

スタート | 車いす 9:05 | マラソン・10km 9:10

## Pace Chart

Km	車いす先頭 Lead Wheelchair	車いす最後尾 Rearmost Wheelchair	ランナー先頭 Lead Runner	ランナー最後尾 Rearmost Runner	地点 Location
0.0	9:05:00	9:05:00	9:10:00	9:30:00	都庁第一本庁舎前 Shinjuku-ku Nishi-shinjuku2-8-1
1.0	9:07:02	9:08:05	9:12:59	9:40:43	新宿大ガード西交差点手前 Shinjuku-ku Nishi-shinjuku1-3-1
2.0	9:09:04	9:11:10	9:15:57	9:51:26	新宿やわらぎビル前 Shinjuku-ku Shinjuku5-6-1
3.0	9:11:05	9:14:15	9:18:56	10:02:09	インド料理シディーク前 Shinjuku-ku Sumiyoshicho3-2
4.0	9:13:07	9:17:19	9:21:55	10:12:51	「防衛省前」バス停前 Shinjuku-ku Ichigayatamuracho5-1
5.0	9:15:09	9:20:24	9:24:54	10:23:34	神楽ビル前 Shinjuku-ku Ichigayatamachi3-12
6.0	9:17:11	9:23:29	9:27:52	10:32:47	ウィルコム前 Chiyoda-ku lidabashi4-8-14
7.0	9:19:12	9:26:34	9:30:51	10:39:43	専修大学前 Chiyoda-ku Kandajimbocho3-12
8.0	9:21:14	9:29:39	9:33:50	10:46:39	国際協力銀行前 Chiyoda-ku Otemachi1-4-1
9.0	9:23:16	9:32:44	9:36:49	10:53:36	坂下門前 Kogyogaien2
10.0	9:25:18	9:35:49	9:39:47	11:00:32	日比谷公園 Hibiya-koen1
11.0	9:27:19	9:38:53	9:42:46	11:08:21	CJ Building前 Minato-ku Nishi-shimbashi1-7-4
12.0	9:29:21	9:41:58	9:45:45	11:17:03	Le Pain Quotidien前 Minato-ku Shibakoen3-3-1
13.0	9:31:23	9:45:03	9:48:44	11:25:45	日本電気株式会社前 Minato-ku Shiba5-7
14.0	9:33:25	9:48:08	9:51:42	11:34:27	御田八幡ビル前 Minato-ku Mita3-7-16
15.0	9:35:27	9:51:13	9:54:41	11:43:09	「高輪北町」バス停前 Minato-ku Takanawa2-13
16.0	9:37:28	9:54:18	9:57:40	11:51:57	(有)TFP前 Minato-ku Takanawa2-21-33
17.0	9:39:30	9:57:23	10:00:39	12:00:50	三田MTビル前 Minato-ku Mita3-13-12
18.0	9:41:32	10:00:27	10:03:37	12:09:42	芝三丁目交差点HASEKO前 Minato-ku Shiba2-32-1
19.0	9:43:34	10:03:32	10:06:36	12:18:35	港区役所入口 Minato-ku Shibakoen1-4
20.0	9:45:35	10:06:37	10:09:35	12:27:27	明和ビル「モスバーガー」前 Minato-ku Shimbashi2-12-16
21.0	9:47:37	10:09:42	10:12:34	12:36:29	「日比谷」バス停前 Chiyoda-ku Yurakucho1-8
22.0	9:49:39	10:12:47	10:15:32	12:45:37	銀座河合ビル前 Chuo-ku Ginza1-7-6
23.0	9:51:41	10:15:52	10:18:31	12:54:44	柳屋ビルディング前 Chuo-ku Nihombashi2-1-10
24.0	9:53:42	10:18:57	10:21:30	13:03:52	日本アジア証券前 Chuo-ku Nihombashikakigaracho1-7-9
25.0	9:55:44	10:22:01	10:24:29	13:13:00	久松町交差点「エスエス製薬」前 Chuo-ku Nihombashihamacho2-12-4
26.0	9:57:46	10:25:06	10:27:27	13:21:36	「ささやフルーツ」前 Taito-ku Asakusabashi1-9-11
27.0	9:59:48	10:28:11	10:30:26	13:30:12	厩橋交差点手前「セブン-イレブン」前 Taito-ku Kuramae3-13-12
28.0	10:01:50	10:31:16	10:33:25	13:38:48	Almex Bld新館前 Taito-ku Kaminarimon2-19-7
29.0	10:03:51	10:34:21	10:36:24	13:47:24	蔵前二丁目交差点「岩金ビル」前 Taito-ku Kuramae2-4-5
30.0	10:05:53	10:37:26	10:39:22	13:56:00	浅草橋交差点角 Chuo-ku Higashi-nihombashi2-26-9
31.0	10:07:55	10:40:31	10:42:21	14:04:55	日本橋久松ビル前横断歩道 Chuo-ku Nihombashihamacho2-28-28
32.0	10:09:57	10:43:35	10:45:20	14:13:50	茅場橋際南児童遊園前 Chuo-ku Nihombashikayabacho1-14-15
33.0	10:11:58	10:46:40	10:48:18	14:22:44	百十四銀行前交差点 Chuo-ku Nihombashi3-8-2
34.0	10:14:00	10:49:45	10:51:17	14:31:39	銀座松屋前 Chuo-ku Ginza3-6-1
35.0	10:16:02	10:52:50	10:54:16	14:42:21	京橋築地小学校前 Chuo-ku Tsukiji2-13
36.0	10:18:04	10:55:55	10:57:15	14:55:42	佃大橋 Chuo-ku Akashicho
37.0	10:20:05	10:59:00	11:00:13	15:09:04	朝潮大橋南 Chuo-ku Harumi1-1
38.0	10:22:07	11:02:05	11:03:12	15:22:26	「豊洲2丁目」バス停前 Koto-ku Toyosu3-2
39.0	10:24:09	11:05:09	11:06:11	15:34:13	東雲橋交差点 Koto-ku Shinonome1-9
40.0	10:26:11	11:08:14	11:09:10	15:45:25	有明教育芸術短期大学前 Koto-ku Ariake1-1-6
41.0	10:28:12	11:11:19	11:12:08	15:56:37	有明中央橋北 Koto-ku Ariake2-2
42.0	10:30:14	11:14:24	11:15:07	16:07:49	東京ビッグサイト東棟屋外駐車場 Koto-ku Ariake3-10-1
42.195	10:30:38	11:15:00	11:15:42	16:10:00	東京ビッグサイト東棟屋外待機場 Koto-ku Ariake3-37-1

<タイム算出方法の説明>

- 1) 車いす先頭は2011大会記録を、ランナー先頭は2014大会記録をイーブンペースにして算出。
- 2) 車いす最後尾は制限時間(2時間10分)をイーブンペースにして算出。
- 3) ランナー最後尾はスタート20分後(9:30)にスタートラインを通過し、各閉門間を閉門閉鎖時刻を元にイーブンペースにして算出。

# コース高低差

## Course Elevation

公認の条件：①スタートとフィニッシュの2点間の直線距離は、そのレースの全距離の50%以下とする。  
②スタートとフィニッシュの2点間標高の減少は、1000分の1kmを超えない。

地点名 Location	最寄の住所 Nearest Address	距離 km	標高 m	高低差 elevation	備考	
都庁第一本庁舎前	西新宿2-8-1	Shinjuku-ku Nishi-shinjuku2-8-1	0.0	40.2	0.0	
新宿大ガード西交差点手前	西新宿1-3-1	Shinjuku-ku Nishi-shinjuku1-3-1	1.0	33.5	6.7	
新宿やわらぎビル前	新宿5-6-1	Shinjuku-ku Shinjuku5-6-1	2.0	32.3	7.9	
インド料理シディーク前	住吉町3-2	Shinjuku-ku Sumiyoshicho3-2	3.0	19.5	20.7	
「防衛省前」バス停前	市谷本村町5-1	Shinjuku-ku Ichigayahommuracho5-1	4.0	13.7	26.5	
神楽ビル前	市谷田町3-12	Shinjuku-ku Ichigayatamachi3-12	5.0	10.2	30.0	
ウィルコム前	飯田橋4-8-14	Chiyoda-ku Iidabashi4-8-14	6.0	4.4	35.8	
専修大学前	神田神保町3-12	Chiyoda-ku Kandajimbocho3-12	7.0	3.1	37.1	
国際協力銀行前	大手町1-4-1	Chiyoda-ku Otemachi1-4-1	8.0	3.0	37.2	
坂下門前	皇居外苑2	Kokyogaien2	9.0	4.0	36.2	
日比谷公園	日比谷公園1	Hibiyakoen1	10.0	2.5	37.7	
CJ Building前	西新橋1-7-4	Minato-ku Nishi-shimbashi1-7-4	11.0	3.1	37.1	
Le Pain Quotidien前	芝公園3-3-1	Minato-ku Shibakoen3-3-1	12.0	3.7	36.5	
日本電気株式会社前	芝5-7	Minato-ku Shiba5-7	13.0	3.9	36.3	
御田八幡ビル前	三田3-7-16	Minato-ku Mita3-7-16	14.0	5.1	35.1	
「高輪北町」バス停前	高輪2-13	Minato-ku Takanawa2-13	15.0	4.1	36.1	
(有)TFP前	高輪2-21-33	Minato-ku Takanawa2-21-33	16.0	3.8	36.4	
三田MTビル前	三田3-13-12	Minato-ku Mita3-13-12	17.0	4.8	35.4	
芝三丁目交差点HASEKO前	芝2-32-1	Minato-ku Shiba2-32-1	18.0	3.8	36.4	
港区役所入口	芝公園1-4	Minato-ku Shibakoen1-4	19.0	3.9	36.3	
明和ビル「モスバーガー」前	新橋2-12-16	Minato-ku Shimbashi2-12-16	20.0	3.4	36.8	
「日比谷」バス停前	有楽町1-8	Chiyoda-ku Yurakucho1-8	21.0	2.6	37.6	
銀座河合ビル前	銀座1-7-6	Chuo-ku Ginza1-7-6	22.0	5.0	35.2	
柳屋ビルディング前	日本橋2-1-10	Chuo-ku Nihombashi2-1-10	23.0	4.7	35.5	
日本アジア証券前	日本橋蛸殻町1-7-9	Chuo-ku Nihombashikakigaracho1-7-9	24.0	3.2	37.0	
久松町交差点「エスエス製薬」前	日本橋浜町2-12-4	Chuo-ku Nihombashihamacho2-12-4	25.0	2.0	38.2	
「ささやフルーツ」前	浅草橋1-9-11	Taito-ku Asakusabashi1-9-11	26.0	3.9	36.3	
蔵橋交差点手前「セブン-イレブン」前	蔵前3-13-12	Taito-ku Kuramae3-13-12	27.0	3.9	36.3	
Almex Bld新館前	雷門2-19-7	Taito-ku Kaminarimon2-19-7	28.0	3.6	36.6	
蔵前二丁目交差点「岩金ビル」前	蔵前2-4-5	Taito-ku Kuramae2-4-5	29.0	3.3	36.9	
浅草橋交差点角	東日本橋2-26-9	Chuo-ku Higashi-nihombashi2-26-9	30.0	3.7	36.5	
日本橋久松ビル前横断歩道	日本橋浜町2-28-28	Chuo-ku Nihombashihamacho2-28-28	31.0	2.1	38.1	
茅場橋際南児童遊園前	日本橋茅場町1-14-15	Chuo-ku Nihombashikayabacho1-14-15	32.0	3.4	36.8	
百十四銀行前交差点	日本橋3-8-2	Chuo-ku Nihombashi3-8-2	33.0	4.3	35.9	
銀座松屋前	銀座3-6-1	Chuo-ku Ginza3-6-1	34.0	5.4	34.8	
京橋築地小学校前	築地2-13	Chuo-ku Tsukiji2-13	35.0	3.4	36.8	
佃大橋	明石町	Chuo-ku Akashicho	36.0	10.4	29.8	
朝潮大橋南	晴海1-1先	Chuo-ku Harumi1-1	37.0	7.2	33.0	
「豊洲2丁目」バス停前	豊洲3-2	Koto-ku Toyosu3-2	38.0	3.3	36.9	
東雲橋交差点	東雲1-9	Koto-ku Shinonome1-9	39.0	1.8	38.4	
有明教育芸術短期大学前	有明1-1-6	Koto-ku Ariake1-1-6	40.0	4.1	36.1	
有明中央橋北	有明2-2	Koto-ku Ariake2-2	41.0	10.2	30.0	
東京ビッグサイト東棟屋外駐車場	有明3-10-1	Koto-ku Ariake3-10-1	42.0	5.9	34.3	
東京ビッグサイト東棟屋外待機場	有明3-37-1	Koto-ku Ariake3-37-1	42.195	3.5	36.7	

# ペース早見表 (km)

## Pace Guide (km)

<b>1km</b>	2:54	2:55	2:56	2:57	2:58	2:59	3:00	3:01	3:02	3:03	3:04	3:05
<b>5km</b>	14:30	14:35	14:40	14:45	14:50	14:55	15:00	15:05	15:10	15:15	15:20	15:25
<b>10km</b>	29:00	29:10	29:20	29:30	29:40	29:50	30:00	30:10	30:20	30:30	30:40	30:50
<b>15km</b>	43:30	43:45	44:00	44:15	44:30	44:45	45:00	45:15	45:30	45:45	46:00	46:15
<b>20km</b>	58:00	58:20	58:40	59:00	59:20	59:40	1:00:00	1:00:20	1:00:40	1:01:00	1:01:20	1:01:40
<b>21.0975km</b>	1:01:11	1:01:32	1:01:53	1:02:14	1:02:35	1:02:56	1:03:18	1:03:39	1:04:00	1:04:21	1:04:42	1:05:03
<b>25km</b>	1:12:30	1:12:55	1:13:20	1:13:45	1:14:10	1:14:35	1:15:00	1:15:25	1:15:50	1:16:15	1:16:40	1:17:05
<b>30km</b>	1:27:00	1:27:30	1:28:00	1:28:30	1:29:00	1:29:30	1:30:00	1:30:30	1:31:00	1:31:30	1:32:00	1:32:30
<b>35km</b>	1:41:30	1:42:05	1:42:40	1:43:15	1:43:50	1:44:25	1:45:00	1:45:35	1:46:10	1:46:45	1:47:20	1:47:55
<b>40km</b>	1:56:00	1:56:40	1:57:20	1:58:00	1:58:40	1:59:20	2:00:00	2:00:40	2:01:20	2:02:00	2:02:40	2:03:20
<b>42.195km</b>	2:02:22	2:03:04	2:03:46	2:04:29	2:05:11	2:05:53	2:06:35	2:07:17	2:07:59	2:08:42	2:09:24	2:10:06

<b>1km</b>	3:06	3:07	3:08	3:09	3:10	3:15	3:20	3:22	3:24	3:25	3:26	3:28
<b>5km</b>	15:30	15:35	15:40	15:45	15:50	16:15	16:40	16:50	17:00	17:05	17:10	17:20
<b>10km</b>	31:00	31:10	31:20	31:30	31:40	32:30	33:20	33:40	34:00	34:10	34:20	34:40
<b>15km</b>	46:30	46:45	47:00	47:15	47:30	48:45	50:00	50:30	51:00	51:15	51:30	52:00
<b>20km</b>	1:02:00	1:02:20	1:02:40	1:03:00	1:03:20	1:05:00	1:06:40	1:07:20	1:08:00	1:08:20	1:08:40	1:09:20
<b>21.0975km</b>	1:05:24	1:05:45	1:06:06	1:06:27	1:06:49	1:08:34	1:10:20	1:11:02	1:11:44	1:12:05	1:12:26	1:13:08
<b>25km</b>	1:17:30	1:17:55	1:18:20	1:18:45	1:19:10	1:21:15	1:23:20	1:24:10	1:25:00	1:25:25	1:25:50	1:26:40
<b>30km</b>	1:33:00	1:33:30	1:34:00	1:34:30	1:35:00	1:37:30	1:40:00	1:41:00	1:42:00	1:42:30	1:43:00	1:44:00
<b>35km</b>	1:48:30	1:49:05	1:49:40	1:50:15	1:50:50	1:53:45	1:56:40	1:57:50	1:59:00	1:59:35	2:00:10	2:01:20
<b>40km</b>	2:04:00	2:04:40	2:05:20	2:06:00	2:06:40	2:10:00	2:13:20	2:14:40	2:16:00	2:16:40	2:17:20	2:18:40
<b>42.195km</b>	2:10:48	2:11:30	2:12:13	2:12:55	2:13:37	2:17:08	2:20:39	2:22:03	2:23:28	2:24:10	2:24:52	2:26:17

<b>1km</b>	3:30	3:35	3:40	3:50	4:00	4:10	4:20	4:30	4:40	4:50	5:00	5:10
<b>5km</b>	17:30	17:55	18:20	19:10	20:00	20:50	21:40	22:30	23:20	24:10	25:00	25:50
<b>10km</b>	35:00	35:50	36:40	38:20	40:00	41:40	43:20	45:00	46:40	48:20	50:00	51:40
<b>15km</b>	52:30	53:45	55:00	57:30	1:00:00	1:02:30	1:05:00	1:07:30	1:10:00	1:12:30	1:15:00	1:17:30
<b>20km</b>	1:10:00	1:11:40	1:13:20	1:16:40	1:20:00	1:23:20	1:26:40	1:30:00	1:33:20	1:36:40	1:40:00	1:43:20
<b>21.0975km</b>	1:13:50	1:15:36	1:17:21	1:20:52	1:24:23	1:27:54	1:31:25	1:34:56	1:38:27	1:41:58	1:45:29	1:49:00
<b>25km</b>	1:27:30	1:29:35	1:31:40	1:35:50	1:40:00	1:44:10	1:48:20	1:52:30	1:56:40	2:00:50	2:05:00	2:09:10
<b>30km</b>	1:45:00	1:47:30	1:50:00	1:55:00	2:00:00	2:05:00	2:10:00	2:15:00	2:20:00	2:25:00	2:30:00	2:35:00
<b>35km</b>	2:02:30	2:05:25	2:08:20	2:14:10	2:20:00	2:25:50	2:31:40	2:37:30	2:43:20	2:49:10	2:55:00	3:00:50
<b>40km</b>	2:20:00	2:23:20	2:26:40	2:33:20	2:40:00	2:46:40	2:53:20	3:00:00	3:06:40	3:13:20	3:20:00	3:26:40
<b>42.195km</b>	2:27:41	2:31:12	2:34:43	2:41:45	2:48:47	2:55:49	3:02:51	3:09:53	3:16:55	3:23:57	3:30:59	3:38:00

<b>1km</b>	5:20	5:30	5:40	5:50	6:00	6:15	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00
<b>5km</b>	26:40	27:30	28:20	29:10	30:00	31:15	32:30	35:00	37:30	40:00	42:30	45:00
<b>10km</b>	53:20	55:00	56:40	58:20	1:00:00	1:02:30	1:05:00	1:10:00	1:15:00	1:20:00	1:25:00	1:30:00
<b>15km</b>	1:20:00	1:22:30	1:25:00	1:27:30	1:30:00	1:33:45	1:37:30	1:45:00	1:52:30	2:00:00	2:07:30	2:15:00
<b>20km</b>	1:46:40	1:50:00	1:53:20	1:56:40	2:00:00	2:05:00	2:10:00	2:20:00	2:30:00	2:40:00	2:50:00	3:00:00
<b>21.0975km</b>	1:52:31	1:56:02	1:59:33	2:03:04	2:06:35	2:11:52	2:17:08	2:27:41	2:38:14	2:48:47	2:59:20	3:09:53
<b>25km</b>	2:13:20	2:17:30	2:21:40	2:25:50	2:30:00	2:36:15	2:42:30	2:55:00	3:07:30	3:20:00	3:32:30	3:45:00
<b>30km</b>	2:40:00	2:45:00	2:50:00	2:55:00	3:00:00	3:07:30	3:15:00	3:30:00	3:45:00	4:00:00	4:15:00	4:30:00
<b>35km</b>	3:06:40	3:12:30	3:18:20	3:24:10	3:30:00	3:38:45	3:47:30	4:05:00	4:22:30	4:40:00	4:57:30	5:15:00
<b>40km</b>	3:33:20	3:40:00	3:46:40	3:53:20	4:00:00	4:10:00	4:20:00	4:40:00	5:00:00	5:20:00	5:40:00	6:00:00
<b>42.195km</b>	3:45:02	3:52:04	3:59:06	4:06:08	4:13:10	4:23:43	4:34:16	4:55:22	5:16:28	5:37:34	5:58:39	6:19:45

# ペース早見表 (マイル)

## Pace Guide (Mile)

<b>Mile</b>	4:41	4:42	4:43	4:44	4:45	4:46	4:47	4:48	4:49	4:50
<b>5Miles</b>	23:25	23:30	23:35	23:40	23:45	23:50	23:55	24:00	24:05	24:10
<b>10Miles</b>	46:50	47:00	47:10	47:20	47:30	47:40	47:50	48:00	48:10	48:20
<b>Half (13.1M)</b>	1:01:21	1:01:34	1:01:47	1:02:00	1:02:16	1:02:29	1:02:42	1:02:55	1:03:09	1:03:22
<b>15Miles</b>	1:10:15	1:10:30	1:10:45	1:11:00	1:11:15	1:11:30	1:11:45	1:12:00	1:12:15	1:12:30
<b>20Miles</b>	1:33:40	1:34:00	1:34:20	1:34:40	1:35:00	1:35:20	1:35:40	1:36:00	1:36:20	1:36:40
<b>Marathon (26.2M)</b>	2:02:42	2:03:08	2:03:35	2:04:01	2:04:32	2:04:59	2:05:25	2:05:51	2:06:17	2:06:43

<b>Mile</b>	4:51	4:52	4:53	4:54	4:55	4:56	4:57	4:58	5:00	5:05
<b>5Miles</b>	24:15	24:20	24:25	24:30	24:35	24:40	24:45	24:50	25:00	25:25
<b>10Miles</b>	48:30	48:40	48:50	49:00	49:10	49:20	49:30	49:40	50:00	50:50
<b>Half (13.1M)</b>	1:03:35	1:03:48	1:04:01	1:04:14	1:04:27	1:04:40	1:04:53	1:05:07	1:05:33	1:06:35
<b>15Miles</b>	1:12:45	1:13:00	1:13:15	1:13:30	1:13:45	1:14:00	1:14:15	1:14:30	1:15:00	1:16:15
<b>20Miles</b>	1:37:00	1:37:20	1:37:40	1:38:00	1:38:20	1:38:40	1:39:00	1:39:20	1:40:00	1:41:40
<b>Marathon (26.2M)</b>	2:07:10	2:07:36	2:08:02	2:08:28	2:08:54	2:09:21	2:09:47	2:10:13	2:11:06	2:13:11

<b>Mile</b>	5:10	5:15	5:20	5:25	5:30	5:35	5:40	5:45	6:00	6:15
<b>5Miles</b>	25:50	26:15	26:40	27:05	27:30	27:55	28:20	28:45	30:00	31:15
<b>10Miles</b>	51:40	52:30	53:20	54:10	55:00	55:50	56:40	57:30	1:00:00	1:02:30
<b>Half (13.1M)</b>	1:07:41	1:08:49	1:09:52	1:10:57	1:12:06	1:13:08	1:14:14	1:15:23	1:18:39	1:21:56
<b>15Miles</b>	1:17:30	1:18:45	1:20:00	1:21:15	1:22:30	1:23:45	1:25:00	1:26:15	1:30:00	1:33:45
<b>20Miles</b>	1:43:20	1:45:00	1:46:40	1:48:20	1:50:00	1:51:40	1:53:20	1:55:00	2:00:00	2:05:00
<b>Marathon (26.2M)</b>	2:15:22	2:17:39	2:19:44	2:21:55	2:24:12	2:26:17	2:28:28	2:30:45	2:37:19	2:43:52

<b>Mile</b>	6:30	6:45	7:00	7:15	7:30	7:45	8:00	8:15	8:30	8:45
<b>5Miles</b>	32:30	33:45	35:00	36:15	37:30	38:45	40:00	41:15	42:30	43:45
<b>10Miles</b>	1:05:00	1:07:30	1:10:00	1:12:30	1:15:00	1:17:30	1:20:00	1:22:30	1:25:00	1:27:30
<b>Half (13.1M)</b>	1:25:13	1:28:29	1:31:46	1:35:03	1:38:19	1:41:36	1:44:52	1:48:09	1:51:26	1:54:42
<b>15Miles</b>	1:37:30	1:41:15	1:45:00	1:48:45	1:52:30	1:56:15	2:00:00	2:03:45	2:07:30	2:11:15
<b>20Miles</b>	2:10:00	2:15:00	2:20:00	2:25:00	2:30:00	2:35:00	2:40:00	2:45:00	2:50:00	2:55:00
<b>Marathon (26.2M)</b>	2:50:25	2:56:59	3:03:32	3:10:05	3:16:38	3:23:12	3:29:45	3:36:18	3:42:51	3:49:25

<b>Mile</b>	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15
<b>5Miles</b>	45:00	46:15	47:30	48:45	50:00	51:15	52:30	53:45	55:00	56:15
<b>10Miles</b>	1:30:00	1:32:30	1:35:00	1:37:30	1:40:00	1:42:30	1:45:00	1:47:30	1:50:00	1:52:30
<b>Half (13.1M)</b>	1:57:59	2:01:16	2:04:32	2:07:49	2:11:06	2:14:22	2:17:39	2:20:55	2:24:12	2:27:29
<b>15Miles</b>	2:15:00	2:18:45	2:22:30	2:26:15	2:30:00	2:33:45	2:37:30	2:41:15	2:45:00	2:48:45
<b>20Miles</b>	3:00:00	3:05:00	3:10:00	3:15:00	3:20:00	3:25:00	3:30:00	3:35:00	3:40:00	3:45:00
<b>Marathon (26.2M)</b>	3:55:58	4:02:31	4:09:05	4:15:38	4:22:11	4:28:44	4:35:18	4:41:51	4:48:24	4:54:58

<b>Mile</b>	11:30	11:45	12:00	12:15	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00
<b>5Miles</b>	57:30	58:45	1:00:00	1:01:15	1:02:30	1:05:00	1:07:30	1:10:00	1:12:30	1:15:00
<b>10Miles</b>	1:55:00	1:57:30	2:00:00	2:02:30	2:05:00	2:10:00	2:15:00	2:20:00	2:25:00	2:30:00
<b>Half (13.1M)</b>	2:30:45	2:34:02	2:37:19	2:40:35						

# 給水所 / 救護所

## Fluid / Medical Stations

### 給水所 Fluid Stations

給水所 Fluid Station	飲食物 Item	水	スポーツ ドリンク	バナナ	パン	トマト	梅干	ぶどう糖	チョコ	塩飴
		Water	Sports drink	Banana	Bread	Tomato	Umeboshi	Glucose sugar drops	Chocolate	Salt Candy
1	5 km	●	●							
2	7 km	●								
3	10km	●	●							
4	12km	●								
5	15km	●	●							
6	17km	●								●
7	20km	●	●							
8	22km	●		●	●	●				
9	25km	●	●							
10	27km	●	●	●		●	●	●		
11	30km	●	●							
12	32km	●		●	●	●		●	●	
13	35km	●	●							
14	38km	●		●		●	●		●	●
15	40km	●	●							

### 救護所 Medical Stations

<b>A</b>	<b>START 救護所</b>	東京都庁第二本庁舎 2F 入口	<b>Start Medical station</b>	Tokyo Metropolitan Gov. bldg. No.2, 2F entrance
<b>B</b>	<b>5km 救護所</b>	飯田橋セントラルプラザビル	<b>5km Medical station</b>	Iidabashi Central Plaza bldg.
<b>C</b>	<b>10km 救護所</b>	日比谷公園口	<b>10km Medical station</b>	Hibiya Park
<b>D</b>	<b>15km 救護所</b>	日本コムシス	<b>15km Medical station</b>	Nippon COMSYS
<b>E</b>	<b>20km 救護所</b>	NTT 日比谷ビル	<b>20km Medical station</b>	NTT Hibiya bldg.
<b>F</b>	<b>22km 救護所</b>	日本橋プラザビル	<b>22km Medical station</b>	Nihombashi Plaza bldg.
<b>G</b>	<b>25km 救護所</b>	久松小学校入口道路上	<b>25km Medical station</b>	Entrance of the Hisamatsu Elementary School
<b>H</b>	<b>27km 救護所</b>	麁橋交差点	<b>27km Medical station</b>	The crossing of Umayabashi
<b>J</b>	<b>30km 救護所</b>	浅草橋(京葉道路起点道路上)	<b>30km Medical station</b>	Keiyo road traffic origin, Asakusabashi
<b>K</b>	<b>32km 救護所</b>	坂本町公園	<b>32km Medical station</b>	Sakamotocho Park
<b>L</b>	<b>35km 救護所</b>	築地川銀座公園	<b>35km Medical station</b>	Tsukijigawa Ginza Park
<b>M</b>	<b>38km 救護所</b>	豊洲フロント前	<b>38km Medical station</b>	Toyosu Front
<b>N</b>	<b>40km 救護所</b>	東京有明医療大学前	<b>40km Medical station</b>	In front of Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences
	<b>フィニッシュライン救護所</b>	フィニッシュライン	<b>FINISH LINE Medical station</b>	FINISH LINE
<b>P</b>	<b>東展示棟救護所</b>	東京ビッグサイト 東展示棟4ホール	<b>East Exhibition Hall Medical station</b>	Tokyo Big Sight East Exhibition Hall4
	<b>西展示棟救護所</b>	東京ビッグサイト 西展示棟1ホール	<b>WEST Exhibition Hall Medical station</b>	Tokyo Big Sight West Exhibition Hall1

※ コースマップ詳細 / For Course Map detail ➔ P2-3

# 関門

## Checkpoints

- 交通・警備、競技運営上、下記の地点で関門閉鎖を行います。関門閉鎖後は競技を続けることはできません。閉鎖時刻後、コース上に残っているランナーは役員の指示に従って、次の関門地点で収容バスに乗車するか、最後尾の収容バスに乗車します。
- 閉鎖時刻前でも、審判員が明らかに閉鎖時刻までに到達できないと判断した場合は、競技中止を指示することがあります。
- Due to traffic and security restrictions as well as operational reasons, race course will be closed at the following points. Running will not be allowed after the checkpoint is closed. Runners on the course after closing will be required to move promptly to sidewalks to board either a sweep bus at the next checkpoint or the final sweep bus behind the very last runner.
- Runners who are still on the race course, but are not likely to finish before the allotted time, may be ordered to stop by the race judges even before the designated time limit.

関門 Checkpoint	距離 Distance	閉鎖時刻 Closing time	車いす閉鎖時刻 Closing time for wheelchairs
5 km	5.6 km	10:30 (1hr 20min)	9:25 (20min)
10 km	10.5 km	11:04 (1hr 54min)	—
15 km	15.4 km	11:47 (2hr 37min)	9:53 (46min)
20 km	20.4 km	12:31 (3hr 21min)	—
25 km	25.0 km	13:13 (4hr 03min)	—
30 km	30.0 km	13:56 (4hr 46min)	10:38 (1hr 33min)
35 km	34.6 km	14:37 (5hr 27min)	—
38 km	38.3 km	15:26 (6hr 16min)	—
最終関門 Final point	41.5 km	16:03 (6hr 53min)	—
フィニッシュ Finish	42.195 km	16:10 (7hr 00min)	11:15 (2hr 5min)

※閉鎖時刻の（ ）内はスタートからの経過時間  
 ※ Time in parentheses is lap time from start.

### 競技途中で棄権する場合

関門以外で途中棄権する場合は、コース上の「審判員（グレーのスタッフウェア）」に途中棄権することを申告します。

① 直近の関門まで行き、収容バスに乗車します。

② 最後尾の収容バスに乗車します。

スタートの際に預けた手荷物は、フィニッシュ会場で受け取れます。

### In case of retiring dropping out

If dropping out at points other than check points, please report to the judge (the grey staff jackets) and choose any of the following two alternatives to proceed to the finish line (Hibiya Park for 10km Race and Tokyo Big Sight for Marathon).

① Go to the nearest check point and board the sweep bus.

② Board the sweep bus behind the last runner.

Upon arrival at the finish line location, pick up your belongings checked at the start line.

# ボランティア

## VOLUNTEER TOKYO MARATHON 2016

あなたの笑顔が TOKYO と世界のキズナになる。  
Your smile unites the world.

東京マラソンのボランティアには、これまでの9大会でのべ10万人の方が参加し、ランナーを励まし、大会を活気づけることで、東京マラソンの大きな礎を築いてきました。ボランティアの活動の種類は、東京マラソン EXPO でのランナー受付、大会当日の給水・給食、手荷物の預かり・返却、コース整理員など30近くの活動に分けられ、ランナーが安全に、そして持てる力を出し切れるようにあらゆる場面でサポートしています。

Nearly 100,000 people have joined and taken part as volunteers in the nine events held to date. They consistently provide a solid foundation for the Tokyo Marathon, cheering on runners and helping to liven up the entire event.

Volunteers are involved in nearly 40 different activities, including registering runners at the Tokyo Marathon EXPO, distributing water and food on race day, looking after bags and belongings, and working as course marshals. They provide essential support across the board, enabling runners to finish the race safely and meet their full potential.

- ボランティア活動が円滑に行われるために、ボランティアを「メンバー」、「リーダー」、「リーダーサポート」の3つの役割にわけ、組織化を図っています。

To ensure that these activities are carried out smoothly, Volunteers are organized into three ranks: Members, Leaders, and Deputy Leaders



10 回記念大会を盛り上げるため、ボランティアは多言語の応援メッセージフェイスシールを貼り活動します。  
To boost the mood of 10th anniversary event, volunteers will carry out their activities putting the above face tattoo stickers on their smiles.

### 多言語対応ボランティア Foreign Language Volunteers

東京マラソン2016より『多言語対応ボランティア』を募集しました。

(募集は11月18日より実施)

Beginning with Tokyo Marathon 2016, Foreign Language volunteers have also been recruited. Recruitment began in mid-November 2015.



# Volunteers

## 参加者データ / Applicants Data

2015年12月22日現在 / as of December 22, 2015

性別 Gender	人数 Numbers	割合 Component Ratio
男性 Male	6,357	55.4%
女性 Female	5,112	44.6%
合計 Total	11,469	100.0%

年代 Age group	人数 Numbers	割合 Component Ratio
10代	357	3.1%
20代	1,276	11.1%
30代	1,321	13.3%
40代	3,209	28.0%
50代	3,030	26.4%
60代	1,539	13.4%
70代	506	4.4%
80代	30	0.3%
90代	1	0.01%
合計 Total	11,469	100.0%

在住地域 Residential areas	人数 Numbers	割合 Component Ratio
関東 (※内訳あり) Kanto	11,096	96.8%
東海 Tokai	120	1.1%
信越・北陸 Shinetsu・Hokuriku	73	0.6%
東北 Tohoku	69	0.6%
近畿 Kinki	61	0.5%
北海道 Hokkaido	20	0.2%
九州 Kyusyu	13	0.1%
中国 Chugoku	13	0.1%
四国 Shikoku	4	0.03%
合計 Total	11,469	100.0%

関東在住 Kanto Region	人数 Numbers	割合 Component Ratio
東京 Tokyo	6,545	59.0%
神奈川 Kanagawa	1,641	14.8%
埼玉 Saitama	1,307	11.8%
千葉 Chiba	1,280	11.5%
茨城 Ibaraki	166	1.5%
群馬 Gunma	71	0.6%
栃木 Tochigi	63	0.6%
山梨 Yamanashi	23	0.2%
合計 Total	11,096	100.0%

職業 Occupation	人数 Numbers	割合 Component Ratio
会社員・公務員 Office worker/ Government official	7,685	67.0%
会社・団体等役員 Executive/Staff member of association	197	1.7%
自営 Proprietor	338	2.9%
学生 Student	856	7.5%
主婦 Housewife	1,249	10.9%
無職 Unemployed	548	4.8%
その他 Others	596	5.2%
合計 Total	11,469	100.0%

参加回数 Past Participation	人数 Numbers	割合 Component Ratio
初めて None	5,290	46.1%
経験あり Yes	6,179	53.9%
合計 Total	11,469	100.0%

## ボランティア活動及び配置人数内容

2015年12月22日現在 / as of December 22, 2015

配置活動場所/Assigned Areas	活動名/Activities	人数/ Numbers	内多言語/ Foreign Language Volunteers
EXPO	東京ビッグサイト/Tokyo Big Sight ランナー受付/Runner Registration ボランティア説明会/Briefing	1,791	388
フレンドシップラン Friendship Run	臨海副都心シンボルプロムナード公園 東京ビッグサイトなど Symbol Promenade Park - Tokyo Big Sight - Tokyo Marathon 2016 Finish Gate 参加者受付/Runner Registration コース管理・誘導/Course Marshaling	283	
スタート START	東京都庁周辺/START Area 手荷物/Baggege 出発係/Start 会場誘導/Marshaling 給水・給食/Fluid & Food 車いすランナー対応/Wheelchair Support	1,331	339
10km フィニッシュ 10km FINISH	日比谷公園/Hibiya Park 手荷物/Baggege 給水・給食/Fluid & Food フィニッシャータオル配付/Finisher Towel 完走メダル配付/Finisher Medal 会場誘導/Marshaling インフォメーション/Information 車いすランナー対応/Wheelchair Support	104	
マラソン フィニッシュ MARATHON FINISH	東京ビッグサイト/Tokyo Big Sight 手荷物/Baggege 給水・給食/Fluid & Food フィニッシャータオル配付/Finisher Towel 完走メダル配付/Finisher Medal 会場誘導/Marshaling インフォメーション/Information 車いすランナー対応/Wheelchair Support	1,418	403
コース Course	●新宿・飯田橋ブロック ●大手町・日比谷ブロック●芝ブロック ●品川ブロック●銀座・日本橋ブロック ●水天宮・人形町ブロック●蔵前・浅草ブロック ●築地・佃ブロック●豊洲・有明ブロック コース42.195kmを上記9つのブロック 9 Blocks on the Corse 給水・給食/Fluid & Food コース整理員/Course Marshal 観衆整理/Spectators Control ランナーサポート/Runner Support 距離表示・分岐表示/On-Site Distance Markers	6,542	
合計/Total		11,469	1,130 ※

※のべ人数 Gross total

## 警備体制

より安全・安心なマラソン大会を目指し、ボストンマラソンでの爆破テロ事件以来、不測の事態に備えて進めてきた警備対策を一層強化するとともに、昨今の国際情勢を踏まえ、新たな警備強化を図ります。

また、今年度も警視庁、東京消防庁と連携し、大会関係者、競技関係者、大会運営スタッフ、ボランティア等を対象として「テロ対処訓練」を行いました。

なお、前回、警視庁が導入したランニングポリスについては、引き続きコース上の安全強化を図るため増員して警戒にあたります。

### 1. 手荷物検査の強化

スタートエリアでの手荷物検査体制を引き続き実施するとともに、フィニッシュエリアでの金属探知機の設置台数を10台増加し、手荷物検査の強化・円滑化を図る。

スタートエリア 50台；フィニッシュエリア 20台 計 70台 ※前回 60台

**注意 ① スタートエリア及びコース上への持ち込み制限について**

不測の事態等を未然に防ぐため、スタートエリア及びコース上に持ち込める物品等に関して制限を設けています。十分ご注意ください。万一、持ち込みが制限されている物品等が発見された場合、その場で没収、廃棄等をお願いしますので、予めご了承のうえ、ご参加ください。

**水筒類、ビン・カン・ペットボトルは一切持ち込みできません**

【スプレー缶の取り扱い】  
スプレー缶の持ち込みは禁止。ただし、以下の要件をすべて満たすものに限り、持ち込み可能とする。  
・市販されている商品のうち、未開封状態のもの。ただし、明確に医薬品及び化粧品に分類されているものに限る。  
・単体の内容量120ml以下のもので個数は1本までとする。

【飲料物の取り扱い】  
飲料物の持ち込みは禁止。ただし、以下の要件をすべて満たすものに限り、持ち込み可能とする。  
・市販されている商品のうち、未開封状態のもの（紙パック、アルミ缶）  
・内容量単体250ml以下のもので、合計で内容量500ml以内とし、個数は問わない。

**その他の持ち込み制限について**

・毒劇物、爆発物、火薬類、油類、有毒ガス発生等の恐れのあるもの、その他危険物。  
・刃物類、可燃物、その他、危険性のある小道具。  
・カッターナイフ、はさみ、工具類、長傘等、凶器として使用される恐れのあるもの。

### 2. 監視体制の強化

固定監視カメラの台数を増加するとともに、新たにウェアラブルカメラを携行した巡回警備員によるリアルタイムの映像による監視や、フィニッシュエリアにおける係留型飛行船による上空からの監視を実施。

- ① 固定監視カメラ 30台（スタートエリア 18台 コース 10台 フィニッシュエリア 2台）
- ② 巡回警備員によるウェアラブルカメラ監視 24人（コース）
- ③ 係留した無人飛行船による上空からの監視（フィニッシュエリア）
- ④ 警備員によるコース・沿道夜間巡回（24時～8時）

### 3. 警備強化に向けた試行的取り組み

今後の警備強化に向けた試行的取組みとして、ドローン検知システムの導入や一部ランナーのナンバーカード認証による入場実験を実施。

- ① ドローン検知システム設置（フィニッシュエリア）
- ② 準エリート（国内）900人を対象として、ナンバーカード認証システムによる本人確認（スタートエリア Gate R）  
※ただし、同意が得られた方のみ、EXPOにて写真撮影

### 4. コース沿道地域との連携

沿道地域の町会・自治会の協力による監視活動を引き続き実施。（約300人）  
ウェア、帽子目立つアイテムを着用し、抑止効果を向上。（TEAM SAFETY）

### 5. 「テロ対処訓練」を実施

1月17日（日）、東京マラソン2016に向け、関係機関・団体と連携し、不測事態に備えた「テロ対処訓練」をマラソンコースのフィニッシュ地点となる東京ビッグサイトにて開催。



【テロ対処訓練】

## Security Measures

Since the terrorist bombing happened during 2013 Boston Marathon, the Tokyo Marathon Foundation takes various security measures, striving for the safer and more secure marathon in an effort to prepare for any contingency.

This year again, to tighten the on-course security, Tokyo Marathon Foundation organized a joint training session with the Metropolitan Police Department and the Tokyo Fire Department for operation staff, volunteers, etc.

To tighten the on-course security, the Running Police program with the cooperation of the Metropolitan Police Department continues with increased number of the police staff.

### 1. Tightened inspection on the carry-in baggage

Baggage inspection at the start area is performed continuously, and 10 more metal detectors are installed at the finish area to tighten the level of baggage inspection, while achieving smoother operation.

Start area: 50 detectors; Finish area: 20 detectors (70 detectors in total; 10 more detectors than in 2015)

**Note ① Restrictions on carrying items in the start area and on the course**

Limits are set for carrying items in the start area and on the track to prevent unforeseen events etc. Please observe caution. Please be aware that if restricted items are discovered, they will be taken and disposed of.

**You cannot bring any water container, bottle, can or PET bottle.**

【Handling of spray cans】  
Spray cans are not allowed. However, items that meet all of the following requirements shall be allowed.  
• Commercial products that are unopened. However, only items clearly categorized as pharmaceutical or cosmetic products.  
• One item with unit contents of 120 ml or less.

**Other restrictions on carrying items**

- Poisonous substances, explosives, oil, substances that may cause poisonous gas generation, and other hazardous materials.
- Knives, flammable materials and other potentially dangerous items.
- Items that could be used as a weapon such as cutter knives, scissors, tools and long umbrellas.

【Handling of beverage items】  
Beverages are not allowed. However, items that meet all of the following requirements shall be allowed.  
• Commercial products that are unopened (cardboard packs, aluminum pouches)  
• The contents of the unit must be less than 250 ml.  
• Regardless of the number, the total content must be less than 500 ml.

### 2. Tightened surveillance

While increasing the number of static surveillance cameras, security staff will be patrolling with the wearable cameras, which transmit real-time video for monitoring. The security airship will also be moored at the finish area to allow surveillance from above.

- ① 30 static surveillance cameras in total (Start: 18; on-course: 10; finish: 2)
- ② 24 security staff patrolling with a wearable camera (on-course)
- ③ Airship moored at the finish for overhead surveillance
- ④ Security staff patrol along the course and the areas on the sidelines during the night time (12:00 am - 8:00 am)

### 3. Trial measures to tighten the security

As trial measures for tightened security, multicopter (Drone) detection system and the number card identification for selected group of runners will be newly implemented.

- ① Drone detection system implemented at the finish area
  - ② Number card identification will be conducted for 900 Semi-Elite (Japan) runners at the start gate R
- ※ Identification photos will be shot at the Expo for those who agreed with this trial.

### 4. Cooperation with community associations along the course

Security surveillance will be implemented with the cooperation of community associations along the course. Members of the community associations wear eye-catching jackets and caps, so that it works as a deterrent.

### 5. Anti-Terrorism Training

In preparation for the safe and secure operation of Tokyo Marathon 2016, the anti-terrorism joint training session was held as part of the contingency plan on Sunday, January 17, in cooperation with related authorities and communities at the Tokyo Big Sight, where the marathon finish will be located.



【Anti-Terrorism Training】

## 医療救護体制

東京マラソンでは、世界一安全なマラソン大会を目指し、出場されるランナーはもちろん、沿道で応援される方や大会に関わるボランティア、スタッフの安全・安心を第一に考えた体制作りを行っています。

### 医療救護体制とAEDの配備

東京マラソン医療救護スタッフは医師、看護師、救命救急士、トレーナー、ボランティアで構成され、それぞれが救護所、救護車、BLS隊、モバイル隊、ランドクターの役割に分かれて活動します。また、コース上にAEDを配備しています。



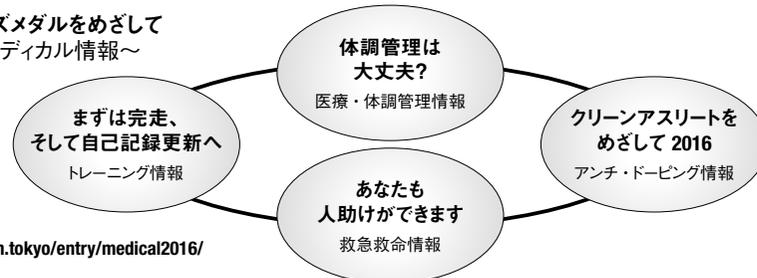
〈モバイル隊〉

役割	AEDの台数	概要
救護所	17台*	スタートからフィニッシュまでコース全域に、前半は約5kmおき、後半は2-3kmおきに計16カ所の救護所があります。救護所には医師、看護師、トレーナーが常駐しており、ランナー等の怪我や病気に対応します。また、救急車や救護車も待機しています。 ※複数台設置する救護所含む
BLS隊	37台	コース沿道でコース中盤までは1kmごと、後半は800mごとに33隊、フィニッシュエリアに4隊でAEDやその他の応急手当が可能な資器材を持ち、待機しています。BLS隊は配置された場所の近くで怪我人や病人が発生した場合に、すぐに駆けつけ、医師などの医療スタッフや、救急車が到着するまでの間、応急手当を行います。
BLSサポート隊	AEDは持たない	救護所とBLS隊の間約500m付近を最低2人以上1組の27隊でサポートします。
モバイル隊	24台	救命救急士が2人1組となり、コース上を24隊に分かれて、マウンテンバイク(自転車)に乗り、AEDやバッグバルブマスク、バイタルサイン測定機等、応急処置を行うための資器材を持ち、巡回します。緊急事態の際はいち早く駆け付け、心肺蘇生法や応急処置を行います。
ランドクター	AEDは持たない	医師が一定の間隔とペースで走りながら、ランナーの突発事故に対して、周囲の医療スタッフと協力して救命処置を行います。

数字の詳細 ⇒ P.20 東京マラソンに関する数字を参照

AED: 自動体外式除細動器  
BLS: 一次救命処置

### フィニッシャーズメダルをめざして ～東京マラソンメディカル情報～



<http://www.marathon.tokyo/entry/medical2016/>

東京マラソン財団では、参加ランナー、ボランティアを対象に、普通救命講習会を開催しています。

#### 2011年度開催

- ①10月15日 ②11月19日
  - ③12月3日 ④平成24年1月21日
- (財団会議室/約70人)

#### 2012年度開催

- ①6月16日(味の素スタジアム/約100人)
- ②9月1日(午前・午後 2回開催/各約70人)
- ③10月6日 ④12月9日(財団会議室/約70人)
- ⑤平成25年1月19日(東京ビッグサイト/約1,000人)

#### 2013年度開催

- ①平成26年1月19日(東京ビッグサイト/約1,500人)

#### 2014年度開催

- ①平成27年1月18日(東京ビッグサイト/約1,000人)

#### 2015年度開催

- ①平成28年1月17日(東京ビッグサイト/約1,000人)



bystander:  
救急現場に居合わせた人  
(発見者、同伴者等)

## Medical Aid Systems

The committee for handling medical aid systems of the Tokyo Marathon is trying to organize the safest marathon in the world for the participants, spectators as well as volunteers and staff.

### Deployment of AEDs

In Tokyo Marathon the Tokyo Marathon medical aid staff consist of medical doctors (MD), nurses, paramedics, trainers and volunteers. They pursue their respective activities assigned to each team: teams at aid stations, medical vehicles, Run Doctors, bike teams, and BLS teams. AED are deployed as follows:



〈ランドクター / Running Doctor〉

Functions	Number of AEDs	General Outline
Medical Stations	17*	Total of 16 first aid stations - every 5km in the first half and every 2-3km in the second half along the course. Medical doctors, nurses and trainers are stationed in the first aid stations, and they will respond to runners' injuries and illness. Furthermore, ambulances and other medical vehicles are on standby. ※ More than one AED are implemented at some stations
BLS Teams	37	Every km along the course in the first half and every 800m in the second half of the course, 33 two-person teams and 4 teams at the finish, carrying AEDs and other emergency first aid equipment, are on standby. In case of injuries or illness, the nearest BLS team will come straight to the scene and give first aid before the arrival of medical doctors, paramedics and ambulances.
BLS Support Teams	No AED	27 teams of at least two persons are on patrol, covering the locations between aid stations and BLS teams (about 500m from aid stations).
AED Bike Teams	24	2 teams, consisting of two paramedics, are on patrol on bikes with AED and other first aid medical equipment, such as bag valve mask and vital sign indicators. In case of emergency, the staff will come straight to the scene and give first aid and CPR (cardio-pulmonary resuscitation).
Run Doctor	No AED	In case of emergency, Run Doctors work with the medical staff to give first aid assistance. They are running at the certain pace with regular intervals along the course.

See ⇒ P.21 for details.

AED: Automated External Defibrillator  
BLS: Basic Life Support

### Tokyo Marathon Foundation holds seminars on first aid for runners and volunteers.

#### Seminars held in fiscal 2011

- ① October 15 ② November 19
- ③ December 3 ④ January 21, 2012

Unless specified, seminars were held at the Tokyo Marathon Foundation's conference room with approximately 70 participants per seminar.

#### Seminars held in fiscal 2012

- ① June 16 (Ajinomoto Stadium; approximately 100 participants)
  - ② September 1 (Morning and Evening sessions; approximately 70 participants each)
  - ③ October 6 ④ December 9
  - ⑤ January 19, 2013 (Tokyo Big Sight; approximately 1,000 participants)
- Unless specified, seminars were held at the Tokyo Marathon Foundation's conference room with approximately 70 participants per seminar.

#### Seminars held in fiscal 2013

- ① January 19, 2014
- (Tokyo Big Sight; approximately 1,500 participants)

#### Seminars held in fiscal 2014

- ① January 18, 2015
- (Tokyo Big Sight; approximately 1,000 participants)

#### Seminars held in fiscal 2015

- ① January 17, 2016
- (Tokyo Big Sight; approximately 1,000 participants)



〈First Aid Seminar〉

# 東京マラソン マナーアップ宣言

金哲彦コーチが提唱

## 「ルール」「マナー」「意識」3つのピラミッドで 世界一の大会をつくり上げよう!

金 哲彦 (きんてつひこ)

市民ランナーからオリンピックランナーまで幅広く指導するプロフェッショナル・ランニングコーチ。また、深い分析力と分かりやすいコメントで、テレビやラジオの駅伝・マラソン中継の解説者としても活躍。ランニングに関する著書や執筆も多数あり、マルチに活動中。ニッポンランナーズ代表。東京マラソン財団理事。

【世界一へのピラミッドをつくり上げよう】

### ③意識の向上

⇒大会の質をさらに高める要因

- トレーニングをしっかり積んで出場する
- 必要以上に給食を取り過ぎない
- レース当日のスケジュールに余裕をもつ
- 無理な出走をしない  
(体調が悪いと感じたら出場しない) など

### ②マナーを守る

⇒参加する人が気持ちよく走ることができ、スムーズな大会運営に寄与する

- ごみのポイ捨ての禁止
- まわりに迷惑をかける仮装をしない
- ペースの急加速や無理な追越しを行わない など

### ①ルールの遵守

⇒大会の骨格をなす不可欠なもの。  
違反したランナーは失格となる。

- 代理出走の禁止
- コースのショートカット(近道)の禁止
- スタート時の指定ブロックを守る
- ナンバーカードや計時チップは指定通りに装着する
- 指定場所以外でのトイレを行わない など

### 【3つの要素を積み上げよう】

右のように、マラソン大会のクオリティは3つの要素で成り立っていると私は提唱します。

「ルールは遵守して当たり前」「マナーを守ればより良い大会に」「意識を高めれば最高の大会に」。

この3つをピラミッドにたとえ、三角の頂点を3万7千人のランナーで高めることができれば、これほど素晴らしいことはありません。

マラソンというスポーツに関わる人全員が楽しめて、参加して本当によかった、と思えるような大会にするためには、このようにひとり一人が考えて行動していくことが大切。みんなが東京マラソンを世界に誇れる大会にしていきたいと思います。

# Declaration to Improve Manners at the Tokyo Marathon

## Coach Tetsuhiko Kin proposes to produce the best race in the world with the pyramid of "rules", "manners" and "awareness".

Tetsuhiko Kin

Kin is a professional running coach, providing advice to a large running population ranging from city runners to Olympic marathoners. He also serves as a commentator on television and radio for live coverage of long-distance relays and marathon races. This past summer he appeared on television as a commentator covering the World Championships in Athletics, where he was highly regarded for his deep insight and clear-cut commentary. He has published numerous books and other writings on running, showing his multiple talents. Kin represents Nippon Runners and serves as a board member of the Tokyo Marathon Foundation.

【To create the pyramid aiming for best in the world】

### ③ Raising awareness

⇒ Factor for further improving quality of the race

- Run with appropriate training
- Do not take in more food than needed
- Have extra time in your schedule on the day of the race
- Do not overexert yourself (Do not run if you feel sick)

### ② Following manners

⇒ Contribute to smooth race operation so that participants can comfortably run the race

- Do not litter
- Do not dress up in costumes that cause trouble for others
- Do not accelerate rapidly or force yourself to pass through

### ① Following rules

⇒ Essential matter that supports the framework of the race. Runners that violate rules will be disqualified.

- Do not run in proxy
- Do not short cut the course
- Stay in the designated block when starting
- Wear number cards and measurement chips, as instructed
- Do not urinate or defecate in areas other than designated locations

### 【Combine the 3 elements】

I believe that the quality of a marathon event is determined by three factors, shown on the right.

"It is expected to follow rules." "It will become a better race if manners are followed." "It will become the best race if awareness is raised."

Putting these 3 points in a pyramid, there is nothing more than to heighten the 37,000 runners at the top of the pyramid.

In order to produce a race that lets everyone involved with marathon enjoy it and makes everyone feel glad that they participated, it is important for each person to think and act. Let us turn the Tokyo Marathon into a world-class race.

## 東京マラソンからの提言 応援もマナーを守って楽しもう!

走るを支える応援者もマナーを守り、大会に関わる人みんなが気持ちよくレースを楽しめるようにしましょう。

### ●公共交通機関の利用を

⇒大会当日は道路が混雑しますので、電車、地下鉄など公共の交通機関を利用しましょう。

### ●自転車での移動は控える

⇒当日の自転車利用はご遠慮ください。なお、自転車を利用される場合は、マラソンコースをう回していただきますようお願いいたします。またフィニッシュ地点(東京ビッグサイト)には大会当日は駐輪所がないので、こちらへの移動も公共の交通機関をご利用ください。

### ●沿道での「のぼり旗」設置などはNG

⇒コース沿道に応援ののぼり旗や幕を設置する人がいますが、これは公共露出物のルールに違反するので控えるようにしましょう。

### ●歩道橋では立ち止まらない

⇒コースをまたぐ歩道橋ではついつい立ち止まって応援したくなりますが、混雑から危険を招く可能性があるため控えてください。

### ●沿道では譲り合いの精神で

⇒お目当てのランナーが通ればついつい前に出て写真を撮りたくなるもの。でも沿道で押し合うのは危険なので、無理のない観戦を心がけましょう。



## Message from the Tokyo Marathon Cheer with manners!

Those who cheer the runners should also follow manners so that everyone involved with the race can enjoy it.

### ● Use public transportation

⇒ Since there will be traffic on the day of the race, use public transportation such as trains and subways.

### ● Refrain from riding bicycles

⇒ Please avoid using bicycles on the day of the race. If you do use your bicycle, we kindly ask that you take a detour around the marathon's course. Also note that parking for bicycles will not be available at the finish area (Tokyo Big Site) on the day of the race, so please use public transportation to get there.

### ● Do not place flags along the course

⇒ Some people place flags and banners along the course, but since this violates the rules concerning public presentation, refrain from doing this.

### ● Do not stop in the middle of the pedestrian overpass

⇒ People would want to stop in the middle of the pedestrian overpass built across the course to cheer the runners, but since there is risk of traffic leading to danger, refrain from doing this.

### ● Share positions on roadside

⇒ People would want to go in front to take photos if their target runner passes by. However, since it is dangerous to push on the roadside, watch the race with care.



# 緊急時対応

## Contingency Operation

### ランナーの方へのお願い Request to runners

#### ■大きな揺れを感じたときは

東京都内において震度5強以上の震災が発生した際は、大会主催者の判断により、マラソン大会は中止となります。大きな揺れを感じた場合、または、コース上の大会スタッフよりアナウンスがあった場合は、周囲の状況を見ながら、無理をせず走行を中止してください。

#### ■ If you feel a large earthquake

If a magnitude 5 or higher earthquake occurs in the Tokyo metropolitan area the marathon may be halted at the organizer's discretion. If you feel the tremors, or if there is an announcement from staff on the course, please calmly stop running while checking the surrounding situation.

#### ■走行中止後の待機場所

- ・走行中止後は、コース上の大会スタッフの指示に従い、行動してください。
- ・大会スタッフの指示があるまでは、原則、その場で待機をお願いします。
- ・コース上は緊急車両が通行することがありますので、脇によけ、コース中央付近には留まらないようご協力をお願いいたします。

#### ■ Waiting area after discontinuation of marathon

- ・ After discontinuation of the marathon, please follow the instructions of the event staff on the course.
- ・ In principle, please wait where you are until the event staff provide instructions.
- ・ Emergency vehicles may pass on the course, so please wait at the side rather than the middle of the course.

#### ■ケガをされた場合、ケガ人を発見された場合

ケガをされた場合、もしくは、けが人を発見された場合は、すぐに付近の大会スタッフにお知らせください。

#### ■ If you are injured or if you find an injured person

If you are injured or if you find an injured person, inform the event staff right away.

#### ■レース中の持ち物について

ランナーの方はできる限り、以下の持ち物を携帯してレースにご参加ください。

#### ■ Regarding carrying items during the race

Runners should carry the following items during the race as far as possible.



スマートフォン、または、携帯電話  
(帰宅時の連絡手段)  
Smartphone or mobile phone  
(for contact for going home)



交通系ICカード  
(帰宅時の交通手段)  
Public transportation IC card  
(for transportation for going home)

#### ■心の備えのために

大会参加にあたっては、下記ホームページの情報を、ぜひ事前にご覧ください。

#### ■ For preparation

Before participating in the marathon, please check the following website in advance.

東京防災ホームページ  
Tokyo Metropolitan disaster prevention website

[www.bousai.metro.tokyo.jp/](http://www.bousai.metro.tokyo.jp/)

### In the case of emergency evacuation

If evacuation is necessary, depending on the location, event staff will guide runners to the following shelters. Please move to the shelters, following the instructions of the event staff.

1	Shinjuku Central Park Garden	2-11-1 West Shinjuku, Shinjuku-ku
2	Shinjuku Gyoen	11 Naito-machi, Shinjuku-ku
3	Korakuen Park, Koishikawa	1-6-6 Korakuen, Bunkyo-Ku
4	Imperial Gaien	1-1 Imperial Gaien, Chiyoda-ku
5	Hibiya Park	Chiyoda-ku, Hibiya Park 1
6	Shiba Park	4-10-17 Shiba Park, Minato-ku
7	Shibaura Central Park	1-4-1 Minato Minami, Minato-ku
8	Hama-Cho Park	2-59 Nihonbashi Hama-Cho, Chuo-ku
9	Sumida Park	1-1 Hanakawado, Taito-ku
10	Akatsuki Park	7-9 Tsukiji, Chuo-ku
11	Shintsukushima Park	1-3-29 Harumi, Chuo-ku
12	Toyosu Park	2-2 Toyosu, Koto-ku
13	Ariake Tennis Forest Park	2-2-22 Ariake, Koto-ku
14	Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park	Ariake 3, Koto-ku
15	Tokyo Big Sight	3-11-1 Ariake, Koto-ku

### If you have difficulty returning home

If you have difficulty returning home from the runners' shelter, among multiple facilities, the major facilities close to the course that offer temporary accommodation are as follows.

1	Tokyo Tocho	2-8-1 West Shinjuku, Shinjuku-ku
2	Tokyo International Forum	3-5-1 Marunouchi, Chiyoda-ku
3	Edo Tokyo Museum, Tokyo	1-4-1 Yokozuna, Sumida-ku
4	Tokyo Metropolitan and Modern Art Museum	4-1-1 Miyoshi, Koto-ku
5	Ariake Tennis Forest Park Tennis Facility	2-2-22 Ariake, Koto-ku
6	Tokyo Big Sight	3-11-1 Ariake, Koto-ku

Please see P.3 for the course map.



BU788

Please call me!  
TOKYO 2013 International Friendship Run  
フレンドシップラン



TOKYO  
MARATHON  
2016

関連イベント  
RELATED EVENTS

## 関連イベント Related Events



2月1日(月)～2月29日(月)  
東京都心  
[www.marathon.tokyo/events/week/](http://www.marathon.tokyo/events/week/)

February 1-29  
Central Tokyo  
[www.marathon.tokyo/en/events/week/](http://www.marathon.tokyo/en/events/week/)

→ P148-149



2月25日(木) 26日(金) 27日(土)  
11:00-21:00 (ランナー受付は20:30まで)  
最終日は20:00まで (ランナー受付は19:30まで)  
東京ビッグサイト西展示棟  
[www.marathon.tokyo/events/expo/](http://www.marathon.tokyo/events/expo/)

February 25-27  
The venue will be open for entry until 8:30pm  
The last day close at 7:30pm  
Tokyo Big Sight West Hall  
[www.marathon.tokyo/en/events/expo/](http://www.marathon.tokyo/en/events/expo/)

→ P142-145



2月27日(土) 10:30-13:00  
臨海副都心シンボルプロムナード公園～東京ビッグサイト内  
東京マラソン2016フィニッシュゲート  
[www.marathon.tokyo/events/family-run/](http://www.marathon.tokyo/events/family-run/)

February 27, 10:30am-1:00pm  
Symbol Promenade Park - Tokyo Big Sight -  
Tokyo Marathon 2016 Finish Gate  
[www.marathon.tokyo/en/events/friendship-run/](http://www.marathon.tokyo/en/events/friendship-run/)

→ P146



2月28日(日) 15:30-16:00  
東京臨海広域防災公園～東京ビッグサイト内  
マラソンフィニッシュゲート  
[www.marathon.tokyo/events/family-run/](http://www.marathon.tokyo/events/family-run/)

February 28, 3:30pm-4:00pm  
Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park -  
Tokyo Big Sight - Tokyo Marathon 2016 Finish Gate  
[www.marathon.tokyo/en/events/family-run/](http://www.marathon.tokyo/en/events/family-run/)

→ P147



10回記念大会アフターラン・サンクスパーティー  
2月28日(日) 12:00-16:30  
東京ビッグサイト西展示棟 4F  
[www.marathon.tokyo/anniversary-project/after-run/](http://www.marathon.tokyo/anniversary-project/after-run/)

10th Anniversary After-Run Thanks Party  
February 28, 0:00pm-4:30pm  
Tokyo Big Sight West Hall 4F  
[www.marathon.tokyo/news-media/files/300268644.pdf](http://www.marathon.tokyo/news-media/files/300268644.pdf)

→ P12-13



2月28日(日)  
マラソンコース沿道及び祭りメイン会場  
[www.tokyo42195festa.tokyo/](http://www.tokyo42195festa.tokyo/)

February 28  
Shows are along the course and beside the FINISH stand  
[www.tokyo42195festa.tokyo/](http://www.tokyo42195festa.tokyo/)

→ P150-153



# RELATED EVENTS

---

[www.marathon.tokyo/](http://www.marathon.tokyo/)

- 142** **東京マラソンEXPO 2016**

---

Tokyo Marathon EXPO 2016
- 146** **東京マラソンフレンドシップラン 2016**

---

Tokyo Marathon Friendship Run 2016
- 147** **東京マラソンファミリーラン 2016**

---

Tokyo Marathon Family Run 2016
- 148** **東京マラソンウィーク 2016**

---

Tokyo Marathon Week 2016
- 150** **マラソン祭り**

---

MARATHON FESTA

# 東京マラソンEXPO 2016



「東京マラソン」に先立ち、東京マラソンのフィニッシュ地点である東京ビッグサイト（有明）で毎年開催される「東京マラソン EXPO」。

ナンバーカードをお渡ししてエントリーを行う3万7千人のランナーを含め、ランニング愛好者や健康志向の高い人たちなど、約10万人が来場します。

東京マラソンを盛り上げるイベントとしてどなたでも入場無料でお楽しみいただけます。

Tokyo Marathon EXPO takes place every year in the runup to the Tokyo Marathon. It is held at Tokyo Big Sight (Ariake), which is also the finish line for the marathon itself.

We expect to attract around 100,000 visitors to the event, including running enthusiasts and health conscious individuals, as well as the 37,000 runners who will be coming to pick up their bib numbers. As an event to celebrate the Tokyo Marathon, the EXPO is free for everyone to come along and enjoy.

## 10回目を迎える東京マラソン EXPO の新たな取り組み

今回10回目の「東京マラソン EXPO2016」のテーマは「RUNNING LIFE STYLE」。

「走るだけじゃない、楽しいランニングライフスタイル」にフォーカスしながら、毎年進化を続ける東京マラソン EXPO が2015年の「ランナーズパーク」に続き、新たにコンセプトゾーンを設置いたします。

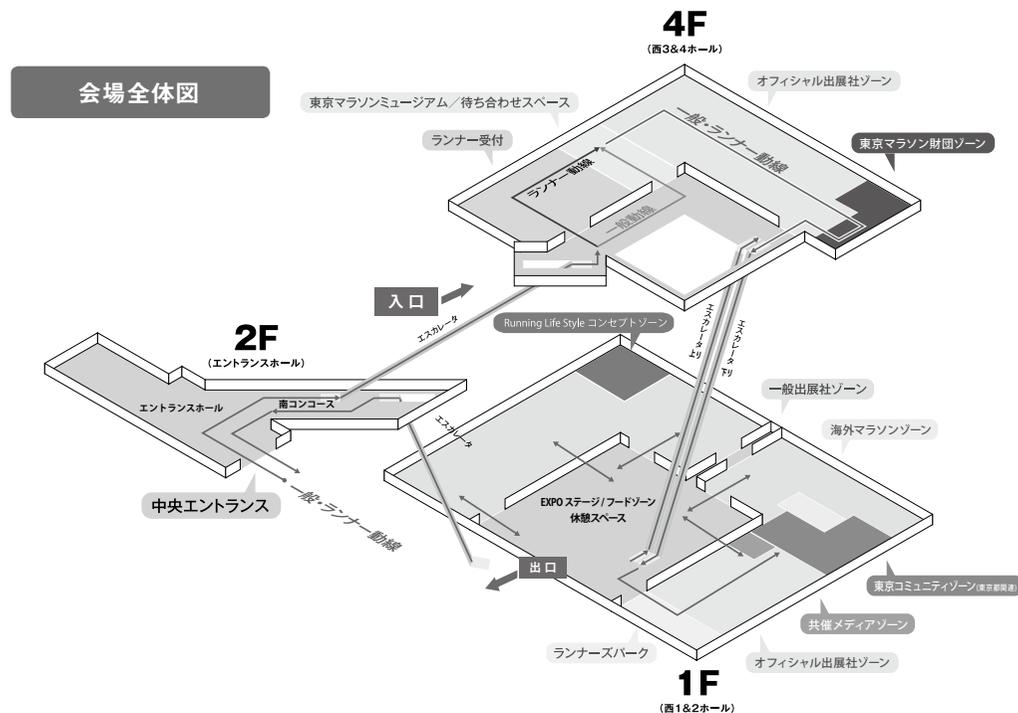
ランニングとかけ合わせることで、日常生活がさらに充実するためのアイテムやサービスなどをご紹介します。

会場：東京ビッグサイト 西展示棟  
 2016年2月25日（木）26日（金）27日（土）  
 入場無料

主催：一般財団法人 東京マラソン財団  
 開催時間 11:00 から 21:00 まで（ランナー受付は 20:30 まで）  
 最終日は 20:00 まで（ランナー受付は 19:30 まで）

TOKYO BIG SIGHT West Exhibition Hall  
 Feb.25 (Thu), 26 (Fri), 27 (Sat), 2016  
 admission free

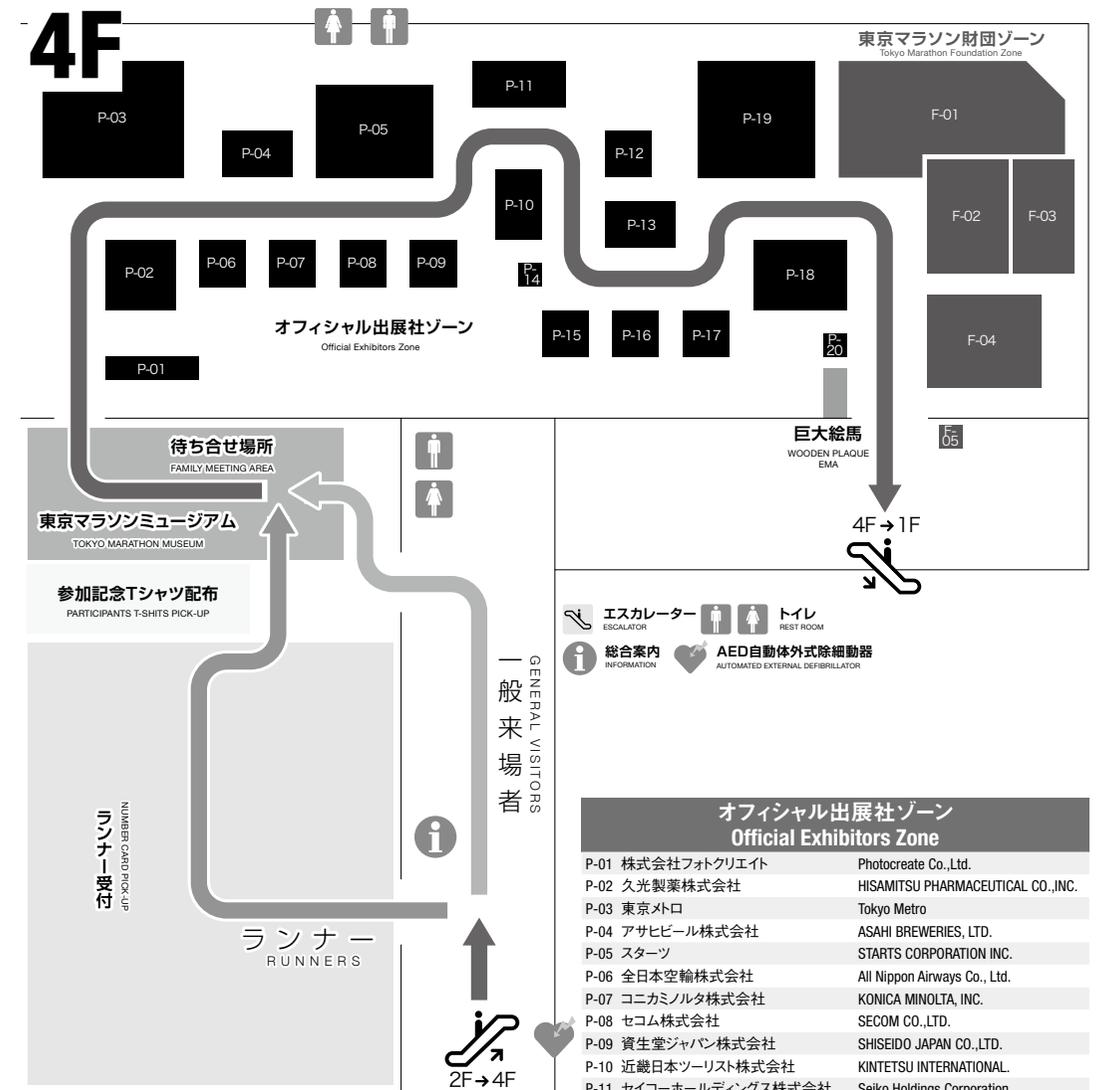
Organizer: Tokyo Marathon Foundation  
 The venue will be open for entry until 8:30P.M.  
 The last day close at 7:30P.M.



# TOKYO MARATHON EXPO 2016

- プレズツアー < 2/25(木) 9:30 ~ ※受付は 9:15 ~ >  
 『プレズツアー』として、開催初日にメディア向けに EXPO 会場内をご案内します。
- オープニング < 2月25日(木) 10:45 ~ >  
 4Fのランナー入口前にて EXPO のオープニングを行います。

## 出展ブース案内図 Exhibitor Guide



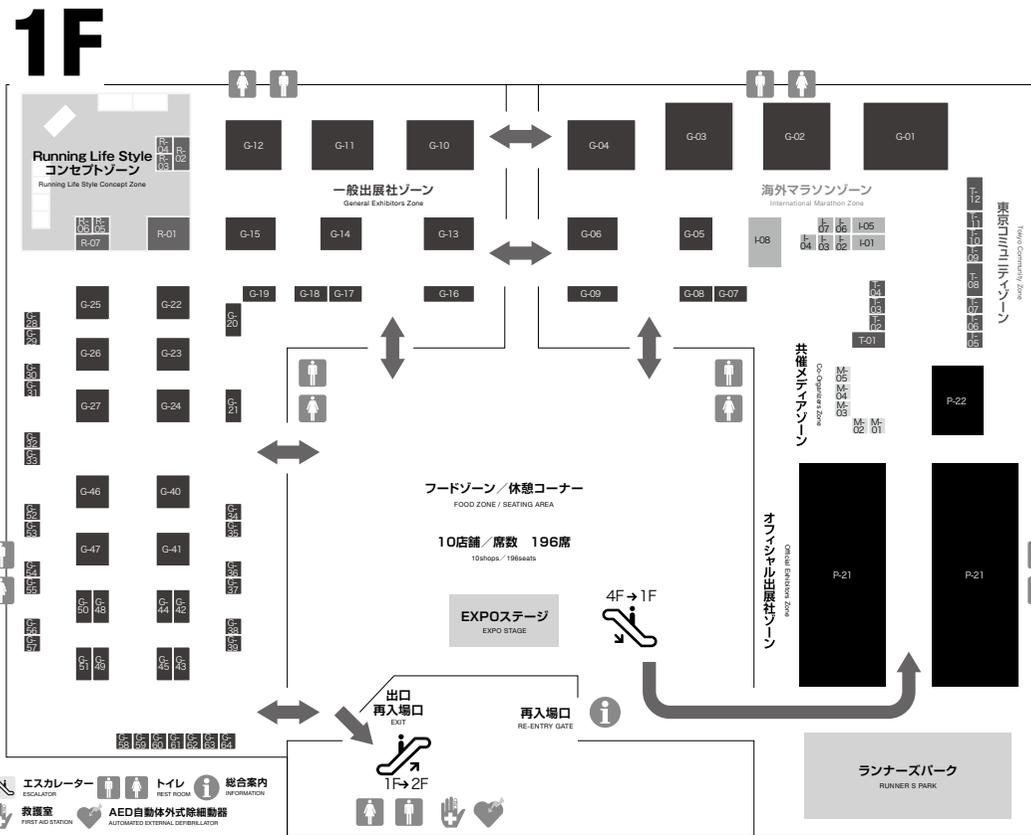
- エスカレーター ESCALATOR
- トイレ REST ROOM
- 総合案内 INFORMATION
- AED自動体外式除細動器 AUTOMATED EXTERNAL DEFIBRILLATOR

オフィシャル出展社ゾーン Official Exhibitors Zone	
P-01 株式会社フォトクリエイティブ	Photocreate Co.,Ltd.
P-02 久光製薬株式会社	HISAMITSU PHARMACEUTICAL CO.,INC.
P-03 東京メトロ	Tokyo Metro
P-04 アサヒビール株式会社	ASAHI BREWERIES, LTD.
P-05 スターツ	STARTS CORPORATION INC.
P-06 全日本空輸株式会社	All Nippon Airways Co., Ltd.
P-07 コニカミノルタ株式会社	KONICA MINOLTA, INC.
P-08 セコム株式会社	SECOM CO.,LTD.
P-09 資生堂ジャパン株式会社	SHISEIDO JAPAN CO.,LTD.
P-10 近畿日本ツーリスト株式会社	KINTETSU INTERNATIONAL
P-11 セイコーホールディングス株式会社	Seiko Holdings Corporation
P-12 株式会社セブン・イレブン・ジャパン	Seven-Eleven Japan Co.,Ltd.
P-13 第一生命保険株式会社	The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited
P-14 日本光電	NIHON KOHDEN
P-15 株式会社みずほ銀行	Mizuho Bank, Ltd.
P-16 カゴメ株式会社	KAGOME CO.,LTD.
P-17 アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.	American Express International, Inc.
P-18 大塚製薬株式会社	Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.
P-19 ビー・エム・ダブリュー株式会社	BMW Japan Corp.
P-20 国士舘大学	Kokushikan University

東京マラソン財団ゾーン Tokyo Marathon Foundation Zone	
F-01 東京マラソン 2016 オフィシャルショップ	TOKYO MARATHON 2016 OFFICIAL SHOP
F-02 東京マラソン財団	Tokyo Marathon Foundation
F-03 東京マラソン 2016 チャリティ	TOKYO MARATHON 2016 CHARITY
F-04 ONE TOKYO ラウンジ	ONE TOKYO LOUNGE
F-05 東京マラソンウィーク 2016	TOKYO MARATHON WEEK 2016

# 東京マラソンEXPO 2016

# TOKYO MARATHON EXPO 2016



- エスカレーター ESCALATOR
- トイレ REST ROOM
- 総合案内 INFORMATION
- 救護室 FIRST AID STATION
- AED自動体外式除細動器 AUTOMATED EXTERNAL DEFIBRILLATOR

## ランナーズパーク Runners Park

アシックスによる自分に合ったシューズ選びのための足型測定。  
ランナーに役に立つスポーツ効果計測。  
ケガ防止のためのストレッチ&整体サービス。  
講師による東京マラソン攻略法など、様々な体験型お楽しみコンテンツが EXPO 会場に登場!

## EXPO ステージ EXPO Stage

ゲストによるトークショーや記者発表、音楽イベント、海外マラソンの紹介など、EXPO からの最新情報など様々なエンターテインメントが盛りだくさん!

### ■ステージスケジュール

26日(木)		27日(土)	
14:30 ~ 15:30	G-49	11:00 ~ 11:30	I-08
16:00 ~ 16:30	Running Life Style	12:00 ~ 12:50	フレンドシップラン
17:00 ~ 17:30	Running Life Style	14:00 ~ 14:30	T-03
		15:00 ~ 15:30	G-41
		16:00 ~ 16:30	R-04
	17:45 ~ 18:30		マラソン祭り& T-12

※上記スケジュールは予告なしに変更する場合がございます

## オフィシャル出展社ゾーン Official Exhibitors Zone

- P-21 アシックスジャパン株式会社 ASICS Japan Corporation
- P-22 山崎製パン株式会社 Yamazaki Baking Co., Ltd.

## 東京コミュニティゾーン Tokyo Community Zone

- T-01 東京観光情報センター Tokyo Tourist Information Center
- T-02 東京都建設局 Bureau of Construction, Tokyo Metropolitan Government
- T-03 東京都中央卸売市場 Tokyo Metropolitan Central Wholesale Market
- T-04 東京都行政書士会 Gyoseishoshi Lawyers of Tokyo
- T-05 新宿区 Shinjuku City
- T-06 千代田区 Chiyoda City
- T-07 港区観光協会 MINATO Travel & Tourism Association
- T-08 中央区観光協会 Chuo City Tourism Association
- T-09 台東区 TAITO CITY
- T-10 江東区 Koto City
- T-11 ラグビーワールドカップ 2019 Rugby World Cup 2019
- T-12 東京都パラリンピック体験プログラム [NO LIMITS CHALLENGE] Paralympic sports discovery programme [NO LIMITS CHALLENGE]

## 共催メディアゾーン Co-Organizers Zone

- M-01 読売新聞社 THE YOMIURI SHIMBUN
- M-02 日テレジータス NitteleG+
- M-03 フジテレビジョン FUJI TELEVISION
- M-04 産経新聞社 THE SANKEI SHIMBUN
- M-05 東京新聞 THE TOKYO SHIMBUN

## 一般出展社ゾーン General Exhibitors Zone

- G-01 株式会社ニューバランス ジャパン New Balance Japan, Inc.
- G-02 GOLDWIN RUNNERS VILLAGE (THE NORTH FACE / CSIR / DANSKIN) GOLDWIN RUNNERS VILLAGE (THE NORTH FACE / CSIR / DANSKIN)
- G-03 CW-X (株式会社ワコール) CW-X (WACOAL CORP.)
- G-04 株式会社ジェイアイエヌ JIN CO., LTD.
- G-05 タビオ株式会社 TABIO Corporation
- G-06 BODYMAKER BODYMAKER
- G-07 FOOTMAX (3D SOX) FOOTMAX (3D SOX)
- G-08 株式会社マスターズアイプロテクションジャパン Masters Eye Protection Japan Ltd.
- G-09 ラフィネ Raffine
- G-10 株式会社デサント(デサント/スキンス/イノヴェイト) DESCENTE LTD. (DESCENTE / SKINS / inov-8)
- G-11 株式会社アルペン スポーツデポ SPORTS DEPO
- G-12 ファイテン株式会社 Phiten Co., Ltd.
- G-13 On On
- G-14 ヨネックス株式会社 YONEX CO., LTD.
- G-15 R x L (アールエル) R x L
- G-16 バウアーファインド(バウフィックサブライ株式会社) Bauerfeind AG (Pacific Supply CO.,LTD.)
- G-17 株式会社ジーオーエス/鈴鹿かまぼこ株式会社 GON Co., Ltd. / SUZUHIRO KAMABOKO CO.,LTD.
- G-18 株式会社ツインズ TWINS CORPORATION
- G-19 塩熱サプリー(ミドリ安全株式会社) ENNETSU-SAPURI (MIDORI ANZEN CO., LTD.)
- G-20 国境なき医師団 Médecins Sans Frontières
- G-21 株式会社D&M D&M Co., Ltd
- G-22 GARMIN GARMIN
- G-23 ユニテスポーツブランド株式会社(マクダビッド) United Sports Brands Japan Inc. (McDavid)
- G-24 ピップ株式会社 PIP CO.,LTD.
- G-25 ザムスト/カスタムバランス(日本シグマックス株式会社) ZAMST / CUSTOMBALANCE (NIPPON SIGMAX CO.,LTD.)
- G-26 有限会社パワースポーツ POWER SPORTS INC.
- G-27 エプソン販売株式会社 Epson Sales Japan Corp.
- G-28 株式会社アミューグループ (AthleteX) Amique Group Co., Ltd. (AthleteX)

- G-29 株式会社メダリスト・ジャパン MEDALIST JAPAN Co.,Ltd
- G-30 SOMANIKS SOMANIKS
- G-31 樫出版社 ランニング・スタイル EI-publishing Co Ltd.
- G-32 JOGLIS / TOKYO リレーマラソンフェスティバル 2016 JOGLIS / TOKYO RELAY MARATHON FESTIVAL 2016
- G-33 アスタリアル株式会社 AstaReal Co., Ltd.
- G-34 井村屋株式会社 IMURAYA CO.,LTD.
- G-35 AERA (朝日新聞出版) AERA (Asahi Shimbun Publications)
- G-36 会津磐梯山・猪苗代湖合宿の郷を創る協議会 The council to establish the best place of training camp around Mt. Aizubetsu, Lake Inashima.
- G-37 春日井製菓株式会社 KASUGAI SEIKA CO.,LTD.
- G-38 ポラール・エレクトロ・ジャパン株式会社 Polar Electro Japan K.K.
- G-39 WWD ジャパン WWD JAPAN
- G-40 SVOLME / 株式会社 VOLUME SVOLME / VOLUME CO.,LTD
- G-41 SAUCONY JAPAN SAUCONY JAPAN
- G-42 江崎グリコ株式会社 POWER PRODUCTION EZAKI GLICO CO.,LTD. POWER PRODUCTION
- G-43 東和薬品 TOWA PHARMACEUTICAL CO., LTD.
- G-44 L-BALANCE EYES (株式会社デューク) L-BALANCE EYES (DUKE Co.,Ltd.)
- G-45 スポーツジューン SPORTS ZYUEN
- G-46 ヤーバックス / JBL スポーツイヤホン yurbuds™ / JBL sport headphones
- G-47 興和株式会社 KOWA COMPANY,LTD.
- G-48 MEDALIST / Spenco MEDALIST / Spenco
- G-49 三井製糖株式会社 Mitsui Sugar Co.,Ltd.
- G-50 味の素株式会社「アミノバイタル®」 AJINOMOTO CO., INC.
- G-51 Runtastic for docomo Runtastic for docomo
- G-52 ランライフ RUNLIFE
- G-53 シーオス株式会社 SEOS Inc.
- G-54 TomTom TomTom
- G-55 株式会社エントリージャパン Entry Japan K.K.
- G-56 テレパス化粧品株式会社 TELEPATH COSMETICS,Inc.
- G-57 KT TAPE・FlipBelt JAPAN KT TAPE・FlipBelt JAPAN
- G-58 Tarzan Tarzan
- G-59 大阪マラソン Osaka Marathon
- G-60 STANCE SOCKS (スタンス ソックス) STANCE SOCKS
- G-61 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 Nissha Printing Communications, Inc.
- G-62 青梅マラソン大会 THE OHME 30&10km RORD RACE
- G-63 マルサンアイ株式会社 MARUSAN-AI Co., Ltd.
- G-64 株式会社シーボン C' BON

## 海外マラソンゾーン International Marathon Zone

- I-01 タイ国政府観光庁 TOURISM AUTHORITY OF THAILAND
- I-02 WE RUN ITALY WE RUN ITALY
- I-03 Volkswagen プラハマラソン Volkswagen Prague Marathon
- I-04 BMW ベルリンマラソン BMW BERLIN-MARATHON
- I-05 グアム政府観光局 GUAM VISITORS BUREAU
- I-06 Zurich バルセロナマラソン Zurich Barcelona Marathon
- I-07 ゴールドコーストマラソン GOLD COAST AIRPORT MARATHON
- I-08 インドネシア共和国観光省 MINISTRY OF TOURISM OF REPUBLIC INDONESIA

## Running Life Style コンセプトゾーン Running Life Style Concept Zone

- R-01 ソニーマーケティング株式会社 Sony Marketing (Japan) Inc.
- R-02 MUSASHI MUSASHI
- R-03 サントリー天然水ウォーターサーバー SUNTORY NaturalMineralWater WaterServer
- R-04 AWA AWA
- R-05 株式会社ケンコー社 KENKOSYA, LTD
- R-06 クラシエホームプロダクツ株式会社 Kracie Home Products, Ltd.
- R-07 マラソンアイランドオキナワ Marathon Islands Okinawa

※平成 26 年 2 月 4 日現在

# 東京マラソンフレンドシップラン2016

## Tokyo Marathon Friendship Run 2016

### Friendship Run TOKYO MARATHON 2016

海外のランナーと交流できる  
ファンランも。

海外からお越しのランナーへのおもてなしと交流を目的としたファンランイベントです。東京マラソンの前日、有明にて開催しています。湾岸エリアを走り、東京マラソンのフィニッシュゲートを目指す約5kmのコースです。日本の伝統文化の観賞や日本人ランナーとボランティアとのふれあいを体感していただけます。You will experience the true Japanese hospitality "OMOTENASHI"

イベント名称：東京マラソン フレンドシップラン 2016  
開催日時：2016年2月27日（土）10時30分スタート  
主催：一般財団法人東京マラソン財団  
共催：一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会  
後援：東京都、観光庁、東京臨海副都心グループ  
協賛：近畿日本ツーリスト株式会社  
開催場所：パナソニックセンター東京、東京ビッグサイトほか（コース距離約5km）  
参加対象者：東京マラソン2016に出場予定の海外ランナー及びその同伴者ほか、一般申込者  
定員：1,500人  
参加料：3,000円（税込）  
※12:00～より東京マラソンEXPO2016会場EXPOステージにてフレンドシップランステージを実施

### Meet Runners from Other Countries at the Friendship Run!

Held the day before the Tokyo Marathon, the Friendship Run is an event designed to welcome and promote exchanges with runners visiting from overseas. Participants will run the nearly 5 kilometer course through the Bayside area to the Tokyo Marathon finish line. Those taking part in the Friendship Run have the opportunity to experience traditional Japanese culture, and to interact with Japanese runner, volunteers.

Event Name  
TOKYO MARATHON Friendship Run 2016  
Date & Time  
February 27th, 2016 10:30am (rain-or-shine)  
Organizer  
Tokyo Marathon Foundation  
Co-organizer  
Tokyo Waterfront City Association  
Supporting Organizations (tentative)  
Tokyo Metropolitan Government, Japan Tourism Agency, Tokyo Rinkai Fukutoshin Group  
Presenting Sponsor  
Kinki Nippon Tourist Co., Ltd.  
Cooperating Organization  
Panasonic Center Tokyo  
Venue  
Panasonic Center Tokyo and Tokyo Big Sight (Course Length: about 5km)  
Eligibility  
Runners from overseas registered for Tokyo Marathon 2016 and their companions  
(friends and family), general applicants.  
Capacity  
Friendship Run: 1,500 persons (\* First-come-first-served)  
Fee  
JPY 3,000  
\*Friendship Run Special Stage will be held from 0:00 pm in the stage of Tokyo Marathon EXPO 2016.

TOKYO MARATHON DATA		フレンドシップラン2015 参加者データ Friendship Run 2015 Event Data																									
 開催日 Date	2015年2月21日 February 21, 2015																										
 気象(12:30時点) Weather (at 12:30)	晴れ Sunny																										
 参加者数 Entrants	1,314人 1,314 persons																										
 国籍別参加者数(上位20ヵ国) Number of entrants by nationality (top 20 countries)	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>USA  84</td> <td>TPE  66</td> <td>HKG  65</td> <td>BEL  61</td> <td>GBR  58</td> <td>GER  51</td> </tr> <tr> <td>BRA  38</td> <td>MAS  37</td> <td>INA  33</td> <td>AUS  32</td> <td>SIN  31</td> <td>CHN  28</td> </tr> <tr> <td>THA  18</td> <td>IND  17</td> <td>PHI  16</td> <td>MEX  15</td> <td>DEN  14</td> <td>ITA  13</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>JPN  533</td> </tr> </tbody> </table>			USA  84	TPE  66	HKG  65	BEL  61	GBR  58	GER  51	BRA  38	MAS  37	INA  33	AUS  32	SIN  31	CHN  28	THA  18	IND  17	PHI  16	MEX  15	DEN  14	ITA  13						JPN  533
USA  84	TPE  66	HKG  65	BEL  61	GBR  58	GER  51																						
BRA  38	MAS  37	INA  33	AUS  32	SIN  31	CHN  28																						
THA  18	IND  17	PHI  16	MEX  15	DEN  14	ITA  13																						
					JPN  533																						



# 東京マラソンファミリーラン2016

## Tokyo Marathon Family Run 2016

# FAMILY RUN

## TOKYO MARATHON 2016

### 親子でも楽しめるファミリーラン!

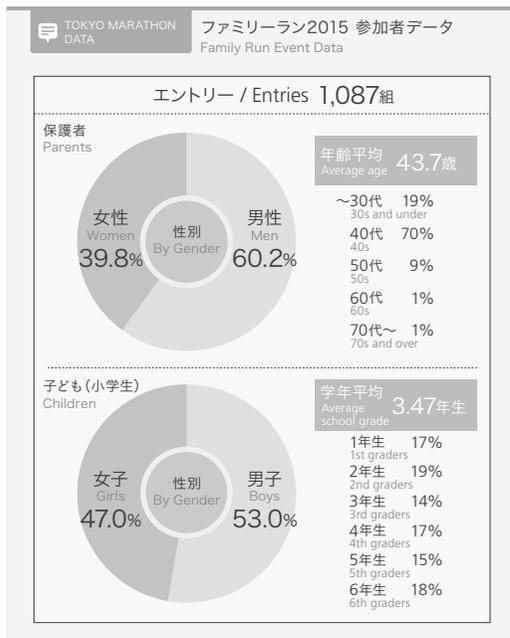
小学生と保護者のペアが対象となる、約2kmのファンランイベントです。東京マラソンの同日に開催しています。東京マラソンのコースの一部を走り、42.195kmを走るランナーとともに同じフィニッシュゲートを走り抜けます。子どもたちに「走る喜び」や「東京がひとつになる日。」を体験してもらい、スポーツの素晴らしさを知ってもらう機会として位置付けています。

イベント名称：東京マラソン ファミリーラン 2016  
 開催日時：2016年2月28日（日）15時30分スタート  
 主催：一般財団法人東京マラソン財団  
 共催：東京都、国営東京臨海広域防災公園（予定）  
 協力：国土館大学  
 開催場所：東京臨海広域防災公園～東京ビッグサイト内マラソンフィニッシュゲート  
 1,2,3年生（コース距離約1.1km）、4,5,6年生（コース距離約1.8km）  
 参加資格：保護者1人と小学生1人のペア※20分以内で完走きるペア  
 定員：1,000組 2,000人  
 参加料：ペア1組3,000円（税込）

### Family Run for Both Children and Their Parents!

The Tokyo Marathon Family Run is held on the same day as the main event, enabling parents and young children to take part together. Participants will run a short section of the Tokyo Marathon route and cross the same finish line as the runners along the main event. We think this is an ideal opportunity to show families just how exciting sports can be, by sharing in the Joy of Running and experiencing The Day We Unite.

Event Name  
 TOKYO MARATHON Family Run 2016  
 Date & Time  
 February 28th, 2016 3:30 pm  
 Organizer  
 Tokyo Marathon Foundation  
 Co-organization  
 Tokyo Metropolitan Government, The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park (Tentative)  
 Official Suppliers  
 Kokushikan University  
 Course  
 Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park to Marathon Finish Gate  
 Eligibility  
 Pair of an adult (guardian) and a child (elementary student) ※  
 Adult/child pairs that are capable of competing the race under 20 minutes  
 Maximum number of entrants : 1,000 pairs, 2,000 persons  
 Fee  
 JPY 3,000



# 東京マラソンウィーク2016

# TOKYO MARATHON WEEK 2016

“東京がひとつになる日。” に向けて  
for “The Day We Unite.”



## 東京マラソンウィークとは

東京マラソンが開催される間際の数週間を「東京マラソンウィーク」と題し、東京中を東京マラソン一色にして大会を盛り上げていく企画です。

ランナーとして参加する人、ボランティアとして支える人、コース沿道で応援する人も「東京がひとつになる日。」に向けて、みんなで一緒に盛り上げていきましょう!コース沿道の商店街やランナーサポート施設、アンテナショップ等では、コラボレーションイベントや様々な特典で歓迎してくれます。



ランニングマップ  
Running Map



缶バッジ  
Pins

## 主なイベント

■ 2月3日(火)

### 節分ランニングクリニック

増上寺(港区芝)、浅草寺(台東区浅草)での豆まき行事には、早野レースディレクター、ウィーク宣伝部長のM高史さんと瀬古利彦さん(東京マラソン評議員)が登壇しました。

### (1) プロに教わる節分クリニック

〈主催〉ランナーズサロン ラブスポ東京

・講師: DeNA ランニングクラブ育成・普及担当コーチ

柴田尚輝コーチ

DeNA ランニングクラブ育成・普及担当コーチ

中村孝生コーチ

・イベント開催時間 14:30 ~ 16:00

### (2) Let's enjoy! 豆まき & ランニングクリニック

・講師: M 高史さん

・アドバイザー: 瀬古利彦さん

・イベント開催時間 14:00 ~ 17:30

■ 2月15日(月) ~ 2月28日(日)

### 浅草商店連合会 浅草スタンプラリー

■ 2月27日(土)

### 東京タワー 東京マラソン 2016 前日特別ライトアップ

点灯時間 18:30 頃 ~ 22:00

## What is Tokyo Marathon Week?

Scheduled for the weeks leading up to the Tokyo Marathon, Tokyo Marathon Week is a project designed to lift up spirits and bring together all of Tokyo in support of the Tokyo Marathon. Directed mainly at participating runners, volunteers providing various support, and spectators cheering on the runners along the course, its goal is to liven up the atmosphere around the event and excite people to make race day 'The Day We Unite.' Along the course, roadside arcades, runner support facilities and antenna shops will all be collaborating to provide a hearty welcome with a broad range of events and attractions.

## 東京マラソンウィーク2016宣伝部長 ものまねアスリート芸人・M高史さん



＜経歴＞  
駒澤大学陸上競技部OB(駅伝主務)福祉施設職員を経て、4年前から「ものまねアスリート芸人」として活動。東京マラソンウィーク2015、2016宣伝部長・北海道マラソンアンバサダー・かすみがうらマラソン大学ランニングゼミ講師・会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会PR大使・その他、国内100大会以上でゲストランナーを務める。

＜自己ベスト＞  
フルマラソン 2時間40分34秒  
＜その他＞

### ●資格

教員免許(中学社会・高校公民)・社会福祉主事・障がい者スポーツ指導員(初級)・介護予防指導員

### ●活動

視覚障がいアスリートの伴走・ベビー&キッズウクレレセラピー・福祉施設訪問(ものまね体操)

### <Self-introduction>

I'm M Takashi!

I'm a comedian and the PR captain for Tokyo Marathon Week 2016.

Let's all enjoy Tokyo Marathon 2016!

### <Career>

Tokyo Marathon Week PR Captain (2015-2016)・Hokkaido Marathon Ambassador・Kasumigaura Marathon Ambassador・Aizu-wakamatsu City Tsurugajo Half Marathon PR Ambassador

### <Best record>

Full marathon 2:40:34

### <License>

Teacher's license (junior high and high school's social study)・Social work officer's license・Japanese Para-Sports Association's license



## 東京マラソンウィーク 2016 参加施設・企業一覧

※下線付きの施設では缶バッジを配布  
(配布方法は各施設にて異なります)

### ■ランナーサポート施設・クラブ

ATR 半蔵門 / BEAMS & WINDS STATION GOLF & RUNNING / GO.FIELD アソシエイツ / MARUNOUCHI Bike&Run / NOHARA by MIZUNO / Run Pit by au Smart Sports / SWAC (ランニングクラブ) / アシックスストア小田急新宿店スポーツ(小田急新宿店別館ハルク2F) / アシックスストア東京 / アシックスストア原宿 / ジョグポート有明 / テン・オーバー・ナイン ランキューブ 神田錦町 / テン・オーバー・ナイン ランキューブ 両国テラス / ランナーズサロン ラブスポ東京 / ランナーズステーション(麹町店) / ランニングステーション キララ / 半蔵門ランナーズサテライト JOGLIS / EN ROUTE GINZA

### ■アンテナショップ

北海道どんこプラザ有楽町店 / かごま遊楽館 / 食の國 福井館 / とっとり・おかやま新橋館 / 奈良まほろば館 / にほんばし島根館 / 日本橋ふくしま館 MIDETTE / まるごと高知 / 三重テラス / 銀座熊本館 / 香川・愛媛せとうち旬彩館

### ■商店街・商業施設

アクアシティお台場・メディアージュ / 有明パークビル / ヴィナスフォート / ダイバーシティ東京プラザ / デックス東京ビーチ / TFTビル / ホテルトラステイ東京ベイサイド Cuore (クオーレ) / 浅草商店連合会 / 天王洲郵船ビル NAGI / 武蔵野大学 / 豊洲シエルコート商店会 / 豊洲商友会 / 有明セントラルタワー

### ■レストラン・カフェ

ホテルサンルート有明「創業 Patio」 / 英会話バー & カフェ LanCul Jiyugaoka / 英会話バー & カフェ LanCul Shimokitazawa / 東京ベイコート倶楽部 リストランテ OZIO (オッツィオ)

### ■観光施設・名所

大観音寺 / パナソニックセンター東京 / フジテレビ / 東京タワー

### ■宿泊施設

Hilton Tokyo Odaiba / 京王プラザホテル / ハートンホテル 東品川 レストラン REGINA / ホテル グランパシフィック LE DAIBA / 東京ベイ有明ワシントンホテル / 豪華カプセルホテル安心お宿 新宿店 / 豪華カプセルホテル安心お宿プレミア 新橋駅前店

### ■銭湯・サウナ

オアシスサウナアスティル(男性専用サウナ) / バン・ドゥー・シュ / みどり湯 / 旭湯 / 亀の湯 / 月光泉 / 光明泉 / 東上野 寿湯(台東区) / 寿湯(目黒区) / 世界湯 / 千代の湯 / 大江戸温泉物語 / 大黒湯 / 大塚湯 / 日の出湯 / 梅の湯 / 富士の湯 / 文化浴泉 / 万才湯



## 特典・サービス

上記の参加施設にて入手された缶バッジで、下記の特典が受けられます。

※缶バッジの配布方法は、各施設によって異なります。詳しくは各施設にてご確認ください。

### 1) 東京マラソン EXPO2016

【実施期間: 2月25日(木) ~ 27日(土)】

EXPO 内にて出展している

「東京マラソンウィークブース」に持っていき、お一人様につき1回の抽選ができます!



### 2) 東京水辺ラインと都立庭園をお得に楽しめます

【実施期間: 2月1日(月) ~ 2月29日(月)】

#### ●割引サービス

東京水辺ラインの水上バスの乗船料が10%割引、また、都立9庭園の入園料も20%割引となります。

※上記割引サービスは東京マラソン 2016 完走メダルのご提示でも同様に受けられます。(2月28日~29日)

※他の割引サービス等との併用はできません。

東京マラソンウィーク2016 参加施設

合い言葉は、Let's enjoy!

東京マラソンウィーク

東京マラソンEXPO2016  
開催期間  
2/25(木) 2/27(土)  
缶バッジで抽選会に参加できます。

詳しくは東京マラソンウィーク公式HPをチェックしてね!  
http://www.marathon.tokyo/events/week/

※缶バッジの抽選に際しお一人様につき一回の抽選とさせていただきます。



www.marathon.tokyo/events/week/

# マラソン祭り

主催：東京都  
Organizer: TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

37,000人のランナーが参加する東京マラソン2016の開催にあわせ、コース沿道等でランナーを応援する音楽演奏・ダンス・民俗芸能などのパフォーマンスや、メイン会場で展開する様々な楽しいイベントにより大会を盛り上げる“ランナー応援イベント”、それが「マラソン祭り」です。

# MATATHON FESTA

With 37,000 runners participating in the Tokyo Marathon 2016, a variety of events, including performances of music, dance, and traditional folk art, will be held along the course and at the main festival venue to cheer on the runners as part of the Marathon Festa 2016.



## 28のランナー応援イベント会場

17 首都高兜町駐車場前 中央区日本橋兜町1-13 11:00~14:00 中央区の地元応援団体による応援パフォーマンス、地元小学校による音楽演奏	18 銀座松竹スクエア前 中央区築地1-13-1 10:50~14:40 一般応募団体による応援パフォーマンス	19 入船橋 中央区築地2丁目 11:00~14:00 中央区の地元団体による応援パフォーマンス	20 新月島公園向い 中央区晴海1-1-26先 10:55~15:10 一般応募団体による応援パフォーマンス	21 豊洲センタービル前 江東区豊洲3-3-3 11:00~15:20 一般応募団体による応援パフォーマンス	22 中越運送 深川営業所前 江東区東豊1-8-19 11:05~15:40 一般応募団体による応援パフォーマンス	23 江東東雲一丁目団地前 江東区東豊1-8-3 11:05~15:40 和太鼓演奏	24 有明教育芸術短期大学前 江東区有明2-9-2 11:10~15:45 一般応募団体による応援パフォーマンス	25 有明小中学校前 江東区有明2-10-1 11:10~15:45 一般応募団体による応援パフォーマンス	26 東京臨海広域防災公園有明口 江東区有明3丁目 11:10~16:00 一般応募団体による応援パフォーマンス	27 フィニッシュスタンド前 江東区有明3-11-1 10:30~16:10 東京ビッグサイト 東展示棟屋外駐車場 東京消防庁音楽隊による応援演奏や一般応募団体による応援パフォーマンス	28 祭りメイン会場 (フィニッシュスタンド横) 東京ビッグサイト 東展示棟屋外駐車場 10:00~16:30
---	---	--	--	--	---	--	--	---	--	---	--

**バラエティランド**  
アスリートなど多彩なゲストが出演する祭りステージや、各国のグルメを集めた世界の肉&麺祭りなどが楽しめるエリア。

**チャレンジスポーツランド**  
車椅子バスケットボールや、スポーツクライミングなど様々なスポーツの体験ができるエリア。



出演者情報は  
こちらを  
チェック!

\*天候等によりイベントが中止または内容・時間等が変更となる場合があります。

## 参加無料 応援ウォーク マラソンコース沿道を歩きながらランナーを応援しよう!

2/28(日) 10:00(11:00 START)~16:00 右のコース図のイベント番号 28 → 22 → パナソニックセンター東京

東京マラソンフィニッシュエリアに隣接した祭りメイン会場を出発し、コース沿いを歩きながら応援、東雲の中継ポイントで折り返して有明のパナソニックセンター東京まで歩くウォーキングイベントです。(参加無料/参加者全員に中継ポイントでランナー応援グッズをプレゼント)

- ① START **祭りメイン会場(フィニッシュスタンド横)**  
受付時間/10:00~13:30  
※定員(5,000名)になり次第、受付を終了いたします。  
先着1,000名様にフィニッシュ特製グッズプレゼント!
- ② CHECK POINT **中越運送 深川営業所前**
- ③ GOAL!! **パナソニックセンター東京(有明イーストプロムナード)**  
※ゴールの受付は16:00で終了します。

ランナー通過予想時刻	スタート	5km	10km	15km	20km	25km	30km	35km	40km	フィニッシュ
車いす先頭	9時05分	9時15分	9時25分	9時35分	9時45分	9時55分	10時05分	10時16分	10時26分	10時30分
マラソン先頭	9時10分	9時24分	9時39分	9時54分	10時09分	10時24分	10時39分	10時54分	11時09分	11時15分
マラソン最終	9時30分	10時23分	11時00分	11時43分	12時27分	13時13分	13時56分	14時42分	15時45分	16時10分

お問合せ **マラソン祭り事務局 03-6865-1959**

公式HP [www.tokyo42195festa.tokyo](http://www.tokyo42195festa.tokyo) マラソン祭り 検索

公式Facebook <https://www.facebook.com/tokyo42195festa>

\*交通規制が実施されます。詳しくは大会公式WEBサイトをご覧ください。http://www.marathon.tokyo/2016/traffic/

# マラソン祭り

主催：東京都  
Organizer：TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

# MATATHON FESTA



## 祭りメイン会場

※メイン会場が変わりました。

### みんなでおいでよ!!

## バラエティランド

「祭りステージ」があるバラエティランドでは、東京マラソンを盛り上げるために様々な賑わいのあるイベントを行います。

参加無料

10:00~16:30

### 祭りステージ

東京都のさまざまな民俗芸能や、多彩なゲストによるトークショーやライブなどで会場を盛り上げます。

出演ゲスト(予定)



上山容弘氏  
北京・ロンドンオリンピック  
トナボリン日本代表



川上直子氏  
女子サッカー  
元日本代表



京谷和幸氏  
車椅子バスケットボール  
元日本代表



福西崇史氏  
サッカー元日本代表



宮本和知氏  
元読売巨人軍



流れ星  
お笑い芸人

### 世界の肉 & 麺祭り

世界各国の肉料理・麺料理が大集合!多彩なメニューをご用意してお待ちしております。



### バラエティブース

東京の観光スポットや物産販売をはじめ、さまざまな楽しいブースが立ち並びます。



### キッズコーナー

- ふわふわゆりーと
- キックターゲット
- ストラックアウト



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

## チャレンジスポーツランド

様々なスポーツの体験イベントを行います。子どもから大人まで楽しめるプログラムを用意しています。

参加無料

10:00~16:30

### 楽しいスポーツにチャレンジ!!

### 障害者スポーツ体験



- 車椅子バスケットボール
- ボッチャ
- ブラインドサッカー
- 車椅子体験
- NO LIMITS CHALLENGE (パラリンピック競技パネル展示等)



### ニュースポーツ体験

- スポーツクライミング
- スケートボード
- ラインナップ
- わなげ



※最寄り駅は、りんかい線「国際展示場駅」、ゆりかもめ「有明駅、国際展示場正門駅」をご利用ください。東京マラソンのコースは交通規制のため横断ができませんので、ご注意ください。祭りメイン会場へはMAPの→のルートにてご来場ください。  
※祭りメイン会場への入場の際は東京マラソンフィニッシュエリアの安全対策のため、手荷物検査等が実施されます。予めご了承ください。



マラソン祭り 10回記念  
スペシャルスタンプラリー  
参加無料

- #### スタンプ設置会場
- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 防衛省前</li> <li>② 東京区政会館前</li> <li>③ 住友不動産九段ビル前</li> <li>④ 千代田ファーストビル西館前</li> <li>⑤ 一ツ橋総合ビル前</li> <li>⑥ 皇居外苑</li> <li>⑦ 日比谷公園</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑧ 都立芝公園</li> <li>⑨ 港区立芝公園</li> <li>⑩ 住友不動産三田ツインビル西館前</li> <li>⑪ 笹川記念会館前</li> <li>⑫ 三菱自動車本社ショールーム前</li> <li>⑬ NBF日比谷ビル前</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭ 日本橋/銀座エリア</li> <li>⑮ 首都高兜町駐車場前</li> <li>⑯ 銀座松竹スクエア前</li> <li>⑰ 入船橋</li> <li>⑱ 新月島公園内</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑲ 人形町/浅草エリア</li> <li>⑳ リガーレ日本橋人形町前</li> <li>㉑ 浅草雷門前</li> <li>㉒ トルナーレ日本橋浜町前</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>㉓ 豊洲/東雲エリア</li> <li>㉔ 豊洲センタービル前</li> <li>㉕ 中越運送 深川営業所前</li> <li>㉖ 江東東雲一丁目団地前</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>有明エリア</li> <li>㉗ 有明教育芸術短期大学前</li> <li>㉘ 有明小中学校前</li> <li>㉙ 東京臨海広域防災公園有明口</li> </ul>   |

マラソン祭りの10回開催を記念して、フィニッシュエリアを除く応援イベント会場26か所でスタンプを集めながらランナーを応援するスペシャルスタンプラリーです。マラソン祭りパンフレットまたは各会場配布されている台紙にスタンプを3個集めて、東京マラソンフィニッシュエリア隣接の祭りメイン会場内「ランナー応援イベントセンター」にお越しください。その場で豪華景品が当たる抽選にチャレンジ!

- #### 協力団体
- 【イベント会場・控室の提供】※マラソンコース順  
防衛省/公益財団法人特別区協議会/  
住友不動産株式会社/住友商事株式会社/  
株式会社笹川記念会館/三菱自動車工業株式会社/  
株式会社NBFオフィスマネジメント/  
リガーレ日本橋人形町団地管理組合/  
トルナーレ日本橋浜町管理組合/松竹株式会社/  
三井不動産ビルマネジメント株式会社/  
中越運送株式会社/学校法人三浦学園/  
江東区立有明小学校/中学校/東京臨海広域防災公園/  
パナソニック株式会社(パナソニックセンター東京)
  - 【応援ウォークの景品提供等】  
株式会社はとバス
  - 【環境ボランティア活動・沿道整理への協力】  
東京都シルバー人材センター連合
  - 【沿道区】  
新宿区/千代田区/港区/中央区/台東区/江東区
  - 【スポーツイベントの運営協力】  
公益社団法人東京都障害者スポーツ協会/  
一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会/  
日本ブラインドサッカー協会
  - 【パンフレット画像提供】  
一般財団法人東京マラソン財団

※各会場のプログラムは天候・出演者の都合により、変更・中止・中断になる場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。



TOKYO MARATHON FOUNDATION  
一般財団法人  
東京マラソン財団  
TOKYO MARATHON FOUNDATION

東京マラソン2015  
ボランティア

ワールドマシナリーハラスチャリティーズジャパン  
公益財団法人東京防災救急協会  
Tokyo Disaster Prevention & Emergency  
Medical Service Association  
公益財団法人東京都スポーツ振興財団  
Tokyo Sports Promotion Foundation

東京マラソン財団  
TOKYO MARATHON FOUNDATION



第10回を迎える2016大会より起用。このロゴの異なる色の線のひとつひとつは、東京マラソンに参加するランナーやボランティア、観衆のひとりひとりを表し、様々なストーリーが織り重なることでひとつの大きな感動を生み出す東京マラソンの大会コンセプト「東京がひとつになる日。」を表現しています。

## 東京がひとつになる日。



TOKYO  
MARATHON  
2016

Scheduled to be put into service from 10th running of the Tokyo Marathon in 2016, each of the many colored lines of this new logo represents the many runners, volunteers and spectators participating in this exciting event and all their individual stories, woven together, to express the common theme, 'The Day We Unite.'

## The Day We Unite.

### 走る喜び

世界のトップアスリートを間近に観て感動する。また、トップアスリートとともに走る市民ランナーも、個々の目標・目的を持って、唯一無二のマラソンというドラマのストーリーを完結する。36,000人全員が主役になる一日に。(10回大会は37,000人)



### Joy of Running

While it's inspiring to see world-leading athletes up close, recreational runners running alongside elite runners also create their own dramatic stories, and run the marathon in their own unique way according to their individual goals. It's the day when 36,000 people all get to play the lead role. (2016- 37,000 people for the 10th anniversary).

### 支える誇り

寒くてかじかんだ手で渡したバナナ、もらったランナーの喜んだ顔が嬉しかった。見ず知らずのランナーの頑張る姿をみて自然に手が伸びた。人と支え合う喜びが誇りへと変わる一日に。



### Pride of Supporting

It feels great to see runners' faces light up as you pass them a banana with your hands numb from the cold. They may be complete strangers, but you can't help reaching out to people who are trying so hard. It's the day when the joy of helping other people changes into a sense of pride.

### 応援する楽しみ

家族の応援に来たのに、いつの間にか見ず知らずの人を応援していた。その懸命な姿に感動を覚える。足がふらつくランナーをいつの間にか声が枯れるまで応援する心の高揚を感じる一日に。



### Delight of Cheering

You only came along to cheer on your family, but you eventually find yourself cheering on complete strangers as well. It's inspiring to see them trying their best. It's the day when emotions run high, as you cheer on flagging runners until you lose your voice.



# TOKYO MARATHON FOUNDATION

[www.marathon.tokyo/](http://www.marathon.tokyo/)

- 156** 大会コンセプト  
Concept
- 158** 大会会長／役員名簿  
Chairman / Members
- 159** 協賛社  
Official Partners
- 160** 東京マラソンチャリティ  
Tokyo Marathon Charity
- 162** スポーツレガシー事業  
Sports Legacy Program
- 163** 東京マラソン財団概要  
Tokyo Marathon Foundation Profile
- 164** 東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYO  
ONE TOKYO
- 165** ジョグポート有明  
JOGPORT ARIAKE
- 166** 東京マラソン財団オフィシャルイベント  
Tokyo Marathon Foundation Official Events

# 大会会長／役員名簿

## Chairman / Members

### 2016大会会長 Chairman

横川 浩 Hiroshi YOKOKAWA

### 最高顧問 Supreme Advisers

石原 慎太郎 Shintaro ISHIHARA

河野 洋平 Yohei KONO

### 名誉顧問 Honorary Adviser

帖佐 寛章 Hiroaki CHOSA

### 評議員 Council Members

秋山 俊行	Toshiyuki AKIYAMA
川澄 俊文	Toshifumi KAWASUMI
中西 充	Mitsuru NAKANISHI
多羅尾 光睦	Mitsuchika TARAO
中嶋 正宏	Masahiro NAKAJIMA
友永 義治	Yoshiharu TOMONAGA
瀬古 利彦	Toshihiko SEKO
前島 伸行	Nobuyuki MAEJIMA

### 理事 Executive Board Members

理事長	櫻井 孝次	President/CEO	Koji SAKURAI
副理事長	中野 英則	Vice president	Hideori NAKANO
理事	小池 潔	Trustee	Kiyoshi KOIKE
	武市 玲子		Reiko TAKEICHI
	早崎 道晴		Michiharu HAYASAKI
	後藤 啓志		Keiji GOTO
	坂本 雅彦		Masahiko SAKAMOTO
	前田 豊		Yutaka MAEDA
	山口 祐一		Yuichi YAMAGUCHI
	渡邊 範久		Norihisa WATANABE
	安部 典子		Noriko ABE
	尾懸 貢		Mitsugi OGATA
	山本 浩		Hiroshi YAMAMOTO
	鈴木 一弘		Kazuhiro SUZUKI
	山澤 文裕		Fumihiko YAMASAWA
	木内 敏夫		Toshio KIUCHI
	風間 明		Akira KAZAMA
	大嶋 康弘		Yasuhiro OSHIMA
	下条 由紀子		Yukiko SHIMOJO
	鈴木 存		Susumu SUZUKI
	田中 利雄		Toshio TANAKA
	中野 人志		Hitoshi NAKANO
	平塚 和則		Kazunori HIRATSUKA
	山田 隆		Takashi YAMADA
	黒岩 直樹		Naoki KUROIWA
	渡邊 信治		Shinji WATANABE
	山口 邦泰		Kuniyasu YAMAGUCHI
	大槻 高弘		Takahiro OTSUKI
	朝香 博		Hiroshi ASAKA
	小平 基晴		Motoharu KOHIRA
	監物 永三		Eizo KENMOTSU
	平 眞		Shin TAIRA
	益口 清美		Kiyomi MASUGUCHI
	伊藤 雅史		Masashi ITO
	大崎 秀夫		Hideo OSAKI
	桑島 俊彦		Toshihiko KUWAJIMA
	金 哲彦		Tetsuhiko KIN

### 監事 Auditors

監事	鈴木 勝	Auditor	Masaru SUZUKI
	曾根 眞人		Masahito SONE

## 協賛社

## Official Partners

## プレミアパートナー Premier Partner

東京メトロ  
Tokyo Metro Co., Ltd.

## メジャーパートナー Major Partners

スターツ  
STARTS CORPORATION INC.

山崎製パン  
株式会社  
Yamazaki Baking Co., Ltd.

アシックスジャパン  
株式会社  
ASICS Japan Corp.

大塚製薬  
株式会社  
Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.

## メインパートナー Main Partners

ビー・エム・ダブリュー  
株式会社  
BMW Japan Corp.

近畿日本ツーリスト株式会社  
KINTETSU INTERNATIONAL

第一生命保険株式会社  
The Dai-ichi Life  
Insurance Company, Limited

セイコーホールディングス株式会社  
SEIKO HOLDINGS CORPORATION

東レ株式会社  
Toray Industries, Inc

## アクティブパートナー Active Partners

株式会社  
みずほ銀行  
Mizuho Bank, Ltd.

株式会社  
セブン-イレブン・ジャパン  
Seven-Eleven Japan Co., Ltd.

アサヒビール  
株式会社  
ASAHI BREWERIES, LTD.

アメリカン・エクスプレス・  
インターナショナル, Inc.  
American Express International, Inc.

全日本空輸株式会社  
ALL NIPPON AIRWAYS Co., LTD

カゴメ株式会社  
KAGOME CO., Ltd.

株式会社  
フォトクリエイト  
Photocreate Co., Ltd.

全国労働者共済生活  
協同組合連合会  
ZENROSAI (National Federation of Workers  
and Consumers Insurance Cooperatives)

コニカミノルタ  
株式会社  
KONICA MINOLTA, INC.

セコム株式会社  
SECOM CO., LTD.

久光製薬株式会社  
Hisamitsu  
Pharmaceutical Co., Inc.

大和証券グループ  
Daiwa Securities Group

資生堂ジャパン  
株式会社  
Shiseido Japan Co., Ltd.

## サポーターパートナー Supporting Partners

日本光電  
NIHON KOHDEN  
CORPORATION

広友ホールディングス  
株式会社  
KOYOU HOLDINGS Co., Ltd.

株式会社  
シミズオクト  
Shimizu Octo, Inc.

株式会社  
東京ビッグサイト  
Tokyo Big Sight Inc.

株式会社  
ドール  
Dole Japan, Inc.

# チャリティ

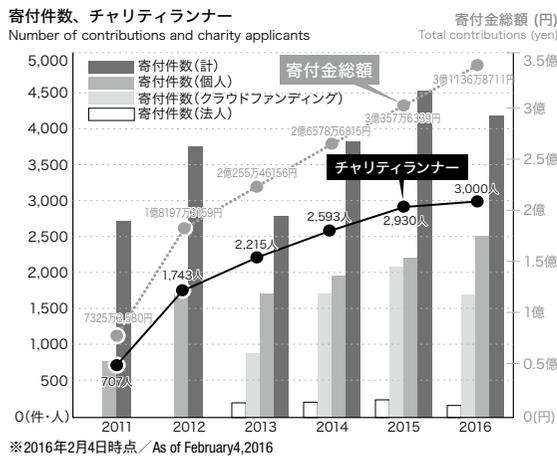
Charity

## チャリティ TOKYO MARATHON 2016

多くの人たちを“つなぐ”ためのチャリティ事業を行っています。  
A Charity Program that “Unites” More and More People

### 東京マラソンチャリティとは

「東京がひとつになる日。」をコンセプトに開催してきた東京マラソンはランナーだけでなく、多くのボランティアや応援する人たちの心をつないで大きく成長してきました。2011大会からは、さらに多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し、“つなぐ”をコンセプトにチャリティを実施しています。東京マラソンを走り支え・応援して下さる人々に、チャリティやスポーツ振興・地球環境保全・世界の難民支援・難病の子供や家族へのサポートといった社会貢献について考えるきっかけを届け、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そんな願いを込めて東京マラソンチャリティ事業を運営しています。



### What is the Tokyo Marathon Charity?

The Tokyo Marathon is held every year centered on theme 'The Day We Unite', and has grown significantly in size and scope by bringing together not only runners, but also the many volunteers and spectators who cheer the runners on. Starting with Tokyo Marathon 2011, the Foundation has also been administering a charity program based around the theme of 'Uniting' with the goal of attracting ever more people to join in. Through activities such as charities, sports promotion, global environmental conservation, world refugee support and assistance to children with intractable diseases, we want to give everyone involved with the Tokyo Marathon the opportunity to connect with people's hearts and make their own contribution to society. Based on such hopes, we intend to continue administering the Tokyo Marathon Charity program.

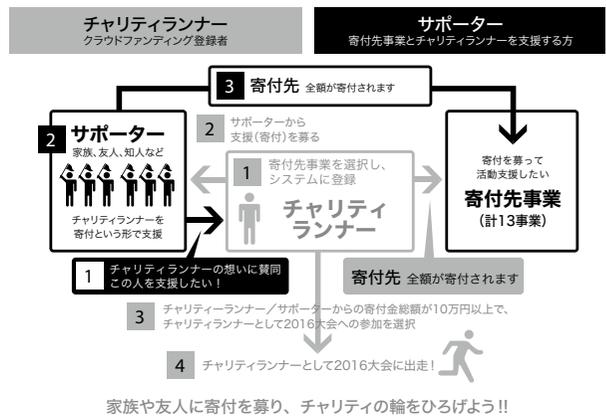
今大会のチャリティランナー申し込みは2015年7月に開始し、11月に3000人の定員に達しました。申込期限前に達したのは初めて、申込者と一般からの寄付金の合計は約3億1000万円で、過去最高となりました。(寄付金募集は3月31日まで。)  
Charity runner application for the Tokyo Marathon 2016 started in July 2015 and reached its maximum number of 3,000 people in November. This is the first time the application limit has been reached before the deadline with the total donations from applicants and the general public reaching an all time high of approximately ¥310 million (Donation deadline: 3/31)

項目	ボストンマラソン	ロンドンマラソン	ベルリンマラソン
チャリティ総額	18.5億円 \$15.63million (2015)	99.8億円 £54.1million (2015)	チャリティ金額の算出はしていない。
項目	シカゴマラソン	NYCマラソン	東京マラソン
チャリティ総額	24億円 \$17.7million (2014)	41.4億円 \$34.5million (2014)	3億391万7339円 (2015)

### クラウドファンディングとは Crowd Funding

チャリティランナーが、家族、友人や知人に対し、サポーターとしての協力を呼びかけ、チャリティ団体(寄付先団体)を支援するための仕組み(オンラインシステム)です。あなたが応援するチャリティランナーはどのような思いで東京マラソンを走ろうとしているのか、あなたを応援するサポーターはどんな期待を持って寄付をしたのか、東京マラソンチャリティに関わるひとりひとりのハートを感じることができるでしょう。  
※チャリティランナーとしての参加(出走)登録は任意となります。  
※日本語サイトのみでの受付となります。

This system (online system) involves charity runners asking for support from family, friends and acquaintances to support charity groups (groups where the donations will be made). This enables donors to know what type of feelings each charity runner they support has as they run the Tokyo Marathon and what type of expectations the supporters who support the runners have when they make donations. It is possible to experience the motivation of each individual involved in Tokyo Marathon charities.  
※ Registering as a charity runner is voluntary.  
※ This system is currently provided in Japanese only.



# CHARITY TOKYO MARATHON 2016

東京マラソン2016チャリティの寄付先13事業 Here are the 13 recipient programs of the Tokyo Marathon 2016 Charity Program



東京マラソン財団 スポーツレガシー事業  
Tokyo Marathon Foundation Sports Legacy Program  
スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現  
Creation of Sports Legacy-Proposition of Sports in Life Style



公益財団法人スペシャルオリンピックス日本  
Special Olympics Nippon  
知的障害のある人々へのスポーツ活動の提供・普及  
Providing and promoting sports activities for intellectually disabled people



公益財団法人東京都スポーツ文化事業団  
Tokyo Sports Benefits Corporation  
都民のスポーツの普及・振興  
Promoting and popularizing sports for people in Tokyo



公益財団法人東京防災救急協会  
Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association  
いざというときの知識と技術を身につけて安心して暮らせる社会の実現  
Realizing the secured society by learning the knowledge and skills required in emergencies



公益財団法人日本障がい者スポーツ協会  
Japanese Para-Sports Association  
障がい者スポーツを通して日本の明るい未来を育てる事業  
The project developing Japanese bright future through Para-Sports



公益財団法人プラン・ジャパン  
Plan Japan  
インドのカースト制度で差別を受けている貧困世帯の女の子たちに奨学金を支給  
The project offering scholarships for girls discriminated against the caste system in India



公益財団法人山梨県緑化推進機構  
Yamanashi Land Afforestation Promotion Organization  
森林整備で未来の水を守る  
水源の森再生事業  
Restoring forests at the water source to protect our water for the future



特定非営利活動法人国連UNHCR協会  
Japan Association for UNHCR  
(United Nations High Commissioner for Refugees)  
紛争で故郷を追われた難民の命を守るテントの設置  
Installing shelters to save the lives of refugees forced to leave their homes due to conflicts



公益財団法人そらぶちキッズキャンプ  
Solapuri Kids' Camp  
難病とたたかう子どもたちと家族を、夢の医療ケア付きキャンプ場に招待  
Inviting children dealing with intractable diseases and their parents to the dream campsite equipped with medical care facilities



公益財団法人東京都農林水産振興財団  
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries  
花粉の少ない森づくり・スギ林の伐採と花粉の少ないスギの植栽によるスギ花粉の削減  
Afforestation that leads to less pollen; thinning old cedar forests and planting cedar varieties that emit less pollen to reduce overall pollen counts



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン  
Ronald McDonald House Charities Japan (RMHC Japan)  
病気と闘う子どもとご家族の滞在施設  
[ドナルド・マクドナルド・ハウス]の建設と運営事業  
Management and the construction of Ronald McDonald House residential facilities for children with intractable diseases and their families



認定特定非営利活動法人ファミリーハウス  
Family House  
重い病気の子どもが治療を要する間の患者と家族への滞在施設の提供とケア  
Providing residential facilities and cares for children with intractable diseases and their families



東日本大震災復興支援事業  
Recovery support for the Great East Japan Earthquake  
被災地3県の育英事業  
Educational work for area stricken by the Great East Japan Earthquake

# スポーツレガシー事業

## Sports Legacy Program

# SPORTS LEGACY

TOKYO MARATHON FOUNDATION

スポーツの“レガシー”を生み出し、明るい未来へつなげていきます。  
Leaving a Sports Legacy for a Brighter Future

### スポーツレガシー事業とは

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機に、スポーツそのものが持つ力に対する期待や関心が高まる中、特にオリンピックを単なるスポーツイベントに終わらせることなく、いかに社会に長期的かつポジティブな影響を生み出していくことができるかどうか注目が集まっています。東京マラソン財団は、競技スポーツやレクリエーションスポーツといった枠組みを問わず、「スポーツ」が起点となって、21世紀の東京そして日本に、明るい未来につながる「レガシー」を遺していきたい、との想いで「スポーツレガシー事業」を始めました。同事業を通じて、“スポーツが後世に遺せるものは何か”について考え、実践する場を提供することで、私たちひとりひとりがその本当の価値を理解し、スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現を目指します。

### What is the Sports Legacy Program?

The selection of Tokyo as the host city for the 2020 Olympics and Paralympics heightened interest and expectations in the power of sports in Japan. However, attention is also being paid to successfully using this opportunity to create a positive long-term effect on society without seeing the Olympics concluded as merely a sporting event. Under these circumstances, the Tokyo Marathon Foundation founded the Sports Legacy Program in the hopes of leaving a 'Legacy' behind in Tokyo and Japan that can lead to a brighter future with sports as its starting point, whether the framework be competitive or recreational. The Foundation is considering what to leave to posterity with the goal of realizing a society in which each person understands the true value of sports, and is able to enjoy new sports-centered lifestyles as facilities are created to practice them.

### スポーツレガシー事業の4テーマ Four Themes of the Sports Legacy Program

スポーツレガシー事業では、4つのテーマ(夢、礎、広がり、力)を軸として活動しています。

The Sport Legacy Program is developing activities around four core themes : Dream, Environment, Expansion and Contribution.



<b>1</b>	スポーツの夢 (強化育成)	アスリートの強化、ジュニアアスリート育成、キャリア支援 Sports Dream (Enhancement and education)
<b>2</b>	スポーツの礎 (環境整備)	スポーツ施設などの環境整備 Sports Environment (Facility development)
<b>3</b>	スポーツの広がり (普及啓発)	スポーツ大会の支援及び普及啓発 Sports Expansion
<b>4</b>	スポーツの力 (社会貢献)	スポーツイベント等を通じた社会的課題解決への試み Sports Contribution (Social service)

### 2015年度実施事業 Programs for FY2015

東京マラソン2015  
チャリティの寄付金を使用 **20,435,059**円、寄付件数**304**件

#### 01 若手トップアスリート向け リベラルアーツプログラム

Liberal arts program for top young athletes

子どもたちの憧れとなるような世界を舞台にリーダーシップを発揮できるスター選手の輩出を目指し、日本陸上競技連盟が選抜したU19、U23オリンピック育成競技者やダイヤモンドアスリート等を対象に、教養、国際性、コミュニケーション力の3つのテーマを柱としたリベラルアーツプログラムを展開します。支援先:公益財団法人日本陸上競技連盟

##### ●リーダーシッププログラム

世界レベルでの活躍を期待され日本陸上競技連盟に選抜された若手陸上選手(ダイヤモンドアスリート)に対して、「リーダーシップ」「国際性」「コミュニケーション力」を養うプログラムを提供し、社会に夢や憧れを与えてくれるスターアスリートを輩出しよう、というプログラム。プログラムの企画監修はスポーツレガシー事業運営委員の為末さん(元プロ陸上選手)。昨年の第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)で活躍したサニブラウン アブデルハキーム選手をはじめ、未来のトップアスリート11人が約半年間のプログラムに取り組んでいます。

#### 02 障害者スポーツ競技団体の応援 Assistance to sports associations for the disabled

東京都を拠点とする障害者スポーツ競技団体に対して、競技人口の裾野拡大に資する事業等を助成するとともに、同競技団体の運営強化に関する支援を行うことにより、障害者スポーツの活動基盤の整備に貢献します。支援先:公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会

#### 03 スポーツを軸とした東日本大震災の被災地支援 Sports-centered assistance to areas affected by the Great East Japan Earthquake

国民体育大会は、国内最大の総合的なスポーツの祭典であり、開催県の創意と独自性の発揮の場です。

東日本大震災後被災地で初めて開催される国体・全国障害者スポーツ大会「2016希望郷 いわて国体・希望郷いわて大会」へ寄付を行い、被災地域のみならず、全国から訪れる選手との交流やスポーツのすばらしさに触れることにより、スポーツを通じた地域の活性化に貢献します。

支援先:岩手県

# 東京マラソン財団 概要

## Tokyo Marathon Foundation Profile

### 設立目的

この法人は、東京マラソンを安定的に運営し、国内外から多くのランナーが集う世界最高水準の大会へと発展させるとともに、ランニングスポーツの普及振興を通じて、都民の健康増進と豊かな都民生活の形成に寄与することを目的とする。

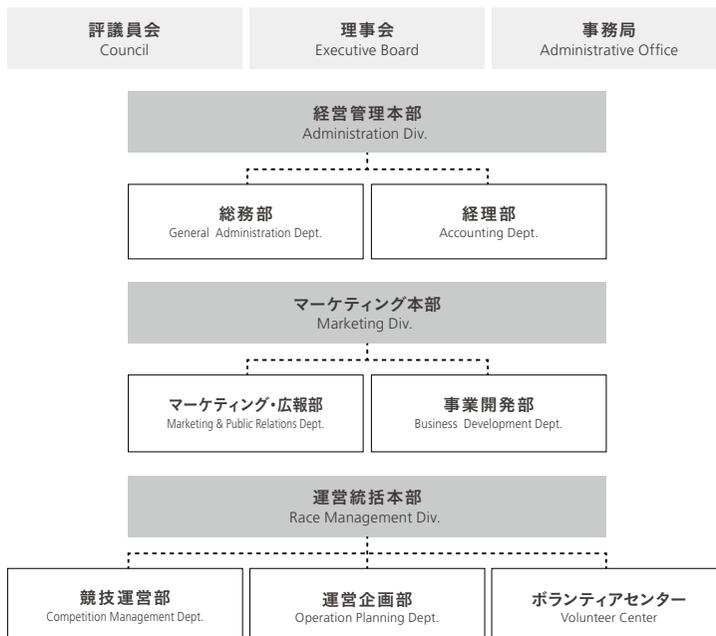
### 概要

理事長…………… 櫻井 孝次  
副理事長…………… 中野 英則  
事務局長…………… 手塚 雅之  
事業担当局長  
／レースディレクター …… 早野 忠昭  
参与…………… 山本 征悦、藤本 和延  
経営管理本部長 …… 酒井 謙介  
マーケティング本部長 …… 加藤 智久  
運営統括本部長…………… 大喜田 洋一郎

設立…………… 平成22年6月30日  
設立者…………… 東京都、公益財団法人日本  
陸上競技連盟  
基本財産…………… 8.8億円

所在地：〒135-0063 東京都江東区有明3丁目7-26  
有明フロンティアビルB棟8階  
代表電話：TEL 03-5500-6677  
www.tokyo42195.org/

### 組織図 / Organization



### Foundation Objectives

The main objective in the establishment of the Tokyo Marathon Foundation is to make the Tokyo Marathon an event of the world's highest standard through steady administration and the promotion of running sports for richer and healthier lifestyles.

### Profile

President / CEO …… Koji SAKURAI  
Vice-President …… Hidenori NAKANO  
Director General / COO …… Masayuki TEZUKA  
Race Director / CSO …… Tadaaki HAYANO  
Advisor …… Seietsu YAMAMOTO, Kazunobu FUJIMOTO  
Administration Div. Director …… Kensuke SAKAI  
Marketing Div. Director …… Tomohisa KATO  
Race Management Div. Director …… Yoichiro OKITA

Date of Establishment …… June 30, 2010  
Founder…………… Tokyo Metropolitan Government,  
Japan Association of Athletics Federations  
Total Assets …… 880 million JPY

Address : Ariake Frontier Building, Tower B-8F, 3-7-26,  
Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-0063, Japan  
Tel : +81-3-5500-6677  
www.tokyo42195.org/

## ONE TOKYO

## ONE TOKYO



ONE TOKYO

## ランニングを愛するすべての人へ「ともに走るよろこび」を。 Bringing the Joy of Running Together to Everyone Who Loves Running

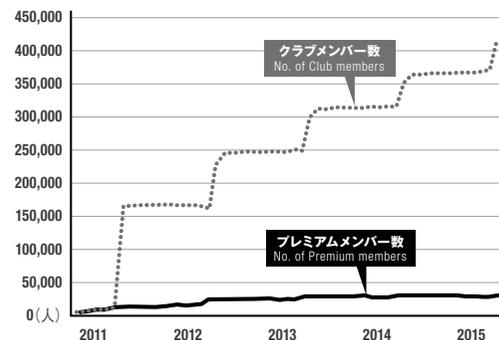
ONE TOKYOとは、ランナーだけでなく東京マラソンを支えるボランティアやコース周辺を中心としたマラソンファン(応援者)を対象とした会員組織です。東京マラソンをはじめとするランニングイベントに関する各種情報提供の他、初心者から経験者までを対象とした各種ランニングイベントやボランティア講習会などのサービス提供を行っています。様々な形でランニングスポーツに関わりたいというメンバーの方々に、ご満足いただける情報やサービスを提供し、ランニングカルチャーを一層盛り上げていきたいと考えています。

ONE TOKYO is a membership organization that caters to volunteers who support the Tokyo Marathon and marathon fans (spectators) who stand along the route to cheer on the runners. ONE TOKYO not only provides a wide range of information about the Tokyo Marathon and other running events, but also offers such services as running clinics for runners, from beginners to those with more experience, and volunteer seminars. By providing members interested in being involved in running sports with ample information and services, ONE TOKYO strives to promote a lively culture of running.

2016年1月現在の会員データ 2016年1月11日現在  
Membership data as of Jan, 2016

種目	男性 Men	女性 Women	全体人数
クラブメンバー No. of Club members	74.6%	25.4%	415,320
プレミアムメンバー No. of Premium members	81.2%	18.8%	30,110
合計			445,430
両メンバー男女比 No. of members in both classes	75.0%	25.0%	

会員数推移  
Membership data as of Aug, 2015



### プレミアムメンバー (有料会員: 年会費 4,320 円) Premium Membership (annual fee: ¥4,320)

東京マラソンの先行エントリー権  
(定員を超えたら抽選)、  
イベントの優先参加などの  
特典があります。

Special privileges include early entry  
to the Tokyo Marathon and  
priority participation in events.



2015年12月19日  
ONE TOKYOランニングクリニック



### クラブメンバー (無料会員) Club Membership (free)

[www.onetokyo.org](http://www.onetokyo.org)

※ONE TOKYOは、アシックスジャパン株式会社の協賛を受けて活動しています。  
ONE TOKYO activities are organized in cooperation with ASICS Japan Corporation.



# ジョグポート有明

## JOGPORT ARIAKE



### 新たなランニングの聖地でENJOY! “湾岸RUN” Enjoy Running in the Bayshore Area on the “Wangan Run”!

「I RUN TOKYO! 東京を走ろう。自分をもっと走らせよう。」仕事が始まる前や終わってから一汗。休日も走ることでリフレッシュ。そんな健康的なライフスタイルを楽しむ人たちのために、ランナーサポート施設『ジョグポート有明』をプロデュースしました。健康維持や増進、会員同士の交流、親睦を図りながらランニングライフを充実させていく場所として快適に利用されることを目指します。

“Let’s run in Tokyo!” “Push yourself to run more!” JOGPORT ARIAKE is a runner support facility created in Tokyo’s bayshore area for people who enjoy healthy lifestyles, whether working up a good sweat jogging before or after work, or invigorating yourself with a run on your days off. Intended as a place to enrich your running life through health maintenance and promotion, JOGPORT ARIAKE vigorously promotes friendship and interaction among all its members.

## www.jogport.com

※ジョグポート有明は、アシックスジャパン株式会社の協賛を受けて運営しています。  
JOGPORT ARIAKE is operated in cooperation with ASICS Japan Corporation.



# 東京マラソン財団オフィシャルイベント

## Tokyo Marathon Foundation Official Events



ランニングスポーツの普及振興を通じて、健康増進と豊かな生活の形成に寄与することを目的に実施しています。  
Events produced with the aim of nurturing good health and enriching lifestyles through the promotion of the sport of running.

2015年5月10日 May 10, 2015

～シンボルプロムナード公園ランニングコース開設2周年記念～  
『湾岸ラン&駅伝 in 有明・お台場』開催  
副都心シンボルプロムナード公園特設ランニングコース

「シンプルプロムナード」開設2周年を記念して4月より新年度のスタートをきった新社会人や新入生の「フレッシュマン」や、心機一転して「フレッシュ」な気持ちで新たなことに挑戦する皆さんや親子を応援するランニングイベント。

参加1,076人

### “Wangan Run & Ekiden in ARIAKE”

Symbol Promenade Park Running Course

A Running event was held to celebrate the second anniversary of the Symbol Promenade Park Running Course.

This event featured the freshmen at universities and companies to support their new challenge.

1,076 runners



2015年10月31日 October 31, 2015

東京トライアルハーフマラソン 開催  
木根川橋少年野球場、球技場

10代から70代のランナーがハーフマラソンに挑戦。参加者が目標タイムのペースを実感できるようペースセッターを配置し、参加者自身の走力アップや、ランナー全体のレベルアップに繋がることを目的として実施。完走者の中から26人がRUN as ONE-Tokyo Marathon 2016に選出。

参加1,394人

### “Tokyo Trial Half Marathon”

Tonegawabashi Tennis courts/Baseball field

Runners, ranging in ages from teens to seventies, participated in a trial half marathon.

26 finishers were chosen to participate in Tokyo Marathon 2016, as part of the RUN as ONE – Tokyo Marathon 2016 program.

1,394 runners

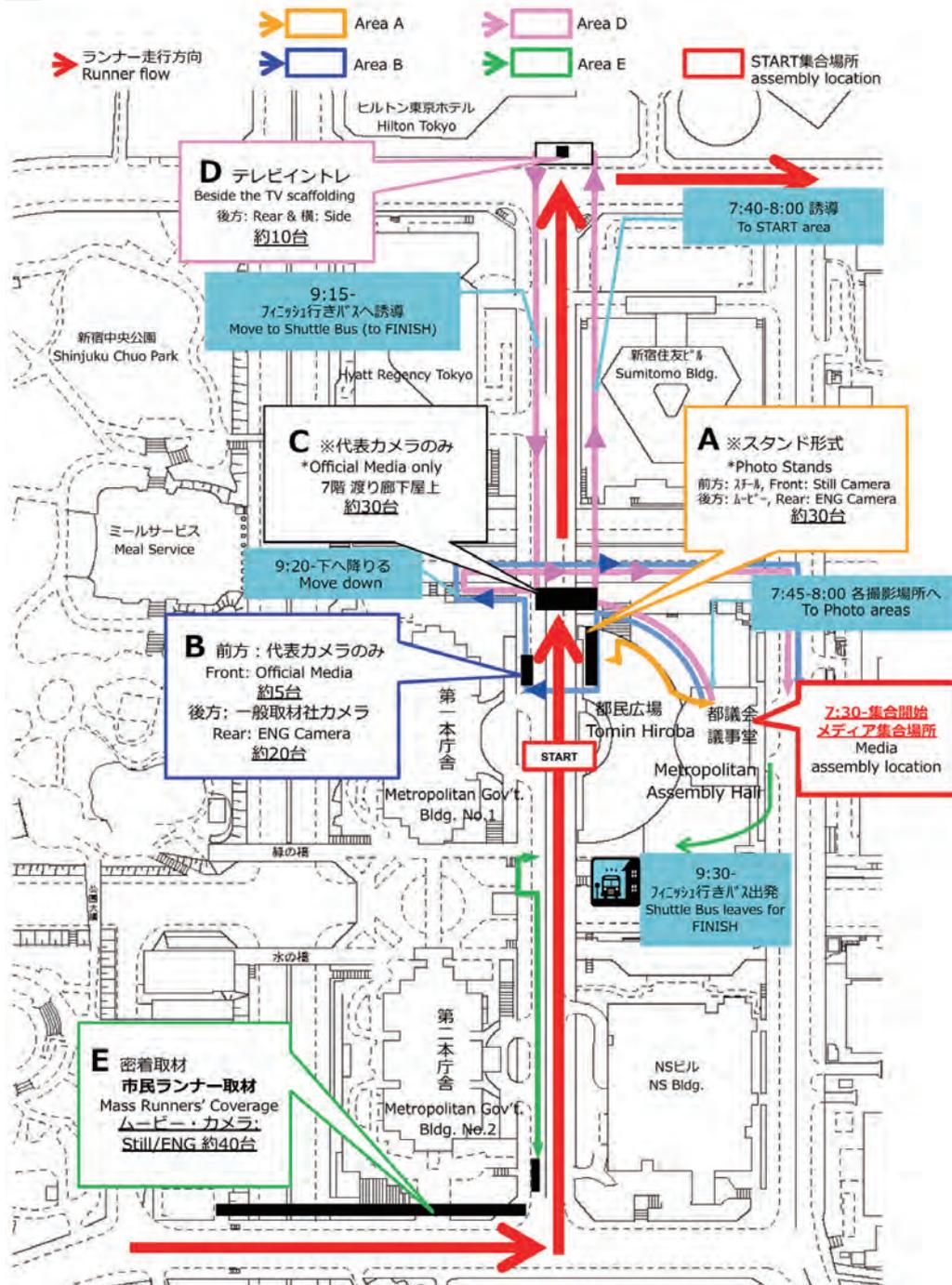




TOKYO  
MARATHON  
2016

取材案内  
MEDIA INFORMATION

# START Area Map



プレス分類 Media Type	日本テレビ 中継局クルー Broadcast Crew	日本テレビ ゲストランナー 伴走スタッフ Crew to follow the NTV Guest Runner	代表取材社 Official Media	ムービー ENG	スチールカメラ Photographer	記者 Reporter	オフィシャル パートナー Official Partner
Credential Type	NTV		MEDIA			OFFICIAL PARTNER	
Bib Identification						AD カードのみ (撮影する場合は ピブスを着用) Credential only (Bibs are required for shooting)	
	Pink	Pink	Orange	Yellow	Green		Blue

# MEDIA INFORMATION

[www.marathon.tokyo/](http://www.marathon.tokyo/)

- 168** スタートエリアマップ  
START Area Map
- 170** 報道取材要領  
Media Guidelines
- 178** 日比谷取材エリア / 表彰式エリアマップ  
10km FINISH Map / Award Ceremony Area Map
- 179** フィニッシュエリアマップ  
FINISH Area Map

# 報道取材要領 抜粋—報道取材に関するお願い—

## ○ 共通注意事項 (必ずお読みください)

- 本大会は、スタートの東京都庁からフィニッシュの東京ビッグサイトまで、公道上で行われるレースとなるため、取材撮影エリアには制限がございます。各エリアでは係員の指示に従ってください。制限された取材エリアにおいては、代表取材制となります。大会オフィシャル、代表取材社および日本テレビ以外のスチールカメラ、テレビカメラは、大会が定めたメディアエリア以外での撮影は行えません。但し、事前に相談や申請しているメディアについては、各所調整後、一部コース上での取材が可能です。
- ❶ 本取材で撮影された写真、映像につきましては、報道利用のみ（販売不可）となりますので、予めご了承ください。
  - ❷ スチールカメラ／テレビカメラは、各エリアで各社各1台となります。申請いただいた撮影場所は定員人数を超えた場合、抽選とさせていただきます。割当については、受付の際（ADカード、カメラマンビブス発行）にお知らせいたします。
  - ❸ 取材希望場所により集合場所と誘導が異なりますので予めご確認ください。
  - ❹ 車道、中央分離帯内、歩道橋、陸橋上での取材撮影はできません。
  - ❺ 歩道での取材は、一般の通行の妨げとならないように厳重にご注意いただき、各エリア担当者、競技審判員、警察官の指示に従ってください。また、撮影エリア以外（観衆の中）で脚立などの機材を使用する場合は各社で事前に各所轄の警察署で道路使用許可申請を行ってください。
  - ❻ 各会場で、手荷物検査がある場合はご協力をお願いいたします。
  - ❼ 各エリアとも、メディア用の駐車場はありません。また大会当日は、交通規制が行われておりますので、お車でのご来場はご遠慮ください。
  - ❽ コース及び会場周辺で無人航空機（ドローン等）の飛行は御遠慮ください。
  - ❾ レース後の会見は、マラソン男女1位、マラソン日本人男女1位、車いす男女1位の会見を予定しておりますが、会見とは別にインタビューを希望される選手については、幹事社（読売新聞社）にご連絡してください。
  - ❿ 大会当日の結果発表および選手の記録（速報）については、東京ビッグサイトのマラソンフィニッシュ会場内のメディアセンターで配布いたします。（大会公式ウェブサイトへアップ予定）
  - ⓫ 大会終了後は速やかにカメラマンビブスの返却をお願いいたします。  
★返却場所 東京マラソン財団 マーケティング・広報部

### ◆ワイヤレスマイク使用について◆

A型使用の際は通常通り特ラ連機構へ申請のうえ運用してください。新周波数帯（470MHz～714MHz及び1.2GHz帯）使用の際はTVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会へ申請のうえ運用してください。B型、C型、D型は運用に制限はありませんが、混信等の場合は当事者同士で調整願います。

### ◆救護所の撮影について◆

各救護所内での取材や撮影は、一切禁止とさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ◆撮影エリアの許諾について◆

各撮影エリアにつきましては各所轄の警察署に申請中です。現在掲載している撮影取材場所に変更になる場合がございますので、ご了承ください。その他の撮影場所につきましては、広報部に企画申請し調整した後、別途所轄の警察署で、道路使用許可をお取りください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

大会開催可否については、大会当日朝 5:00 までに大会公式ウェブサイトにてお知らせします。

# Media Guidelines

## ○ General Important Notes (Please Read)

- This marathon begins at the Tokyo Metropolitan Government Building and ends at Tokyo Big Sight. It is conducted on city streets, so restrictions apply to where media coverage is possible. Please follow the instructions given by the staff in each area. A pooled coverage system will be used for limited coverage areas. Still cameras and television cameras other than official tournament cameras, cameras owned by pooled coverage companies, and cameras owned by Nippon Television cannot be used outside of defined media areas. Coverage may be possible in other sections of the marathon course after performing related coordination for media organizations who have applied and consulted regarding coverage in advance.
- ❶ Please be aware that the photographs and videos produced during the course of coverage can only be used for reporting (sale is prohibited).
  - ❷ Each company can use one still camera / television camera in each area. If the number of applications for a filming location exceeds its capacity, a random drawing will be used to determine which companies can perform coverage in that area. Companies will be informed of coverage area assignments at reception (when Media credentials and media bibs are issued).
  - ❸ Assembly locations and location guidance may vary between coverage areas, so please confirm this information in advance.
  - ❹ Filming and photography are not permitted on streets, on medians, on pedestrian overpasses, or on overpasses.
  - ❺ Coverage on sidewalks must be performed with the utmost care to avoid interrupting general pedestrian traffic. Follow the instructions of area staff, marathon referees, and the police. Before performing coverage outside filming areas (within crowds) using equipment such as stepladders, submit a road usage permission application to the corresponding police department.
  - ❻ Please comply with any bag checks at any locations.
  - ❼ No areas have media parking spaces. Traffic restrictions will be in place on the day of the marathon, so please avoid coming to the marathon by automobile.
  - ❽ Following the marathon, press conferences are planned for the first place men and women winners, the first place Japanese men and women winners, and the first place men and women wheelchair marathon winners. Contact the organizer (Yomiuri Shimbun) regarding interview with individual athletes outside the press conferences.
  - ❾ Marathon result announcements and athlete records (flash reports) will be distributed at the Media Center in the marathon finish area site at Tokyo Big Sight. (This information is also to be uploaded to the official marathon website.)
  - ❿ Please promptly return media bibs after the marathon ends.  
★ Return location Tokyo Marathon Foundation Public Relations Division
  - ⓫ In accordance with the Civil Aeronautics Act it is prohibited to fly unmanned aircraft (drones, etc.) in the course or event site vicinities without permission. Please do not submit usage requests on the day of the marathon.

### ◆ Radiomicrophones ◆

For Type A radio microphones, submit an application in advance to the Specified Radiomicrophone User's Federation as normal. For new frequency bands (470MHz to 714MHz and 1.2GHz) submit an application in advance to the TV White Space Usage System Operation Coordination Council. There are no restrictions regarding use of Type B, Type C, or Type D radiomicrophones. In the event of signal congestion, etc., radiomicrophone users are requested to coordinate directly with each other.

### ◆ Photography and filming in first-aid stations ◆

All photography and filming are prohibited in first-aid stations. We appreciate your cooperation.

### ◆ Photography / filming area permission ◆

Applications have been submitted to police departments regarding corresponding filming and photography areas. Please be aware that the currently listed filming and photography areas are subject to change. For photography and/or filming in other areas, first submit a coverage plan to the Public Relations Division and coordinate regarding the plan, and then receive separate road usage permits from the appropriate police department (s). We appreciate your cooperation.

The final announcement on whether the event will be held will be published on the official marathon website by 5:00 a.m. on the day of the marathon.

# 報道取材要領 抜粋—報道取材に関するお願い—

## ○ テレビカメラ、ラジオの取材および放送権における注意事項

車道（コース上）を使用したコース内の取材は、日本テレビとラジオ日本のみを原則とし、許可の出ている媒体以外はコース内での取材は出来ません。また、レース映像は各局に映像を分配します。中継映像はタワー分岐です。

**映像使用についてはスポーツニュース協会の申し合わせに従って、日本テレビ系全国ネットの9:00 から 11:50 までの男女エリート中継終了後となります**のご協力のほどよろしくお願いたします。

### ◎ テレビ中継

■ 地上波中継 1 部 「東京マラソン 2016 ～リオ五輪日本代表選考レース」

2月28日（日）9:00～11:50（全国ネット）生中継

■ 地上波中継 2 部 「東京マラソン 2016 ～37,000人の市民マラソン」

2月28日（日）12:00～16:25（関東エリア）生中継

ほか、CS 放送日テレG+生中継、BS 日テレダイジェスト放送予定!

### ◎ ラジオ中継

2月28日（日）8:45 から 11:50 まで（ラジオ日本）

全ての映像使用は、平成 28 年（2016 年）2 月 28 日（日）、日本テレビ系全国ネット 9:00 から 11:50 の放送終了後、解禁となります。

番組	素材	使用尺 3分以内	使用尺 3分以上
ニュース番組 スポーツニュース番組 (スポーツニュース協会登録番組)	タワー分岐素材	分岐後24時間以内は申請不要。それ以降は、NTVへの申請、許諾が必要。回数無制限。無料。	財団広報部、NTVへの申請、許諾が必要。
	独自取材映像	財団広報部の事前取材許諾が必要。回数無制限。無料。	財団広報部、NTVへの申請、許諾が必要。
その他番組	タワー分岐素材	財団広報部、NTVへの申請、使用許諾が必要。 使用料の有無を含め、使用条件は、許諾内容に基づく。	財団広報部、NTVへの申請、許諾が必要。 原則有料。
	独自取材映像	財団広報部、NTVへの申請、使用許諾が必要。 使用料の有無を含め、使用条件は、許諾内容に基づく。	財団広報部、NTVへの申請、許諾が必要。 原則有料。

### その他

※ 各社独自取材の映像を使用する場合でも財団広報部まで申請してください。

東京マラソン財団から日本テレビへ取り次ぎます。

※ 大会中の映像、写真、記事、記録、申込者の氏名、年齢、住所（国名、都道府県名または市町村名）等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権および肖像権は主催者に属します。

※ 有料使用については、1分以内6万円、その後1秒あたり1,000円を課金。

分岐映像以外を使用する場合のテクニカルコスト（蔵出し料、テープ代等）は実費負担。

ただし、有料使用について財団広報部が、大会のPRに貢献すると判断する場合は、料金応相談。

### お問合せ先

東京マラソン財団 マーケティング・広報部

TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-5500-6678

※ 大会終了後の映像、写真の使用については P.174 をご確認ください。

# Media Guidelines

## ○ Filming and Photography

As a general rule only Nippon Television and Radio Nippon may perform coverage on roads (the course) itself. Companies which have not received permission may not perform coverage within the course. Race video will be distributed to TV stations.

Live video will be distributed at Tokyo Tower. **Please be aware that in accordance with a request by the Sports News Association the use of race video is only permitted after Nippon Television network stations have finished their broadcast of men's and women's elite racers from 9:00 to 11:50.**

### ◎ Television broadcast

■ Terrestrial broadcast Section 1 "Tokyo Marathon 2016 - Rio Olympics Japanese Runner Selection Race" February 28 (Sun) 9:00 a.m. to 11:50 a.m. (nationwide network) live broadcast

■ Terrestrial broadcast Section 2 "Tokyo Marathon 2016 - 37,000 person mass runner marathon" February 28 (Sun) 12:00 p.m. to 4:25 p.m. (Kanto area) live broadcast, CS Nippon Television G+ live broadcast, BS Nippon Television Digest broadcast!

### ◎ Radio broadcast

February 28, 2016 (Sun), 8:45 to 11:50 (Radio Nippon)

All video and photography use is only permitted after the end of the broadcast of the marathon from 9:00 to 11:50 on February 28, 2016 on nationwide Nippon Television affiliate stations.

Television News Access Rules for non-rights holding broadcasters who are not granted a certain media rights by Tokyo Marathon Foundation (Non-Rights Holding Broadcasters)

This News Access Rules only apply to Non-Rights holding Television broadcasting media, and not applicable to the usage on internet, mobile platforms or otherwise.

Non-Rights holding broadcasters must strictly respect these News Access Rules.

1. Only Non-Rights Holding Broadcasters with permitted media accreditation issued by Tokyo Marathon Foundation will be allowed to film or record.

2. Filming will be allowed only in designated areas by Tokyo Marathon Foundation.

For the avoidance of doubt, recognizing the nature of Tokyo Marathon which the race venue includes public road, Non-Rights Holding Broadcasters will not be allowed to film and record the race completion along the course, except for designated filming areas defined by Tokyo Marathon Foundation.

3. Any material (Tokyo Marathon Material), including sound or moving images, gathered within accreditation controlled area shall be used only as a part of regularly scheduled television news programs, and sports featured programs within 8 days after the completion of Tokyo Marathon 2016.

4. Tokyo Marathon Material, including interviews in accreditation controlled area, shall be used in no more than 3 minutes per above mentioned programs. Non-Rights Holding Broadcasters shall ensure that no advertising, promotion, publicity or other message appears at the same time as Tokyo Marathon Material is used.

5. Non-Rights Holding Broadcasters shall not make available or provide Tokyo Marathon Material to any third party, except that Non-Rights holders who are international News Agencies.

6. For any usage outside of the above defined News Access Rules, Non-Rights Holding Broadcasters shall contact Tokyo Marathon Foundation for its approval and footage usage fee.

### <For the publicity related inquiry>

Tokyo Marathon Foundation Public Relations Division

Tel: 03-5500-6639 Fax: 03-5500-6678

E-mail: press\_tm@tokyo42195.org

Please see P.175 for the usage of all the video and photography after the race.

# 報道取材要領 抜粋—報道取材に関するお願い—

## ○ 映像、写真について (“取材要領より抜粋”)

### 1. 報道・大会告知 (パブリシティ) での使用

報道または東京マラソンの概要、趣旨、活動などの告知 (パブリシティ) を目的とした使用を希望される場合が該当します。申請には「プロパティ使用申請書」(媒体名・番組名、発売日・放送日等) および企画書を提出してください。

**【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。**

- 東京マラソンに関する写真・映像は、主催者である財団に無断で撮影および使用することはできません。
- 事前に取材申請をした上で、大会当日に撮影された写真・映像を大会開催日より8日以内に報道利用する場合には、申請の必要はありません。大会開催日より9日以降に使用される場合は、別途申請が必要となります。 ※ 共有メディアは除きます。
- 財団が撮影した公式記録写真から、大会を象徴する代表的なカット (シーン) をまとめて提供しています。これらの中から使用する場合は、原則として使用料はかかりません (素材の送料等の実費は別途)。公式写真・映像サービス提供社の写真・映像を使用する場合は、同社が別途定める使用料をお支払ください。
- 写真・映像の二次使用、無断転載は禁止です。
- 東京マラソンの映像に関しては、中継担当テレビ局のO.A.映像となります。使用の際は、実況とスーパーを消してご利用ください。
- 参加者 (ボランティアおよび応援等の方を含む) による写真・映像の撮影は、私的な利用に限り認めています。撮影された写真・映像は、私的な利用の範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。

使用者	申請方法 / 規定	使用できるプロパティ	料金
報道機関 (共有メディア含む)	大会開催前に取材申請し、大会開催日より8日以内に使用する場合は申請不要大会開催日より9日以降は、プロパティ申請書が必要。	写真 映像	①財団所有の写真・映像を使用する場合は無償 ②公式写真・映像サービス提供社の写真・映像を使用する場合は有償。

### 2. 報道・大会告知 (パブリシティ) 以外での使用

#### 2-1 報道機関による商業利用を目的としない使用

報道機関 (新聞社・放送局・出版社・通信社等) により、出版物や WEB サイト、テレビ等のメディアで部分的に使用し、商業利用を目的としない場合に限り適用されます。

**【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。**

東京マラソンの写真・映像などを主体的に使用する場合、および東京マラソンの名称をタイトルやサブタイトルに使用する出版物、DVD、WEB サイト、アプリ等については、別途ライセンス契約が必要となり、ロイヤリティが発生します。(下記に従って手続きを行ってください)

#### 【写真使用料】消費税別 (東京マラソン財団の素材)

	カット	1/2 ページ	片 1 ページ	見開・表 4	表 1・カバー・帯
雑誌・新聞・フリーペーパー 社内報・機関誌 (共有メディア含む)	30,000	35,000	50,000	80,000	100,000
書籍	30,000	35,000	50,000	80,000	100,000
WEB マガジン (記事中使用)	30,000				
テレビ放送	30,000	・複数波による同時再送信を含む。 ・再放送は1年内2回まで含む。 ・上記を超える使用は、都度1カット換算する。 ・PPV、ダウンロード販売、DVD等で販売する場合は、別途ライセンス管理室へお問い合わせください。			

#### 【映像使用料】消費税別 (スポーツニュース協会規定は別となります)

	60 秒まで	以後毎秒	備考
テレビ放送 (ニュース、情報番組等)	60,000	1,000	・複数波による同時再送信を含む。 ・再放送は1年内2回まで含む。 ・上記を超える使用は、都度1番組として換算する。 ・PPV、ダウンロード販売、DVD等で販売する場合は、別途ライセンス管理室へお問い合わせください。
WEB マガジン (記事中使用)	60,000	1,000	

#### 2-2 商業利用を目的とする使用 ※大会オフィシャルパートナーの協賛権利に抵触しない場合に限り適用。

商品の製造・販売、サービスの提供、販売促進 (景品を含む) などへの使用を指し、別途ロイヤリティが発生します。利用者については、報道機関、一般企業、団体を問いません。

**【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。**

# Media Guidelines

## ○ Filming and Photography

### 1. Use in media and marathon publicity

The use of videos and photographs is only permitted for reporting purposes or providing publicity for the Tokyo Marathon, such as providing an overview of the marathon, explaining its intent, reporting on marathon activities, etc. Submit a "Permission Request Form" (containing the name of the media / program name, release date / broadcast date, etc.) and a written plan.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**.

(1) Photographs and videos of the Tokyo Marathon may not be taken or used without the permission of the organizer, the Tokyo Marathon Foundation (the Foundation).

(2) No application is necessary to use photographs or film taken on the day of the marathon provided that a coverage application was submitted in advance, and the media coverage is performed within 8 days of the event. A separate application is required for the use of video or photographs 9 days or more after the event.\* This does not apply to media partners.

(3) A partial collection of official record photographs and videos taken by the Foundation which depict representative scenes will be provided. As a general rule no usage fees apply to the use of images or videos of these materials (separate material delivery fees, etc. will apply). Separate usage fees apply for the use of photographs or videos provided by official photograph and video service suppliers. These fees are specified by the respective service suppliers.

(4) Secondary use and unauthorized reproduction of photographs and videos are prohibited.

(5) The video provided of the Tokyo Marathon will be the video which is broadcast on-air by television relay stations. Remove any narration and captions before using this video.

(6) Filming and photography by participants (including volunteers and supporters, etc.) is only permitted for private use. Please be aware that video and photographs cannot be used except for private use.

User	Application Procedure / Rules	Usable Properties	Cost
Media organization (including joint media)	No application necessary if a coverage application is submitted before the marathon and the property is used within 8 days of the marathon. A separate application is required for the use of video or photographs 9 days or more after the event.	Photographs	(1) Free when using photographs / video owned by the Foundation.
		Video	(2) Fees apply for the use of photographs or videos provided by official photograph and video service suppliers.

### 2. Use other than media and marathon publicity

#### 2-1 Non-commercial use by media organizations

Photographs and videos can be used in limited quantities by media organizations (newspapers, television stations, publishing companies, wire services, etc.) for non-commercial purposes only in media such as publications, on websites, on television, etc.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**. Separate licensing agreements are required for active use of Tokyo Marathon photographs, videos, etc., and for publications, DVDs, websites, applications, etc., which use the Tokyo Marathon name in titles or subtitles. Royalty fees apply. (Use the procedure below to license usage.)

#### 【Photograph usage fees】Sales tax not included

	Cut	1/2page	1page	Spread・back cover	Front cover・dust cover・book band
Magazine / newspaper Free newspaper / magazine	¥30,000	¥35,000	¥50,000	¥80,000	¥100,000
Book	¥30,000	¥35,000	¥50,000	¥80,000	¥100,000
Online magazine (use in articles)	¥30,000				
Television broadcast	¥30,000	・Includes simultaneous multi-wavelength rebroadcasting. ・Includes up to two rebroadcasts within one year. ・Additional fee equivalent to 1 cut for uses exceeding the above. ・Please inquire with the License Management Office regarding PPV, download sales, DVD sales, etc.			

#### 【Video usage fees】Sales tax not included (Separate Sports News Association regulations apply)

	Up to 60 seconds	Each additional second	Remarks
Television broadcast (news, information program, etc.)	¥60,000	¥1,000	・Includes simultaneous multi-wavelength rebroadcasting. ・Includes up to two rebroadcasts within one year. ・Additional fee equivalent to 1 cut for uses exceeding the above. ・Please inquire with the License Management Office regarding PPV, download sales, DVD sales, etc.
Online magazine (use in articles)	¥60,000	¥1,000	

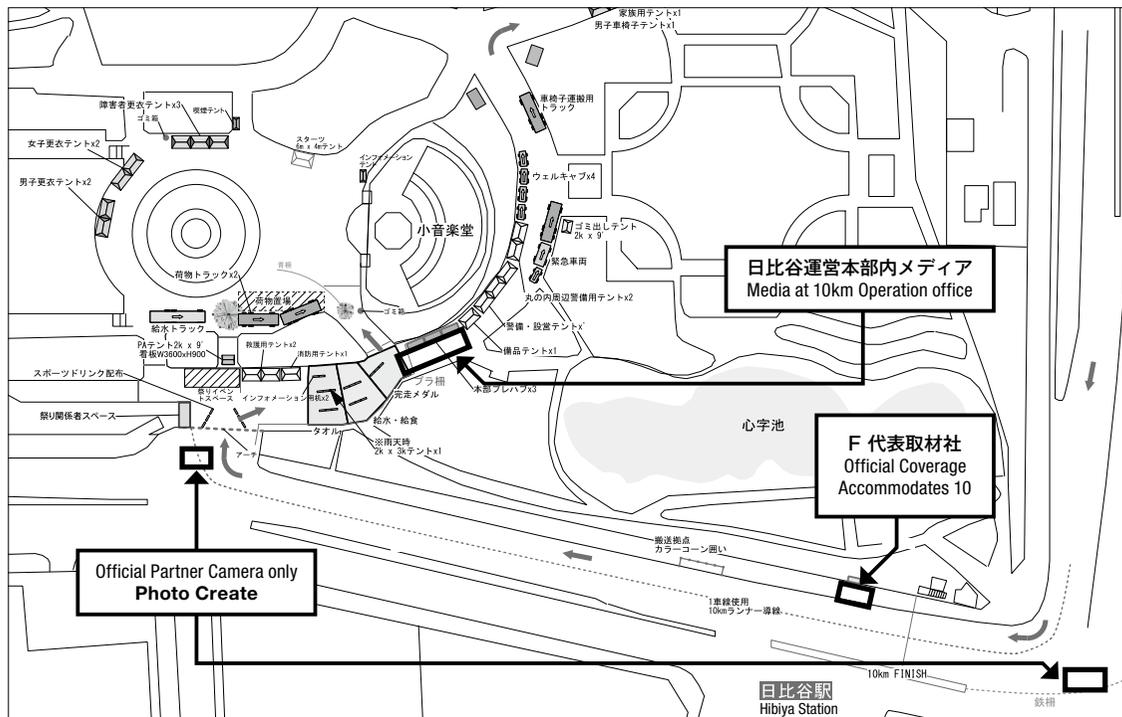
#### 2-2 Commercial use \* Only permitted for uses which do not infringe on cosponsorship rights of official marathon partners.

This refers to use in product manufacturing, sales, service provision, sales promotion (including prizes), etc. Separate royalty fees apply. This applies to all users, be they media organizations, general companies, or associations.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**.

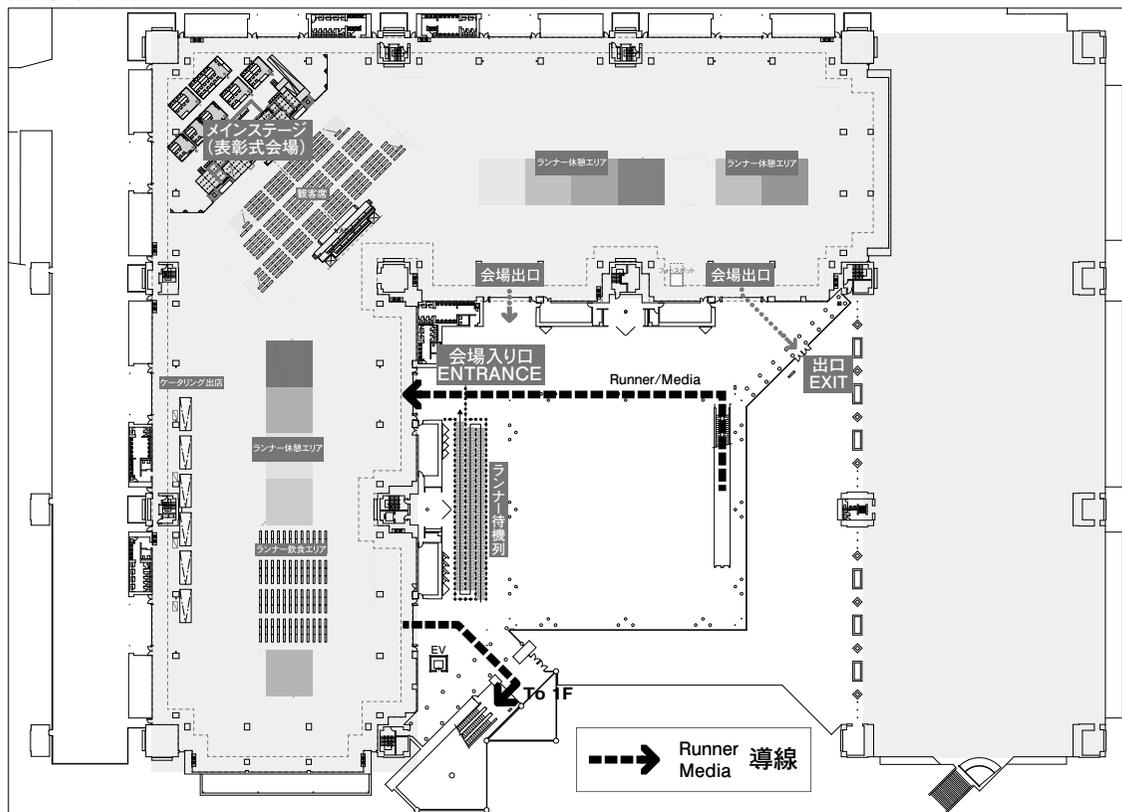


# 10km FINISH Area Map



# 表彰式エリアマップ Award Ceremony Area Map

西展示場 4F 西3・4ホール West Exhibition Hall 4F, West Hall 3・4



# FINISH Area Map

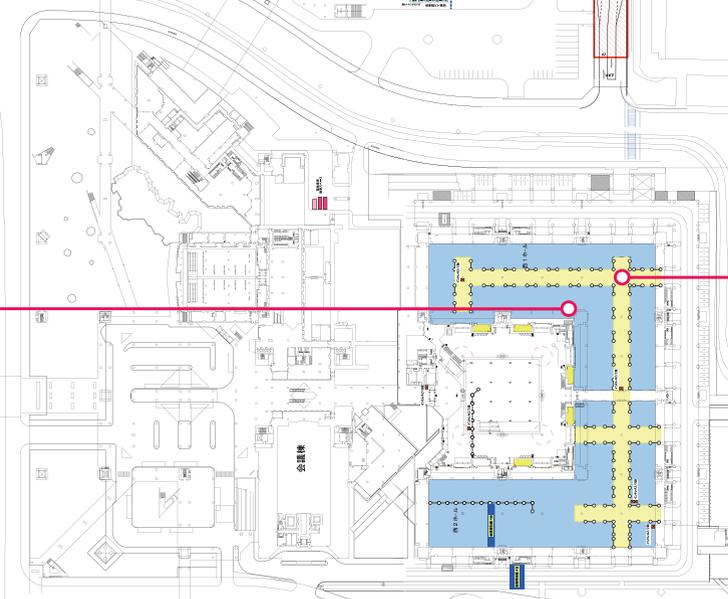
February 23-27, 10:00am-

メディアオフィス

西展示棟4F 西3ホール

Media Office  
West Exhibition Hall 4F, West Hall 3

国際展示場正門前駅

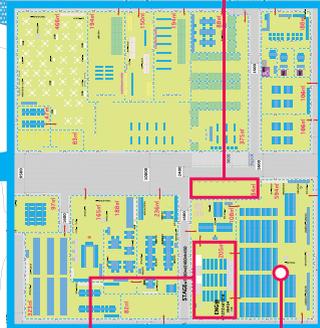


発行©東京マラソン財団  
無断転載を禁ず  
Copyright  
©TOKYO MARATHON  
FOUNDATION  
All rights reserved.

アフターラン・サンクスパーティ  
After-Run Thanks Party  
表彰式  
Award Ceremony  
西展示棟4F 西ホール3-4  
West Exhibition Hall 4F,  
West Hall 3-4

February 28, 8:00am-  
メディアセンター  
東展示棟 東3ホール  
Media Center  
East Exhibition Hall, East Hall 3

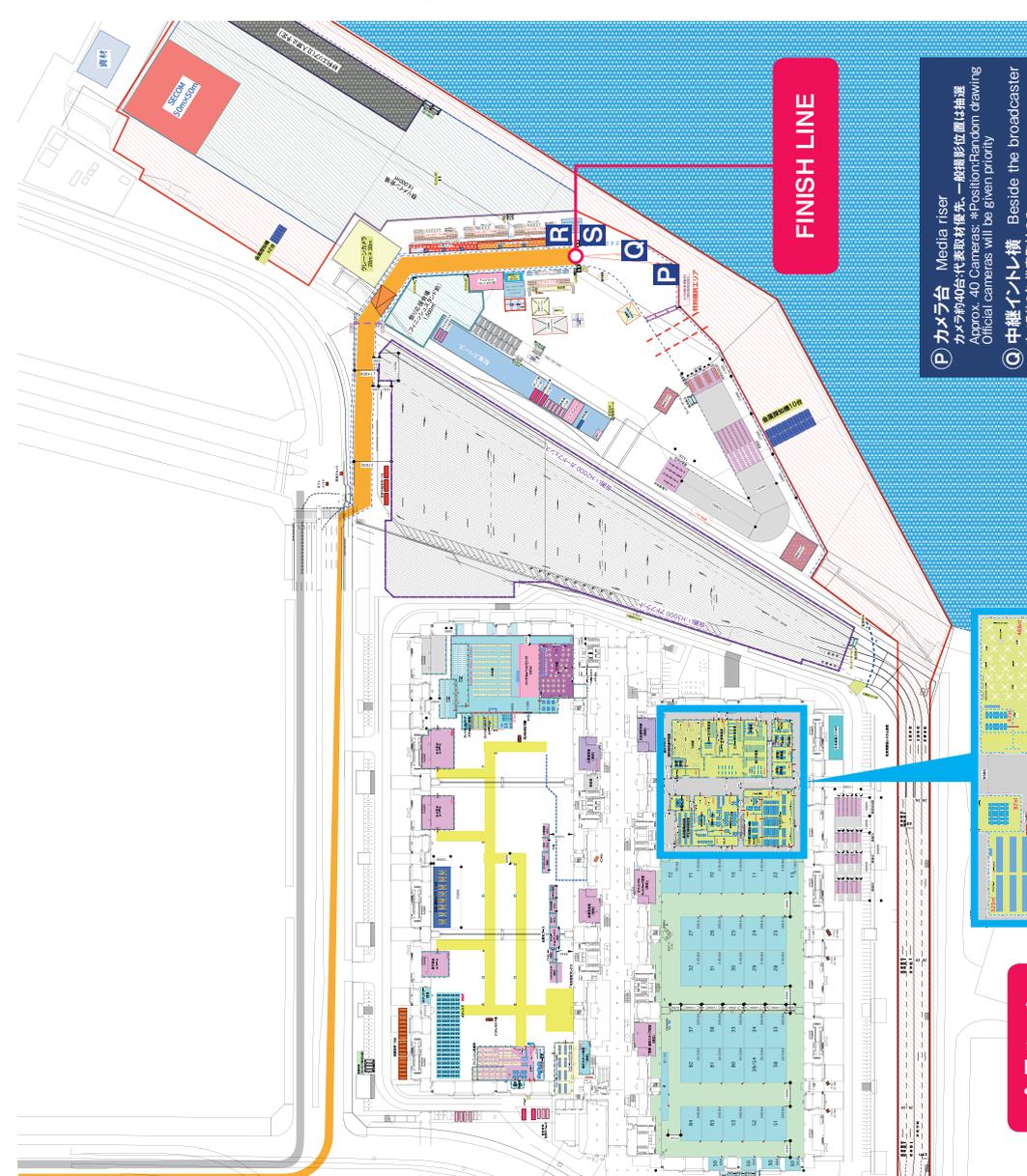
会見ルーム  
Press Conference  
Room

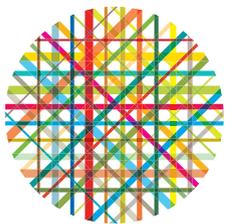


Mixed Zone

FINISH LINE

- ①** カメラ台 Media riser  
カメラ約40台代表取付優先、一般撮影位置は抽選  
Approx. 40 Cameras: #Position/Random drawing  
Official cameras will be given priority
- ②** 中継インテリ橋 Beside the broadcaster  
カメラ約16台代表取付のみ  
Official Media only
- ③** フィニッシュライン手前  
In front of the FINISH LINE  
カメラ約20台代表取付優先、一般撮影位置は抽選  
Approx. 20 Cameras: #Position/Random drawing  
Official cameras will be given priority
- ④** フィニッシュライン先 Beside the FINISH LINE  
カメラ約40台代表取付優先、一般撮影位置は抽選  
Approx. 40 Cameras: #Position/Random drawing  
Official cameras will be given priority





**TOKYO  
MARATHON  
2016**

東京がひとつになる日。

**MEDIA  
GUIDE**

